



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 27 日

要請番号( JL 527 - 14 - B - 02 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C101 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	期間	JOCV/SV	日系/短期
ナミビア	稲作栽培			● 2 年	27 / 1	年 月 から
				○ 1 年	27 / 2	
		○ ヶ月	27 / 3			

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) ナミビア大学オゴンゴキャンパス <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 オムサティ州オゴンゴ JICA事務所の所在地( ヴイントフック )から 北西 方向 800 Km 主要都市( オシャカティ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 ナミビア国における唯一の4年制総合大学で約1万人の学生を擁する。オゴンゴ校は、季節湿地への稲作導入を含む乾燥地作物生産に関する技術開発を担い、ナミビア国の作物生産効率を高めることを目的としている。地球規模課題対応国際科学技術協力事業(SATREPS)が2012年より実施されており、近畿大学を始めとする日本の5大学の教員、大学院生らが頻繁に滞在。ナミビア大学オゴンゴ校の年間経常予算は300万N\$(約28万米ドル)で、中国の研究者も短期で研究を行っている。

要請概要	1) 要請理由・背景 オゴンゴ校が位置するオムサティ州は、年間降水量が約400mmの半乾燥地であるが、雨季になると隣国からの洪水を受けるため、広大な季節湿地が形成される。現地の自給自足農家は乾燥地での栽培に適したトウジンビエ栽培と放牧を生業としているが、季節湿地は十分には活用されていない。現地大学では、洪水や干ばつに対応する新しい農法の開発を目指したSATREPSプロジェクトが実施中で、新規作物として稲を導入しつつ、ヒエと混作する研究が行われており、多くの現地農家が稲の栽培を望んでいる。JICAボランティアは2012年より稲栽培の啓発活動、展示圃場の運営管理等を2名体制で支援しており、本要請は4代目。2014年7月現在、1名(2015年6月任期終了)が活動中。2015年1月にもう1名が派遣予定である。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) SATREPSプロジェクトの促進支援を目的に、大学の技術職員との協同作業を通じて以下の活動を実施する。 ・稲作関連圃場を管理運営 ・稲展示圃場で、観察した稲の生育をもとに栽培技術の協議 ・農家と学生に対する稲栽培啓発活動 ・現場での講習会の企画運営
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 SATREPSプロジェクトにより提供された、トラクター(1台)、ハンドトラクター(6台)、稲刈り機(3台)、脱穀機(3台)、粃摺り精米機(2台)、Water pump(2台)

4) 配属先同僚及び活動対象者 ・指導対象者の農家と学部学生はいずれも稲の栽培経験がほとんどないため、技術レベルは極めて初歩的なレベルといえる。 ・配属先の大学スタッフは30数名。 ・カウンターパートは、大学の技術職員で元JICA研修員であり、技術レベルは初中級程度である。	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )
--	--

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由: 配属先の要望 ・学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 専門的知識を必要とするため ・経験 ( ) ( ) 理由: 稲栽培の経験 理由: 圃場の運営管理をするため	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
	地域概況 気候(サバナ気候) 気温( 10~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項	同配属先で活動する他隊員と共同生活をするため、トイレ、シャワー、台所等は共用となる。	



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 6 月 27 日

要請番号 ( JL 545 - 14 - B - 06 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C101 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 5 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 3 / /	日系/短期 年 月 から
ウガンダ	稲作栽培					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・水産省					
	2) 配属先名 (日本語) 国立作物資源研究所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ワキソ県ナムロンゲ JICA事務所の所在地( <span style="margin-left: 100px;">カンパラ</span> )から 北 方向 30 Km 主要都市( <span style="margin-left: 100px;">カンパラ</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="margin-left: 100px;">車</span> で約 1 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 農業分野の研究・技術開発を担う国家農業研究機構(NARO)の傘下にある国立作物資源研究所は、食用作物全般の主研究実施機関である。JICAは同研究所の協力を得て、ネリカ米の品種試験、研修や種子の配付を通じた普及活動を展開している。2004年6月から個別専門家を継続的に派遣しており、2008年からはコメ振興プログラムのもと「ネリカ米振興プロジェクト」を実施した。現在はネリカ米の普及を含む「コメ振興プロジェクト」(2011年～2016年)を実施中である。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。コメ生産拡大に向けたイニシアティブであるCARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブ・サハラアフリカのコメ生産を2018年までに倍増させることを目標に掲げ、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「コメ振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。配属先は、ウガンダ全国の農業従事者向けに様々な研修を実施しており、品種改良・栽培方法の改善を目的とした圃場での様々な実証実験が求められることから、ボランティアの継続要請がなされた。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 研究所内でのプロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施。 ② 近隣農家との協力による農家圃場での実証試験の実施。 ③ コメ振興に関わる他ボランティアや活動地域の農業普及員とともに、稲作栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 試験・実験機材一式					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 稲作試験に関わる研究員: 8名			5) 活動使用言語 ( 英語 )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 栽培試験等を行うため ・経歴 ( ) ( ) 理由: 理由:			6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
地 域 概 況	気候(常初夏気候) 気温( 15~30 ℃位)			電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )			水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 27 日

要請番号( JL 545 - 14 - B - 07 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C101 )	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 5 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ウガンダ	稲作栽培			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	27 / 1
				27 / 2	
				27 / 3	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・水産省				
	2) 配属先名 (日本語) プリンディ地域農業調査開発研究所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ホイマ県プリンディ JICA事務所の所在地( カンパラ )から 北西 方向 220 Km 主要都市( ホイマ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 農業・畜産・水産省の下、2000年に設立された農業試験・技術普及・研修の機能を兼ね備えた施設で、スタッフは約50名。ホイマ県を中心とした北西部地域における農地生態系に適した農業技術の開発、モデルファーム(約100ha)としての機能、優良種子・優良苗・優良家畜の増殖と普及、農業指導者への訓練や農業従事者への研修を行っている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。コメ生産拡大に向けたイニシアティブであるCARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブ・サハラアフリカのコメ生産を2018年までに倍増させることを目標に掲げ、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「コメ振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。配属先は、ウガンダ全国の農業従事者向けに様々な研修を実施しており、品種改良・栽培方法の改善を目的とした圃場での様々な実証実験が求められることから、ボランティアの継続要請がなされた。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 研究所内でのプロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施。 ② 近隣農家との協力による農家圃場での実証試験の実施。 ③ コメ振興に関わる他ボランティアや活動地域の農業普及員とともに、稲作栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。				
要 請 概 要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 試験・実験機材一式				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 研究所長: 男性(40~50代) 1名 稲作試験に関わる研究員: 2名			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 栽培試験等を行うため ・経験 ( ) ( ) 理由: 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
	地域概況 気候(常初夏気候) 気温( 15~30 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし)				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 27 日

要請番号( JL 545 - 14 - B - 08 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C101 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	派遣希望時期	派遣希望時期
ウガンダ	稲作栽培			<input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
				27 / 1	年 月 から
				27 / 2	
				27 / 3	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・水産省
	2) 配属先名 (日本語) ブギニャニャ農業試験場イクルエ支部 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 マユゲ県イクルエ JICA事務所の所在地( <span style="margin-left: 100px;">カンバラ</span> )から 東 方向 150 Km 主要都市( <span style="margin-left: 100px;">イガンガ</span> )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 農業・畜産・水産省の下、2000年に設立された農業試験・技術普及・研修の機能を兼ね備えた施設で、イクルエ支部のスタッフは約6名。東部の代表都市ムバレを中心とした地域における農地生態系に適した農業技術の開発、モデルファーム(約85ha)としての機能、優良種子・優良苗・優良家畜の増殖と普及、農業指導者への訓練や農業従事者への研修を行っている。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。コメ生産拡大に向けたイニシアティブであるCARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブ・サハラアフリカのコメ生産を2018年までに倍増させることを目標に掲げ、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「コメ振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。配属先は、ウガンダ全国の農業従事者向けに様々な研修を実施しており、品種改良・栽培方法の改善を目的とした圃場での様々な実証実験が求められることから、ボランティアの継続要請がなされた。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 研究所内でのプロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施。 ② 近隣農家との協力による農家圃場での実証試験の実施。 ③ コメ振興に関わる他ボランティアや活動地域の農業普及員とともに、稲作栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 試験・実験機材一式
4) 配属先同僚及び活動対象者 研究所長: 男性(40~50代) 1名 稲作試験に関わる研究員: 1名	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 栽培試験等を行うため ・ 経歴 ( ) ( ) 理由: 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
-----------------------	--	--

地域 概況	気候(常初夏気候 ) 気温( 15~30 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし)
----------	---

特記 事項	
----------	--





長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号 ( JL 560 - 14 - B - 08 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C101 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 /
ベナン	稲作栽培		年 月 から		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・漁業省				
	2) 配属先名 (日本語) グランポポ村落開発支所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 モノ県グランポポ市 JICA事務所の所在地( コトヌー )から 西 方向 85 Km 主要都市( コトヌー )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 2 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 グランポポ村落開発支所は、モノ・クッフオ県地域農業促進センターが管轄する部署の一つで1970年に設立。グランポポ地区内の農業促進と地域発展を支援する組織である。具体的には、地域内の農業、畜産、水産(養殖)の促進と技術向上支援、農作物等の生産に関する監督、管理、行政手続等を行っている。現在、JV1名(食用作物・稲作栽培)が活動中。更に、コミュニティ開発JV1名を派遣予定である。また、水産担当の同僚が2013年度の本邦研修、配属先ディレクターも2013年度の本邦研修に参加した実績がある。グランポポ村落開発支所の予算は、モノ・クッフオ県地域農業促進センターに包括されており独自の予算はない。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 グランポポ市は海岸線に位置する人口約4万人の地方市である。海岸沿いにはホテルが立ち並び穏やかなリゾート地でもある。モノ県に属する同市の面積は約290Km <sup>2</sup> 、7つの行政区分を管轄する。同村落開発支所は、漁業、農業に従事する約6千名を対象に専門技官等が配置され、技術指導等を行っている。農民のほとんどが小規模農業を営んでおり、同時期に同じ収穫物が取引されるため、収入は不安定である。主となる農作物は穀物(稲・トウモロコシ等)と芋類を含む野菜類である。稲作専門農家はない。ベナン国は米生産量が不足しており、輸入に頼っている現状がある。前任者となるJV(食用作物・稲作栽培)が現在活動中。害虫対策、栽培時期のアドバイス等を通して、稲作と野菜栽培の普及、生産物の保存、加工食品の普及を目指して活動している。安全性が高かつ安定した農業生産を目標にするとともに、収入向上に貢献するJVの継続活動が期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 地域内の農家を巡回し、稲作栽培に関心を持つ農家の件数を増やし、稲作栽培の普及を行う。 2. 田植えをせずに田んぼに種まきを行う農家もある。害虫対策、種まきや田植えの適切な時期等のアドバイスをを行い、収穫高の向上を目指した支援を行う。稲作栽培を行わない時期には、野菜等他の作物への栽培支援に協力する。 3. 活動状況を報告するとともに支所内の同僚とともに、現状確認、課題とその対応策を共有する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務所内執務席				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ディレクター (男性 30歳代 経験10年) 専門技術技官 10名、アドバイザー10名 (女性・男性20歳代～50歳代)  地域農民			5) 活動使用言語 ( フランス語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( )理由: 実践活動となるため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要  現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 本募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外	
地域概況	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 25~35 ℃位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 636 - 14 - B - 11 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C101 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	27 / 1
ルワンダ	稲作栽培			1年	27 / 3
			ヶ月	/	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省
	2) 配属先名 (日本語) キレヘ郡庁 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 東部県キレヘ郡 JICA事務所の所在地( キガリ )から 南東 方向 150 Km 主要都市( キガリ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 3 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 東部県7郡の1つであるキレヘ郡は東部県の最南端に位置し、12個の行政単位「セクター」で構成され、人口は約29万人を数える。タンザニアとの国境があり、物流の行き来も多い交通の要所である。郡庁は教育・人材・保健・農業など8つの課で構成され、住民の生活全般に対する各種サービスを提供している。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 キレヘ郡は北西にあるのンゴマ郡との郡境周辺に大規模な湿地帯を有し、稲作が盛んな地域の一つである。稲作関連の大規模な共同組合も存在し、収量の増加・品質の改善をめざし、郡の農業技官が組合を巡回し、技術的サポートを提供している。しかし郡庁では人手が不足しており、すべての農家・組合の状況を把握できていない状態である。農民の栽培技術は未だ低く、種の選択・植え方・移植・病虫害・施肥の方法・タイミング等の知識も少ないため、サポートが求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同郡の稲作共同組合に属する農家を訪問、技術的サポートを行う 2. 郡庁の農業技官に現状報告を行う 3. 協同組合への運営サポート

要 請 概 要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務所(椅子・机)	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )
	4) 配属先同僚及び活動対象者 郡庁農業技官 各セクターの農業技官 共同組合の農業技官	

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 )( 農学 )理由:同僚と同等以上 ・経歴( 実務経験 )( 2年以上 )理由:実践による指導力が必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域 概況	気候(熱帯性気候) 気温( 15~30 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	稲作がおこなわれている地域までは公共バスを使用し、最寄のバス停から徒歩(2~3km)で訪問する地域も多い。
----------	---



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 7 日

要請番号( JL 242 - 14 - B - 03 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C102 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ジャマイカ	花き栽培					
配属先名 (日本語) ジャマイカ知的障害者協会						<input checked="" type="radio"/> NGO
3) 任地	キングストン JICA事務所の所在地( キングストン )から 北 方向 0 Km 主要都市( キングストン )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容	同協会は1956年に知的障害者への教育を政府に先立って始めたNGOである。1974年に教育省が特別支援教育に参入し、現在では同協会と共同で全国28か所の拠点において無償で教育を提供している。2011年に学校教育を終えた卒業生が通える作業所が開設された。年間予算は約8千万円。これまで30名を越えるボランティアが派遣され、現在は2拠点で3名のボランティアが活動している。					
1) 要請理由・背景	花き栽培は生徒への授業及び卒業生対象の職業訓練所での訓練科目であるが、適切な技術を持つ教師が不足しているため、ボランティアの要請となった。農業科教師と協働して授業をする他に系列学校教師の技術向上のために、同協会が開催するワークショップでの技術の共有が求められている。しかし、卒業後に学校で習った技術を使って就職することは困難で、卒業後就職できずに家に引きこもる障害者も多い。障害者が卒業した後、社会的生活を送る機会が減少する現実を少しでも改善して障害者の人生を意味のある物にしたいという願いから各校で作業所を開設し、アクセサリーの製作が始まっている。今後は、木工製品、観葉植物などの商品も作業所で生産する計画である。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)	同協会本部に派遣されるSVや他校のボランティアと連携して、以下の活動をする。 1. 同僚教師と共同して花き園芸の授業を行い、ワークショップを通じて系列他校の教師とも技術を共有する。 2. 遮光ハウスを利用した栽培計画の作成を支援する。 3. 知的障害者の自立に繋がるような栽培指導法を研究する。 4. 作業所に花き栽培を導入するための支援を行う。 栽培品種は約25種でランタナ、デュランタ、プラムパーゴ、ホーリー、カラテア、シュフレラ、ドラセナなどの花木、観葉植物である。					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等	遮光ハウス100㎡程度、園芸用の機材等					
4) 配属先同僚及び活動対象者	本部:事務局長(女性)教育開発担当(女性)など計7名。学校:校長教員、スタッフ80名、生徒数300名、1クラス生徒数約10名。職業訓練所:訓練生15名、教員2名		5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )			
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)	・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( ) ( )理由: ・ <b>花き園芸の実務・実習経験</b> 理由:栽培の指導をするため		活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外			
地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 22~32 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 8 日

要請番号( JL 006 - 14 - B - 28 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	2 年	JOCV/SV	
インドネシア	野菜栽培			1 年	27 / 1	日系/短期
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3	年 月 から	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省
	2) 配属先名 (日本語) バンタイン県農業局 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 南スラウェシ州バンタイン県 JICA事務所の所在地( ジャカルタ首都特別州 )から 北東 方向 1400 Km 主要都市( マカッサル市 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 3 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 南スラウェシ州南部に位置するバンタイン県は州内で最も小さい県で、人口18万人、その75%が農業に従事しており、県収入のほとんどを農産物が占めている。県農業局は、競争力があり、持続可能で環境に優しいアグリビジネス・システムの開発による農家の収入向上を目指しており、このために資源(土地及び水)の利用の最適化、農産物の生産性改善、川上産業(特に種苗場等)の開発等に力を入れている。県農業局の年間予算は計約3億6,000万円(国家予算7,000万円、州予算1億1,000万円、県予算1億5,000万円、特別予算3,000万円)。

要請概要	1) 要請理由・背景 バンタイン県では従来、ジャガイモ、トマト、人参、キャベツ等の野菜が栽培されてきたが、今般新たに里芋を導入し、里芋は輸出を含めた新たな収入源として期待されている。現在派遣されているJVも里芋の品質改善のために尽力し、バンタイン県における里芋の品質は改善してきているが、現状では、輸出可能なスタンダードに達してはならず、また十分な生産量も確保されていない。このため、県農業局では、引き続き里芋の品質向上及び生産量増加のための技術指導をできる人材を求めて今回、JV の後任を要請することとなった。JVにはさらに、高地野菜(キャベツ、ポテト、人参、大根、チコリ、にら等)の栽培に関する技術指導を行うことも求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・農家に対し、主に里芋の品質改善及び生産量増加のための技術指導(栽培、収穫、ポストハーベスト)を行う。 ・高地野菜(キャベツ、ポテト、人参、大根、チコリ、にら等)の栽培に関して農家に技術指導を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的な農機具

4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚:男性3人(いずれも30歳代、大卒)。 活動対象者:農家(40歳代の農家が多い)。	5) 活動使用言語 ( インドネシア語 )
	6) 生活使用言語 ( インドネシア語 )
	7) 選考指定言語 英語 (レベル: D ) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( 男性 )理由:支援対象が男性農家であるため ・学歴( 大卒 )( 農学 )理由:専門的な知識が必要 ・経歴( 実務経験 )( 2年以上 )理由:実践的な指導が必要なため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 在募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 18~25 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	インドネシア側における査証手続きの問題により、他の国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 30 日

要請番号( JL 012 - 14 - B - 10 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
フィリピン	野菜栽培			1年	27 / 1
		ヶ月	27 / 2	年 月 から	

配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局
	2)配属先名 (日本語) 東ネグロス州バレヘルモン町役場農業事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 東ネグロス州バレヘルモン町 JICA事務所の所在地( マニラ )から 南東 方向 500 Km 主要都市( ドゥマゲッティ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 東ネグロス州北端の海際に位置する同町は人口約3万7千人、15の村(バラングイ)から成る。町役場の職員数 506名(正職員90名、臨時職員416名)、年間予算約1億5千万円。配属先の農業事務所には、正職員6名、臨時職員5名の計11名が配置。農民/漁民の生計向上を目的とし、農業開発計画の立案、農民/漁民に対する日常的技術指導、技術の普及、農民漁民組織強化、各種研修の実施等のサービスを提供している。近年、減化学肥料、減農薬の安全な野菜栽培の普及推進を図っており、当該事業年間予算約45万円。外国からの援助は、NGOのPlan Internationalから農機具等の支援を受けた経緯あり。

要請概要	1) 要請理由・背景 フィリピン政府は、2010年に有機農業法を制定し国家として有機農業の推進に取り組んでいる。同町においても有機農業を推進するため予算を確保し、推進対象バラングイを選定の上、米作でのファーマーズフィールドスクールを実施する等の具体的な手段も取っているものの、農民は化学肥料と農薬を利用する農業に慣れてしまっており、有機農業を実際に採用する農民は一握りに限られているのが現状。配属先は、現在の農家の野菜栽培における農薬利用については、生産物の安全を確保できないレベルにある事例もあると認識しており、減化学肥料・減農薬の推進と有機農業への取組を重視しているものの、配属先の職員は有機農業に係る十分な知識/技術を持っていない。このため、今後有機農業の普及を更に進めるに当たって、有機農業に通じた人材による新たな技術の導入等、農民を有機農業に取り組ませるための一層の啓蒙が必要と考え、JVが要請された。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 野菜栽培農家/農地の現状を調査し、今後推進すべき有機野菜栽培技術を検討する。 ② 農家に対し適切な有機肥料の生産技術を指導する。 ③ 有機野菜栽培技術に係る農民/同僚に対する研修を実施する。 ④ 有機野菜栽培普及のためのデモファームの設置と運営管理に協力する。 ⑤ 配属先敷地内に設置予定のハウスを用いて行う、施設有機野菜栽培の実証展示に協力する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター等事務機器。

要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 町長:男性 50代 農業事務所長:男性 50代 主たる同僚:男性2名(40代1名、30代1名)、女性1名(20代) その他農業事務所には7名の職員が勤務	5) 活動使用言語 ( 英語 )
		6) 生活使用言語 ( その他 )
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 短大卒 ) ( )理由: 同僚とのバランス ・経験 ( ) ( )理由: ・ <b>有機農業の経験</b> 理由: 有機農業の技術指導が主活動	活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
-------	--	--

地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 23~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 6 月 30 日

要請番号( JL 012 - 14- B - 12 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
フィリピン	野菜栽培				27 / 1
					27 / 2
					/
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局 2) 配属先名 (日本語) アンティケ州セバステ町役場農業事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>				
概要	3) 任地 アンティケ州セバステ町 JICA事務所の所在地( マニラ )から 南東 方向 370 Km 主要都市( カリボ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)				
要請	4) 配属先の規模・事業内容 セバステ町はアンティケ州北部の海際に位置する人口約1万7千人の町。10の村(バランガイ)から成る。町役場は職員数186名(正職員76名、臨時職員110名)、年間予算約9億2千万円。配属先となる農業事務所は、正職員5名臨時職員4名の計9名が配置されており、年間予算250万円程度。農民/漁民の生計向上を目的とし、農業開発計画の立案、農民/漁民に対する日常的技術指導、農民/漁民組織の強化支援、各種研修の実施等を行っている。近年、有機農業の推進にも前向きな姿勢を見せている。外国からの援助はこれまで受けておらず、海外ボランティア受入実績無し。				
概要	1) 要請理由・背景 フィリピン政府は2010年に有機農業法を制定し国家として有機農業の推進に取り組んでいる。配属先でも、これに基づいて有機農業普及を進めているが、取組はまだまだ着手したばかりの段階である。配属先では、農民に対して有機肥料の利用推進や米作でのファーマーズフィールドスクール等を行っているものの、農家は化学肥料と農薬の利用に慣れてしまっており、有機農業への取組を始めるものは限られているのが現状。配属先は、今後さらに有機野菜栽培のデモファーム設置等の事業を実施し、有機農業に取り組む必要性を農民に対し強く訴えていきたい意向があるが、配属先スタッフも有機農業についての知識が十分では無く、今後の事業推進の支援を求めてJVが要請された。町内で生産されている主要な野菜は瓜類、豆類、ナス、トマト、オクラ等。なお、同町は、2013年11月のスーパー台風により農作物も大きな被害を受けた経緯あり。				
要請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 農民を対象とした有機野菜栽培に係るセミナーや研修の実施に協力する。 ② 有機農業の普及のための啓蒙資料の作成に協力する。 ③ 有機農業普及のためのデモファームの設置とその運営管理に協力する。 ④ 農民を対象とした有機肥料の生産/利用についての技術指導を行う(現在配属先ではパーミコンポスト普及に取り組もうとしている)。				
要請	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 有機肥料生産用シュレッダー2台。パーミコンポスト施設。パソコン、プリンター等事務機器。				
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 町長:男性 50代 農業事務所長:女性 50代 主たる同僚:女性2名(50代と40代)、男性1名(30代) 農業事務所には他5名の同僚(20~50代)が勤務		5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 短大卒 ) ( )理由:同僚とのバランス ・経歴 ( ) ( )理由: 有機農業の経験 理由:有機野菜栽培の推進が主活動			活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外	
地域概況	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 23~34 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 012 - 14 - B - 18 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
フィリピン	野菜栽培			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
				27 / 1	
				27 / 2	
				/	

1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局

2) 配属先名 (日本語) アンティケ州トピラス・フォーニエル町役場農業事務所  NGO

3) 任地 アンティケ州トピラス・フォーニエル町  
 JICA事務所の所在地( マニラ )から 南 方向 430 Km  
 主要都市( イロイロ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)

4) 配属先の規模・事業内容  
 トピラス・フォーニエル町はアンティケ州の南端に位置し、海岸線を多く有する人口約3万人の町。50の村(バラングイ)から成る。町役場の年間予算約1億5千万円の規模。配属先となる農業事務所は、正職員6名臨時職員6名の計12名が配置されており、地域の農民/漁民に対して各種サービスを提供している。野菜栽培分野でのサービスにおいては農民に対する野菜種子の配布と生産技術指導、研修の提供などが主たる業務。外国からの援助は、2013年 まで海洋資源管理分野の米国ピースコーが同じ農業事務所に派遣されていたが現在は無し。

1) 要請理由・背景  
 トピラス・フォーニエル町の農業は米生産が主体であり、現在、野菜栽培はあまり盛んではない。このため、町内に流通している野菜の多くは町外から入ってきており、町民は地元で生産されたものよりも高値で鮮度も悪い野菜を消費しているのが現状。配属先では、この現状にかんがみ、農家の収入向上と町民への安価で新鮮な野菜の供給を目指し、現在、野菜生産拡大プロジェクトを2008年から開始しており、2017年までに町内の野菜生産を50%増やすことを目標に掲げている。その実現のためには、野菜生産農家組織の形成とその組織強化、農民に対する技術研修やセミナーの提供、デモファームの設置等による普及活動などを実施していく必要があるが、農業事務所職員がこれらの活動を効果的/効率的に実施するための技術/知識の不足、農民の保守的な考え方が野菜栽培普及の妨げになっている。このため、隊員による支援が求められた。

2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)  
 ① 野菜栽培農家組織の形成、組織強化を支援する。  
 ② 野菜栽培農家組織に対する技術研修/セミナーの実施を支援する。  
 ③ 野菜栽培普及のためのデモファームの設置と運営管理の支援、普及用パンフレット等の作成を支援する。  
 ④ 有機農業を紹介するため有機農業デモファームの設置、有機肥料の生産に係る技術的助言を行う。(但し、配属先は有機農業を全面的に普及しようという考えは無く、導入できる範囲での普及を行う考え)

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等  
 有機肥料生産のためのシュレッダー。配属先敷地内に育苗場あり。

4) 配属先同僚及び活動対象者  
 農業事務所長:女性 50代  
 同僚:農業技師5名 男性1名、女性4名 30~60代(のうち30代男性1名、50代女性1名がJVの主たる同僚となる予定)  
 その他農業事務所には6名の臨時職員が勤務。

5) 活動使用言語 ( 英語 )  
 6) 生活使用言語 ( その他 )  
 7) 選考指定言語  
 英語 (レベル: D)  
 又は (レベル: )

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

資格条件等

・免許/資格 ( ) 又は ( )	活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要)
・性別 ( ) 理由: ( )	現職教員特別参加制度
・学歴 ( 短大卒 ) ( 農学 ) 理由: 同僚とのバランス	<input type="radio"/> 可 応募時のみ適用
・経歴 ( 実務経験 ) ( ) 理由: 栽培技術に係る指導が必要ため	<input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
・理由: ( )	

地域概況

気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 26~33 °C位) 電気(  安定  不安定  なし)  
 通信(  インターネット可  電話可  無線 ) 水道(  安定  不安定  なし)

特記事項

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号 ( JL 012 - 14 - B - 19 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
フィリピン	野菜栽培			<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	27 / 1
				/	年 月 から

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局
	2) 配属先名 (日本語) アンティケ州サンレミギオ町役場農業事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 アンティケ州サンレミギオ町 JICA事務所の所在地( マニラ )から 南 方向 450 Km 主要都市( イロイロ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 サンレミギオ町はアンティケ州南部の内陸に位置する人口約3万人の町。45の村(バランガイ)から成る。町役場は職員数160名程度、年間予算約1億9千万円。配属先となる農業事務所は、正職員4名臨時職員2名の計6名が配置されており、農家の生計向上を目的とし、農家に対する日常的技術指導、農民組織の強化支援、各種研修の実施等のサービスを提供している。近年は特に有機農業の推進に前向きな姿勢を見せており、有機農業推進プロジェクトの年間予算約50万円。外国からの援助はこれまで受けておらず、海外ボランティア受入実績無し。

要請概要	1) 要請理由・背景 フィリピン政府は2010年に有機農業法を制定し、国家として有機農業の推進に取り組んでいる。サンレミギオ町では、低地と1000m程度の高地を町内に有する地理的特徴を活かし、特に高地における野菜栽培が盛んであるが、有機農業法に沿って今後有機農業を推進していく計画があり、低地の米栽培では減農薬を目指したファーマーズフィールドスクールの実施や技術の農家間普及を目指したLocal Farmer Technicianの指定等を開始した。しかしながら、活動は始まったばかりであり、有機農業技術及びその普及についての十分な知識/技術を持つ人材がおらず、今後の有機農業推進の支援を求めて隊員が要請された。なお同町では、現在標高1000m近い高地の6村、低地の4村をターゲットに有機農業推進を計画しており、高地では結球野菜(レタス、キャベツ)、人参等が、低地ではトマト、オクラ、空芯菜、ニガウリ等が主要作物。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 有機野菜栽培技術(低地及び高地)を農家に紹介し、その導入を促進する。 ② 有機肥料生産技術の普及に係る支援を行う。なお、現在実施されているのはミズを利用したバーミコンポスト技術 ③ 農民に対する有機農業関連研修/セミナー実施を支援する。(ファーマーズフィールドスクール含む) ④ 有機複合農業の推進を支援する。
要件	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プロジェクター。基本的な農具。

4) 配属先同僚及び活動対象者 農業事務所長:男性 50代 同僚:農業技師:女性3名 30~60代 その他臨時職員:男性2名 30代	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )
---	--

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 短大卒 ) ( 農学 ) 理由: 同僚とのバランス ・経験 ( ) ( ) 理由: ・ 有機農業の経験 理由: 有機農業の技術指導が主活動	活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
-------	---	--

地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 23~34 °C位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--





長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 012 - 14 - B - 20 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 /	日系/短期 年 月 から
フィリピン	野菜栽培					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局					
	2) 配属先名 (日本語) アンティケ州サンホセ・デ・ブエナビスタ町役場農業事務所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 アンティケ州サンホセ・デ・ブエナビスタ町 JICA事務所の所在地( マニラ )から 南 方向 430 Km 主要都市( イロイロ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 サンホセデブエナビスタ町はアンティケ州南部の海際に位置するアンティケ州の州都。人口約5万8千人。28の村(バラングイ)から成る。町役場の予算規模は年間3億円程度。配属先となる農業事務所は、正職員5名臨時職員10名の計15名が配置されており、農民/漁民の生計向上を目的とし、農業開発計画の立案、農業技術の開発と農家に対する日常的技術指導、技術の普及、病虫害防除、各種研修の実施等のサービスを提供している。近年は特に有機農業の推進に積極的であり、複合有機農業のモデルファーム兼研修所を町内に設置している。外国からの援助は、海洋資源管理分野の米国ピースコーが同じ農業事務所で開催活動中。					
要請概要	1) 要請理由・背景 フィリピン政府は2010年に有機農業法を制定し国家として有機農業の推進に取り組んでいる。同市は、特に有機農業に対する取組が積極的であり、2011年に市内に本格的な有機農業のモデルファーム兼研修所を設立し、米、野菜、果樹、ハーブ、きのこ、養鶏、養豚、淡水魚養殖等を組み合わせた循環型有機複合農業を実践し、町内における有機農業普及の拠点としている。町としては将来的に全農家の75%が有機農業に取り組むことを目標としており、現在モデルファームの機能充実とともに、農家への普及機能の強化が課題である。このため、主にモデルファームに対する新たな有機農業技術の導入及び農家に対する有機農業啓蒙に対する支援を求めてJVの要請となった。モデルファームでの野菜栽培については現在施設栽培(防虫ネットと寒冷紗を利用したハウス)に取り組んでおり、施設を利用した有機野菜栽培を先進農家に普及することも視野に入れている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① モデルファームに有機農業に係る新たな技術を導入する。 ② 有機野菜の施設(防虫ネット及び寒冷紗を利用したハウス)栽培技術に係る助言を行う。 ③ 周辺農家の有機農業への興味を増進する啓蒙活動に協力する。 ④ 有機農業に取り組む農民組織の形成支援と農家に対する技術支援を行う。 ⑤ モデルファームにおいて農家や学生に対する有機農業に係る研修やワークショップの実施を支援する。 ⑥ モデルファームの運営管理についてのモニタリングを実施し、運営の改善に係る助言を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 シュレッダー、ハンドトラクター、もみ殻燻炭製造機器、防虫ネットと寒冷紗を利用したハウス、育苗場、農民研修施設等					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 農業事務所長: 男性 50代 モデルファーム担当職員8名: 男性4名、女性4名 20~50代(このうちJVの主たる同僚は農業技師の男性1名 50代、女性1名 40代となる予定) 農業事務所にはその他6名の職員が勤務。			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 短大卒 ) ( 農学 )理由: 同僚とのバランス ・経験 ( )理由: ・ 有機農業の経験 理由: 有機農業の技術指導が主活動			活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 23~34 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 012 - 14 - B - 21 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
フィリピン	野菜栽培			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 2	
				/	

  

配	1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局
属	2) 配属先名 (日本語) アンティケ大学ハムティック校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
先	3) 任地 アンティケ州ハムティック町
概	JICA事務所の所在地( マニラ )から 南 方向 440 Km
要	主要都市( イロイロ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)
要	4) 配属先の規模・事業内容 アンティケ大学は、アンティケ州の高等教育を担う自然科学、工学、看護学、文学等各種学部を備えている総合大学。州内に5つのキャンパスを持ち、ハムティック校は37haの敷地に農学系の3ユニット(資源生産、研究普及、教務)が中心となるキャンパスで、農学系ユニット年間予算5,500万円程度、学生数220名程度、職員数41名の規模。JVは資源生産ユニットに配属予定。5年程度前から有機高付加価値野菜生産事業に取り組んでおり、事業予算 年間35万円程度。海外からの支援は、2008年から畜産部門の韓国KOICAボランティアによる支援が入っており、現在2代目のボランティアによる支援が継続中。

  

要	1) 要請理由・背景 フィリピン政府は2010年に有機農業法を制定し国家として有機農業の推進に取り組んでいる。配属先は高等教育機関であるが、教育を中心としつつも技術開発・研究とその普及の役割も担っており、地域における有機農業技術の普及の中核としての機能が期待されている。具体的には有機肥料生産技術、高品質有機野菜の通年栽培等において技術を確立することを目標としており、その取り組みを開始しているものの、有機農業に関して専門性のある人材が学内に乏しいことから、JVによる支援が求められた。なお、アンティケ州においては有機農業への取組が比較的盛んであり、ハムティック町周辺の複数の町の町役場農業事務所から有機農業に係る技術支援を求めてJVの要請が上がっていることから、これらのJVと連携しての活動も見込まれる。
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 有機野菜栽培のデモファームの運営管理を支援する(デモファームは学内の圃場の他、標高が高い隣のサンレミギオ市に大学が所有する農場にも開設する可能性あり) ② 学生、農民に対する有機農業関連研修や実習の支援を行う。 ③ 高品質有機野菜の通年施設栽培についての試験/研究を支援する。(学内に点滴灌漑施設を備えた防虫ネットと寒冷紗を利用したハウスあり) ④ 有機肥料生産技術普及のための生産技術確立を支援する。 ⑤ 周辺農家等に有機野菜栽培に係る技術支援を行う。
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 点滴灌漑施設を備えた防虫ネットと寒冷紗を利用したハウス、ハンドトラクター、スプレーヤー、シュレッダー等。
	4) 配属先同僚及び活動対象者 キャンパスダイレクター:男性 40代 博士号 同僚:女性1名 50代 学士(農業教育) 野菜生産事業責任者 男性1名 30代 農場管理
	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

  

資	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)	活動上の單車/自転車の必要性
格	・免許/資格 ( ) 又は ( )	<input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要)
条	・性別 ( ) 理由: ( )	現職教員特別参加制度
件	・学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 大学での活動となるため	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否
等	・経歴 ( ) ( ) 理由: ( )	募集集時のみ適用 SVIは通年対象外
	・ <b>有機農業の経験</b> 理由: 有機農業の技術指導が主活動	

  

地	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 23~34 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
域	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
概	
況	
特	
記	
事	
項	



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 012 - 14 - B - 22 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 /	日系/短期 年 月 から
フィリピン	野菜栽培					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局					
	2) 配属先名 (日本語) アクラン州立大学農林環境学部				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 アクラン州バンガ町 JICA事務所の所在地( マニラ )から 南 方向 370 Km 主要都市( カリボ町 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 アクラン州立大学は、アクラン州の高等教育を担う農林環境学、獣医学、工学、教育学、文学等各種学部を備えている総合大学。州内に5つのキャンパスを持ち、バンガ町にあるメインキャンパスは62haの広大な土地に農林環境学部を中心に農業畜産系学部が集まっている。大学全体予算は年間約5億円。農林環境学部予算は年間 3億4千万円程度。学生数 320名、職員数57名の規模。外国の援助は米国政府からの資機材援助を受けた経緯があるほか、1970年後半から1980年前半にかけては2名のJVが前身であるアクラン農科大学に派遣されていた。現在は家畜衛生部門で韓国KOICAボランティアが1名活動中。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 フィリピン政府は2010年に有機農業法を制定し国家として有機農業の推進に取り組んでいる。配属先は高等教育機関であるが、教育を中心としつつも技術開発・研究とその普及の役割も担うのがフィリピンの地方大学の特徴であり、配属先にも地域における有機農業技術の普及の中核としての機能が期待されている。特にアクラン州は、フィリピン有数の観光地ボラカイ島を有し多くの観光客の訪問があるため、高付加価値の有機野菜の需要が期待できる環境にもかかわらず、有機野菜栽培はほとんど進んでいない。このため、配属先では有機野菜栽培に係る学生への指導と周辺農家への技術普及に取り組む意向が強いが、有機野菜栽培に係る十分な知識と技術を持った人材が学内に乏しく、アイデアを実行に移せていないのが現状。同大学には過去に農業畜産分野のJVが活動しその貢献が評価されている経緯もあり、今回の要請となった。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 家畜糞尿や農場から出る残渣を利用した有機肥料の生産技術に係るセミナー、実習を行う。 ② 有機肥料を利用した野菜栽培に係るデモファームを学内に設置し、その運営管理を行う(特に家畜糞尿を有効利用した循環型農業推進の意識が強い)。 ③ 上記デモファームを拠点に学生に対する実習/技術指導を行う他、周辺農家に対し有機栽培による野菜生産を普及し、また農家に出向いての技術的支援も行う。 ④ デモファームで栽培した有機野菜を市場に供給し、有機野菜のマーケットに係る調査/実態把握を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ハンドトラクター、その他基本的農機具。動力を利用した農業機械は無い。					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 農林環境学部長:50代 女性 主たる同僚:40代女性 博士号 有機農業専門、50代女性 博士号 養鶏専門 指導対象となる学生:75名程度			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 農学 )理由:大学での活動となるため ・経歴 ( )理由: ・ 有機農業の経験 理由:有機農業の技術指導が主活動			活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 23~34 °C位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	スーパー台風の影響で一時的に電気・水が不安定となっているが、以前は安定した供給があった。赴任する頃には、完全に復旧予定であるため「安定」としている。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号( JL 045 - 14 - B - 22 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
モンゴル	野菜栽培					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省					
	2) 配属先名 (日本語) ボルガン県農業職業訓練校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ボルガン県ボルガン JICA事務所の所在地( ウランバートル )から 北西 方向 430 Km 主要都市( エルデネト )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 2010年創立の農業専門の職業訓練校。年間予算は2千7百万円程度。現在、野菜・果樹栽培、畜産、乳製品加工、農業機械等9つのコースがある。中学卒業者が対象の2.5年コースと高校卒業以上の人が対象の1年コースがあり、生徒約300名、教師18名、職員22名が在籍する。2012年に野菜・果樹栽培コースが開講、乳製品加工場での製造・販売を開始、体育館が新設される等、活発な学校運営がなされている。授業料、食費、寮費は国から免除される。日本のNGO(OISCA)が本邦への農業研修生の招聘を行った事があるが、ボランティアの受入れ経験はない。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ボルガン県には同国最長のオルホン川が流れているため、土壌は黒土で農産物栽培に適している。県内ではじゃがいも、人参、キャベツ等の栽培が盛んで牛、馬、羊、ヤギ等の家畜も多く、国から農業分野での成長が期待されている地域である。野菜・果樹栽培コースでは、2.5年コースに25名、1年コースに15名の生徒、学生が在籍し、美味しく安全な食物を消費者に提供できる様、座学、実習を通して日々、学習している。また、同校では生徒に衛生的、安全に作業に従事できるための知識を学ばせたいと考えている。そのための知識と経験が必要だが、比較的若い教師が多く経験が不足しており、同分野で経験のあるJVが要請された。農業機器の安全な使い方の指導も求められている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 優良な作物を育成するため、栽培実習で指導する。(5月～9月) ② 発芽、育苗、土壌、害虫対策等の授業を受け持ち、作物の品質向上をめざす。(10月～4月) ③ 農作業に伴う安全・衛生指導、労働基準、農業機器の安全な使い方等の講習をする。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 小型トラクター、ビニールハウス、野菜パッケージ用梱包機等					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 野菜コース教師2名(経験3年程度、男女、20代) 農業コース教師4名(経験3～5年、男女、20～30代) 対象生徒65名(男女、10～40代)			5) 活動使用言語 ( モンゴル語 ) 6) 生活使用言語 ( モンゴル語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 高卒 ) ( 農学 ) 理由: 専門的な知識・経験を要する ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域 概況	気候(大陸性気候 ) 気温( -30～30 ℃位) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )			電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記 事項	夏期に数週間に及び農業実習がコースに組み込まれており、その間はテント生活やホームステイとなり、シャワー等が使えない生活環境となる。					



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 20 日

要請番号( JL 057 - 14 - B - 04 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 3 /
モルディブ	野菜栽培		年 月 日 から		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省				
	2) 配属先名 (日本語) エコ・ユース				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 ラヴィヤニ環礁ナイファル島 JICA事務所の所在地( マレ市 )から 北 方向 140 Km 主要都市( マレ市 )までの交通手段及び所要時間( 船 で約 3 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 ナイファル島における青年の社会活動への参加、薬物犯罪防止、コミュニティー活動活性化のための設立されたNGOである。青年メンバーを中心として、コミュニティー活動活性化のために、島と首都マレ間の定期ボートの運航、幼稚園経営、スポーツ大会等の様々な活動を行っている。当国のNGO中でも青少年育成や環境保全等の先駆的活動を行ってきた。現在のNGOメンバーは255名であり、その内の20名の役員を中心に組織運営されている。2014年度からJICAの草の根技術協力事業による水耕栽培技術の普及に向けた活動も開始した。				
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は2010年から「Go Green Project」(15年間計画)として、島内の公共の空き地に樹木や野菜、果樹を栽培し、敷地内には公園やカフェを設置し、島民に対して環境教育を行っていくことを目的として現在進行中である。現在初代隊員が配属先が建設した種苗圃にて野菜栽培を行っている。この種苗圃では、プロジェクトの一環として幼稚園児を対象とした環境教育(Eco Kids)ワークショップも実施された。2014年度からは、JICA草の根技術協力の一環として水耕栽培の普及・定着に向けた活動が開始された。現在、種苗圃には水耕栽培装置が設置されており、栽培実験及びデータ収集が実施されている。その他にも国連開発計画(UNDP)から提供された水耕栽培装置もあり、現在活動に向けた準備が進められている。これらの活動に対する継続した支援の必要性から今回の後任隊員の要請となった。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先と同僚と協力して、 1. 島内の小規模野菜栽培を支援する。 2. 現在実施中の「Go Green Project」に協力。 3. 配属先が所有する種苗圃の維持・管理及び見本圃の栽培管理。 4. JICA草の根技術協力にて実施中の水耕栽培技術の普及に向けた各種試験及びデータ収集。 5. その他野菜栽培の普及・定着に向けた活動。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 水耕栽培装置、種苗圃、農機類等				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 NGO役員(計20名:男性17名、女性3名、22~52歳) 島内の小規模栽培農家			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 野菜の栽培指導をするため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(熱帯モンスーン気候) 気温( 25~35 °C位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26年 6月 16日

要請番号( JL 060 - 14- B - 01 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	派遣希望時期	派遣希望時期
ネパール	野菜栽培			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
				27 / 1	年 月 から
				27 / 3	
				/	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省
	2) 配属先名 (日本語) カブレパランチョーク郡農業開発事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 カブレパランチョーク郡ドウリケル JICA事務所の所在地( ライトプール )から 東 方向 20 Km 主要都市( カトマンズ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はネパール政府農業局の普及拠点として郡に配置されている農業開発事務所。年間配賦予算は2000万円。配属先では農民に対して農業技術支援、病虫害対策、研修、種子の配布等を行っている。現在前任者である野菜栽培JV、村落開発普及員JVが活動しており、コンポスト普及、土壌検査、有機栽培の普及、土壌改良などに取り組んでいる。現在活動中ボランティアが取り組んだ活動をさらに発展させることが求められている。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先が所管する地域は日本によって改修されたバクタプール道路の延長線上にあり、首都カトマンズへの農産物の供給地となっている。しかしながら配属先管轄地域の農家は農薬や肥料に関する知識が十分でなく、農薬の過剰散布や不適切使用、過度の作付けによる地力低下がみられる。安全な農作物の供給は喫緊の課題となっており、そのような状況を改善するため、配属先では有機栽培促進の必要性は認識しているものの、適切な知識を持った人材が不足しているため有機栽培における知識と経験を持ったボランティアの要請に至った。活動先は配属先傘下の支所等も含め幅広い活動となる予定である。同配属先に派遣予定の土壌肥料隊員と連携することにより、有機栽培の普及に取り組むことが求められている。また同郡はJICAの建設するシンズリ道路の入り口に位置することから、シンズリ道路沿線地域農家への働きかけや、関連プロジェクトとの協働が期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.コンポストの普及とシステム作り 2.配属先と協働し有機栽培プログラムの実施及び補助 3.村落での調査、研修、モニタリング等の実施 4.その他、園芸作物、端境期作物、換金作物の導入など、配属先の求める活動

要 請 概 要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし
	4) 配属先同僚及び活動対象者 所長(50代男性) 技官、技官補(野菜、果樹、植物病理、農業普及等20-40代男性)11名 その他スタッフ3名 郡内6カ所の支所には各2-3名の技術職員が駐在

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 )( )理由:学歴社会のため要農学関連学位 ・経歴( 実務経験 )( 2年以上 )理由:実践的な指導が必要なため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 0~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	
----------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 060 - 14- B - 10 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ネパール	野菜栽培			1年	27 / 1
		ヶ月	27 / 3	年 月	
				/	から

配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 農業開発省
	2)配属先名 (日本語) ドラカ郡農業開発事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 ドラカ郡チャリコット JICA事務所の所在地( ラリトプール )から 北東 方向 130 Km 主要都市( カトマンズ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 7 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 配属先はネパール政府農業局の普及拠点としてドラカ郡に配置されている農業開発事務所、当配属先配賦年間予算は1,190万円である。同事務所は4つの支所を通じて管轄内農家に対して農業技術サポート、病虫害対策、研修、種子の配布等を行っている。活動地は1,900mの高地に位置しているジャガイモの栽培が盛んな地域である。

要請概要	1)要請理由・背景 配属先は管轄内農家に対し高地の利点を活かした雨よけ栽培による園芸作物栽培の普及を通じて農家の現金収入向上をめざしている。高地の特性を活かし出荷時期をずらし、付加価値をつけた作物の生産、普及、販路開拓を検討しているが、これらにつき十分な知識がないため、ボランティアの要請に至った。また病虫害対策やその他作物栽培上で起こる問題の解決、通常業務である農家巡回、モニタリングの改善も求められている。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.園芸作物の雨よけ栽培、端境期野菜の導入及び普及 2.上記及び病虫害対策等における研修の計画及び実施 3.農業普及、その他プログラム策定の補助 4.農家巡回及びモニタリング
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし
要	4)配属先同僚及び活動対象者 所長(40代、男性) 技官、技官補(野菜、果樹、植物病理、農業普及等20代~50代 男性)22名 他スタッフ(20~40代 男女)11名
	5)活動使用言語 (ネパール語 ) 6)生活使用言語 (ネパール語 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 )( 農学 )理由:学歴社会であるため ・経歴( 実務経験 )( 2年以上 )理由:実践的な指導を行うため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
	地域概況 気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 0~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	

特記事項	
------	--



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 060 - 14 - B - 11 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ネパール	野菜栽培			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 3	
1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省					
2) 配属先名 (日本語) 中央種子センター、ニガレ農場					<input type="radio"/> NGO
3) 任地 シンドパルチョーク郡ニガレ JICA事務所の所在地( ラリトプール )から 東 方向 110 Km 主要都市( カトマンズ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 6 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は首都にある中央種子センターの圃場の1つである。標高2,300メートルに位置するこの圃場は高地の利点を活かし、ジャガイモの種子栽培、研究、有機栽培、園芸作物の実証栽培を行っている。また並行して、農家への技術支援、病虫害対策、研修等を行っている。当配属先年間配賦予算は500万円。					
1) 要請理由・背景 配属先は敷地内の圃場でジャガイモの研究及び種子生産を行っているが、同時に端境期野菜、園芸作物の実証栽培にも取り組んでいる。配属先周辺は高地であり、農家がビニールハウス栽培技術を習得することで現金収入の向上が図れると配属先は考えている。また、高地の特性を活かした園芸作物の導入、出荷時期をずらし、付加価値をつけた作物の生産、普及、販路開拓を検討しているが、これらにつき十分な知識がないため、ボランティアの要請に至った。他には病虫害に強い品質の高い作物を生産するための接木苗技術についてもボランティアからの技術移転を望んでいる。また、配属先ではジャガイモの研究も行われており、TPS (True Potato Seed)における一定の知識を持ったボランティアが求められている。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)					
1.高地でのビニールハウス栽培の普及 2.接木苗技術の指導及び普及 3.有機栽培の普及 4.上記活動内容における人材育成 5.端境期野菜に対するアドバイス及び普及 6.ジャガイモ種子研究の補佐					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし					
4) 配属先同僚及び活動対象者 農場長兼技官(40代、男性) 技官(20~40代、男性)2名 技官補(20~40代 男性)3名 他スタッフ(20~40代 男女)3名				5) 活動使用言語 (ネパール語 ) 6) 生活使用言語 (ネパール語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 )( 農学 )理由:学歴社会であるため ・経歴( 実務経験 )( 2年以上 )理由:実践的な指導を行うため 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況 気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 0~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項					



事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 106 - 14 - B - 05 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
フィジー	野菜栽培			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 2	
				27 / 3	
配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 教育・国民遺産・文化・芸術省				
	2)配属先名 (日本語) ヴィヴェカナンダ職業訓練校				<input type="radio"/> NGO
	3)任地 ナワイゾンバ JICA事務所の所在地( スパ市 )から 北西 方向 190 Km 主要都市( ナンディ町 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)				
	4)配属先の規模・事業内容 1984年に設立されたインド系職業訓練校であり、生徒はフィジー人も多く学んでいるが主に学業からドロップアウトした生徒を対象としている。ナンディより13km離れた農村部に位置しており、家政・自動車整備・農業コースを有しており、貧困層を対象とした支援も行っている。2012年からは、農業コースを開始した。全生徒数は150名で、併設されているスワミ・ヴィヴェカナンダ高校は930名の生徒が学んでいる。ヨーロッパ連合、ニュージーランド等の資金援助を受けている。尚、同配属先は自動車整備JVの派遣も予定している。				
要 請 概 要	1)要請理由・背景 フィジーでは青年層の失業者が多く、10年前と比較して失業率が2倍に悪化したとの統計データも報告されている。教育省では職業訓練を推進、雇用促進・自営のためのスキルトレーニングを提供してきたが改善の兆しは見られず、農村部では雇用の機会に限られるため、人口流出の問題も起きている。よって、都市部で雇用を求めめるのではなく、農村に残り農業で生計を立てられるような職業訓練が求められている。 フィジーの農業生産は大洋州内では比較的多様であるが、ニュージーランドやオーストラリアからの野菜・果物の輸入も多い。国内産の野菜の品種や質を改善し、より収入を上げられる農家の育成を目指し、ボランティアの要請に至った。				
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚教師3名とともに、以下の業務を担当する。 1.ヴィヴェカナンダ職業訓練校農業コースならびにスワミ・ヴィヴェカナンダ高校の農業科の生徒に対して、野菜栽培技術の指導を行う。農場は、土壌の問題から、ナンディから4kmの距離にあるスワミ・ヴィヴェカナンダ高校に併設している農場にて実習を行う。 観光都市も近く、高品質の野菜のニーズは高いため、商品としての野菜栽培技術の指導が期待される。 2.水耕栽培の普及も実施中で、指導できればなお良い。				
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な農機具、温室、水耕栽培施設				
	4)配属先同僚及び活動対象者 同僚講師4名(男性2名、女性2名:20代~30代:実務経験2~11年) 活動対象者は、ナワイゾンバ職業訓練校 生徒20名(フルタイム)ならびにスワミ・ヴィヴェカナンダ高校 生徒240名(選択科目としての農業)			5)活動使用言語 ( 英語 ) 6)生活使用言語 ( その他 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( 農学 )理由:訓練校での指導に必要 ・経歴 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由:実習での指導に必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外	
地域 概況	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 20~35 ℃位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記 事項	※配属先から提供される住居に同性のJVと2、3人で同居となるか、もしくはホームステイになる可能性がある。				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 106 - 14 - B - 06 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	日系/短期
フィジー	野菜栽培			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1	年 月 から
					27 / 2	
			27 / 3			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・国民遺産・文化・芸術省
	2) 配属先名 (日本語) ラトゥ・カンダブレブ中等学校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 タイレブ JICA事務所の所在地( スパ市 )から 北東 方向 60 Km 主要都市( スパ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1924年に設立された男子校で、多くの政治家を輩出し、ラグビーの名門校でもある。幹線道路から10kmほど外れた海沿いの丘の上に位置しており、自然に囲まれた環境。全生徒数は600人で、職業訓練も有している。職業訓練には農業コースのほかに、自動車整備、溶接、木工コースがあり2学年制。同校の農業コースは、フィジー教育省の職業訓練基準に沿って運用されており、同校にてStage1・2を学び、Stage3~5は大学に編入して学ぶことができるシステムとなっている。過去、自動車整備JVが2代に渡り派遣された。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 フィジーでは青年層の失業者が多く、10年前と比較して失業率が2倍に悪化してきている。教育省では職業訓練を推進し雇用促進・自営のためのスキルトレーニングを提供してきたが改善の兆しは見られない。また、農村部では雇用の機会が限られるため、人口流出の問題も起きている。よって、都市部で雇用を求めるのではなく、高校卒業後は地域に残り、農業で生計を立てられるような職業訓練が求められている。同校農業コースでは、講義と実習を組み合わせたトレーニングを提供しているが、より市場価値の高い野菜の栽培技術の指導のために要請に至った。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚教師4名とともに、以下の業務を担当する。 1. 農業コースYear1、2(高校2,3年生に相当)の生徒に対して、週3日の講義と週2日の実習を担当する。生徒数は合計して30名程度。 2. 土曜日は、全校生徒の半分が参加する農業実習を担当する。 3. 農業実習では栽培される野菜の多様化、栽培の効率化を指導する。栽培された野菜を地域で販売することで収益を上げ、学校施設の改善や、給食で野菜を使うことも計画されている。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な農機具

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( 男性 ) 理由: 僻地のため ・ 学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 高校での指導に必要 ・ 経験 ( ) ( ) 理由: ・ 実務経験 2年以上 理由: 実習での指導に必要	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )
		活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 20~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記事項 ※配属先から提供される住居に同性のJVと2、3人で同居となるか、もしくはホームステイになる可能性がある。



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 8 日

要請番号( JL 124 - 14 - B - 11 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交待 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 3 /	日系/短期 年 月 から
パプア ニューギ ニア	野菜栽培					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省					
	2) 配属先名 (日本語) クワトコミュニティー専門学校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 アロタウ JICA事務所の所在地( ポートモレスビー )から 南東 方向 360 Km 主要都市( アロタウ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 キリスト教系の3年制技術専門学校。教会では他にも乳児園と幼稚園の運営も行っている。2013年度の生徒数は151名(内寮生36名)、男女比は半々。木工・建築・観光・家政のコースが実施されている。12歳から受け入れており、中学・高校での学業不振により編入する生徒も多い。1年目は全コースの基礎を受講し、2~3年生で各コースに編入されていく。2006年開学で教員もボランティアであったが、2012年に学校として正式登録され、教師の雇用を進めている。年間予算はPGK 200,000(約920万円)で、学費に加えて教会メンバーからの寄付も募っている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 国際援助機関や政府からの支援を受け、学校施設は整備されており、コンピュータ教室も開設予定で、40台のパソコンが準備されている。しかし、ボランティア教員による学校運営であったために、授業が開かれないことも多く、運営が安定していなかった。正規学校となり、教員採用を進めているが有能な教員確保に苦慮している。学生の実家は農業や漁業などの第一次産業に従事しており、将来的に家業を継ぐことも多い。多雨な地域ではあるが、土が粘土質で痩せている地域で、農業の知識も乏しいため、十分な収穫が得られていない。野菜栽培に関しては、栽培計画から土壌改良、肥料の必要性や病虫害対策などの知識全般が不足している。肥料や農薬なども全てが輸入品であり、小作農には手が届かないため、身の回りの物を活用して改善できる農業の知識が求められている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 派遣されるJICAボランティアは下記の活動が期待されている。 ①農業コースでの授業運営・授業改善のための助言 ②研修用農地の開墾、野菜類・陸稲などの栽培管理 ③土壌改善や肥料開発などの情報収集と試行(経験・知識は不要) 国内において、NGOの農業研修学校(OISCA)や各州農業局にJICAボランティアが派遣されており、技術的な相談などが可能である。また、現地に根差した農業を同NGOで受講することも検討可能。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、事務用品、共用パソコンなど。農機具は最低限しかなく、派遣後に学校側と相談して導入を進める。					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、副校長、教員 計8名で25-45才 ほとんどの教員は、大卒で本業の傍らで教鞭をとるボランティア。今後、正規教員として採用を進める。農業コースは、担当できる教員が不在となったため、追加採用する予定。			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由: 治安上の理由 ・学歴 ( 高卒 ) ( 農学 ) 理由: 農業関連の学歴が必要 ・経験 ( ) ( ) 理由: 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域 概況	気候( 熱帯雨林気候 ) 気温( 25~35 °C位)			電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記 事項	職員住宅に、他ボランティアと同居となる可能性がある。					



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号( JL 227 - 14- B - 24 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
エルサルバドル	野菜栽培			27 / 1	年 月 から
				27 / 2	
		27 / 3			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 総務省				
	2) 配属先名 (日本語) サンタマルタ社会経済開発協会(ADES)				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 カバニャス県ピクトリア市サンタマルタ地区 JICA事務所の所在地( サンサルバドル市 )から 北東 方向 103 Km 主要都市( サンサルバドル市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3.0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 当国内戦時にホンジュラス領に避難したサンタマルタ地区一帯の住民が内戦後半から少しずつ同地区に帰国し、彼ら自身による地域発展を目指した活動が開始され、1994年にNGO登録された地域開発団体である。当初は同地区のリーダー育成から始まり、現在では持続可能な開発を目標に、サンタマルタ地区近隣4市でも地域住民とともに教育、保健、環境、農業生産性向上などの活動が行われている。2014年10月から村落開発普及員(2代目)が派遣予定となっており、生活改善をテーマに活動予定である。JICA研修事業には5名(生活改善、有機農法、内発的発展)が参加している。主に米国、スペイン等の団体から支援を受けている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先にはコミュニティ開発部門と運営・財務部門があり、コミュニティ開発部門の地域経済プログラムの一つとして、有機農業が行われている。サンタマルタ地区に4棟の野菜栽培用ハウスをはじめとして農場があり、有機栽培により野菜を生産している。JICA研修事業(有機農法)に参加した帰国研修員が中心となり、トマト水耕栽培、ピーマンのハウス栽培をはじめとして有機肥料生産を用いた有機栽培が行われている。現在では生産された野菜類のほとんどが地産地消されており、販売、市場開拓を目指している。担当者は有機栽培に関する一定の知識や技術を有しているが、販売や市場開拓を視野に入れた「営農」に関するノウハウが不足しているとして、ボランティアが要請された。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.有機農業プログラムに営農の視点(生産の安定、付加価値の付与、農業インフラ整備など)を取り入れた助言を行う。 2.有機栽培計画や栽培技術についての助言を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ハウス4棟を含む農場(ハウスは増築計画あり)、事務室(配属先本部事務所は約30Km(バスにて約1時間)離れたグアコテクトイ市に位置する。)				
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 ) ( 農学 )理由:有機農業の知識が必要のため ・経歴( 社会経験 ) ( 2年以上 )理由:営農指導が求められているため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 15~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	住居は原則としてホームステイとなる。*サンタマルタ地区でのインターネット接続は困難、携帯電話回線は不安定である。配属先本部のあるグアコテクトイでの通信状況は安定している。				

事務局記入欄

受験番号



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 30 日

要請番号( JL 239 - 14- B - 05 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ホンジュラス	野菜栽培		<input checked="" type="radio"/> 27 / 1 <input checked="" type="radio"/> 27 / 3 <input type="radio"/> /	年 月 日 から		
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 人権・司法・統治・地方分権化省					
	2)配属先名 (日本語) ベレン市役所				<input type="radio"/> NGO	
	3)任地 レンピーラ県ベレン市 JICA事務所の所在地( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テグシガルパ市</span> )から 北西 方向 253 Km 主要都市( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テグシガルパ市</span> )までの交通手段及び所要時間( バス で約 6 時間)					
	4)配属先の規模・事業内容 ベレン市はレンピーラ県の県庁所在地グラシアス市から17kmに位置する人口約6千人の市である。同市の行政を司る配属先では、2014年に社会開発系NGO出身の新市長が就任し、社会開発プログラムに力を入れており、女性・子ども・青少年支援、環境保護、食糧栄養保障支援の3つの部署が連携して、住民の生活向上と能力強化に向けた活動に取り組んでいる。これらの開発プログラムは、国連食糧農業機関(FAO)、国際連合児童基金(UNICEF)などの国際機関からの援助を受けて実施されている。2014年の年間予算は約60万ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では2011年より、零細農家への支援と住民のエンパワメントを通じて、地区内の自給自足と生活の質の向上を目指す食糧栄養保障プログラムを実施している。市内のモデル地区において、零細農家の圃場整備とともに、種子の配布、栽培技術指導を行う他、余剰収穫物の学校給食への活用と地域内での販売を支援している。また、住民の組織化を支援しコミュニティ開発に向けた住民の主体的な取り組みを促している。零細農家は、現在市役所の支援を受けながら自宅の敷地を利用してトウモロコシ、豆、人参、ジャガイモ等を栽培している。将来的にこれらの農家が自立して持続可能な栽培が行えるよう、低コストでできる地元の資源を活用した有機質肥料の導入など環境保全型の農業への支援が求められ、今回ボランティアが要請された。配属先では各部署が連携してコミュニティ開発に取り組んでおり、ボランティアには他部署とも協働していくことが求められている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 食糧栄養保障支援部署のスタッフと協力しながら、市内のモデル地区において以下の活動を行う。 1.対象農家に対して、地元の資源を活用した有機質肥料の導入を支援する。 2.対象農家の収入向上を目指して、新しい栽培種の導入と販売支援を行う。 3.モデル地区の小学校に設置されている学校菜園を活用し、子供たちの農業への関心・知識を養うための活動を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般農具					
資格条件等	4)配属先同僚及び活動対象者 市長(男性、30代)、職員16名(男性10名、女性6名大半が20~30代、うち大卒は1名) 同僚:食糧栄養保障支援担当3名(男性2名、女性1名、20代、高卒~専門学校卒) 活動対象者:零細農家:50人、小学校児童110人			5)活動使用言語 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スペイン語</span> ) 6)生活使用言語 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スペイン語</span> ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( ) ( )理由: ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">野菜栽培の経験 2年</span> 理由:栽培の指導が必要なため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(温暖湿潤気候 ) 気温( 15~30 ℃位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号( JL 248 - 14 - B - 14 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
ニカラグ ア	野菜栽培			1年	27 / 1	年 月 から
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3		

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 外務省
	2) 配属先名 (日本語) デニス・エルネスト・ゴンザレス・ロペス基金(FUDEGL) <span style="float: right;"><input checked="" type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 マタガルパ県サン・ラモン市 JICA事務所の所在地( 首都マナグア )から 南東 方向 138 Km 主要都市( マナグア )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 FUNDEGLは、1999年に北部農村地域の『食の安全』、『生活の質の向上』を目的として活動を開始した。現在はマタガルパ県の農村地域(マタガルパ市、サン・ラモン市)の12のコミュニティ、約750家族(4割は女性)を対象に、持続可能な農業、農産品の生産性向上、女性の社会進出への支援などを目的として活動している。年間予算は140千米ドルで、SWSSAID(スイス)、AJWS(American Jewish World Service)、One Word Childrenなどからの援助による。また、ユダヤ教会などを通じてアメリカの学生ボランティアを定期的に受け入れている。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先では12ヶ所のコミュニティを対象に、90名のプロモーターのネットワークを通じて、種子バンク、根菜類・穀物・野菜栽培・有機肥料・自然農薬(農薬を使わない害虫駆除)などの普及を図り、また農家の青年達へ、農業についての理論や実践的な指導を行っている。しかしながら、配属先は政府系教育機関との関わりが少なく、その技術は従来の手法に留まっているに過ぎず、この状況を改善し、より『食の安全』、生産性の向上を視野に入れた指導をしたいとの希望から本要請となった。JVIは、比較的アクセスの良いグアダル・ヘ・サムラ・ヒエトラコロダの3コミュニティを中心とした活動を展開する予定。配属先の担当者やプロモーターとともに農業の普及、地域に適した作物の栽培を目指す。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①敷地内の農園にて担当職員が行う新しい農業技術(栽培方法)開発への支援。 ②ヒエトラコロダ地区の農民に対して、野菜栽培・種子バンク・有機肥料・農薬を使わない害虫駆除等についての指導への支援。 ③野菜(ヒーマントマト・キュウリ)栽培への支援とともに、小さな土地でも栽培可能なハヤウリ・ニンジン・レタス栽培の導入への支援。 ④種子バンクの運営・モニタリングおよび在来種の保存。 ⑤農作物栽培や販売を通じた女性グループへの支援。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な事務用品(机、椅子)、ノート型PC(DELL, windows7)、穀物や野菜の種、農業(病気、害虫、有機肥料、農薬を使わない害虫駆除)に関する書籍

要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 所長:経験15年、女性、50代 CP①:種子バンク責任者、農業技師、経験8年、男性30代 CP②:フィールド指導責任者、農業技師、経験3年、女性20代 1グループ平均20名(15~50代)、約4割が女性	5) 活動使用言語 ( スペイン語 )
		6) 生活使用言語 ( スペイン語 )
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 経験のある同僚との活動となるため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVIは通年対象外

地域 概況	気候(サバナ気候) 気温( 20~32 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	---

特記 事項	
----------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 6 日

要請番号( JL 318 - 14 - B - 02 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
エクアドル	野菜栽培			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 2	
				27 / 3	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) カルロス・ガルバイ・モンテスデオカ中等・高等学校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ロハ県プヤング郡メルカディーリョ地区 JICA事務所の所在地( キト市 )から 南 方向 620 Km 主要都市( ロハ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 任地のロハ県プヤング郡メルカディーリョ地区は、当国南部にあるロハ県西部に位置する。標高約1,150m、年間平均気温18℃、年間降水量600～800mmである。配属先は1981年創立で、中等・高等部を有し、高等部には農業・畜産科がある。高等部には全体で161名の生徒が在籍する。うち、農業・畜産科は60名の生徒及び3名の担当教師(技師)が在籍している。年間予算は約50万米ドル。過去にスペインからの援助で校舎を建設している。現在外国からの援助はない。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先は約3haの実習圃場を有し、野菜栽培、果樹栽培、有機肥料作り及びコーヒー栽培を行っている。野菜はレタス、ピーマン、ニンジン、コリアンダー、ピーツ、トウモロコシ、トマト、フダンソウ、カリフラワーなどを栽培している。週に30時間の授業(座学・実習)を行っている。農業・畜産科教師は5年～30年程度の経験があるが、更なる知識・技術の向上を求めている。また生徒や地元農家に対し野菜栽培の新技术などの知識の紹介や、その知識を基にした実習圃場での実践が求められていることから、ボランティアが要請された。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の農業・畜産科教員とともに下記の活動を行う。 ①教員が行う授業(座学)・実習の補助 ②配属先が企画する「農業デー」における実験圃場での野菜栽培技術の紹介 ③地元農家に対する講習会・実習を通じた農業に関する知識・技術の紹介 また、近隣地区にある農業高校と協定を結ぶ予定があり、連携して2校で活動する可能性あり。

要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータなど事務用品一式
	4) 配属先同僚及び活動対象者 農業・畜産科教員3名(男性、40代～50代、大卒。経験5年～30年) 活動対象者: 農業・畜産科生徒約60名 地元の農家

5) 活動使用言語 ( ス페인語 )
6) 生活使用言語 ( 스페인語 )
7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: _____ ・学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 配属先同僚の学歴を考慮 ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 実習を行うため 理由: _____	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(ステップ気候 ) 気温( 10～25 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 6 日

要請番号( JL 318 - 14 - B - 03 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
エクアドル	野菜栽培			1年	27 / 1	日系/短期  年 月 から
				ヶ月	27 / 2	
			27 / 3			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省					
	2) 配属先名 (日本語) フェルト・キト技術学校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ピチンチャ県フェルト・キト市 JICA事務所の所在地( キト市 )から 北西 方向 160 Km 主要都市( キト市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 任地のフェルト・キト市はピチンチャ県北西部、標高120~160mの熱帯地域に位置する人口2万人程度の地方都市である。年間降水量は1,000mm~2,000mmで、年間平均気温は約25℃である。フェルト・キト技術学校は、商業・会計科、農業・畜産科を有する国立の中等・高等一貫校で、全校生徒は約550名、教員は26名が在籍している。2014年度の予算は約50万米ドル。外国からの援助はない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同校の農業・畜産科は約3haの実習圃場を有し、生徒に対し座学及び実習の授業を行っている。圃場で栽培している作物は柑橘類、カカオの他、野菜に関してはキャベツ、レタス、カブ、キュウリ、トマト、ピーマンなどである。柑橘類やカカオ栽培については、当国農牧漁業省からの技術協力があるものの、野菜栽培に関しては、配属先の教員や生徒が新しい知識や技術の習得を必要としていることから、ボランティアが要請された。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の農業・畜産科教員や技術者とともに、下記の活動を行う。 ① 野菜栽培に関する知識の強化 ② 農業に関する授業の補助 ③ 実習圃場での野菜栽培実習の補助(栽培作物: キャベツ、レタス、カブ、キュウリ、トマト、ピーマンなど)					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務用品、実習圃場					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 農業・畜産科教員(4名。農業や林業専攻の大卒) 農業・畜産科生徒 地元の農家			5) 活動使用言語 ( ス페인語 )		
				6) 生活使用言語 ( 스페인語 )		
地域概況	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 )( 農学 )理由:配属先職員の学歴を考慮 ・経歴( 実務経験 )( 3年以上 )理由:技術者への指導が求められる理由: ・			7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
気候(温暖冬季少雨気候) 気温( 15~30 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項						





長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 3 日

要請番号( JL 318 - 14 - B - 13 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
エクアドル	野菜栽培					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省					
	2) 配属先名 (日本語) ゴンサナマ中・高等学校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ロハ県ゴンサナマ市 JICA事務所の所在地( キト市 )から 南 方向 728 Km 主要都市( ロハ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 ロハ県はペルーと国境を接する当国南部の県であり、ゴンサナマ市は県庁所在地のロハ市から南西部の山岳・半乾燥地帯に位置する人口約15,000人程度の小都市(うち、同市の農村部人口13,000人)である。標高は1,000~2,800m。配属先は12~18歳の生徒が学ぶ全日制課程及び夜間制課程(高等部のみ)の2部構成の公立学校である。全日制には普通科のほか農業・畜産科、商業科がある。農業・畜産科の生徒は2013年現在75名である。予算は学校全体で約89万米ドル(2013年)。外国からの援助はない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先の農業・畜産科は敷地内に約12haの農地を所有しており、そのうち2haを野菜栽培用の圃場として使用している。任地は半乾燥地帯であり、圃場では現在、主に灌漑によりレタス、ニンジン、ラディッシュ、ピーツ、豆類、トウモロコシ、ジャガイモ、フダンソウを栽培し、実習および座学の授業を行っている。2014年度から新たに有機農業、特に有機肥料、有機農薬などの製法の授業を導入する計画があるが、同分野における知識が不足しているため、本JVによる協力が要請された。学校の野菜栽培用圃場には灌漑施設が設置されているが、任地は半乾燥地帯であることから、乾燥に強い作物の栽培が求められている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①実習を通じて、配属先農業担当教師、助手及び農業・畜産科生徒に野菜の有機栽培についての指導を行う。 ②配属先農業担当技師、助手及び農業・畜産科生徒に対して、有機農業(特に有機肥料、有機農薬、ミミズ堆肥など)について指導を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 小型耕運機、消毒用噴霧器ほか					
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先教諭2名(農業技師及び助手、農学部卒・経験20年及び高卒・経験30年) 活動対象者: 農業・畜産科生徒75名			5) 活動使用言語 (スペイン語 ) 6) 生活使用言語 (スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
	資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 農学 )理由: 農業科で指導するため ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由: 農業科で指導するため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(高地地中海性気候 ) 気温( 10~28 ℃位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 3 日

要請番号( JL 318 - 14 - B - 14 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	27 / 1
エクアドル	野菜栽培			1年	27 / 2
			ヶ月	27 / 3	

配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) 国立カヤンベ技術学校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ピチンチャ県カヤンベ市 JICA事務所の所在地( キト市 )から 北東 方向 80 Km 主要都市( キト市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 カヤンベ市は標高2,800mにある人口約7万人の地方都市であり、当国では特に花卉栽培の中心地の1つとして知られている。配属先は1983年に創立され、中等部と高等部(12~18歳)があり、高等部では農業・畜産学科とシステム管理科を開設している。学校全体の生徒数は2013年現在で1,054名、うち農業・畜産学科の生徒は170名、教員は5名である。予算は年間約6万米ドル(2013年)。同校の校舎の一部は平成20年度の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で供与された。その他外国からの援助はない。

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では校内に2haの農場、カヤンベ市郊外(車で約10分)に数haの農場を所有し、葉物野菜、アンデス地方の伝統作物(トウモロコシ、ジャガイモなど)の他、当地の果物(パパコ、ツリートマトSolanum betaceumなど)、花卉栽培、家畜飼育、養蜂などを行っている。学校敷地内の農場では灌漑設備により葉物野菜などの栽培と管理が可能だが、校外農場では灌漑設備はなく、雨水に頼っているため、現在は緑肥、豆類、若干の果物栽培に限られている。このため、近隣の川から取水し、農場の一部に灌漑を導入する計画がある。週3回、計12時間校外農場で実習・管理を行っている同農場担当教師の経験が浅く、また生徒への野菜栽培実習指導に関しても新しい技術の指導が必要となっており、ボランティアが要請された。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先高等部の農業・畜産学科教員とともに下記の活動を行う。 ①野菜栽培に関する座学及び実習の補助 ②校外農場での様々な種類の野菜栽培(キャベツ、カリフラワー、レタス、ピーツ、ラディッシュ、エンドウ、インゲン、セロリ、パセリなど) ③校外農場で栽培する野菜への適切な施肥に関する助言
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 校外農場1ha分、事務用品一式

資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 農業技師4名(20代女性1名、校外農場担当、経験3年、50代男性3名、経験20年程度) 農業助手2名 指導対象: 上記農業技師・助手及び高等部1~3年生徒	5) 活動使用言語 (スペイン語 )
		6) 生活使用言語 (スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 )( 農学 )理由: 教員に対する指導も行うため ・経験( 実務経験 )( 3年以上 )理由: 各種野菜の栽培方法知識が必要 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否
		募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況	気候(高地地中海性気候 ) 気温( 10~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	適切な灌漑方法に関する助言ができればなお可。
------	------------------------

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 25 日

要請番号( JL 324 - 14- B - 05 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	日系/短期
パラグアイ	野菜栽培			● 2 年	27 / 1	年 月 から
				○ 1 年	27 / 2	
		○ ヶ月	27 / 3			

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 教育省

2)配属先名 (日本語) カアジョバイ中・高等学校  NGO

3)任地 アルトパラナ県 カアジョバイ地区  
 JICA事務所の所在地( アスンシオン )から 東 方向 300 Km  
 主要都市( シウダ・デル・エステ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容  
 未舗装道路に囲まれた農村地区にある中・高等学校。生徒は地域小農家の子弟が殆どであり、60数名が在籍(2014年6月現在)。学校菜園を利用し、授業の中で生徒に野菜栽培の技術指導を行っている。2014年5月からは、JICAが国内3県を対象に実施している技術協力プロジェクト「農協クラスター形成支援プロジェクト」の参加農協の支援対象団体となっている。

要請概要

1)要請理由・背景  
 同校は2014年5月に、JICAの技術協力プロジェクト「農協クラスター形成支援プロジェクト」関連農協であるイタプア県中核農協「ピンドゥ農協」の支援対象団体となった。学校菜園を通して、生徒達の野菜栽培技術の向上を目指し、地域全体の農業活性化に繋げる事を目的としている。プロジェクトの一環として、今後農協から定期的に調査や技術指導が入る予定ではあるが、学校では日常的に、生徒達を指導し作業を通じて野菜栽培技術を伝えられる人材を希望したことから、今回の要請に繋がった。プロジェクトと学校の連携強化の窓口としての役割も期待される。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)  
 カウンターパートとともに下記の指導を行う。  
 1.学校農園を利用し、作業を通じて生徒に様々な種類の野菜の栽培方法を指導する。  
 2.地域に適した農業作物の選定や、合理的な育成方法についてのアドバイスを行う。  
 3.学校の支援団体となるプロジェクト中核農協との連携を強化する。  
 4.カアジョバイ地区の農業生産者達に向けても、野菜栽培についての知識向上のため講習会等を行う。

要請内容

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等  
 農機具

4)配属先同僚及び活動対象者  
 カウンターパート:大卒技術者、20代~40代、4名  
 技術アシスタント20代、1名  
 対象:中学1年生~高校3年生、学生数60名

5)活動使用言語 ( スペイン語 )  
 6)生活使用言語 ( スペイン語 )  
 7)選考指定言語  
 英語 (レベル: D )  
 又は (レベル: )

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)  
 ・免許/資格 ( )  
 又は ( )  
 ・性別 ( 男性 ) 理由:生徒殆どが男性 生活環境が厳しい  
 ・学歴 ( 高等専門学校卒 ) ( ) 理由:野菜栽培の専門基礎知識を要する  
 ・経験 ( ) ( ) 理由:  
 理由:

活動上の單車/自転車の必要性  
 單車  自転車  不要

現職教員特別参加制度  
 可 春募集時のみ適用  
 否 SVは通年対象外

地域概況

気候(亜熱帯気候) 気温( 0~40 ℃位) 電気(●安定 ○不安定 ○なし)  
 通信(  インターネット可  電話可  無線 ) 水道(○安定 ●不安定 ○なし)

特記事項



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号( JL 324 - 14 - B - 06 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	
パラグアイ	野菜栽培				27 / 1	年 月 日 から
					27 / 2	
				27 / 3		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省					
	2) 配属先名 (日本語) サンインドロエコ農業教育センター(GEASIL)				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ミシオネス県サン・イグナシオ市 JICA事務所の所在地( アスンシオン )から 南 方向 200 Km 主要都市( アスンシオン )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 3.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 サン・イグナシオ市内から国道沿いに5キロほど離れた場所にある寄宿制農業学校。学校名称に「エコ農業」と入っているように、有機農業についての指導も授業内容に含まれている。2014年現在67名(うち18名は女性)の生徒が在籍しており、その殆どは近隣農家子弟。野菜果樹栽培、畜産、植林等農業全般についての基礎的な知識と技術を座学・実習を通じて学んでいる。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同校では、畜産、植林、野菜栽培等、座学のほか、学校の所有する農園での栽培実習を行っており、各分野の技術者が指導に当たっているが、専門知識や実習技術等の面で、学校ではさらなるレベルの向上を目指している。一般に農業学校の実習生産物は校内で消費されるが、野菜に関しては外部への販売も開始している事もあり、今後品種を増やし、また品質のよい野菜を効率良く栽培する技術を指導できる人材を求めている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) カウンターパートと共に野菜栽培全般に関して生徒に下記の指導を行う。 1. 授業を通じて野菜栽培に関する基礎知識を教える。 2. 学校農園での実習を通じて合理的な栽培方法や、多様な種類の農産物栽培の提案や技術指導を行う。 3. 農産物の収量を上げ、外部への販売拡大に関するアイデアの提示。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 畑・農機具					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート:農業技術者 男性 対象:農業学校生徒(1~3年生)			5) 活動使用言語 ( スペイン語 )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( 農学 ) 理由:基礎的知識・技術指導が中心 ・経歴 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由:実習・座学にて生徒への指導が必要 理由:			6) 生活使用言語 ( スペイン語 )		
地域概況	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 0~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 通信( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )			7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外		
特記事項						



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号 ( JL 324 - 14 - B - 07 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3
パラグアイ	野菜栽培				年 月 から
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 企画庁				
	2) 配属先名 (日本語) ラ・コルメナ市役所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ラ・コルメナ市役所 JICA事務所の所在地( アスンシオン )から 南東 方向 100 Km 主要都市( アスンシオン )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 2.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 ラ・コルメナ市は首都近郊パラグアイ県に位置する人口6000人の地方都市。日系移住地でもあり、移住者やその家族を含め現在400人の日系人が生活している。主な産業は農業。ラ・コルメナ市役所は市の中心に位置し、市民に対するさまざまな行政サービスを実施している。農業課では特に地域にある11の農家委員会の強化や農業指導等の支援に力を入れている。同市の日系団体には日系青年ボランティア2名が活動中(2014年7月)。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ラ・コルメナ市はパラグアイ初の日系移住地としての歴史を持つ。日系農家が果樹、野菜栽培といった分野において大規模な農業を展開し、生産者組合を通じて外部への販路確立を行うなど繁栄の一方で、地域のパラグアイ人農家では、未だにトマト・ピーマン・たまねぎといった、限られた種類の野菜を栽培しており、規模も小さく、日系農家との差は大きい。ラ・コルメナ市役所農業課ではその格差をなくすことを目指し、パラグアイ小規模農家に野菜栽培を指導できる人材をもとめていることから今回の要請となった。市では、パラグアイ人生産者による多種の野菜栽培が可能となり、安定した収穫量確保や品質向上により、現在は各農家の自家消費に留まっている野菜類が、市内市場に流通できるようになる事も期待している。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 市役所のカウンターパートと共に、地域野菜生産者を訪問し、野菜の栽培に関して下記の指導を行う。 1. 野菜の生育サイクル、天候土壌に応じた合理的な栽培方法。 2. 多種(特に青野菜)の野菜栽培の勧奨と技術指導。 3. 病虫害に対する対策、土壌作りに関するアドバイス。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 機、プリンター				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:ラ・コルメナ市役所農業課職員 対象:市街近郊小規模野菜農家			5) 活動使用言語 (スペイン語 ) 6) 生活使用言語 (スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D ) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由:対象農家が男性年配者が多いため ・学歴 ( 高等専門学校卒 ) ( ) 理由:野菜栽培に関する知識技術を要す ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由:地域の農家への指導が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(亜熱帯気候 ) 気温( 0~40 °C位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項					



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 6 月 9 日

要請番号( JL 327 - 14 - B - 04 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
ペルー	野菜栽培		27 / 1	27 / 2	日系/短期
			27 / 3	年 月 日	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業灌漑省(MINAGRI)
	2) 配属先名 (日本語) 地域農産物生産性向上プログラム(AGRORURAL) <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 クスコ州サン・サルバドル町 JICA事務所の所在地( リマ市 )から 南東 方向 1153 Km 主要都市( クスコ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 地域農産物生産性向上プログラム(AGRORURAL)は、農業生産や農業輸出の遅れた地域の農村開発を促進することを目的に、2008年に設立された組織。灌漑整備や農地保全、植林のほか、営農活動を支援し、山岳地域に住む貧困層の生計向上に取り組んでいる。年間予算約400万円(2014年)。現在、同地域にコミュニティ開発JV及び家政・生活改善JV(いずれも~2015年6月)、栄養士JV(~2016年6月)が活動中。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 町民のほとんどは、トウモロコシ、ジャガイモ等の伝統作物により生計を立てている零細農民。また、農作物の殆どを一次産品として中間業者に卸しているため、所得が市場価格に大きく影響される状況にある。配属先はその改善策の一つとして、換金作物の導入を検討中。一方、近隣コミュニティではニンジン、ネギ等の新規野菜栽培の導入により所得が4倍となった事例があり、配属先は同町に適した野菜の特定とその栽培普及による住民の所得向上を目指したい意向。現在活動中のJVは、町役場が確保した40aの圃場で、レタス、キャベツ等の葉菜類、ニンジン、タマネギ等の根菜類の試験栽培を実施中。圃場環境に多少問題(土壌生産力や灌漑施設の不足・不備等)はあるものの、粘り強く試験栽培を継続し、かつ、住民の関心を高める努力を行っている。後続のJVには、これらの活動継続及び所得向上を目指した一歩としての家庭菜園の導入・普及が期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先同僚とともに次の活動を行う。 ①栽培圃場における野菜の試験栽培 ②家庭での野菜栽培導入のための住民への働きかけ(小学校保護者会の利用も検討) ③町役場が進める「家庭菜園」普及事業との連携 ④同地域で活動するコミュニティ開発JVが進める菜園作りへの支援
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、机、事務用品

資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 AGRORURAL所属の農業普及員:40~50代男性2名 住民:零細農民(約170世帯)	5) 活動使用言語 ( ス페인語 )
		6) 生活使用言語 ( 스페인語 )
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

地 域 概 況	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ( ) ・学歴 ( ) ( ) 理由: ( ) ・経験 ( ) ( ) 理由: ( ) ・ <b>野菜栽培経験</b> 理由: 経験に基づいた指導が必要	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
	気候(高山気候) 気温( 0~21 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

特 記 事 項	
------------------	--

事務局記入欄

受験番号



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 545 - 14- B - 26 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ウガンダ	野菜栽培					
1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省						
2) 配属先名 (日本語) ワキソ県庁				<input type="radio"/> NGO		
3) 任地 ワキソ県ワキソ JICA事務所の所在地( カンバラ )から 北西 方向 20 Km 主要都市( ワキソ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)						
4) 配属先の規模・事業内容 ワキソ県は首都近郊に位置する県であり、21の郡を持つ。人口約120万人。農家数は8万戸。同県では、食用作物(サツマイモ、メイズ、大豆、落花生、バナナ等)や換金作物(綿、珈琲豆等)が栽培されている。また、一大消費地である首都に近いことから野菜栽培(トマト、玉ねぎ、キャベツ等)が精力的に行われている。また、ワキソ県では現在2名のボランティアが活動中である。						
1) 要請理由・背景 ウガンダはアフリカでも珍しく食料生産に適した土壌を有しており、就業人口の約80%が農業従事者である。農業による食料の生産性・生産量の増加が、農村部の所得向上そして国全体の経済成長を進める上で重要である。本要請では、ウガンダ(特に首都カンバラ)での野菜の消費量の増加が見込まれることを受け、短期間で栽培が可能である多様な種類の野菜の栽培に関し、栽培知識・技術、流通・市場開拓、食品加工等について、農家の状況に合わせたボランティア活動が求められている。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 活動地域の野菜栽培の状況を調査・把握した上で野菜栽培に関心のある農家を選定し、農家の状況に合わせて以下の中から主となる活動を選んで活動を行う。 ①野菜栽培に必要な知識・技術を農家に伝える。 ②野菜栽培後の流通・市場開拓にかかる問題点を把握し、改善に努める。 ③野菜栽培後の加工にかかる問題点を把握し、改善に努める。						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし						
4) 配属先同僚及び活動対象者 生産局長: 男性(40~50代) 1名 農業課長: 女性(30~40代) 1名 配属先関係者や農業普及員から情報を収集しながら、近隣の農家と共に活動を行う。				5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
資格条件等		条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由: 野菜栽培の活動を行うため 理由:		活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況		気候(常初夏気候 ) 気温( 15~30 ℃位) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし )		
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 551 - 14 - B - 19 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	● グループ型 ○ 個別	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年	JOCV/SV
ザンビア	野菜栽培			○ 1 年	27 / 1
			○ ヶ月	27 / 2	年 月 から
				27 / 3	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省				
	2) 配属先名 (日本語) ムバラ郡農業事務所				○ NGO
	3) 任地 北部州ムバラ JICA事務所の所在地( ルサカ )から 北東 方向 1030 Km 主要都市( カサマ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 全国10州に州農業事務所が配置されており、ムバラ郡農業事務所は、北部州農業事務所の管轄にあり、ムバラ郡の農業行政を所管している。同事務所には郡農業調整官のもと、作物、畜産、水産、灌漑、市場等の専門職員が配置され、主任農業官のもと、地域を18に区分けし、農業普及員による農民に対する支援を行っている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 これまで北部州のカサマ郡、ルウィング郡およびムチンガ州チンサリ郡農業事務所に野菜栽培やコミュニティ開発のJVが派遣され、普及員や州農業研修所スタッフとともにトマト栽培およびきのこ栽培に関するガイドブックを農業・畜産省の協力のもと作成し、また養蜂に関わる現地調査を行い、普及員を対象とするワークショップ等の普及活動を実施してきた。また、現在活動を展開しているJVは、各地で養蜂や稲作の普及を中心に普及員と共に活動を展開し活性化させ、これらの活動が高く評価されている。今後はザンビア北部の農業事務所同士が情報共有を行い配属先スタッフの知識および能力向上を一体となって目指す為と同郡農業事務所より、新規JVが要請された。通常、普及員は複数の対象地域を担当しているが、JVは農業事務所に拠点を置き主任農業官と活動内容を調整したうえで1~2の対象地域(目安として50程度の村)に集中的に普及活動を行う事となる。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 現地普及員および同僚JV(コミュニティ開発)と協力しながら主に以下の活動を行う ・担当する対象地域の農民に対する栽培巡回指導 ・村落部における農民の収入向上につながるアドバイスやワークショップの実施 ・同僚現地普及員に対する新しい作物の紹介やその栽培指導 ・主任農業官に対する対象地域の状況および活動報告 また、状況やボランティアの専門分野に応じて郡農業局のその他の業務支援(養蜂・野菜栽培、マッシュルーム栽培等)をフィールドで行う可能性がある。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農業事務所内の執務スペース(机、椅子など)				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 主任農業官 男性1名 大卒 40代 各部門職員 男女3名 短大卒 30代 現地普及員 男女13名 短大卒 30代 JVと活動を共にしている現地普及員 2名 短大卒 40代 その他、活動対象地域の農民			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( 農学 ) 理由: 農民を対象に指導を行うため ・経歴 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 農民を対象に指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 ● 単車 ○ 自転車 ○ 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 ○ 可 春募集時のみ適用 ● 否 SVは通年対象外	
地域 概況	気候(サバナ気候 ) 気温( 5~35 ℃位) 電気(○安定 ●不安定 ○なし) 通信( ☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線 ) 水道(○安定 ●不安定 ○なし)				
特記 事項	対象作物については多岐にわたっており、野菜以外にも稲作、果樹、きのこ、養蜂等を行った経験や知識があれば望ましい。				





長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 551 - 14 - B - 20 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交待 代目	2年	JOCV/SV
ザンビア	野菜栽培			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 2	年 月 から
				27 / 3	
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省				
	2)配属先名 (日本語) ムブルング郡農業事務所				<input type="radio"/> NGO
	3)任地 北部州ムブルング JICA事務所の所在地( ルサカ )から 北東 方向 1070 Km 主要都市( カサマ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)				
	4)配属先の規模・事業内容 全国10州に州農業事務所が配置されており、ムブルング郡農業事務所は、北部州農業事務所の管轄にあり、ムブルング郡の農業行政を所管している。元々はムバラ郡の一部であったものの、政権交代による郡の新設により新しく設定された。同事務所には郡農業調整官のもと、作物、畜産、水産、灌漑、市場等の専門職員が配置され、主任農業官のもと、地域を14に区分けし、農業普及員による農民に対する支援を行っている。				
要請概要	1)要請理由・背景 これまで北部州のカサマ郡、ルウィング郡およびムテンガ州チンサリ郡農業事務所に野菜栽培やコミュニティ開発のJVが派遣され、普及員や州農業研修所スタッフとともにトマト栽培およびきのこ栽培に関するガイドブックを農業・畜産省の協力のもと作成し、また養蜂に関わる現地調査を行い、普及員を対象とするワークショップ等の普及活動を実施してきた。また、現在活動を展開しているJVは、各地で養蜂や稲作の普及を中心に普及員と共に活動を展開し活性化させ、これらの活動が高く評価されている。今後はザンビア北部の農業事務所同士が情報共有を行い配属先スタッフの知識および能力向上を一体となって目指す為と同郡農業事務所より、新規JVが要請された。通常、普及員は複数の対象地域を担当しているが、JVは農業事務所に拠点を置き主任農業官と活動内容を調整したうえで1~2の対象地域(目安として50程度の村)に集中的に普及活動を行う事となる。				
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 現地普及員と協力しながら主に以下の活動を行う ・担当する対象地域の農民に対する栽培巡回指導 ・村落部における農民の収入向上につながるアドバイスやワークショップの実施 ・同僚現地普及員に対する新しい作物の紹介やその栽培指導 ・主任農業官に対する対象地域の状況および活動報告 また、状況やボランティアの専門分野に応じて郡農業局のその他の業務支援(養蜂・野菜栽培、マッシュルーム栽培等)をフィールドで行う可能性がある。				
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農業事務所内の執務スペース(机、椅子など)				
資格条件等	4)配属先同僚及び活動対象者 主任農業官 男性1名 大卒 40代 各部門職員 男女3名 短大卒 30代 現地普及員 男女13名 短大卒 30代 JVと活動を共にしている現地普及員 2名 短大卒 40代 その他、活動対象地域の農民			5)活動使用言語 ( 英語 )	
				6)生活使用言語 ( その他 )	
地域概況	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴( 専門学校卒 ) ( 農学 )理由: 農民を対象に指導を行うため ・経験( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由: 農民を対象に指導を行うため 理由:			7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
				活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
特記事項	対象作物については多岐にわたっており、野菜以外にも稲作、果樹、きのこ、養蜂等を行った経験や知識があれば望ましい。				



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 560 - 14 - B - 09 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ベナン	野菜栽培			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・漁業省	
	2) 配属先名 (日本語) バシラ村落開発支所	<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ドンガ県バシラ市 JICA事務所の所在地( コトヌー )から 北西 方向 375 Km 主要都市( コトヌー )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 6 時間)	
	4) 配属先の規模・事業内容 バシラ村落開発支所は、アタコラ・ドンガ県地域農業促進センターが管轄する部署の一つで、1994年に設立されたバシラ地区内の農業促進と地域発展を支援する組織である。具体的には、地域内の農業、畜産、水産の促進と技術向上支援、農作物等の生産に関する監督及び流通、農業機械の管理、行政手続きを行っている。同村落開発支所の同僚1名が2013年エジプトで行われたJICA農業研修に参加している。他国ボランティアの支援はない。バシラ村落開発支所の予算として2013年-2014年に約5千万円が見込まれている。	

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 バシラ市はトーゴ国境に近い人口約7万1千人の地方都市である。ドンガ県が管轄する同市の面積は約5600Km <sup>2</sup> で、ワリマロ森林地帯の3分の1がバシラ市に所属する。また、同市は4つの行政区分、30村を管轄する。人口の約半分の約3万2千人が農業に従事しており、主な作物は、イモ類、インゲン、トウモロコシ、ゴマ、ピーナッツ等が挙げられる。稲作栽培も行っている。しかしながら、農民のほとんどが家族経営の小規模農業を営む自給自足であり、より安定した収入を得る改善策に取り組んでいく。具体的には、作物栽培を阻害する害虫対策、無農薬栽培、湿地帯作物対策、作物の長期保存等に改善の余地がある。地域住民の安全かつ安定した食糧確保を支援し、地域農民とともに活動する隊員が期待されている。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同開発支所を拠点とし、住民とともに現場中心の活動を行う。  1.現場の作物栽培状況を把握する。 2.現場に根付き、安定した収穫を得るための堆肥・土壌づくり、農薬の扱い方、作物の長期保存法等を提案し住民への普及活動を行う。 3.現場状況を開発支所に報告する。 ※現場への移動は徒歩或いは自転車のみである。	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務所内執務席	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 支所長 男性 30歳代 7年経験 専門技官 11名 男性・女性 25歳-40歳代 5年-12年経験  地域農民	5) 活動使用言語 ( フランス語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( )理由: ・経験( 実務経験 )( )理由:住民との実践活動となるため 理由:		活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要
			現職教員特別参加制度
			<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地 域 概 況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 25~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)

特記事項	
------	--

事務局記入欄

受験番号



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 560 - 14 - B - 10 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ベナン	野菜栽培			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 2	
				/	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・漁業省				
	2) 配属先名 (日本語) グラズエ村落開発支所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 コリン県グラズエ市 JICA事務所の所在地( コトヌー )から 北 方向 233 Km 主要都市( コトヌー )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 グラズエ村落開発支所は、ズー・コリン県地域農業促進センターが管轄する部署の一つで、1980年に設立されたグラズエ地区内の農業促進と地域発展を支援する組織である。具体的には、地域内の農業、畜産、水産の促進と技術向上支援、農作物等の生産に関する監督及び流通、農業機械の管理、行政手続きを行っている。グラズエ村落開発支所の独自予算はなく、ズー・コリン県農業開発センターの2013年の予算は約400万円。同任地には異職種ボランティアの教育分野JV、保健分野JVが派遣予定である。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 グラズエは人口約9万4千人の地方都市である。コリン県が管轄する同市の面積は約1750Km <sup>2</sup> で、1Km <sup>2</sup> 当たりの人口密度は51人。ウエメ河が市内を横断する同市は10つの行政区分、68村を管轄する。主な作物は、コメ、大豆、イモ類、トウモロコシ、ピーナッツ等であり、野菜栽培等で同開発支所の普及員による研修やアドバイスを受けている農民は年間約1万8千人である。農民のほとんどは小規模農業を営んでおり、より安定した収入を得る改善策が期待されている。具体的には、作物栽培を阻害する害虫対策、堆肥等収入向上に関する研修の実施、巡回指導に取り組む余地がある。また、農民の多くは非識字者であるため、文字に頼らない研修方法を工夫する。地域住民の安全かつ安定した食糧確保を支援し、地域農民とともに活動する隊員が期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同開発支所を拠点とし、2年間、住民と共に汗を流し、現場中心の活動を行う。 1. 地域住民の作物栽培方法を把握する。 2. 住民の目線にあった作物栽培方法を同僚と取り組み、害虫対策、堆肥改善等の提案を行い、安定した作物収穫を支援する。 3. 開発支所に現場状況を報告する。  ※現場への移動は徒歩或いは自転車のみである。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務所内執務席				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 支所長 男性 30歳代 10年経験 専門技官 8名 男性・女性 25歳—40歳代 5年—12年経験 農業普及員等 39名 男性 6名 女性 20歳—52歳台  農民			5) 活動使用言語 ( フランス語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( )理由:住民との実践活動となるため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要  現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候( 熱帯雨林気候 ) 気温( 25~35 ℃位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 8 日

要請番号( JL 563 - 14- B - 05 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ブルキ ナファソ	野菜栽培					

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省	
	2) 配属先名 (日本語) 農業・食糧安全保障省チュイ県事務局	<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 チュイ県ウンデ市 JICA事務所の所在地( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワガドゥグ</span> )から 南西 方向 253 Km 主要都市( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ボボデュラツ</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バス</span> で約 1.5 時間)	
	4) 配属先の規模・事業内容 同県は農業のポテンシャルが高い地域で、主食となる穀物(トウモロコシ、粟、唐人ビエ)栽培の他に、綿花栽培を行って主な収入源としている農民が多い。他方、主要地方都市で年々ニーズが高まっている野菜を栽培することで、農閑期の収入創出を狙う農民が増えてきている。配属先は、県内の農産物増産・改良品種の紹介、普及、種子の配布や病害虫対策を行っている。近年は、食糧安全政策のもと、コメ増産を目指して6~10月の雨季には他の作物とともに天水田での稲作栽培の振興に取り組んでいる。2013年3月末より活動中の食用作物・稲作栽培JVが、今回要請するJVの実質的な前任者である。	

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同配属先に派遣された村落開発普及員(現、コミュニティ開発)JVがネリカ米試験栽培に取り組んだことをきっかけに、地域の稲作振興を目的のひとつとして、短期と長期2名の食用作物・稲作栽培JVが派遣された。活動中のJVは稲作栽培技術に関する広域研修と一緒に参加した配属先の農業技術普及員とともにコメ生産者の技術指導にあたっている。他方、JVによる野菜生産者の支援に関しては、活動を通して、基本的な栽培技術の定着や特に農薬の使用法に関する知識不足の改善が喫緊の課題として把握されている。また、野菜生産者の収入増加のためには、野菜市場のニーズを的確に分析したり、収穫物を有利に流通させるための組織化を進めることができる能力の向上支援も期待されている。野菜栽培に関しては、JVによる活動効果がより高いと判断されたことから、今回、JV派遣の要請が上がった。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の農業技術普及員と協力しながら、野菜栽培に携わる農民グループに対し、計画・生産・組織化など包括的な能力向上を支援するため、以下のような活動を実施する。 ①野菜市場のニーズに応じた栽培計画策定にかかる能力向上支援 ②基本的な栽培技術(特に苗作りや病虫害対策、減農薬栽培など)の向上・定着支援 ③流通の効率化・収益改善を目的とした、生産者の協同・組織化支援 ④コメ生産者に対する基本的な栽培技術の定着支援(可能な範囲で)	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農機具、コピー機	

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ( ) ・学歴 ( ) ( ) 理由: ( ) ・経験 ( ) ( ) 理由: ( ) ・ 理由: ( )	活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
	4) 配属先同僚及び活動対象者 県局長:女性40代 県局職員:6名 男性20~50代 農業技術普及員:男性12名、女性3名	5) 活動使用言語 ( フランス語 ) 6) 生活使用言語 ( フランス語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )

地域 概況	気候(スーダン・サヘル気候 ) 気温( 15~45 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )
----------	---

特記 事項	住居は同任地隊員と同居の可能性もある
----------	--------------------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号 ( JL 563 - 14 - B - 12 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ブルキ ナファン	野菜栽培					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省					
	2) 配属先名 (日本語) パレ県事務所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 パレ県ボロモ市 JICA事務所の所在地( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワガドゥグ</span> )から 西 方向 180 Km 主要都市( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワガドゥグ</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バス</span> で約 2.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 同省の政策や方針に基づいて同配属先は事務課、事業フォロー・評価課、農地整備・生産課の3つの課、計22人の体制で、県内の農業に関連する事業の実施支援と、市・町・村レベルで活動する農業技術普及員に対する技術指導支援、情報提供、機械化促進等の活動を行っている。2015年までの開発計画として未耕作地の整備や技術講習会の実施、融資支援制度活用支援等が計画されているが、本省から配賦される予算や機材はまだ十分ではない。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ボロモ市は首都と第2の都市ボボデュラツソの中間点に位置する人口約2万9千人の小都市である。交通の要所ではあるものの、目立った産業もなく同地域内での貧困は大きな課題となっている。同市が属するパレ県は年間降水量600mm~900mmかつムーウン河が流れていることから、水資源の優位性を活かした年間を通しての野菜栽培振興による経済的発展が望まれる。しかし未耕作農地も多く、栽培技術が未成熟で、期待される生産量に達していない。また時期によって野菜の供給不足あるいは過剰が発生し、取引価格の動きも不安定である。同配属先には技術指導員はいるものの、現場での実践的な指導能力が低い、農民組織が存在しない等が原因で、講習会や適切な技術指導の実施には至っていない。国内外の市場のニーズに合わせた生産品の選択、病害に強い品種の紹介、安定生産のための技術的支援を行い、生産効率と収入の向上に貢献することが期待される。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 農業技術普及員とともに地域の野菜栽培サイトを巡回し、以下のような活動を通じて、多品目栽培による収入安定を目指す取り組みを支援しながら、農業技術普及員の実践的な指導能力の向上に貢献する。 ①野菜栽培従事者を対象に、栽培技術に関する技術的支援や提案を行う。 ②市場での取引上、より有利な栽培作物を選択できるよう支援する。 ③上記の2点を踏まえて、試験圃場を作成し、適した品種の提案や導入を図る。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 簡単な農機具					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 所長 男性・30代 農業技官 7名 男・女 20~50代 その他農業技術普及員 男・女 20~50代 12名 野菜栽培農家 男性・20~40代			5) 活動使用言語 ( フランス語 ) 6) 生活使用言語 ( フランス語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( ) ( ) 理由: ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大学や農場等で実地の栽培経験</span> 理由: 実践的技術支援のため			活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域 概況	気候(スーダン・サヘル ) 気温( 13~45 °C位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記 事項	住居は、同任地JVと同居の可能性もある。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 4 日

要請番号( JL 609 - 14 - B - 05 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ガボン	野菜栽培			<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	27 / 2
				27 / 3	/

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・牧畜・漁業・食料安全省
	2) 配属先名 (日本語) ドゥヤ・オノエ県農業支所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 グニエ州ムイラ市 JICA事務所の所在地( リーブルビル市 )から 南 方向 440 Km 主要都市( リーブルビル市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 8 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はグニエ州ドゥヤ・オノエ県における農業の普及と振興、そして農業を通じた地域開発推進を目的に業務を行っている。野菜栽培の分野では、ナス、唐辛子、トマト、オクラや伝統的野菜などの育苗を乾季(6~8月頃)に行い、農民に提供するほか、配属先スタッフも実証圃場において収穫までの一連の栽培を行いつつ、農民に対して技術指導を行っている。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同国の食料自給率が低く、穀物、野菜や肉類なども隣国を含む外国からの輸入に頼っている状況である。そのため、政府は食の安全保障を意識した農業政策を開始したところであるが、プランテーションバナナやキャッサバ、タロイモといった伝統的な食用作物の栽培が主流で、野菜の栽培はあまり行われておらず、輸入野菜が届かない内陸部では、野菜の入手が困難な地域も多い。地域の野菜栽培の活性化を目指すべく、これまで栽培履歴のない品種の導入、コンポストの作り方など、知識・経験を生かした活動が期待されている。前任者は、主に配属先の圃場において空芯菜、レタス、唐辛子、トマトやナスなどの栽培を通じて、圃場スタッフや農民に対する指導を行っている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・配属先の圃場(4ヶ所、1~3ha)における野菜栽培に関する指導・支援の実施。 ・野菜作りセミナーの開催(地域農民や住民に野菜栽培の魅力を伝えると共に新規野菜の導入を試行する)。 ・コンポストの作り方の指導、地域の天然資源から作るコンポストを利用した農業の促進支援。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 スコップ、くわ、なた、肥料など
4) 配属先同僚及び活動対象者 県農業支所長(男性50代)、農業技官、圃場スタッフ、地域農民・住民	5) 活動使用言語 ( フランス語 ) 6) 生活使用言語 ( フランス語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( ) ( )理由: ・経験( ) ( )理由: ・理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 25~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	---

特記 事項	住居は複数の同性ボランティアとルームシェアをしての生活となる。
----------	---------------------------------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 609 - 14 - B - 07 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ガボン	野菜栽培				27 / 2	27 / 3

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 農業・牧畜・漁業・食料安全省
	2)配属先名 (日本語) オグエ・ロロ州農業支局 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 オグエ・ロロ州クラムトゥ市 JICA事務所の所在地( リーブルビル市 )から 南東 方向 621 Km 主要都市( リーブルビル市 )までの交通手段及び所要時間( 鉄道 で約 11 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 配属先はオグエ・ロロ州における農業の普及と発展、そして農業を通じた地域開発推進を目的に業務を行っている。野菜栽培の分野では、なす、唐辛子、トマト、オクラなどの育苗を乾季(6~8月頃)に行い、農民に提供する他、配属先スタッフも圃場において収穫までの一連の栽培を行いつつ農民に対して技術指導を行っている。

要 請 概 要	1)要請理由・背景 同国の食料自給率が低く、穀物、野菜や肉類なども隣国を含む外国からの輸入に頼っている状況である。そのため、政府は食の安全保障を意識した農業政策を開始したところであるが、プランテーションバナナやキャッサバ、タロイモといった伝統的な食用作物の栽培が主流で、野菜の栽培はあまり行われておらず、輸入野菜が届かない内陸部では、野菜の入手が困難な地域も多い。地域の野菜栽培の活性化を目指すべく、栽培をしていない品種の野菜の栽培、コンポストの作り方など、持ち合わせている知識・経験を生かした活動が期待されている。前任者は、現在、地域農民に対する空芯菜の普及、コンポストの紹介、そして地域住民への家庭菜園の普及活動を展開している。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・配属先の圃場において、野菜栽培に関する指導・支援の実施。 ・野菜作りセミナーを開催し、地域農民や住民に野菜栽培の魅力を伝えと共に新規野菜の導入を試行。 ・コンポストの作り方を指導し、地域の自然原料から作るコンポストを利用した農業の促進に協力。
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 スコップ、くわ、なた、肥料など

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ( ) ・学歴 ( ) ( )理由: ( ) ・経験 ( ) ( )理由: ( ) ・ <b>農業の知識・経験を有していること</b> 理由: 経験に基づいた指導が必要	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 25~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項 住居は複数の同性ボランティアとルームシェアをしての生活となる。

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 630 - 14- B - 27 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	27 / 1
モザンビーク	野菜栽培			1年	27 / 2
			ヶ月	27 / 3	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省
	2) 配属先名 (日本語) ナカラ郡経済活動事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ナンプラ州ナカラ JICA事務所の所在地( マプト )から 北東 方向 2300 Km 主要都市( ナンプラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 ナカラ郡経済活動事務所は、ナカラ郡全体の農業普及活動を行っている。対象となる農民は、同郡総人口207,000人のうち38%に当たる78,000人となっている。事務所の年間予算は8,697,000MT(約2500万円)である。また、当事務所が所在するナカラ市はマプト、ペイラに次ぐモザンビーク第3の港町であり、現在JICAでは、ブラジルと連携して、ナカラからナンプラを経由してニアサ州や隣国マラウイに続く港湾や道路、およびその周辺地域(ナカラ回廊)の相互的な開発を目的とする、ナカラ回廊開発・整備プログラムを実施している。また、多数の援助団体がナカラ回廊地域への援助を行っている。

要 請 概	1) 要請理由・背景 同配属先はキャベツ、白菜、ニンジン、トマト、キュウリ、ピーマン、レタス、サツマイモ、ジャガイモといった作物の栽培に力を入れているが、現在、14の管轄対象農業組合に対して普及員が2名しかおらず、十分な巡回指導ができない状況にある。そこで、両普及員の担当組合数を減らし、巡回頻度を高めるために、JICAに対してボランティア派遣の要請行われた。また、JICAはナカラ回廊開発・改善プログラムの中で農業開発研究能力の向上を図るプロジェクトを実施しているが、同プロジェクトで得られた成果を、ボランティアを通じて小規模農民へ波及させることで、草の根レベルの技術支援を実現し、ボランティア派遣と、同プログラムの実施効果を相互に高めることが期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・ナカラ郡内の農業組合を巡回して、野菜栽培指導を行う。 ・上記農業組合に対して、販売促進、収支計算といった農業経営指導を行う。 ・他農業普及員との技術交換を行い、配属先の技術力向上に貢献する。

要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC(3台、メーカー:HP)、プリンタ(1台、HP)、コピー機(1台、Panasonic)
	4) 配属先同僚及び活動対象者 局長:男性(30代後半) 同僚職員:37名、平均年齢:30歳前後、高校卒、又は農業専門学校卒、職歴平均4年 指導対象:農民、普及員

5) 活動使用言語 ( ポルトガル語 )
6) 生活使用言語 ( ポルトガル語 )
7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由:同僚と同等以上の学歴が必須 ・経歴 ( ) ( ) 理由: 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要)
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(サバナ気候 ) 気温( 5~40 °C位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	
----------	--



事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 306 - 14 - B - 15 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C104 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	
ボリビア	果樹栽培			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1	年 月 日 から
					27 / 2	
			27 / 3			

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農村開発・土地省
	2) 配属先名 (日本語) コマラパ市役所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 サンタクルス県コマラパ市 JICA事務所の所在地( ラパス市 )から 南東 方向 800 Km 主要都市( サンタクルス市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 6 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 コマラパ市は人口約19千人、イチゴ、リンゴ、モモ等の果樹栽培が盛んである。配属先は職員数60名体制で農業担当は1名。市の年間予算は約380万US\$(2014年)。同市には、保健師1名(1998～2000:病院)、村落開発普及員2名(2002～2004:市庁、2005～2007:市役所)の3名のボランティアが派遣された。草の根技術協力事業「バジェグランデ市を対象にしたごみリサイクルプロジェクト」の実施団体であるDIFAR(Desarrollo Integrado Familia Rural in Bolivia/峡谷地帯高地総合女性開発プロジェクト)との連携した活動も期待されている。

要請概要	1) 要請理由・背景 同市では、農業担当職員が市の試験圃場で、農業学校の学生と共に果樹の試験栽培等を行い、そこで得られた果樹の効率的な栽培方法を地域の農家へ指導している。また、同市では市場や家庭の生ごみを堆肥化し、地域の農家に販売しているが、生産物毎に適した堆肥の選び方やその堆肥の使用方法に関する知識が乏しく、果樹栽培に有効的に活用されていない。そこで、カウンターパートと共に圃場での試験栽培を通じ、地域に適した高品質な果樹の選定、市内で生産された堆肥を有効活用した果樹の栽培指導、有機栽培指導等を実施することが期待され、今回のボランティアの要請に至った。なお、同市には、2014年7月に環境教育ボランティアが派遣される予定。また、土壌肥料の協力隊員の要請が出ており、生ごみ堆肥の有効活用等の活動が、地域の環境改善の一助となるよう、各職種のボランティアと連携した活動が期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) カウンターパートと地域の農家を巡回し以下の活動を行う 1.市の試験圃場にて、カウンターパートや農業学校の学生に対し、市内で生産された堆肥を有効活用した果樹の試験栽培を行い、より地域に適した、高品質な果樹の選定の支援を行う。 2.カウンターパートと市内の農家へ、果樹毎に適した堆肥の選び方と利用方法についての指導を行う。 3.カウンターパートと市内の農家への果樹の有機栽培指導を行う。 4.カウンターパートに対し、農家への果樹栽培指導を独自に行えるよう教材の作成や活動支援を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 市役所内執務室、事務机、パソコン、プリンタ

要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・カウンターパート:農業担当、男性、20代(経験5年) ・市内の農家 ・市内の農業学校の学生	5) 活動使用言語 ( スペイン語 )
		6) 生活使用言語 ( スペイン語 )
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( ) ( )理由: ・ <b>果樹栽培と有機農業の経験2年以上</b> 理由:住民への指導が必要なため	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(亜熱帯気候) 気温( 10～35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	巡回型(市役所備上の車両にて移動)
------	-------------------



長期 ( **長期 JV** )

記入日:平成 26 年 8 月 3 日

要請番号 ( JL 318 - 14 - B - 15 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C104 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
エクアドル	果樹栽培		<input checked="" type="radio"/> 27 / 1 <input type="radio"/> 27 / 2 <input type="radio"/> 27 / 3	年 月 から	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) レオナルド・ムリアルド中・高等学校 <input type="radio"/> NGO				
概要	3) 任地 ナポ県アルチドナ市 JICA事務所の所在地( キト市 )から 東 方向 180 Km 主要都市( キト市 )までの交通手段及び所要時間( パス で約 5 時間)				
要請	4) 配属先の規模・事業内容 アルチドナ市は当國中・東部のアマゾン地域(標高600m弱)に位置する人口約4,500人の地方都市であり、年間降水量は約3,800mmである。配属先は1968年に創立された公立学校(小学部～高等部)であり、2013年現在全体で1,070名の生徒が在籍している。うち農業・畜産科(中・高等部)の生徒は483名、教員は39名(非常勤含む)である。年間予算は約63万米ドル(2013年)。過去に米国ピースコーのボランティアが、配属先農場助手として1年間活動した。その他外国からの援助はない。				
概要	1) 要請理由・背景 配属先の農業・畜産科では、学校の近郊に2ヶ所の実習用農場を保有している。畜産関連では実習農場での家畜飼育のほか、学校敷地内に食肉加工施設を有しており、腸詰類を生産し、市場で販売している。果樹については、アマゾン地域原産の果物(チンタChonta, Inga fastuosa, 食用ホオズキPhysalis peruviana, ナランヒージャSolanum quitoenseなど)、その他熱帯果樹(パイア、パイナップル)、柑橘類(オレンジ、レモン、ライム、現地のみかんなど)及び当国農牧漁業省からの援助によるコーヒーを農場で栽培している。これに加えて、ナポ県からの援助により、果肉処理施設(ジュース用)の建設計画もある。しかし、未だ農場の管理が適切かつ十分に実施されているとは言えず、特に果樹の栽培・管理方法に関しては配属先技師の経験・知識が浅いことから、ボランティアの要請が行われた。				
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の農業・畜産科の農業技師とともに下記の活動を行う。 ①農場での実習に関する計画策定の補助 ②実習用農場での栽培果樹についての適切な管理方法の指導(主に柑橘類、熱帯果樹) ③栽培用果樹の苗畑の適切な管理				
要請	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用農場、温室、事務用品一式				
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先農業技師(20代～40代、高卒～大卒) 活動対象者: 農業技師、農業・畜産科生徒及び地域の農家		5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由: 活動対象者が男性である ・学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 専門知識が求められる ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 実地指導が求められる 理由:		活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 在募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 15～35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	果肉加工に関する助言ができればなお可。				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 763 - 14 - B - 12 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C104 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ウズベ キスタン	果樹栽培					
要 概 要			1) 受入省庁名 (日本語) 司法省 2) 配属先名 (日本語) ウズベキスタン農業評議会 <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 タシケント州タシケント市 JICA事務所の所在地( タシケント )から 北 方向 0 Km 主要都市( タシケント )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 国内農業の発展と農家の支援を目的に1998年に設立されたNGO。各州13か所に支部を有するほか、郡レベルを担当する支所が約170か所ある。首都にある本部の職員は20名弱、全国の支部支所の職員は約700名。ほかに非常勤職員1700名を擁する。会員農家数は約66000。年間予算は約300万ドル。2003年以降、JICAが実施する研修事業に研修員が数名参加している。日本からボランティアを受け入れた実績はない。現在、ドイツの援助団体から養蜂指導の専門家が派遣されている。			
要 概 要		1) 要請理由・背景 同評議会は会員農家への技術支援のほか、農家の権益保護のための政府への交渉窓口として各種の取り組みを展開している。技術支援に関しては、各農家への巡回による栽培技術の直接指導のほか、シルダリア州にあるモデル農場での指導、本部でのセミナー開催などを実施している。綿花や小麦に関しては十分な技術と経験を有しているが、商品価値の高い果樹の育成については知識・技術ともに不足している。JICAの本邦研修に研修員が参加した実績はあるものの、指導者の層はまだ薄いことから、ボランティアの要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは首都の本部事務所に所属し、同僚と協力しながら下記の活動を行う。 ① タシケント周辺の会員農家を訪れ、果樹ごとに(リンゴ、モモ、サクランボが中心)、剪定・摘果・土壌改良など栽培方法の改善全般に関する助言・指導を実施。 ② 地方支部にも出張し、地方の会員農家への助言・指導を実施。 ③ 本部及び支部で果樹栽培の向上に役立つセミナーを企画・実施。 ④ 同僚が自立して農家を指導できるよう各種教材・マニュアルの作成。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務スペース、パソコン 4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパートは地方支部との連携責任者(男性、40代、農業経験22年) 活動対象者は主にタシケント周辺の会員農家(タシケントだけでも会員農家は約7000あるため、同僚と相談しながら巡回先を選定)				
資 格 条 件 等		条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 理論的指導も求められるため ・ 経験 ( 実務経験 ) ( 5年以上 ) 理由: 実地指導が必要なため 理由:		活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input checked="" type="radio"/> 可 本募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地 域 概 況		気候(ステップ気候 ) 気温( -20~40 ℃位) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特 記 事 項						



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 10 日

要請番号( JL 009 - 14 - B - 02 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C106 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2 年	JOCV/SV	
マレーシア	きのこ栽培			1 年	27 / 1	日系/短期
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3	年 月 から	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) サバ州農業・食料省
	2) 配属先名 (日本語) 地域開発公社ボルネオマッシュルーム <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 サバ州クンダサン JICA事務所の所在地( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クアラルンプール</span> )から 北東 方向 1700 Km 主要都市( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">コタキナバル市</span> )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 3.0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はサバ州の政府の機関の一つで、低所得農民の収入向上を目的に養蜂、養鶏、パニラ栽培、きのこ栽培等のプロジェクトを実施している。きのこ栽培は冷涼な気候を利用し、1989年に台湾の技術支援によりプロジェクトを開始。現在約200戸の農家に対し、菌床の配布、生産されたシタケの集荷・販売、農家への栽培技術の指導を実施している。従業員は作業員も含めると約40名、7名が政府機関職員で他の職員はプロジェクトが直接雇用している。年間予算は約1億円(シタケの売上代金含)、他国からの技術者派遣等の援助は無い。平成25年度にきのこ栽培の短期SVを3カ月間派遣した。26年度第2回短期でボランティアを募集中。

要請概要	1) 要請理由・背景 ボルネオマッシュルームでは約200戸の農家に、農家一戸当たり年間6000個のシタケ菌床を配布している。菌床生産の過程で雑菌が混入し廃棄処分となる菌床が2割あり、生産効率低下の原因となっている。また、シタケ菌床は約1.3kgの大きさがあるが、一つの菌床からの生産量は約150gから230gとかなり少ない。平成25年度に短期SVを派遣し、オートクレーブの操作法の改善、培地含水率の調整法、施設改修計画への助言等を実施した。配属先の職員は実務経験はあるが、専門的な知識が無い為、業務の改善ができない。また、マレーシアにはキノコ栽培の研究機関が無く、外部から助言や指導を受けることが難しい。配属先ではシタケ菌床生産拡大のため菌床の雑菌汚染率の低減、培地の改善、シタケ栽培農家への栽培指導のためボランティアを要請している。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.菌床の殺菌から菌の植付までの過程を見直し、菌床の雑菌汚染率の低減を図る。 2.シタケ培地の改良。現在はふすまを混ぜているが、生産性を上げるために培地に添加する材料の試験を実施する。 3.シタケの生産性の向上。一つの菌床からの生産量が約150gから230gと低いため、配布農家に対する栽培技術の指導が求められている。 4.野生のキノコの栽培試験やひらたけやエリンギなどの栽培実験をし、シタケ以外のキノコ生産のための試験を実施する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 オートクレーブ、オープン、含水分計、クリーンベンチ、顕微鏡、蒸留水器、ECメーター
	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート:経験4年、専門は農業機械、女性、20代 アシスタント:経験1年、専門は微生物学、女性、20代 作業員は約30名、20代~40代の男女。

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( )理由: ・経験( <b>実務経験</b> )( <b>5年以上</b> )理由:即戦力が必要なため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(亜寒帯湿潤気候) 気温( 10~25 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号( JL 027 - 14 - B - 06 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C107 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ベトナム	病虫害対策			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 2	年 月 日
				/	から

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省	<input type="radio"/> NGO
	2) 配属先名 (日本語) タイバック大学農林学部	
	3) 任地 ソンラ省ソンラ市 JICA事務所の所在地( ハノイ市 )から 西 方向 330 Km 主要都市( ハノイ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 9.5 時間)	
	4) 配属先の規模・事業内容 北西部山岳地域における唯一の総合大学で、地域における人材育成、地方公務員に対するトレーニング、地域社会経済発展に関する研究を目的に、師範短期大学を前身に2001年に設立。幼児・初等教育、経済、行政理論、外国語等の10学部と4研究センターを持ち、教員数約500名、学生数約9,200名。配属先の農林学部は2006年に新設され、農学、造林、応用生物、資源・環境管理、獣医・畜産の5学科からなり、教員数47名、学生数約1,200名である。農林学部の教育、研究能力の向上を目指し、「持続可能な農村開発のためのタイバック大学機能強化プロジェクト」(技プロ)を2011年～2014年の4年間の予定で実施中。	

要請概要	1) 要請理由・背景 北西部山岳地域4省(ライチャウ省、ディエンビエン省、ソンラ省、ホアビン省)は、人口の約8割が少数民族で貧困率も高く、貧困削減の重点地域とされており、同大学が北西部山岳地域開発において期待されている役割は大きい。しかしながら大学の歴史も浅く、特に新設された農林学部には、修士を終了した30歳前後の若く経験の少ない教員が多いのが実情である。同地域では農薬や化学肥料の使用を極力少なくした安全野菜の栽培導入が計画されており、その一環として基礎情報として重要な有害昆虫、特に鱗翅目や食植生甲虫類の正確な分類・同定の支援、農薬に頼らない生物学的防除方法に関する農学科への支援が求められている。同地域の特産であり、広く栽培されているモモ類、コーヒー、キャベツなどに対する病虫害防除対策に対する要望が強い。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 赴任当初は語学力の向上、同僚や学生との関係構築、大学及び地域の現状把握に重点を置き、その後配属先の一員として同僚と協力しながら実施可能なものから支援する。 ①害虫、特に鱗翅目や食植生甲虫類の分類・同定及び標本作成を支援する。 ②モモ類、コーヒー、キャベツを主な対象とした生物学的防除方法の知識、技術の向上及び研究を支援する。 ③成果の英文による発表や、農民への普及・定着を支援する。 ④学生の実習・実験や講義を担当または支援する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室、講義室、学内圃場、農林実習センター(大学から約30km)、光学顕微鏡、双眼実態顕微鏡、吸虫管(手作り)、標本箱、基本的ガラス器具等。
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 副学長(男性/50代/博士) 農林学部長(男性/40代/博士/昆虫学担当) 農学科長(男性/30代/修士) その他農学科講師(男性5名、女性5名/20代6名、30代4名/ほとんどが修士) 実験実習指導技官(男性1名、女性1名/20代～30代/学士、修士)
	5) 活動使用言語 (ベトナム語 ) 6) 生活使用言語 (ベトナム語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B ) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 修士 ) ( 農学 )理由: 同僚が修士以上のため ・経歴 ( ) ( )理由: 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 8~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	学内の宿舎が提供される。
------	--------------

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号( JL 224 - 14 - B - 06 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C107 )	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 3 代目	派遣希望時期	派遣希望時期
ドミニカ共和国	病虫害対策			○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省				
	2) 配属先名 (日本語) 農牧林研究庁 北部センター				○ NGO
	3) 任地 ラ・ベガ県ラ・ベガ市 JICA事務所の所在地( サントドミンゴ特別区 )から 北西 方向 120 Km 主要都市( サントドミンゴ特別区 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、農業省傘下の農牧林業に関する独立行政権を持った研究機関で、国内の天然資源・人材を最大限活用した技術の発展、即ち農業全般の安全性を高めることにより、市場競争力全般を向上させ、全国の経済力向上と貧困削減に寄与することを目指している。年間予算は約540万米ドル。ボランティアが所属する北部センターは、配属先所属の4つの地方センターの一つで、国内でも野菜栽培の盛んなシバオ地域にあり、9つの研究圃場を運営している。2004年10月から2009年10月まで5年間の技術協カプロジェクトが実施された。現在は野菜栽培SV(24-2次隊)が同センター所属の1支部で2014年9月まで活動中。				
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先が管轄する地域は国内でも野菜栽培の盛んな地域である。近年は中でも東洋野菜(特に、トウガラシ・三尺豆・茄子・ニガウリなど)に対するThrips(スリップス、アザミウマという害虫)被害が深刻であり、特にこれらの野菜の対外輸出に、その害虫被害によって多大な損害が出て地域経済にも深刻な影響を及ぼしつつある。この害虫は1989年に発生し、その際には抑えることができたがその後再発生した。農業耐性がついてしまったためか、様々な農薬散布を含む方法を実施してみたが駆除できず、被害が拡大している。また、これまでの農薬散布によりThripsの天敵である虫まで駆除してしまった可能性が高く、自然のバランスが崩れていることも懸念されている。これらの状況を現地関係者だけでは解決できない状況になっていることから、同問題対応経験のあるボランティア派遣要請となった。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先技術者、農業者、地元商工会関係者らと協力しながら、以下の活動を実施することが期待されている。 ① 農場におけるThrips(スリップス)駆除のためのプラン作成支援 ② 農業者に対する安全な野菜作り(特に害虫駆除に関する点)のための教育支援 ③ 野菜栽培の成功事例(地元に適した野菜作り)やそのための技術の紹介と普及支援				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC (日本語環境なし)、プリンター、固定電話など一般の事務用品と基礎的な病害虫に関する資料				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 北部センター長:男性、50歳代 C/P:研究助手(野菜専門農業技術者、同分野13年の職務経験あり)、女性、40歳代、大卒 管理スタッフ:女性1名(40歳代、修士、同分野13年の職務経験あり) その他、同センター所属の農業技術者、地域の農業者、商工会関係者、輸出実施業者など			5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( 大卒 ) ( ) 理由: 配属先の要望 ・ 経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: 配属上必要不可欠 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 春募集時のみ適用 ● 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(熱帯サバナ気候 ) 気温( 15~34 ℃位) 電気(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) 通信( ☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線 ) 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし)				
特記事項	任地では電気・水道・インターネット・電話などのインフラサービスは一応あるが、安定しているわけではない。住環境も首都ほどの環境は望めない。農場での地道な検査などの作業を厭わない根気と体力が必要。				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 024 - 14 - B - 28 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C108 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	派遣希望 期間	派遣希望時期
ラオス	土壌肥料			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
				27 / 2	年 月 から
				27 / 3	
				/	

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 農林省
	2)配属先名 (日本語) ルアンパバン農林短期大学 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 ルアンパバン県パクスアン村 JICA事務所の所在地( <span style="margin-left: 100px;">ピエンチャン市</span> )から 北 方向 400 Km 主要都市( <span style="margin-left: 100px;">ルアンパバン</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="margin-left: 100px;">バス</span> で約 0.8 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 1989年に設立された学生数約560人の短期大学で、3年間の通常コースと、2年間の社会人向けコースがあり、栽培科、畜産養殖科、農業経営科がある。教員数は約110人。外国からの援助は、近年スイスにより、学費支援や教室、教材整備の支援が行われている。年間予算は約2,200万円(職員給与含む)。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ラオスは国民の約7割が農林業に従事しており、村落部ではその割合はさらに高い。そしてその多くは貧困農家で、村落住民の基礎教育の立ち遅れや、土壌侵食の影響、並びに資材不足等に起因して生産性と品質が低い。村落住民の生計向上を目指した対策を進めることが課題となっている。これに対処するため、配属先では校舎を増築し、カリキュラムの整備とともに、実習機材や学内にある約1.5ヘクタールを使ったフィールド実習、ルアンパバン県や近隣県の郡役場・農林局職員などへのブラッシュアップ教育なども積極的に行なおうとしている。係る背景の下、教員のレベルアップに加え、土壌分析の基礎知識と実習経験を身に着けた人材を育成するために、JICAボランティア活動による支援が求められている。JVは栽培学科に所属となる。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.年12回実施される3時間/コマの土壌分析実習授業(生徒40名、5グループに分かれて実施)を同僚教員と分担すると共に、よりわかりやすい実習授業となるよう、改善を進める。 2.学内で行われる土壌改良のフィールド実験コンテストにおける学習意欲と効果が高まるよう、教員及び学生に助言する。 3.同僚教員との意見交換を通じて、ラオス国内(特に山岳丘陵斜面)で実践できるような土壌肥料改良方法を考え、教員及び学生に紹介する。

要 請 概 要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 分光測色計1台(簡易型スイスJENWAY製6320D)、簡易PH計2台、簡易湿度計1台、顕微鏡1台、デジタル秤1台、シェイカー1台、土壌分析実習教室、執務机
	4) 配属先同僚及び活動対象者 栽培学科 学科長(学士、18年、男性、40代) 教員12名(準学士及び学士、3~15年、20~40代) 「土壌分析実習」 担当教員1名(学士、10年、男性、実習室責任者、30代) 受講する学生、1~2年生、男女40人

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( <b>大卒</b> ) ( <b>農学</b> )理由: 短期大学で活動のため ・経験 ( ) ( )理由: 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(熱帯モンスーン気候) 気温( 10~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項 都市部に比べて不便な村落部に住み活動するため、地域住民との友好関係を築きながら環境に順応して生活することが求められる。

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26年 8月 5日

要請番号 ( JL 027 - 14 - B - 07 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C108)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ベトナム	土壌肥料			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 2	年 月 から
1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省					
2) 配属先名 (日本語) タイバック大学農林学部					<input type="radio"/> NGO
3) 任地 ソンラ省ソンラ市					
JICA事務所の所在地( ハノイ市 )から 西 方向 330 Km 主要都市( ハノイ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 9.5 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容					
北西部山岳地域における唯一の総合大学で、地域における人材育成、地方公務員に対するトレーニング、地域社会経済発展に関する研究を目的に、師範短期大学を前身に2001年に設立。幼児・初等教育、経済、行政理論、外国語等の10学部と4研究センターを持ち、教員数約500名、学生数約9,200名。配属先の農林学部は2006年に新設され、農学、造林、応用生物、資源・環境管理、獣医・畜産の5学科からなり、教員数47名、学生数約1,200名である。農林学部の教育、研究能力の向上を目指し、「持続可能な農村開発のためのタイバック大学機能強化プロジェクト」(技プロ)を2011年～2014年の4年間の予定で実施中。					
1) 要請理由・背景					
北西部山岳地域4省(ライチャウ省、ディエンビエン省、ソンラ省、ホアビン省)は、人口の約8割が少数民族で貧困率も高く、貧困削減の重点地域とされており、同大学が北西部山岳地域開発において期待されている役割は大きい。しかしながら大学の歴史も浅く、特に新設された農林学部には、修士を終了した30歳前後の若く経験の少ない教員が多い。同地域では近年急速に拡大している傾斜地でのトウモロコシの大規模単一栽培による土壌浸食や養分流出、農薬や化学肥料の過剰使用による安全性も問題となっている。同状況下、農薬や化学肥料の使用を極力少なくした安全野菜の栽培導入が計画されており、その一環として有機肥料の基礎研究及びその成果の農民への普及・定着が必要とされている。特に、同地域で多く栽培されているが廃棄されているコーヒーの果皮・果肉、トウモロコシの雌穂軸、稲わら等と牛糞を利用した堆肥作成に関わる支援が求められている。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)					
赴任当初は語学力の向上、同僚や学生との関係構築、大学及び地域の現状把握に重点を置き、その後配属先の一員として同僚と協力しながら実施可能なものから支援する。 ① コーヒー果皮・果肉、トウモロコシ雌穂軸、稲わら等を利用した堆肥の簡単で効果的な生産方法の研究を支援する。 ② 上記有機肥料の有効性の検証実験を支援する。 ③ 成果の英文による発表や、農民への普及・定着を支援する。 ④ 学生の実習・実験や講義を担当または支援する。					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等					
実験室、講義室、学内圃場、農林実習センター(大学から約30km)、光学顕微鏡、双眼実態顕微鏡、基本的ガラス器具等					
4) 配属先同僚及び活動対象者				5) 活動使用言語	
副学長(男性/50代/博士) 農林学部長(男性/40代/博士) 農学科長(男性/30代/修士) 肥料担当講師(男性/20代/修士/農業経済が専門) その他農学科講師(男性4名、女性5名/20代5名、30代4名/ほとんどが修士) 実験実習指導技官(男性1名、女性1名/20代～30代/学士、修士)				(ベトナム語 ) 6) 生活使用言語 (ベトナム語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B ) 又は (レベル: )	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)				活動上の単車/自転車の必要性	
・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( 修士 ) ( 農学 ) 理由: 同僚が修士以上のため ・ 経験 ( ) ( ) 理由: ・ 有機肥料に関する経験 理由: 経験に基づく支援が必要なため				<input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況		気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 8~35 °C位)	電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )	水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )	
特記事項		学内の宿舎が提供される。			



事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 16 日

要請番号( JL 060 - 14 - B - 02 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C108 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ネパール	土壌肥料			1年	27 / 1
		ヶ月	/	27 / 3	年 月 から

配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 農業開発省
	2)配属先名 (日本語) カブレパランチョーク郡農業開発事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 カブレパランチョーク郡ドゥリケル JICA事務所の所在地( ラリトプール )から 東 方向 20 Km 主要都市( カトマンズ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 配属先はネパール政府農業局の普及拠点として郡に配置されている農業開発事務所。年間配賦予算は2000万円。配属先では農民に対して農業技術支援、病虫害対策、研修、種子の配布等を行っている。現在野菜栽培JV、村落開発普及JVが活動しており、コンポスト普及、土壌検査、有機栽培の普及、土壌改良などに取り組んでいる。現在活動中ボランティアが取り組んだ活動をさらに発展させることが求められている。

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先が所管する地域は日本によって改修されたバクタプール道路の延長線上にあり、首都カトマンズへの農産物の供給地となっている。しかしながら、配属先管轄地域の農家は農薬や肥料に関する知識が十分でなく、農薬の過剰散布や不適切使用、また過度の作付けによる地力低下がみられる。安全な農作物の供給は喫緊の課題となっており、そのような状況を改善するため、有機肥料に関する知識と経験を持ったボランティアの要請に至った。当要請は主に土壌改良を目的として要請された案件で、有機肥料や家畜排泄物を肥料として適切に管理することで有効活用し、化学肥料の使用を減らすことが求められている。また同郡はJICAの建設するシンズリ道路の入り口に位置することから、シンズリ道路沿線地域農家への働きかけや、関連プロジェクトとの協働が期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.土壌改良の実施と指導 2.家畜排泄物を利用した堆肥作成、指導、普及 3.野菜栽培隊員と協働し、コンポストの普及 4.土壌関連組織と協働した土壌診断 5.その他、配属先の求める活動
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし

要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 所長(50代男性) 技官、技官補(野菜、果樹、植物病理、農業普及等20-40代男性)11名 その他スタッフ3名 郡内6カ所の支所には各2-3名の技術職員が駐在	5) 活動使用言語 (ネパール語 )
		6) 生活使用言語 (ネパール語 )
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( )理由: 学歴社会のため要活動関連学位 ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由: 実践的な指導が必要なため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 応募時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 0~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 6 月 16 日

要請番号( JL 060 - 14 - B - 03 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C108 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ネパール	土壌肥料			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1

  

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 2) 配属先名 (日本語) カトマンズ郡農業開発事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span> 3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ JICA事務所の所在地( ラリトプール )から 北 方向 5 Km 主要都市( カトマンズ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.5 時間)	
要請概要	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はネパール政府農業局の普及拠点として郡に配置されている農業開発事務所。年間配賦予算は1800万円である。同事務所は管轄地域の農民に対して農業普及、農業技術サポート、病虫害対策、研修及び種子の配布等を行っている。カトマンズ市郡をオーガニックシティにするという目標のもと有機栽培に力を入れている。現在は3代目コミュニティ開発ボランティアが派遣されており、有機栽培の普及に取り組んでいる。	
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先の位置するカトマンズでは近郊農業が盛んであり、園芸作物の需要が増加している。しかしながら管轄地域の農家は農薬や肥料に対する知識が十分でなく、農薬の過剰散布や不適切使用、過度の作付による土壌の劣化が見られる。そのような状況を改善するため配属先では有機栽培促進の必要性を認識しているものの、適切な知識を持った人材がいないため、土壌改良、有機栽培における知識と経験を有したボランティアの要請に至った。活動先は配属先傘下の支所となる予定であり、同配属先に派遣が予定されている野菜栽培ボランティアとの連携が求められている。	
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 土壌改良の実施と指導 2. 堆肥作成、指導、普及 3. 野菜栽培隊員と協働し、コンポストの普及 4. 土壌関連組織と協働した土壌診断 5. その他、販路開拓等、配属先の求める活動	
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし	
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 所長(40代、男性) 技官、技官補、(野菜、果樹、植物病理、農業普及等20~50代)10名 その他スタッフ4名 郡内の7ヶ所の支所には各2-3名の技術職員が駐在	5) 活動使用言語 (ネパール語 ) 6) 生活使用言語 (ネパール語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( ) 理由: 学歴社会のため要活動関連学位 ・経歴 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 実践的な指導が必要のため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 0~35 ℃位) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )	電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )
特記事項		



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 306 - 14- B - 14 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C108 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ボリビア	土壌肥料			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 2	
				27 / 3	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 環境・水資源省				
	2) 配属先名 (日本語) コマラパ市役所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 サンタクルス県コマラパ市 JICA事務所の所在地( ラパス市 )から 南東 方向 800 Km 主要都市( サンタクルス市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 6 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 コマラパ市は人口約19,000人、イチゴ、リンゴ、モモ等の果樹栽培が盛な地域である。配属先は職員数60名体制で、コンポスト場の担当は1名である。同市では、NGOの支援により、ごみの分別回収やごみの堆肥化等の活動を実施し、生産された堆肥は市内の農家へ販売されている。市の年間予算は約380万米ドル(2014年)。また、同市には、保健師1名(1998～2000:病院)、村落開発普及員2名(2002～2004:市庁、2005～2007:市役所)の3名のボランティアが過去に派遣されていた。草の根技術協力事業「バジェグランデ市を対象にしたごみリサイクルプロジェクト」との連携した活動も期待されている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同市では、NGOが環境改善のプロジェクトを実施し、5000世帯中800世帯の家庭と市場で生ごみの分別回収が行われており、それらの生ごみは堆肥化(コンポスト)され、販売されている。また、家庭のし尿を堆肥化する活動も行っている。販売している堆肥の質には改善の余地があり、適切なミネラルやイオン量等の成分を考慮した果樹栽培に適した堆肥となるよう、現状以上に水分・栄養・酸素のバランスを考えた堆肥作りの指導が期待されている。また、果樹農家へのミズ等を利用した有機肥料の作成指導、生ごみの分別回収率の向上なども期待され、今回のボランティアの要請に至った。なお、同市には、2014年7月に環境教育ボランティアが派遣予定。また、果樹栽培の協力隊員が同時に要請されており、生ごみの回収・堆肥化の活動が地域の環境改善の一助となるよう、各職種のボランティアとの連携した活動も期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 地域住民の環境に関する意識改革を促すために、カウンターパートと地域を巡回し以下の活動を行う。 1.生ごみの分別回収率の向上をめざし、地域住民に対し、生ごみの分別回収に関する講習会等を実施する。 2.市内のコンポスト場において、適切なミネラルやイオン量等の成分を考慮した果樹栽培に適した堆肥となるよう、現状以上に水分・栄養・酸素のバランスを考えた堆肥化を指導し、堆肥の質の向上支援を行う。 3.市内の農家への、ミズ等を利用した有機肥料の作成指導を行う。 4.カウンターパートが農家への有機肥料の作成指導を自ら行えるよう教材作成、活動支援を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 市役所内執務室、事務机、パソコン、プリンタ				
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( )( )理由: ・経歴( )( )理由: ・有機肥料の作成・使用経験2年以上 理由:農家への指導が必要なため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外	
地域概況	気候(亜熱帯気候 ) 気温( 10~35 ℃位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	巡回型(市役所備上の車両にて移動)				



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 8 月 3 日

要請番号( JL 318 - 14 - B - 17 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C108 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	
エクアドル	土壌肥料			1年		日系/短期
				ヶ月		年 月 日

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) スークレ中・高等学校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 マナビ県スークレ市 JICA事務所の所在地( キト市 )から 南西 方向 390 Km 主要都市( マンタ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 スークレ市は当国の海岸部にあるマナビ県の内陸部(標高約360m)の半乾燥地帯に位置する。配属先は1966年に設立され、農業・畜産科と情報科がある。2013年現在、同校では60名の教員(非常勤含む)が勤務しており、農業・畜産科に4名の技師が在籍している。生徒数は全日制課程が1,100名、夜間制課程が100名。農業・畜産科は109名(15～18歳)である。外国からの援助はない。年間予算は学校全体で約90万米ドル(2013年)。

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では、校外(車で15分程度)に約6haの農場を所有し、柑橘類、カカオ、バナナ、トウモロコシ、コーヒー、野菜類を栽培している。灌漑には農場に接する川の水を利用しているが、乾季には水が枯渇するため、井戸水を利用している。農場では現在、農場の土壌に関するデータがなく、適切な施肥が行えないことが課題となっている。土壌分析に関しては任地にある国立農牧研究所(INIAP)に依頼する予定であるが、土壌サンプリングの地点選定、土壌分析結果の解釈を行うことができる人材が不足しており、土壌に適した肥料作成が困難であることから、この分野におけるボランティアの協力が求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先農業・畜産科の教員とともに下記の活動を行う。 ①配属先が所有する農場での土壌サンプリング地点の設定及びサンプリング採取 ②土壌分析の解釈 ③農場に適した有機肥料の作成 ④近隣農家への土壌改良についての指導

要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 校外の農場、灌漑用ポンプ、コンピュータ、プリンタ
---	---

要	4) 配属先同僚及び活動対象者 農場担当教師(50代男性、農業技師、経験20年) 活動対象者: 農業・畜産科生徒及び地域の農家	5) 活動使用言語 ( スペイン語 )
		6) 生活使用言語 ( スペイン語 )
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( <b>男性</b> )理由: 配属先職員が男性であるため。 ・学歴( <b>大卒</b> )( <b>農学</b> )理由: 高度な知識が求められる ・経験( <b>実務経験</b> )( <b>2年以上</b> )理由: 高度な知識が求められる 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 15~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 3 日

要請番号( JL 318 - 14 - B - 18 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C108 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
エクアドル	土壌肥料			● 2 年	27 / 1	年 月 から
				○ 1 年	27 / 2	
		○ ヶ月	27 / 3			

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) 国立エル・チャコ技術学校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ナボ県エル・チャコ市 JICA事務所の所在地( キト市 )から 東 方向 110 Km 主要都市( キト市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 任地のエル・チャコ市は当国中東部のアマゾン地域(標高約1,500m)にあり、年間降水量は約2,600mmである。主要産業は農業で、牧畜(乳牛)が盛んである。配属先は1982年に設立された中高一貫校で、普通科のほかに農業科がある。2013年現在、生徒数は全体で702名。農業科の生徒は75名で、教員が5名勤務している。農業科の予算は年間約6万米ドル。当国最大の水力発電プロジェクト実施機関から40万ドルの援助及び当国農牧漁業省からの指導を受け、農場整備を計画している。また、当国農牧研究機関や地元大学、市と連携して各種活動を行っている。

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先の農業・畜産課では、同校近くのルミパンバ地区に6haの農場、車で20分程度のリナーレス村に9haの農場を所有している。ルミパンバ地区の農場では、現在乳牛のための牧草栽培を行っているが、水力発電プロジェクトの実施機関からの支援により、植林・果樹用の苗畑やトマト栽培用温室の建設、マスの養殖池や養豚場・養鶏場等の建設を今後予定しており、将来的に総合農場としていく計画にある。また、リナーレス村の農場では農村観光を展開する計画もある。他方、配属先の農業担当教員は、畜産、野菜・果樹栽培、病害虫を専門としており、土壌を専門とする教員がおらず、今後農場整備を実施していくにあたり、土壌分野への支援が必要とされていることからボランティアが要請された。なお、ルミパンバ地区の農場は、地理的に生態保護区管理地域に隣接しているため、環境負荷の少ない施肥方法についての助言も期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の農業担当教員および農業科生徒に対し、下記のプロセス全般について助言、指導を行う。 ①農場の土壌(hidrandepts)に適した牧草用、野菜・果樹栽培用有機肥料の作成。 ②緑肥の作成と土壌への鋤き込み。 ③液肥の作成。 可能であればミズ堆肥についての指導も行う。

要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農場(肥料、堆肥用区画)、事務用品					
	<table border="1"> <tr> <td>4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先農業担当教員5名(30代~40代、全員大卒以上) 活動対象者: 農業担当教員、農場管理助手、農業科生徒</td> <td>5) 活動使用言語 ( スペイン語 )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6) 生活使用言語 ( スペイン語 )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )</td> </tr> </table>	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先農業担当教員5名(30代~40代、全員大卒以上) 活動対象者: 農業担当教員、農場管理助手、農業科生徒	5) 活動使用言語 ( スペイン語 )		6) 生活使用言語 ( スペイン語 )	
4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先農業担当教員5名(30代~40代、全員大卒以上) 活動対象者: 農業担当教員、農場管理助手、農業科生徒	5) 活動使用言語 ( スペイン語 )					
	6) 生活使用言語 ( スペイン語 )					
	7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )					

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由: 配属先教員が男性である。 ・学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 農業・畜産科で指導するため ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 農業・畜産科で指導するため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 20~35 ℃位) 電気(●安定 ○不安定 ○なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道(●安定 ○不安定 ○なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号 ( JL 060 - 14 - B - 12 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C109 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
ネパール	農業協同組合		<input type="radio"/> 27 / 1 <input type="radio"/> 27 / 3 <input type="radio"/> /	年 月 から	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 協同組合・貧困緩和省				
	2) 配属先名 (日本語) ジュナール中央協同組合連合会				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 シンズリ郡シンズリマディ JICA事務所の所在地( ライトプール )から 南 方向 150 Km 主要都市( カマンズ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 7 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はジュナール(ネーブルオレンジに似た柑橘類)栽培農家の全国連合会であり、ジュナールの生産、流通及び販売を担う農業協同組合連合会として事業を行っている。 活動先はシンズリ郡に所在するジュナール栽培農家の協同組合である。同組合は関連施設としてジュナール冷蔵センターを持ち、組合員研修、生産指導及び販売支援を通じて農家の収入向上支援を行っている。年間予算は約30万円。2013年11月には事務所近くに組合販売店舗が開店し、組合員の生産した作物の販売を開始した。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ジュナールについては約20年前にJICAのHDP(Horticulture Development Project)農業支援により、日本のカラタチを台木とする接木技術がネパールに導入された。その結果品質が安定し、生産量が伸び、ジュナール生産が飛躍的に発展し始めた。シンズリ地域では1996年より交通アクセスを改善し、沿線地域の社会・経済活動の活性化と地域住民の生活向上をめざす無償資金協力「シンズリ道路建設計画」が実施されており、相乗効果が期待されている。現在活動中のボランティアは協同組合強化、店舗運営指導、販路開拓等を行っている。2013年9月には近隣郡にてカンキツグリーンング病が発見されたため、郡農業開発事務所と協力しながら対策を進めることが求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.ジュナール生産者組合の活動促進、グループ化促進 2.組合店舗運営改善、商品の調達 3.組合参加による利点を明確にし、販路開拓、販売強化を行う。 4.郡農業開発事務所、他ボランティアと協働し、病虫害対策、品質改善のための研修等を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし。				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 理事長 1名 (30代男性) 理事 9名、常勤職員 3名  シンズリ事務所(活動先) 常勤職員2名			5) 活動使用言語 (ネパール語 ) 6) 生活使用言語 (ネパール語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( ) 理由: 学歴社会のため ・経歴 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: 協同組合についての知識が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要  現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域 概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 5~45 ℃位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記 事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号( JL 048 - 14 - B - 15 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C141 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	● 2 年	JOCV/SV	
ブータン	農業機械			○ 1 年	27 / 1	日系/短期 年 月 から
				○ ヶ月	27 / 2	
			27 / 3			

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林省
	2) 配属先名 (日本語) カンマ農業機械化センター <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 タンガン県カンマ村 JICA事務所の所在地( ティンブー市 )から 東 方向 580 Km 主要都市( タンガン町 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1.0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 農業人口が減少傾向にあるなか、自給率の改善、換金作物の生産向上が開発課題となっている。効率的な農業技術開発並びに普及のため、農業機械化の促進を目指して農業機械化センター(AMC:Agriculture Machinery Centre)が1983年に設立され、農機具の販売や修理、トレーニングのフォローアップなどを継続して実施している。年間予算は約1,540万円。

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では、農業従事者に対して耕運機やトラクターをはじめとする農業機械のメンテナンスや販売サービスを実施している。2013年7月から開始される第11次五か年計画においても換金作物の増産が目標の1つとなっており、機械の導入は課題達成のための効果的な手段として期待されている。今後、専門家の派遣を視野に入れたJICA技術協カプロジェクト「農業機械化強化フェーズⅡ」案件も開始予定であり、将来的には同プロジェクトと連携した活動も期待されている。このような状況において農業従事者の視点に立った修理サービス向上という技術的な協力を行うと同時に、農業機械化促進のためのシステム構築、データ収集という役割を側面支援するためJVの要請に至った。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは配属先スタッフと協力し以下の活動を行う。 1. 農業機械(主に、耕運機やトラクター)の効率的な貸出し、普及方法の構築ならびに維持管理のためのアドバイス、提言 2. 上記機械における修理サービスの提供、および同作業を通じた配属先スタッフの能力強化、技術力向上支援 3. 農業従事者に対する上記機械の使用、管理方法指導	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 耕運機(KUBOTA K120など)、日本製田植え機、インド製トラクターや精米機など、基本的な修理工具や農業機械	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・配属先長(男性:50代) ・同僚スタッフ総勢11名(全員男性:30~50代)(実務経験11年~30年)  活動対象 ・配属先スタッフおよびブータン全土から講習等で集まる農業従事者	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 高卒 )( 機械工学 )理由:専門的な知識が必要 ・経験( 実務経験 )( 5年以上 )理由:幅広い知識・経験を要するため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 0~30 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )
------	--

特記事項	特になし
------	------



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 324 - 14 - B - 17 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C141 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
パラグアイ	農業機械				27 / 1
				27 / 2	年 月 から
				/	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省				
	2) 配属先名 (日本語) 農業機械センター				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ピラポ市 JICA事務所の所在地( アスンシオン )から 南東 方向 430 Km 主要都市( エンカルナシオン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 イタプア県庁が管轄する農業機械専門の技術訓練学校。設立は1982年。設立当時にはJICAからも設備支援を行った経緯がある。3年制であり、1,2年生で校内で居住しながら、農業機械に関する基礎的知識や実習等を学んだのち、最終学年ではインターンとして10か月の間国内の企業で職場体験をおこなうカリキュラムとなっている。生徒数130名(全員男性)、予算は年間20万ドル(2013年現在)				
要請概要	1) 要請理由・背景 同センターはイタプア県庁と農牧省とが管轄しており、現在は10人の教師陣が生徒の指導に当たっている。センターの教師は資格も持ち、経験豊かなベテランではあるが、新しい技術や知識を学ぶ機会がないまま長年指導を続けているのが現状であり、教師のレベル向上が求められている。またパラグアイでも近年GPS等を用いる効率的で合理的な作業、収穫を目指した「精密農業」といわれる農法が急速に普及しつつあり、農協関連企業等ではその知識・技術をもつ人材が求められている。 学生もインターンとしての実習時にはその基礎知識が必要となることから、センターでも指導科目に加え、学生に「精密農業」に関する全般的な基礎知識を指導したいと考え、教員への指導と共に、生徒への授業内容を組み立てることのできる人材支援を求めたことから今回の要請となった。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 生徒に対し、各種農業機械全般の構造・作動・操作に関する授業・実習をカウンターパートと共に行う。 2. カウンターパートに対し、GPS等を用いた「精密農業」について、日本での経験をふまえて一般的な知識を教授する。 3. カウンターパートと協力して、生徒に対し「精密農業」全般についての基礎知識を指導する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用農業機械・・・トラクター(80-100馬力)、ディスクハロー、サブソイラー、噴霧機、播種機 エンジン電気系統学習のためのテスター				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート(男性 50代 農業修士) 同僚教師5名(農業修士技術者3名をふくむ)			5) 活動使用言語 ( スペイン語 )	
				6) 生活使用言語 ( スペイン語 )	
地域概況	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( 男性 ) 理由: 校内に居住する必要があるため ・学歴( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 農業全般、農業機械の専門知識要 ・経験( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 経験年数で判断する習慣がある 理由:			7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
特記事項	学校の敷地内で生徒と生活し、活動を行う環境となります。				





長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 506 - 14 - B - 18 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C141 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
エチオピア	農業機械					
1) 受入省庁名 (日本語) ティグライ州農業・農村開発局						
配属先	2) 配属先名 (日本語) 調達・農産物流通部 農業機械担当				<input type="radio"/> NGO	
先概	3) 任地 ティグライ州メケレ JICA事務所の所在地( アディスアベバ )から 北 方向 770 Km 主要都市( メケレ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
要	4) 配属先の規模・事業内容 ティグライ州の農業行政の中心となる機関で、州内の県・市町村の農業事務所を通した、農業技術の普及、資機材の供給、農産物の市場開拓、農業協同組合の支援等を行っている。農業機械担当は、局が所有する農業機械や灌漑施設の保全・管理、農業の機械化による生産性の向上等を主な業務としている。同局では、JICAの「草の根技術協力」プロジェクトで「農作物多様化・改良農業技術促進事業」が行われている他、KOICAボランティアのグループ派遣やIFAD(国際農業開発基金)の資金援助等も受けている。局全体の年間予算は約200万米ドル。					
要	1) 要請理由・背景 ティグライ州では人口の85%が農業に従事しており、農業が州のGDPの57%を占めている。主要な農産物はソルガム、テフ、大麦、シコクビエ、小麦、メイズや豆類であるが、これらの農産物の平均生産量は1ヘクタール当たり0.8トンとエチオピア全体平均である1.2トンに比べ著しく低い。生産性を向上させ、食糧自給率を上げる(食糧安全保障の向上)ことが求められており、現在進行中の「草の根技術協力」では、コメに代表されるより生産性の高い代替作物の普及や適切な保存・加工技術の導入を進めている。生産性を向上させるためには、生産工程をできるだけ機械化し、その機械を適切に保守・管理する必要がある。管理、運用方法や故障した場合の初期段階での対処法を普及員や農民に定着させると共に、マニュアル化することが求められている。					
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先が所有する農業機械や交換部品の管理台帳の改善 2. 各種農業機械の操作・保守マニュアルの作成 3. 傘下の農業事務所に所属する技術者や農家を対象にした研修の実施 4. 新たな農業機械の導入への助言や農家へのデモンストレーションの支援					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 シードクリーナー、脱穀機、精米機、ポンプ他					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 調達・流通担当担当副局長(男性) 同僚1(男性、修士、経験20年) 同僚2(男性、短大卒、経験15年) 傘下の各農業事務所普及員(ほとんど男性、短大卒～大卒) 農民		5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( 機械工学 )理由: 基本的な専門知識は必要 ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由: 経験に基づく助言・提案が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(ステップ気候 ) 気温( 10~30 ℃位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )					



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 8 日

要請番号( JL 006 - 14 - B - 29 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国籍	職種 (コード C151)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	27 / 1
インドネシア	農産物加工			1年	27 / 2
			ヶ月	27 / 3	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省				
	2) 配属先名 (日本語) バンタイン県農業局				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 南スラウェシ州バンタイン県 JICA事務所の所在地( ジャカルタ首都特別州 )から 北東 方向 1400 Km 主要都市( マカッサル市 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 3 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 南スラウェシ州南部に位置するバンタイン県は州内で最も小さい県で、人口18万人、その75%が農業に従事しており、県収入のほとんどを農産物が占めている。県農業局は、競争力があり、持続可能で環境に優しいアグリビジネス・システムの開発による農家の収入向上を目指しており、このために資源(土地及び水)の利用の最適化、農産物の生産性改善、川上産業(特に種苗場等)の開発等に力を入れている。県農業局の年間予算は計約3億6千万円(国家予算7,000万円、州予算1億1,000万円、県予算1億5,000万円、特別予算3,000万円)。				
要請概要	1) 要請理由・背景 県農業局は、農加工品工場を所有しており、主に女性グループによって、農業局が農家から買い取った野菜(ジャガイモや人参、トウモロコシ等)の加工がおこなわれている。工場の機械はシンプルなものであるが、カッティングの厚さや大きさが均一でない、味付けが単調である等多くの課題を抱えている。県農業局では、農産品加工物の品質向上及び販路の拡大により、農家の収入を向上することを望んでおり、このために支援できる人材を求めて、今回JVの派遣を要請した。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の同僚とともに以下の活動を行う。 ・現在女性グループが生産する野菜チップス等の食品加工品に関する技術指導。 ・現在、県農業局が力を入れている里芋の加工のための技術指導。 ・衛生的な包装の指導。 ・農産物加工品の販促支援。 ・地元農産物を使用した新商品の開発。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 カッティング機、フライ機、パッケージング機等。				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚:男性3名(うち1人は40歳代、2人は30歳代) 活動対象者:女性グループ(20歳代~40歳代)			5) 活動使用言語 ( インドネシア語 )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴( 大卒 ) ( ) 理由:先方政府の意向 ・経歴 ( ) ( ) 理由: ・ 理由:			6) 生活使用言語 ( インドネシア語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )	
地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 18~25 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
	特記事項 インドネシア側における査証手続きの問題により、他の国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。			現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 506 - 14 - B - 16 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C151 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
エチオピア	農産物加工			◎ 2 年	27 / 1	年 月 から
				○ 1 年	27 / 2	
		○ ヶ月	27 / 3			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ティグライ州農業・農村開発局
	2) 配属先名 (日本語) 普及部 ポストハーベスト担当 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ティグライ州メケレ JICA事務所の所在地( アディスアベバ )から 北 方向 770 Km 主要都市( メケレ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 ティグライ州の農業行政の中心となる機関で、州内の県・市町村の農業事務所を通した、農業技術の普及、資機材の供給、農産物の市場開拓、農業協同組合の支援等を行っている。ポストハーベスト担当は、収穫後の農産物を有効活用するための保存方法や加工技術の普及を主な業務としている。同局では、JICAの「草の根技術協力プロジェクト」で「農作物多様化・改良農業技術促進事業」が行われている他、KOICAボランティアのグループ派遣やIFAD(国際農業開発基金)の資金援助等も受けている。局全体の年間予算は約200万米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ティグライ州では人口の85%が農業に従事しており、農業が州のGDPの57%を占めている。主要な農産物はソルガム、テフ、大麦、シコクピエ、小麦、メイズや豆類であるが、これらの農産物の平均生産量は1ヘクタール当たり0.8トンとエチオピア全体平均である1.2トンに比べ著しく低い。生産性を向上させ、食糧自給率を上げる(食糧安全保障の向上)ことが求められており、現在進行中の「草の根技術協力」では、コメに代表されるより生産性の高い代替作物の普及や適切な保存・加工秘術の導入を進めている。収穫物の長期保存を可能にし、さらに付加価値を生み出せるような加工技術の導入が求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 州内の農産物を利用した高付加価値商品開発への提案 2. 農産物の長期保存を可能にする様な農産物加工の提案 3. 現場の普及員や農家を対象にした農産物加工の紹介や研修の実施 4. 農産物加工技術の普及による農村女性の能力向上支援
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし

4) 配属先同僚及び活動対象者 普及担当副局長(男性) 同僚(女性、大卒、経験20年) 傘下の各農業事務所普及員(短大卒～大卒) 農民	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )
---	--

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( )理由:他のスタッフとのバランス ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由:経験に基づく助言・提案が必要 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 在募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(ステップ気候 ) 気温( 10~30 °C位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	
----------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 012 - 14 - B - 17 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
フィリピン	家畜飼育			1年	27 / 1
		ヶ月	27 / 2	年 月 から	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局
	2) 配属先名 (日本語) 東ネグロス州マンフヨッド町農業事務所酪農振興プログラム <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 東ネグロス州マンフヨッド町 JICA事務所の所在地( マニラ )から 南 方向 540 Km 主要都市( ドゥマゲッティ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 マンフヨッド町は東ネグロス州中部の海岸を有する人口約4万8千人の町。27の村(バランガイ)から成る。町役場農業事務所酪農振興プログラムは、2012年に農業事務所の中の畜産部門が分離してできた事務所。現在職員4名で運営。本年度の予算規模は160万円程度。主に農家への牛/水牛の人工授精サービス、家畜の各種ワクチン接種、家畜飼養管理に係る研修、家畜市場の運営管理、狂犬病ワクチン接種等の他、社会福祉事務所との連携にて栄養失調の幼児に対して牛乳を無料で支給するプログラムにも取り組んでいる。外国からの援助は、これまで農業事務所にJV(村落開発)による支援を2010年から継続中。

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では、酪農を中心とした家畜飼育の振興を通じた地域住民の生活の向上を目指している。主要事業である酪農振興プログラムでは、現在町内13のバランガイ(農家戸数2600戸、牛/水牛飼養頭数約4,000頭)をターゲットとして酪農振興を行い、牛乳を農家から買取りこれを無料で栄養失調の幼児に支給する取組をしている。しかしながら、農家の乳生産量は少なく、実際に提供できる牛乳も限られているのが現状。農民は、複合農業の一環として牛/水牛の飼養をしているのが実態であり、農家における乳牛の飼養管理の改善、人工授精を通じた遺伝的改良、牛乳加工所の設置(本年予定)等により、プログラムの推進を図りたい意向が強い。また、配属先は、中小家畜(ヤギ、豚、鶏)飼養についての農民への技術支援も実施しているが、これについても改善を図りたい意欲が高く、JVによる協力が求められた。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 農家に対し、家畜の飼養管理技術、飼料作物(ネピアグラス、スタイロ等)栽培に係る指導/助言を行う。 ② 農家に対する家畜飼育に係る各種技術研修/セミナーの企画、運営を支援する。 ③ 同僚と共に農民に対する牛/水牛の人工授精サービスに協力する。 ④ 家畜に対する各種ワクチン接種の支援を行う。

要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、PC(共有)、顕微鏡、凍結精液ストロー貯蔵用液体窒素コンテナ、大型冷凍庫、冷蔵庫
	4) 配属先同僚及び活動対象者 農業事務所酪農振興プログラム 主任:50代 男性 人工授精師(22年前にJVと働いた経験あり) その他職員:畜産技師2名(男性1名 50代、女性1名 20代)、事務職1名(女性 20代)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 短大卒 )( 畜産学 )理由:同僚とのバランス ・経験( )理由: ・ 牛の人工授精の経験 理由:活動の一部となっているため	活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要)
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 23~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 4 日

要請番号( JL 024 - 14 - B - 05 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 2 27 / 3 /	日系/短期 年 月 から
ラオス	家畜飼育					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林省					
	2) 配属先名 (日本語) セコン県農林局				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 セコン県ラマム郡 JICA事務所の所在地( ビエンチャン )から 南東 方向 800 Km 主要都市( パクセ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 県農林局は、畜水産課、普及課、計画協力課、総務課等があり、職員は150名。これまでボランティア(カナダ)1名、JOCV 養殖隊員等3名受け入れた。ボランティアは畜水産課に配属される。約15km離れた場所に飼育ステーションがあり、養殖、養豚、アヒルが飼育されている。1997年に国連食糧農業機関(FAO)の支援を通じて建設され、2008年に草の根無償資金協力で改善工事が行われた。年間予算は5,000ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 県内に多くの貧困地域を抱えるセコン県では、畜産は重要な収入源であるが、家畜飼養管理技術の水準は未だ低い状況にあり、その原因として特に乾季の飼料確保不足や、家畜の健康管理に関する知識が不十分であることが指摘されている。配属先は地域の農家に対して家畜飼養管理技術の改善と普及を推進したいが、局内の業務は行政処理(事務)が中心であり、スタッフの実技能力を向上する手段と機会が少ないため、ボランティアによる実務能力の改善が期待されて要請に至った。なお、セコン県は2011年から開始された「南部山岳丘陵地域生計向上プロジェクト」の対象県でもあり、プロジェクトとの連携も想定される。ボランティアが多く取り扱うのは、水牛、肉牛、ヤギ、豚の順に分類されている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 農林局スタッフおよび農家に対し、飼育管理方法の問題点の把握と改善案の立案・指導を行う。 2. 乾期の飼料確保のために、暖地型牧草の栽培技術・乾草・サイレージ・未利用資源・放牧体系の活用を提案・指導する。 3. 家畜(反芻動物、肉生産用)の増体および肉質改善に向け、遺伝的改良のアドバイスを行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務机					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 畜水産課 獣医師 2名 30代(経験10年) 家畜飼育員 2名 30代(男性、経験10年)			5) 活動使用言語 ( ラオス語 ) 6) 生活使用言語 ( ラオス語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: スタッフや農民に対する指導のため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
	地域概況 気候(サバナ気候 ) 気温( 15~40 ℃位) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )			電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号 ( JL 106 - 14 - B - 07 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	27 / 1
フィジー	家畜飼育			1年	27 / 2
			ヶ月	27 / 3	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省
	2) 配属先名 (日本語) 農業局 ナワイゾンバ農業試験場 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ナワイゾンバ JICA事務所の所在地( スバ市 )から 北西 方向 190 Km 主要都市( ナンディ町 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 農業局は国内7か所に農業試験場を有し、フィジーに適した穀物、野菜、果樹、家畜、農業機械、雑草・害虫駆除の調査研究を実施しているほか、種子や繁殖用家畜の生産・配布も行っている。ナワイゾンバ農業試験場は、ビチレブ島西部地域の内陸に位置し、家畜を中心とした調査研究を行うほか、海外から輸入された家畜の検疫業務も担っている。家畜部門においては、羊、山羊、牛牧草の研究を主に実施している。 384haの敷地を持ち(3分の1しか利用されていない)、羊722頭(雄羊108頭、雌羊383頭他)、牛71頭(雄牛53頭、雌牛18頭)を有する規模の農場試験場である。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 フィジー政府はビチレブ島北東部地域に対して、農畜産物を無税とする特例措置を設け、一次産業の活性化に努めている。同農業試験場は、畜産品の生産量と質の向上を目指し調査研究を担っており、特に、羊や山羊(食肉としての飼育)、乳牛、肉牛の品質・生産量の改善と、牧草の研究を行っている。フィジー国内で消費される羊肉は1万トン/年と算出されているが国内生産は100トンであり、農業省は2014年までに生産量を6千トンと掲げているが、繁殖用羊の供給が全く追いついていない。品種改良も期待されているが、自然交配の管理を実施する程度に留まっている。1991年、Fiji Fantasticという品種が開発されたが(Wiltshire HornとBarbados Black Bellyの交配)、以降、品種改良も進んでいない。このような背景から JICAボランティアの要請に至った。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 優秀な繁殖用羊、山羊の生産を目的として、以下の活動を行う。 1. 羊、山羊の人工授精の行程を確立し、成功率を高めることで、繁殖用羊・山羊の供給を改善する。 2. 近隣の養豚・畜産農家に対して、家畜の飼育方法指導や人工授精の巡回を実施する。 3. 海外(オーストラリア、ニュージーランドなど)から優良種の冷凍精液を輸入、品種改良も計画されており、アドバイスをを行う。また、受精卵移植も将来的に検討されており、受精卵の輸入、移植の可能性について模索する。 4. 他農業試験場を巡回、人工授精の指導を行う。 5. 上記の活動を通じて、配属先スタッフのスキルの向上を図る。

要 請 概 要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コロニア農業試験場が所有する機材を共有(液体窒素、冷凍精子輸送用容器、種付け機材、オートクレーブ、保温器、妊娠判定機、顕微鏡、薬品等)。2013年度より順次、機材を同農業試験場でも調達計画。
	4) 配属先同僚及び活動対象者 リサーチオフィサー男性1名(羊担当:30代、経験12年) 家畜技師男性1名(羊担当:50代、経験30年) 技師アシスタント女性1名(羊担当:20代、経験3年)

要 請 概 要	5) 活動使用言語 ( 英語 )
	6) 生活使用言語 ( その他 )
	7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由: 僻地のため ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 実戦的な指導に必要 ・ 家畜人工授精師免許 理由: 活動に必要な資格	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 20~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	---

特記 事項	※配属先から提供される住居に同性のJVと2、3人で同居となるか、もしくはホームステイになる可能性がある。
----------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 106 - 14 - B - 08 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
フィジー	家畜飼育			1年	27 / 1	日系/短期
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3	年 月 から	

配属先

1) 受入省庁名 (日本語) 農業省

2) 配属先名 (日本語) 農業局 ナワイゾンバ農業試験場  NGO

3) 任地 ナワイゾンバ  
 JICA事務所の所在地( スパ市 )から 北西 方向 190 Km  
 主要都市( ナンディ町 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)

4) 配属先の規模・事業内容  
 農業局は国内7か所に農業試験場を有し、フィジーに適した穀物、野菜、果樹、家畜、農業機械、雑草・害虫駆除の調査研究を実施しているほか、種子や繁殖用家畜の生産・配布も行っている。ナワイゾンバ農業試験場は、ビチレブ島西部地域の内陸に位置し、家畜を中心とした調査研究を行うほか、海外から輸入された家畜の検疫業務も担っている。家畜部門においては、羊、山羊、牛、牧草の研究を主に実施している。  
 384haの敷地を持ち(3分の1しか利用されていない)、羊722頭(雄羊108頭、雌羊383頭他)、牛71頭(雄牛53頭、雌牛18頭)を有する規模の農場試験場である。

要請概要

1) 要請理由・背景  
 フィジー政府はビチレブ島北東部地域に対して、農畜産品を無税とする特例措置を設け、一次産業の活性化に努めている。同農業試験場は、畜産品の生産量と質の向上を目指し調査研究を担っており、特に、羊や山羊(食肉としての飼育)、乳牛、肉牛の品質・生産量の改善と、牧草の研究を行っている。フィジー国内で消費される羊肉は1万トン/年と算出されているが国内生産は100トンであり、農業省は2014年までに生産量を6千トンと掲げているが、繁殖用羊の供給が全く追いついていない。また、飼育農家においては、飼料給与が適切に行われておらず、発育不良も多いことが生産量の妨げにもなっている。フィジーでは、配合飼料が高価であるため、農家が購入できないことが原因の1つとして考えられている。不足する栄養価の一部を牧草で補えるよう、牧草の普及は喫緊の課題であり、この研究・普及を支援する目的で、JICAボランティアの要請に至った。

2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)  
 現地に適した牧草の研究と普及を目的として、以下の活動を行う。  
 1.食肉用羊、山羊の飼育に適切な牧草の研究。農場内の圃場だけでなく、パイロット農家とも協力しつつ、調査を行う。  
 2.海外(オーストラリア、ニュージーランドなど)から牧草種子を輸入、フィジーの気候に適した品種の選択、種子生産についてのアドバイスが期待される。  
 3.農業試験場を統括するコロニビア農業試験場に配属のSVと協力しつつ、配合飼料による飼育試験を実施する(配合飼料はコロニビア農業試験場より配布される)。  
 4.上記の活動を通じて、配属先スタッフのスキルの向上を図る。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等  
 農作業に必要な機材・道具ならびに牧草研究用圃場。牧草や土壌の分析はコロニビア農業試験場の実験施設へ委託。

4) 配属先同僚及び活動対象者  
 リサーチオフィサー男性1名(羊担当:30代、経験12年)  
 家畜技師男性1名(羊担当:50代、経験30年)  
 技師アシスタント女性1名(羊担当:20代、経験3年)

5) 活動使用言語 ( 英語 )  
 6) 生活使用言語 ( その他 )  
 7) 選考指定言語  
 英語 (レベル: D)  
 又は (レベル: )

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)  
 ・免許/資格 ( )  
 又は ( )  
 ・性別 ( 男性 ) 理由: 僻地のため  
 ・学歴 ( ) ( ) 理由:  
 ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 実戦的な指導に必要  
 理由:

活動上の單車/自転車の必要性  
 單車  自転車  不要

現職教員特別参加制度  
 可 春募集時のみ適用  
 否 SVは通年対象外

地域概況  
 気候(熱帯雨林気候) 気温( 20~35 ℃位) 電気(  安定  不安定  なし)  
 通信(  インターネット可  電話可  無線 ) 水道(  安定  不安定  なし)

特記事項 ※配属先から提供される住居に同性のJVと2、3人で同居となるか、もしくはホームステイになる可能性がある。

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 306 - 14 - B - 11 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ボリビア	家畜飼育					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農村開発・土地省
	2) 配属先名 (日本語) オルロ県庁農牧サービス局 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 オルロ県オルロ市 JICA事務所の所在地( ラパス市 )から 南東 方向 230 Km 主要都市( オルロ市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 オルロ県は標高3700~4000mの高地高原地域に位置しており、寒冷で降雨量が少ないことから、農業分野では、キヌア、じゃがいもなどの栽培や、乳牛・リヤマ・アルパカ・羊の飼育などで生計を立てる零細農民が多数を占める。配属先は、同県における農業振興を目的として、農民への技術支援や、政府や援助団体の資金協力によるプロジェクトの計画・実施などを行っている。2009~2011年にJICA技術協力プロジェクト「高地高原中部地域開発計画」から、地域の気候風土に適した小規模灌漑農業に関する技術指導を受けた。配属先の2013年の予算は約93万米ドル(約9,300万円)。

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先が所有・管轄する「アンデス地域エコロジー農牧開発センター」は、県内の農牧業従事者に対し、研修の実施や展示農場などを通じて農牧技術の指導を行うことを目的として設立された。現在は乳牛約100頭及び羊約200頭を飼育し、配合飼料による栄養改善や人工授精に取り組んでいる。これにより、一日の搾乳量が180リットルから230リットルへ向上し(一頭当り10.5リットル/日)、また今年は人工授精による双子の牛が初めて誕生するなど少しずつ成果が上がっている。しかし、センターの農業技術者の持つ家畜飼育についての知識や技術は十分とは言えず、またセンターの運営予算も限られていることから、配属先では、飼育環境、衛生管理、配合飼料などについての正しい知識や、限られた予算でも飼育状況を改善する方法があれば学び、また、これらの知識や技術についての簡単な講習会や展示会の実施を通じて地元の農家に普及したいと考えている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先及び勤務地であるセンターの同僚と協力して、以下の活動を行う。 1.センターで飼育されている乳牛の飼育状況を観察し、飼育環境、栄養・衛生管理などについて、予算の乏しい農家などでも改善できるアイデアを提案し、現場で技術指導を行いながら実施を支援する。 2.周辺の農家を訪問し、乳牛の飼育の実態を把握した上で、改善指導が可能なテーマを設定し、センターで講習会や展示会などを開催し、技術の普及を支援する。

要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 センター敷地内の施設・設備の全て(牛舎、管理棟、会議場、野菜栽培用温室、放牧地、飼料配合器、搾乳機、健康管理キット(家畜用体温計、聴診器、簡単な薬品やビタミンなど)
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先長(40代、男性、大学院卒、農業・高地高原の畜産が専門) アンデス地域エコロジー農牧開発センター職員(20~50代、農業技術者6名、助手8名、いずれも男性。) なお、食品加工の専門職員はいない。 5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 畜産学 ) 理由: 同僚とのバランスから必要 ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 業務上必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(高地寒冷気候) 気温( -10~20 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項 標高3700~4000mの高地に位置し、年間を通じて寒冷な気候であるため、相応の体力が必要。  
学歴については大卒・獣医学でも良い。



事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 6 日

要請番号( JL 318 - 14 - B - 01 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	日系/短期
エクアドル	家畜飼育			2年	27 / 1	年 月 から
				1年	27 / 2	
ヶ月	27 / 3					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧漁業省
	2) 配属先名 (日本語) 農牧漁業省ゾーン3畜産部 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 チンボラソ県リオバンパ市 JICA事務所の所在地( キト市 )から 南 方向 200 Km 主要都市( キト市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 農牧漁業省ゾーン3はチンボラソ県を中心とした4つの県(他にトゥングラウア県、コトパクス県、バスタサ県)を管轄する事務所、養殖部は地域の養殖産業の振興・活性化を担う部門として、養殖振興プロジェクトの策定、各地区配属の現地技術者たちへの指導などを行っている。2014年予算は農業畜産部と養殖部を合せて26万米ドル。養殖部配属の獣医師が2012年JICA本邦研修(青年リーダー育成・農村開発)を修了している。 <a href="http://www.agricultura.gob.ec/">http://www.agricultura.gob.ec/</a>

要請概要	1) 要請理由・背景 エクアドル農牧漁業省の畜産部門では国レベルで、牛肉・牛乳の生産性向上を目的とし、中小規模の畜産農家を対象に品種改良、移動診療所システムを導入している。ゾーン3畜産部は118名の若手畜産技師(一部獣医師)を管轄4県の村落部に配置し、人工授精、技術協力、家畜飼育に関する研修などを行っている。また、緊急事態に対応できる、超音波診断器(エコー装置)、顕微鏡、家畜用薬品を搭載した移動診療車を7台所有して、地域農家への対応に当たっている。品種改良部門については、人工授精用機器を100台余り所有している。この生産性向上プロジェクトは2012年に開始したが、配置されている畜産技師の経験が少ないことと、プロジェクトの円滑な進捗を目的としてボランティアが要請された。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先職員とともに下記の点について、管轄4県に配置されている畜産技師に対し、各地を巡回して実地指導・研修を行う。 ①家畜(牛)の繁殖全般(管理・診断など) ②家畜(牛)の人工授精
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務用品一式、家畜用薬品、人工授精用機器、顕微鏡、超音波診断器

4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先職員3名(男性2名、女性1名。3名とも獣医師、うち1名は博士) 指導対象者: 管轄4県に配置された技師118名 (大部分が新卒の畜産技師または獣医師)	5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )
---	--

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( )理由: 畜産・人工授精知識が求められる ・経験 ( ) ( )理由: ・ <b>エコー検査の知識・経験があること</b> 理由: 活動に不可欠である	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(高地地中海性気候 ) 気温( 5~30 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	獣医師または畜産学科卒業者。巡回による活動地域はアマゾン地域からアンデス地域にまたがり、高度も数百m~3,500mと幅広いため、相応の体力が求められる。
------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 3 日

要請番号 ( JL 318 - 14 - B - 20 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
エクアドル	家畜飼育					
1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) サリナス農業学校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span> 3) 任地 ポリバル県グアランダ市サリナス地区 JICA事務所の所在地( キト市 )から 南 方向 200 Km 主要都市( キト市 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は標高3500mの山岳地域にある農業学校で、1984に設立された。生徒数は中等部8年生～10年生117名、高等部1年生～3年生(農業畜産科、経理経営科)100名、教師数16名。年間予算は273,603米ドル。7haに及ぶ農場を有し、畜産部門ではホルスタイン雑種牛、ヒツジ、ヤギ、肉用鶏、食用モルモットの飼育を行い、作物部門ではアンデス固有のジャガイモやキヌアに加え、ソラマメ、トウモロコシ、食用ホオズキなどを栽培している。地区の主産業は酪農、農業、観光業であり、チーズ、チョコレートなどが特産品である。チーズ生産組合ほか32の協同組合が組織され、相互に協力し地域の発展に寄与している。						
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 サリナス地区は標高3500mに及ぶ高度のため、作物栽培にあまり適しておらず、放牧を主とした酪農が主産業となっている。サリナス農業学校では、アンデス固有のジャガイモ、キヌア、オカ(Oxalis Tuberosa)など地域に適した作物栽培と、主産業である酪農業に焦点をあてた教育を行っている。地域の乳牛一頭あたりの乳生産量は8リットル程度と決して高くなく、生産性を高めるために放牧牛の衛生管理(寄生虫のコントロール)と飼養管理(飼料の貯蔵)技術の向上が課題となっており、JVには伝統的な飼育方法を尊重しつつも、改善策を提案・実践し、学生および周辺農家にその技術を定着させることが期待されている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 授業や実習で、地域特性(土壌・気候)を考慮した簡便な乳牛の衛生管理方法(寄生虫コントロール)および飼養管理方法(サイレージ、乾草)を提案し、実践方法を指導する。 2. チーズ組合、酪農家、農業学校の3者が連携した生産量アップ、衛生向上のための活動に対する助言、支援を行う。 3. 地域の酪農生産技術の向上を目的に、同僚とともに乳生産農家を対象とした講習会を開催する。 4. 乳牛の遺伝的素因の改善を目指した人工授精技術の普及を支援する。(当地では人工授精がほとんど行われていないが、校長がイニシアチブをとり普及に努めている。人工授精によるメリットを説き、モデル農家を対象とした人工授精を行う。)					
要 求	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 農場					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート: 校長:50代男性 教育学士 および農業畜産科教員:40代男性 農業技師 指導対象 農業畜産科学生:45名 地域の酪農家多数 (巡回地域の乳牛約600頭)			5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( 大卒 ) ( 畜産学 ) 理由: 農業学校での指導であるため ・ 経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 農業学校での指導であるため ・ 人工受精経験 理由: 指導上必要			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
	地域概況 気候(高地地中海性気候 ) 気温( 10~25 ℃位) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )			電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号( JL 324 - 14 - B - 08 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
パラグアイ	家畜飼育			1年	27 / 1	年 月 から
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3		

配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 企画庁
	2)配属先名 (日本語) 国立イタプア大学 農学部 ナタリオ分校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 イタプア県 ナタリオ市 JICA事務所の所在地( アスンシオン )から 南東 方向 480 Km 主要都市( エンカルナシオン )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1.5 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 パラグアイ南部の都市、エンカルナシオン市にある国立イタプア大学の農学部分校。農学部本部はヘネラルアルティーガス市に所在するが、ナタリオ分校は2004年に設立し、農学部の他にも経済学部や社会科学部等学部の支部を有する。2014年6月現在、農学部には145名の学生が在籍。イタプア県近郊の農家の子女が多く、卒業後は県内の企業や県庁・市役所の農業課等に就職している。

要請概要	1)要請理由・背景 イタプア大学ナタリオ校では、実習用施設に家畜(来年導入予定)を有していないため、現在は近隣生産者の施設設備を借りて生徒の実習指導を行っている。大学側は生徒指導にあたる技術者のレベルの一層の向上を希望しており、知識・技術を教授できる人材を探していることから当要請となった。また同校は、パラグアイ最大の規模を持つ大農協「コロニアス・ウニダス農協」も提携しており、地域の小酪農家が同農協への販売出来る収乳量と品質レベルを目指して、生産者向けの技術研修会も開催しており、ボランティアにはその支援も期待されている。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.授業にカウンターパートと共に参加し、農学部生徒に対して家畜飼育全般に関する基礎的知識を教授する。 2.実習に、カウンターパートと共に参加し、家畜の飼育や搾乳に関しての技術指導を行う。 3.大学が実施している近隣畜産農家への研修会等で、家畜の健康管理や飼育環境整備についての講習を行う。
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし
要	4)配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート:同学部農業技術者 対象:農業学部学生、近隣畜産農家
	5)活動使用言語 ( スペイン語 ) 6)生活使用言語 ( スペイン語 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 高産学 )理由:同僚が同等の資格を持つため ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由:配属先が農家指導経験を希望理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否
		※募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況	気候(亜熱帯気候) 気温( 0~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 324 - 14 - B - 18 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	27 / 1
パラグアイ	家畜飼育			1年	27 / 2
			ヶ月	/	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 企画庁				
	2) 配属先名 (日本語) 国立イタプア大学 農学部				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ヘネラルアルティーガス市 JICA事務所の所在地( アスンシオン )から 南 方向 320 Km 主要都市( エンカルナシオン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 パラグアイ南部の都市、エンカルナシオン市にある国立イタプア大学の農学部。農学部本部はヘネラルアルティーガス市所在であるが、酪農・畜産実習のための搾乳施設・牧場をイタプア県南部のナタリオ市に有している。設立は2005年。2013年10月現在、全学年で生徒は105名、そのうち35名は女性であり、イタプア県近郊の農家の子女が多く、卒業後は県内の企業や県庁・市役所の農業課等に就職している。学部長、副学部長共に日本で研修経験を持つ。				
要請概要	1) 要請理由・背景 ヘネラルアルティーガス市役所からの出資で、現在授業実習用設備を建設中。生徒への指導や、現在は組合等に場所を借りて実施している近隣畜産農家や農業学校生徒への研修もここで開催する予定である。指導にあたる教員は同学部の卒業生が多いが、大学側は教員の家畜の飼育方法や搾乳技術に関する知識や技術レベル向上を希望しており、指導できる人材を探していた。同市で活動中の家畜飼育隊員(グループ派遣で酪農家指導を行っている)を通じてJICAボランティアの活動を知り、指導力や知識を教員に伝えて欲しいとの依頼から当要請に繋がった。大学内には現在、学生や農家への実習設備を建設中。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 授業にカウンターパートと共に参加し、農学部生徒に対し、家畜飼育全般に関する基本的知識を教授する。 2. 実習にカウンターパートと共に参加し、飼育や搾乳に関する技術指導を行う。 3. 大学が実施している近隣の農業学校生徒や畜産農家への研修会内で、飼育方法や環境整備、病気予防について講習を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 授業用実習設備場				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート: 女性 農業技術者 同学部卒 20代女性 農学部学生、近隣農業高校6校の生徒、近隣畜産農家100戸			5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( 男性 ) 理由: 生活条件が厳しい ・ 学歴 ( 大卒 ) ( 畜産学 ) 理由: 同僚が同等以上の資格を持つため ・ 経歴 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 配属先が農家等指導経験を希望 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外	
地域概況	気候(亜熱帯気候) 気温( 0~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 8 日

要請番号( JL 527 - 14- B - 10 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ナミビア	家畜飼育			1年	27 / 1
				ヶ月	27 / 3
				/	年 月 から

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 青少年スポーツ省
	2) 配属先名 (日本語) ナショナルユースサービス <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 オジョゾンジュバ州リエトフォンティン JICA事務所の所在地( ウイントフック )から 北 方向 400 Km 主要都市( オジワロンゴ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 当国は人口の多くを若者が占めているが、失業率が高く、その結果アルコールや薬物に汚染される若者も多い現状がある。政府はビジョン2030(国家長期政策構想)の中で、社会経済開発構想として、若者に対する教育とトレーニングの機会の提供を謳っており、2005年ナミビア青少年スポーツ省の外郭団体としてナショナルユースサービスが設立された。ホスピタリティー、配管工、金属加工、レンガ工、理髪、自動車整備、オフィスマネージメント等のコースがある。これまでに海外援助団体からの支援等なし。

要請概要	1) 要請理由・背景 ナショナルユースセンターは、職業技術訓練(教育)を通し、ナミビアの社会経済開発に貢献できる人材を育てるための様々なコースを有し、多くの若者が研修に取り組んでいるが、専門的な知識を有するスタッフがいない。また同国内に専門技術を持った人材が少ないため青年海外協力隊の要請となった。 同センターの同施設は、以前ナミビアの牛乳メーカーが所有しており、搾乳から生乳に係る機材は揃っている。現在建物を改装しており、それが終わり次第、牛乳製造に必要な機材(新しいタンク、冷蔵機器等)を購入する予定である。 同センターには、400頭の牛が放牧飼育されており、そのうち40頭が乳牛である。現在牛乳のみを生産しているが、将来的に(数年後)チーズ、バター等の乳製品加工を行い地域で販売したいと考えている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ナショナルユースサービス研修所のあるリエトフォンティンで次の業務を行う。 ・牛乳生産に必要な環境整備準備補助(機材の購入へのアドバイス等) ・ナミビア人スタッフ及び研修者と一緒に牛乳生産を行い、関係者のスキルアップを図る。 ・牛乳の生産及び販売ルートの確立をナショナルスタッフと行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 現在ある農場、及び今後購入予定の機材。

要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 スタッフ45名(22~42歳) 基本的な牛乳生産の知識を有する。	5) 活動使用言語 ( 英語 )
		6) 生活使用言語 ( 英語 )
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">家畜人工授精師</span> ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大卒</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">畜産学</span> ) 理由: 専門的な知識が必要なため ・経歴 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実務経験</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3年以上</span> ) 理由: 実践的なノウハウが不可欠なため ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">酪農に関する経験</span> 理由: 経験に基づいた指導が必要	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否

地域概況	気候(砂漠・ステップ気候 ) 気温( 10~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号 ( JL 551 - 14 - B - 21 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国籍	職種 (コード C201)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ザンビア	家畜飼育			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	27 / 1	年 月 から
					27 / 2	
			27 / 3			

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業畜産省
	2) 配属先名 (日本語) マンサ郡農業事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ルアブラ州マンサ JICA事務所の所在地( ルサカ )から 北 方向 760 Km 主要都市( マンサ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先である郡農業事務所はマンサ郡の農業行政を司っている。郡農業調整官のもと、普及、作物、畜産、水産、灌漑、市場等の現地専門技官が配置され、主任畜産管理官、畜産管理官による畜産農家への支援を行なっている。2015年4月より青年海外協力隊のボランティア1名(コミュニティ開発)が同配属先において活動開始予定。

要請概要	1) 要請理由・背景 同州では家畜の飼育が周辺地域と比較して盛んに行なわれている。マンサ郡農業事務所では家畜農家に対して畜産に関する普及、管理、モニタリングの支援が行われている。しかし、現地畜産管理官のみでは、畜産農家の能力向上を図るには不十分な面があるため、主任畜産管理官の指揮のもと、現地畜産管理官と共に協力し、地域の家畜生産性向上に対してフォローアップが必要とされている。2015年4月より青年海外協力隊のボランティア1名(コミュニティ開発)が同配属先において活動開始予定。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 郡農業事務所の主任畜産管理官の指揮のもと、現地畜産管理官と共に以下の活動を行なう。 ・対象地域における家畜飼育の現状および課題の調査 ・調査に基づいた、対象地域における今後の展開計画の策定 ・畜産農家に対する技術指導を盛り込んだワークショップ開催支援 また、必要に応じて配属先の業務支援を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、その他の事務用品

4) 配属先同僚及び活動対象者 主任畜産管理官 男性 畜産管理官(25-50歳) 大卒レベル プロジェクトサイトの家畜農家	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )
--	--

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 高卒 ) ( 畜産学 ) 理由: 技術指導を行うため ・経歴 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 技術指導を行うため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
-------	--	--

地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 5~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )
------	--

特記事項	
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 551 - 14 - B - 22 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C201 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
ザンビア	家畜飼育			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1	年 月 から
					27 / 2	
			27 / 3			

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 農業畜産省
	2)配属先名 (日本語) サンフィア郡農業事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 ルアブラ州サンフィア JICA事務所の所在地( ルサカ )から 北 方向 700 Km 主要都市( マンサ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 配属先である郡農業事務所は、サンフィア郡の農業行政を司っている。郡農業調整官のもと、普及、作物、畜産、水産、灌漑、市場等の現地専門技官が配置され、主任畜産管理官、畜産管理官による畜産農家への支援を行なっている。2015年4月より青年海外協力隊のボランティア1名(コミュニティ開発)が同配属先において活動開始予定。

要 請 概 要	1)要請理由・背景 同州では家畜の飼育が周辺地域と比較して盛んに行なわれている。サンフィア郡農業事務所では家畜農家に対して畜産に関する普及、管理、モニタリングの支援が行われている。しかし、現地畜産管理官のみでは、畜産農家の能力向上を図るには不十分な面があるため、主任畜産管理官の指揮のもと、現地畜産管理官と共に協力し、地域の家畜生産性向上に対してフォローアップが必要とされている。2015年4月より青年海外協力隊のボランティア1名(コミュニティ開発)が同配属先において活動開始予定。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 郡農業事務所の主任畜産管理官の指揮のもと、現地畜産管理官と共に以下の活動を行なう。 ・対象地域における家畜飼育の現状および課題の調査 ・調査に基づいた、対象地域における今後の展開計画の策定 ・畜産農家に対する技術指導を盛り込んだワークショップ開催支援 また、必要に応じて配属先の業務支援を行う。
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、その他の事務用品

要 請 概 要	4)配属先同僚及び活動対象者 主任畜産管理官 男性 畜産管理官(25-50歳) 大卒レベル プロジェクトサイトの家畜農家	5)活動使用言語 ( 英語 )
		6)生活使用言語 ( その他 )
		7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 高卒 ) ( 畜産学 )理由:技術指導を行うため ・経歴 ( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由:技術指導を行うため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
-----------------------	---	--

地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 5~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 551 - 14 - B - 23 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
ザンビア	家畜飼育			1年	27 / 1	年 月 から
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3		

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省
	2) 配属先名 (日本語) ムピカ農業短期大学 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ムチンガ州ムピカ JICA事務所の所在地( ルサカ )から 北東 方向 650 Km 主要都市( ムピカ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.3 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 ザンビア全国に3カ所ある農業短期大学の一つ。ムピカ中心部から約20km離れた広大な敷地内に農園、農場、重機整備場等を構え、講師約15名、学生約300名の2年制及び3年制の農業短期大学。学生は、畜産、作物、農業工学、水工学、土壌科学、農業経営等の理論、実践を学んでいる。学生は、2年目に農業・畜産省下の北部州農業事務所農業研修所にて6週間の実地訓練を行っている。また生産部門においては乳製品、鶏、豚、牛の肉等を取り扱っている。2014年4月より青年海外協力隊のボランティア1名(野菜栽培)が同配属先において活動を開始している。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ザンビアの農業短期大学では、優秀な人材が民間に流出したり、海外に留学したりと講師の絶対数が不足している。ボランティアは、一講師として幅広く畜産に関する実技および座学の授業を受け持つ他、敷地内の農園、農場および生産部門の運営に関するアドバイスも求められる。また、学生が2年目に行う実地訓練の施設でもある農業・畜産省北部州農業事務所が管轄する、農業研修所と協力し、学生に対する教育現場の実態と、農民・農業普及員に対して行っている研修を双方向から見直すため、州農業研修所と情報共有を行いながら、連携する事も求められる。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先同僚講師と共に以下の活動を行う。 ・学生に対する畜産に係る実習および座学 ・敷地内にある農場運営および生産部門に関するアドバイス。また、同僚講師、上司と共に授業に関する実施要領の見直しや改訂作業、最新技術の情報共有 ・北部州農業事務所農業研修所との連携に伴う意見交換や情報提供 ・その他、配属先運営に係る一般業務のサポート
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プロジェクター、ホワイトボード、DVDプレーヤー、モニター等
	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、副校長(男性) 大卒レベル 同僚講師(30歳～50歳) 大卒レベル 学生(高卒レベル)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 畜産学 ) 理由:実技、座学を担当するため ・経歴 ( ) ( ) 理由: ・ 家畜飼育に関連する経験1年程度 理由:実技、座学を担当するため	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(サバナ気候) 気温( 5~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	配属先敷地内にある職員住宅が提供される。
----------	----------------------





長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 551 - 14 - B - 24 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C201 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
ザンビア	家畜飼育			1年	27 / 1	日系/短期
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3	年 月 から	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省 2) 配属先名 (日本語) ゴールデンバレー・アグリカルチュアル・リサーチ・トラスト <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span> 3) 任地 南部州チヨマ郡バトカ JICA事務所の所在地( ルサカ )から 南西 方向 280 Km 主要都市( チヨマ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ザンビア政府支援の下、1993年に設立され、畜産の研究調査や小規模農民に対する各種支援を行っている。畜産部門は、9,070haの敷地に、肉牛、乳牛、山羊、鶏といった家畜を有し、品種改良や飼育に関する調査・研究を行うと共に飼料となる牧草についても独自に生産している。また、小規模酪農家に対し、乳製品共同組合と共に飼育技術のサポートを行うと共に疫病等に関するワークショップも実施している。2014年4月より青年海外協力隊のボランティア1名(家畜衛生)が同配属先において活動を開始している。					
要請	1) 要請理由・背景 ザンビアの南部州では、他の地域と比較して酪農が盛んに行われており、地方の小規模から商業用の大規模な農家まで家畜の飼育が盛んに行われている。同配属先には関連大学を卒業した職員が配置され、研究や調査および小規模農民に対するワークショップも実施できる設備が整っているものの、職員の実践的な知識がまだ十分なレベルとは言えない。小規模農家では家畜の交配に関し、伝統的な方法で行っており、山羊についてはザンビア以南のアフリカ地域で飼育されている同種と比較し、大きさだけでは無く、病気に対する免疫も十分では無い。今後、効果的に小規模農民に対し、飼育や疫病についてのワークショップを実施して行くために、職員的能力向上が必要とされている事、牧草や家畜の品種改良に係る知識が必要とされている事から、畜産の知識を持ったボランティアの要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先同僚と共に以下の活動を行う。 ・配属先スタッフおよび周辺の小規模農民に対する飼育方法の指導 ・配属先農場にて栽培している牧草および飼料の管理 ・配属先がサポートする牛乳回収所と連携した小規模農民に対するトレーニングの実施 ・その他、配属先が行う日常業務のサポート 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 畜産にかかる一般的な機材一式 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先長 男性 50代(大学院卒 家畜飼育分野での経験20年) 同僚 女性 30代(大卒 家畜飼育分野での経験 4年) 同僚 男性 30代(大卒 酪農分野での経験6年) 5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 畜産学 )理由: 同僚および農民へ指導する為 ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由: 同僚および農民へ指導する為 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(サバナ気候 ) 気温( 5~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	住居は、配属先内のゲストハウスを使用する予定。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 027 - 14 - B - 08 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G211 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ベトナム	家畜衛生			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 2	年 月 から

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業農村開発省
	2) 配属先名 (日本語) 畜産研究所/パピ牛・牧草研究センター <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ハノイ市(パピ郡) JICA事務所の所在地( ハノイ市 )から 西 方向 60 Km 主要都市( ハノイ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 同センターでは乳用牛・肉用牛の繁殖及び牧草にかかる研究及び生産活動を実施している。また、センターの管理下にある酪農家(約300戸、20km範囲)への診療業務、飼養衛生管理指導も行っている。ボランティアが所属する技術部の業務内容としては、乳用牛・肉用牛の飼養・繁殖に関するプロジェクトの実施、酪農家に向け乳用牛・肉用牛の飼養・繁殖に関する技術の助言と普及、診療・予防業務等を行っている。 年間予算は政府配分が約8百万円、経営利益が約7千万円程度。過去にSV1名の派遣実績がある。2006年から2011年まで技術協力プロジェクト「中小規模酪農生産技術改善計画」が実施された。

要請概要	1) 要請理由・背景 ベトナムでは依然として農業が主要な産業であり、農村地域における生計改善を図るため、農業経営の多角化を図ることが重要な課題となっている。こうした背景の下、JICAは同センターの上部機関にあたる国立畜産研究所を協力実施機関として、前述技術協力プロジェクトを実施した。同センターはプロジェクトサイトの1つとなり、飼料給与や搾乳などの技術普及を中小規模酪農家に対し実施してきた。プロジェクト終了後の課題としては、獣医に関する経験と知識の不足により、乳房炎、蹄病、流産等の疾病に対し十分な治療ができていないことが挙げられる。これらの課題解決に向け、現地に密着した支援をより効果的に実現するため、巡回を通して疾病予防等の指導と診療ができ、また日々の活動の中で、配属先同僚へ技術を伝え、彼らの能力向上を支援できるボランティアの派遣が求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 赴任当初は語学力の向上、同僚との良好な関係構築に重点を置き、その後配属先の一員として以下の活動を同僚と協力して行う。 ・酪農家(約200戸、6km範囲、各数頭~50頭程度の乳用牛を保有)を同僚獣医師と共に週に4-5日程度巡回し、乳用牛の診療・治療を行う。また酪農家 に対し、疾病予防等に関する助言と指導を行う。 ・同僚に対し、乳用牛の疾病治療・予防等に関する日本の技術・知識を共に活動する中で共有し、能力向上を図る。 ・このほか、可能な範囲で年に数回程度、疾病対策等に関する研修会を同僚等を対象に開催し、知識・技術の向上を図る。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 診療用機器(体温計、聴診器、滅菌器、培養器、削蹄機、乳質検査機、超音波診断機など)

資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 副センター長(男性/50代/畜産・獣医学修士/経験28年) 技術部 部長(男性/40代/栄養学修士/英語堪能) 副部長(男性/50代/畜産・獣医学修士/経験30年) 職員4名(女性3名、男性1名/20代~30代/獣医師/経験5~10年/日常英会話可) 酪農家	5) 活動使用言語 (ベトナム語 )
		6) 生活使用言語 (ベトナム語 )
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: B ) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( 獣医師 ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: 経験ある同僚に指導するため ・ 乳用牛に関わる診療経験 理由: 乳用牛を中心に診療するため	活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要)
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 10~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	配属先は街中にあるが、巡回先である活動現場は配属先周囲の郡・村レベルとなる。
------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 20 日

要請番号( JL 512 - 14 - B - 13 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C211 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 /	日系/短期 年 月 から
ガーナ	家畜衛生					

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 食糧・農業省
	2)配属先名 (日本語) ポンタマレ中央獣医学研究所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 ノーザン州ポンタマレ市 JICA事務所の所在地( アクラ )から 北 方向 700 Km 主要都市( タマレ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 ガーナ国内に5施設ある獣医学研究所の1つであり、家畜の診断、疾病監視、ワクチン製造、獣医学教育を担っている北部の研究拠点である。2013年の予算規模は約2,500万円。現在、獣医・衛生のJVが活動している(2015年7月まで)。他にもカナダの支援により、遺伝子診断・検査を可能とする実験室(BSL-3)の整備がすすんでいる。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 研究所は各国の支援により、研究拠点としての機能を果たすための必要な機材は整備されているが、一方で、慢性的な人材不足が続いている。また、研究所は隣接する獣医学校の生徒に自習の機会を提供しているが、生徒は一通りの知識は習得しているものの、実験や機器の操作経験が少なく、暗記中心の学習形態であるため、前任者は体系立てて理解し考える力を養うことを主軸においた実習の指導や補講に取り組んでいる。JVは引き続き、研究所職員と研究拠点の業務を協働する他、獣医学校生徒に対し検査・診断にかかる実習指導や補習授業を行うことが期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.家畜(山羊、牛、羊、鶏、ホロホロ鳥等)の検査(糞便検査、寄生虫検査、死後解剖等) 2.家畜の診断(家畜所有者の依頼により、病気の有無や健康チェックを行う) 3.獣医学校生徒への実習・講義補助(JV本人の得手・不得手に応じて、科目および時間数を設定)
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プロジェクター、光学顕微鏡、オートクレーブ、ELISA Reader、蒸留水製造装置

4) 配属先同僚及び活動対象者 獣医師2名(男性、40代) 研究員5名(男性、50代)  活動対象者:獣医学校生徒	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: )
---	---

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( 獣医師 ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( ) ( )理由: ・経験( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由:実務経験に基づく指導が必要 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
	地域概況 気候(サバナ気候) 気温( 25~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項	遺伝子診断・検査について一通りの知識と経験があり、指導できるとなお良い。	

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号( JL 512 - 14 - B - 22 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C211 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ガーナ	家畜衛生			<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	27 / 1 27 / 2 /
配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 食糧・農業省				
	2)配属先名 (日本語) 食糧・農業省エジュラ・セCHEDウマシ市事務所				<input type="radio"/> NGO
	3)任地 アシヤンティ州エジュラ・セCHEDウマシ市 JICA事務所の所在地( アクラ )から 北西 方向 320 Km 主要都市( クマシ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 2 時間)				
	4)配属先の規模・事業内容 持続可能な農村開発と農業普及を目的とし、地域住民の農畜産物の生産を増大させることで収入安定と生活向上に貢献すると共に、食糧安全保障の向上に寄与している。更に、地域の農民組織に対し、セミナーなどを通して新しい技術や知識の普及を行っている。昨年度の予算規模は約300万円。これまで外国からボランティアを受け入れた実績はない。				
要 請 概 要	1)要請理由・背景 対象地域の主産業は農業であるが、僻地にあるため、必要とされる人材や物資、情報が慢性的に不足している。家畜は当地においては、食用として飼育されているだけでなく、大型の家畜は農作業等の力仕事を担っており、財産としての価値も非常に高い。しかし、当地に獣医は一人しか在籍しておらず、地域住民に十分なサービスや情報を提供することが困難である。そこで、ボランティアは同僚と協働し、個々の農家への巡回訪問や地域の実態調査の実施を通して改善点にかかる助言を行うことが求められている。				
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.対象地域農家の家畜に関する実態調査 2.調査に基づき、農家に対する適切な家畜疾病対策および飼養衛生管理技術の助言 3.同僚への知識、技術の共有				
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン				
	4)配属先同僚及び活動対象者 獣医師 1名(大卒、経験年数20年) 動物看護師 2名(大卒、経験年数6年)			5)活動使用言語 ( 英語 ) 6)生活使用言語 ( その他 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( 獣医師 ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由:様々な傷病に対応するため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVIは通年対象外	
	地域概況 気候(サバナ気候 ) 気温( 25~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )				
特記事項					

事務局記入欄

受験番号



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 545 - 14 - B - 29 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C211 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ウガンダ	家畜衛生			27 / 1	27 / 2	年 月
				27 / 3	から	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省					
	2) 配属先名 (日本語) ムバレ県獣医事務所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ムバレ県ムバレ JICA事務所の所在地( カンバラ )から 東 方向 226 Km 主要都市( ムバレ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 ムバレ県は、ウガンダ東部の人口41万人の県である。主産業は農業で、食用作物としてイモ類や豆類、換金作物として米、コーヒーなどが栽培されている他、鶏・牛・ヤギ・豚などが飼育されており、農家の家畜に対する関心は高い。JICAは2010年より農業・畜産・水産省及びマケレレ大学と共同して技術協力プロジェクト「家畜疾病診断・管理体制強化計画」を実施(2014年6月終了)、同県はその対象県として支援を受けてきた。県獣医事務所は、県内農家に対して家畜疾病治療やワクチン接種などの家畜衛生サービスを提供している。2014年6月まで長期ボランティアの派遣があり、ラボ機能強化や疾病診断能力強化などに協力した。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先である県庁獣医事務所は上記の技術協力プロジェクトの支援を受けながら、疾病診断能力の向上を図ってきたが、同プロジェクトは2014年6月に終了した。プロジェクト終了後、ボランティアの派遣により、現場レベルの配属先スタッフとの協働を通して、ラボラトリー稼働率を上げ彼らの診断技術を向上させる事を目的として本要請がなされた。人材育成には時間を要するため、草の根レベルでのボランティアのきめ細やかな支援が必要とされている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先管轄内の畜産農家から病原体サンプルを入手し、事務所併設のラボでの分析及び一次診断を行う。 2. 配属先スタッフが行う分析や一次診断に係る技術向上の支援を行う。 3. 畜産農家への疾病対策普及指導に係るアドバイスを行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡・遠心分離器・滅菌機・インキュベーター・オートクレーブ・ヘマトクリット遠心器					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 3名(獣医師2名・助手1名)			5) 活動使用言語 ( 英語 )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( 獣医師 ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( ) ( )理由: ・経験( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由: 検査業務や疾病診断を行うため 理由:			6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
地域概況	気候(常初夏気候 ) 気温( 15~30 ℃位)			電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )			水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記事項	住居には水道・電気がない場合がある。活動地域の道路の大半は未舗装、未整備である。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 545 - 14 - B - 30 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C211 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
ウガンダ	家畜衛生			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
			27 / 2		
			27 / 3		

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省
	2) 配属先名 (日本語) ムビジ県獣医事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ムビジ県ムビジ JICA事務所の所在地( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">カンバラ</span> )から 南西 方向 34 Km 主要都市( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">カンバラ</span> )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 ムビジ県は、広さ1500km <sup>2</sup> 、人口20万人の県で、主産業は農業である。鶏・肉牛・乳牛・豚・ヤギなどが飼育されており、農家の家畜に対する関心は高い。JICAは2010年より2014年6月まで農業畜産水産省及びマケレレ大学と共同して技術協力プロジェクト「家畜疾病診断・管理体制強化計画」を実施、同県はその対象県として支援を受けていた。県獣医事務所は、県内農家に対して家畜疾病治療やワクチン接種などの家畜衛生サービスを提供している。家畜飼育隊員が派遣された後、獣医師隊員が1名派遣され、ラボ強化や疾病診断能力強化などに協力してきた。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先は技術協力プロジェクトのターゲットエリアにある獣医事務所として、同プロジェクトの支援を受けながら、疾病診断能力の向上を図ってきた。配属先所属の獣医師や畜産普及員は、県内畜産農家の巡回を行っており、事務所併設のラボラトリーでの業務に専念することは難しい。このため、配属先スタッフの業務を支援しながら、ラボラトリーの稼働率を上げ彼らの診断技術を向上させる事を目的として本要請がなされた。同プロジェクトは2014年6月に終了したが、人材育成には時間を要するため、草の根レベルでのボランティアのきめ細やかな支援が必要とされている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先管内の畜産農家から病原体サンプルを入手し、事務所併設のラボでの分析及び一次診断を行う。 2. 配属先スタッフが行う分析や一次診断に係る技術向上の支援を行う。 3. 畜産農家への疾病対策普及指導に係るアドバイスを行う。

要 請 概 要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ヘマトクリット遠心器、顕微鏡、オートクレーブ、インキュベーター、遠心分離器
	4) 配属先同僚及び活動対象者 獣医師4名(うち3名はサブカウンティにて活動) 畜産普及員6名(うち4名はサブカウンティにて活動)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">獣医師</span> ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( )理由: ・経歴( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実務経験</span> )( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3年以上</span> )理由:検査業務や疾病診断を行うため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
-----------------------	--	--

地域概況	気候(常初夏気候 ) 気温( 15~30 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	水道はなく、近くの水タンクから汲んできて、ため水を使用する。
------	--------------------------------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 545 - 14- B - 31 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C211 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ウガンダ	家畜衛生					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省					
	2) 配属先名 (日本語) チボガ県獣医事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>					
	3) 任地 チボガ県チボガ JICA事務所の所在地( <span style="margin-left: 100px;">カンバラ</span> )から 北西 方向 113 Km 主要都市( <span style="margin-left: 100px;">カンバラ</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="margin-left: 100px;">バス</span> で約 3 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 チボガ県は首都カンバラの北西に位置し、2010年に2県に分県化された。人口は約14万人。主産業は農業と畜産業である。県人口の80%がこれに従事しており、特に西部では畜産業が盛んである。JICAは2010年より2014年6月まで技術協力プロジェクト「家畜疾病診断・管理体制強化計画」を実施、国レベルの家畜疾病診断体制強化を行ってきた。その中で、同県は対象地域に選定され、疾病診断技術の向上等にかかる支援を受けてきた。配属先は農家に対する家畜衛生サービス(疾病治療、ワクチン接種、農家指導)を主業務としている。過去に短期隊員の派遣があり、長期隊員は今回が初めてとなる。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先は技術協力プロジェクトのターゲットエリアにある獣医事務所として、同プロジェクトにより支援を受けながら、疾病診断能力の向上を図ってきたが、本プロジェクトは2014年6月に終了した。プロジェクト終了後、現場レベルでボランティアが活動を継続することで、プロジェクトの成果を継続させることが期待されている。配属先スタッフは周辺畜産農家の巡回を行っており、事務所併設のラボラトリーでの業務に専念する事は難しいが、ボランティアが配属先スタッフと病原体を回収し、ラボ業務を一緒に行う一連の協働作業により、ラボラトリーの稼働率とスタッフの技術向上を目的として本要請がなされた。これまで、短期ボランティアが数名入っており、今回が初代の長期ボランティアとなる。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先管轄内の畜産農家から病原体のサンプリングと事務所併設のラボでの分析及び一次診断を行う。 2. 配属先スタッフが行う分析や一次診断に係る技術向上の支援を行う。 3. 農家への疾病対策普及指導を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ヘマトクリット遠心器、顕微鏡、オートクレーブ、インキュベーター等					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 獣医師3人(このうち2名はサブカウンティにて活動)			5) 活動使用言語 ( 英語 )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( <span style="margin-left: 100px;">獣医師</span> ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( )理由: ・経験( <span style="margin-left: 100px;">実務経験</span> )( <span style="margin-left: 100px;">3年以上</span> )理由: 検査業務や疾病診断を行う為 理由:			6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
地域 概況	気候(常初夏気候) 気温( 15~30 ℃位) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )			電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記 事項	住環境が厳しく、トイレが屋外設置の可能性がある。					



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 4 日

要請番号( JL 048 - 14 - B - 03 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C221 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	27 / 1
ブータン	畜産・乳製品加工			1年	27 / 2
			ヶ月	27 / 3	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林省	
	2) 配属先名 (日本語) 畜産局畜産物生産課国立乳製品開発センター	<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ティンブー県モンチュタバ JICA事務所の所在地( ティンブー市 )から 南 方向 4 Km 主要都市( ティンブー市 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.3 時間)	
	4) 配属先の規模・事業内容 農林省畜産局は4つの課(畜産物生産課、家畜健康課、家畜栄養課、情報管理課)で構成されており、配属先が属する畜産物生産課は主な業務として、家禽、豚、魚、乳製品、ヤギ、羊、ヤク、牛、馬などの保護に必要な政策立案及びモニタリング・評価やそれら家畜生産品の国内消費促進のための衛生管理や栄養指導、さらには一般広報等の業務を行っている。配属先となる乳製品加工センターでは、今後、「第11次5か年計画」で設定された課題達成のために農業従事者向けのビジネスモデルの確立やバリューチェーン確立、適正技術の導入等を効率的に展開していくことを計画している。これまでJICA関連の支援は入っていない。年間予算は約2千万円。	

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では、農家から集めた生乳をヨーグルトに加工・販売することと、良い品質の生乳生産を農家に指導することが現在の主な活動となっている。また、これら生乳農家を支援・指導し、乳製品の販売などを通じて農家の現金収入を向上させることも配属先の重要な使命の1つとなっている。しかしながら、配属先スタッフは基本的な加工技術しか持ち合わせていないため十分なサポートが行えていない状況である。ブータンでは乳製品への潜在的な需要が比較的高いものの、品質が悪かったり、品種が限られていたりすることから、購買力に限界があり、ひいては農家の収入へも影響を及ぼしている。質の向上や加工製品のバリエーションを増やすことなどを通じて、これらの課題を克服するためにJVの要請に至った。なお、本センターの運用が軌道に乗った際には、国内に乳製品加工センターを増やし、裨益者を増やしていく計画である。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは配属先スタッフと協力し、以下の活動を行う。 1.販路拡大に繋がる新規加工品の開拓および一般販売向け包装に対するアドバイス 2.質の向上に繋がるSOP(標準作業手順書)の策定 3.配属先スタッフ(特にカウンターパート)の能力強化および技術力向上支援 4.生乳業者への品質管理指導ならびに加工品紹介 5.機材の軽整備
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 主要な乳業機器(ポンプ、タンク、清浄機、均質機、充填機など、全てインド製)、冷蔵庫

要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・配属先長(センター長:30代:男性)(修士号:食品工学)(業務経験:2年) ・配属先カウンターパート1名(20代:女性)(業務経験:2年) ・作業員4名  主な活動対象者 ・配属先同僚および生乳業者(近隣農民)	5) 活動使用言語 ( 英語 )
		6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 修士 )( 畜産学 )理由:専門的な知識を必要とするため ・経歴( 実務経験 )( 5年以上 )理由:関係者への指導を担当するため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( -5~30 °C位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--





長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号 ( JL 306 - 14 - B - 10 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C221 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ボリビア	畜産・乳製品加工			27 / 1	27 / 2	年 月 から
27 / 3						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農村開発・土地省 2) 配属先名 (日本語) オルロ県庁農牧サービス局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 オルロ県オルロ市 JICA事務所の所在地( ラパス市 )から 南東 方向 230 Km 主要都市( オルロ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.3 時間)					
概要	4) 配属先の規模・事業内容 オルロ県は標高3700~4000mの高地高原地域に位置しており、寒冷で降雨量が少ないことから、農業分野では、キヌア、じゃがいもなどの栽培や、乳牛・リヤマ・アルパカ・羊の飼育などで生計を立てる零細農民が多数を占める。配属先は、同県における農業振興を目的として、農民への技術支援や、政府や援助団体の資金協力によるプロジェクトの計画・実施などを行っている。2009~2011年にJICA技術協力プロジェクト「高地高原中部地域開発計画」から、地域の気候風土に適した小規模灌漑農業に関する技術指導を受けた。配属先の2013年の予算は約93万米ドル(約9,300万円)。					
要請	1) 要請理由・背景 配属先が所有・管轄する「アンデス地域エコロジー農牧開発センター」は、県内の農牧業従事者に対し、研修の実施や展示農場などを通じて農牧技術の指導を行うことを目的として設立された。現在は畜産事業(乳牛)を中心に行っており、乳牛およそ100頭を飼育する他、絞った牛乳をチーズ・ヨーグルト・プリンに加工し販売を行っている。チーズは低温加熱殺菌して塩を加えホエーを抜くだけで、風味を加えたり熟成させたりといった工程はなく、1日で完成する。ヨーグルトも同様に簡単な製造工程で作っている。市場価格よりもやや安く販売しているため毎日ほぼ完売しているが、配属先では製品の質を向上させ、付加価値をつけられるよう、日本人ボランティアから技術指導を受けたいと考えており、これにより同センターの運営予算増につなげると同時に、将来的には地域の酪農業者や乳製品加工に携わる人たちに技術移転をしていきたいと希望している。					
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先及び勤務地であるセンターの同僚と協力して、以下の活動を行う。 1.センターで作っている乳製品(チーズ・ヨーグルト・プリン)の加工プロセスをチェックし、衛生面、効率性、食品としての質の面から、改善点を提案する。 2.地域で販売されている乳製品と比較し、地元で入手しやすい材料を使用してさらに付加価値の高い乳製品とするためのアイデアを提供し、試作を行う。					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 調理場(コンロ、冷蔵庫、洗い場など)、調理道具一式、チーズ製作用の型など					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先長(40代、男性、大学院卒、農業・高地高原の畜産が専門) アンデス地域エコロジー農牧開発センター職員(20~50代、農業技術者6名、助手8名、いずれも男性。食品加工の専門職員はいない)		5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由:業務上必要 ・ 乳製品加工の知識・技術 理由:業務上必要			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(高地寒冷気候 ) 気温( -10~20 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )					
特記事項	標高3700~4000mの高地に位置し、年間を通じて寒冷な気候であるため、相応の体力が必要。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 3 日

要請番号( JL 318 - 14 - B - 16 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C221 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV/	日系/短期
エクアドル	畜産・乳製品加工			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
			27 / 2	27 / 3	
配属先		1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 国立エドワード・サラサル・ゴメス農業高校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ピチンチャ県キト市ピフォ地区 JICA事務所の所在地( キト市 )から 東 方向 30 Km 主要都市( キト市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.2 時間)			
概要		4) 配属先の規模・事業内容 任地であるピフォ地区は、キト市郊外標高約2,600mに位置し、人口約17,000人の都市近郊農業地帯である。配属先は1972年に設立された国立農業高校であり、2013年度の生徒数は全日制課程が1,120名(12歳~18歳)、夜間制課程が159名である。教師は63名(非常勤含む)。農業・畜産科は教師・技師が9名で生徒数は191名である。年間予算は約12,000米ドル。外国からの援助はない。			
要請		1) 要請理由・背景 配属先は校内に野菜栽培用圃場及び各種家畜飼育場、乳製品加工施設を所有し、農業・畜産科生徒の実習に使用している。また、近隣の酪農家から牛乳を購入し(1日平均約450リットル)、ヨーグルトと当地伝統製法によるフレッシュチーズ(同校独自のブランドで食品衛生登録済)を製造して近隣の市場で販売しており、収益は学校・施設の運営に充てられている。現在、同校の乳製品の評判は良いが、生徒の実習を行うにあたり、現在製造している2種類に加え、新製品の開発を計画している。具体的には他種類のチーズ、バター、ドゥルセ・デ・レーチェ(液状キャラメル)などを想定しているが、専門知識が不足しているため、ボランティアの要請が行われた。			
概要		2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①現在製造している乳製品に対する品質改善のアドバイス。 ②新しい乳製品の導入と開発に対するアドバイス(硬質チーズ、モッツアレラ、リコッタ、ハーブ入りチーズなど。またその他の乳製品)。 ③可能であれば乳清の再利用(現在は廃棄)に関するアドバイス。			
要請		3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 乳製品加工施設(最高で1日800リットルの牛乳備蓄が可能)、事務用品			
要請		4) 配属先同僚及び活動対象者 乳製品加工施設主任(30代男性、食品栄養技師、経験10年) 活動対象者: 農業・畜産科生徒(高等部1年生約90名、乳製品加工に関する経験なし)		5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )	
資格条件等		条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: 同僚への指導が求められている。 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況		気候(高地地中海性気候 ) 気温( 10~25 °C位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 2 日

要請番号( JL 006 - 14 - B - 14 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C301 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	日系/短期
インドネシア	林業・森林保全			2年	27 / 1	年 月 日
				1年	27 / 2	
7ヶ月	27 / 3					

配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 内務省
	2)配属先名 (日本語) ランブ州林業局 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 ランブ州バンドルランブ市 JICA事務所の所在地( ジャカルタ首都特別州 )から 西 方向 200 Km 主要都市( ジャカルタ首都特別州 )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 配属先は州内の林業関連全般の業務を担う機関。森林管理に関する方針や政策策定、森林の育成・回復・管理等の実行、森林・林業に関する教育や技術訓練・研究等のサポート、木材を含む森林・林業に関するライセンスの発行、林業に利用される種・肥料・農薬等の監督等を主な業務として実施している。全体の職員数は251名、年間予算は約5000万円。また、配属先は、2013年から2014年にかけて実施されたJICA技術協力プロジェクト「小径木加工業育成支援プロジェクト」の協力機関であった。現時点では海外からの支援は受けていない。

要請概要	1)要請理由・背景 当国では、違法伐採、火災、農地への転用等による森林の減少・劣化が著しく、政府は全国植林運動の展開などを通じて持続可能な森林経営の確立に取り組んできた。こうした中、住民がコミュニティ林や社会林業等に接する機会が増加したものの、十分な知識や施設を有していないため木材製品から十分な収入を得ることができず、さらには中間業者により利益を奪われやすい状況があった。この課題に対してJICAは上記技術協力を実施し、住民が十分な収益を得ることができる小径木の加工システムのモデル設立に取り組んできた。配属先は今後新たな地域でこのモデルを普及させる意向を有しており、バンドルランブ市内では3つのコミュニティを支援していく予定である。現在、最初の段階の取組となる森林経営認証取得のための各コミュニティの活動の強化・活発化に取り組んでおり、これを支援するJICAボランティアが必要だとして、本要請が提出された。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の一員として、任地の3か所の地域を対象に以下の活動を行う。 ・コミュニティ内の小規模林の育成や管理についての助言。 ・苗木の育成方法や適切な植え方、間伐・伐採等についての助言や支援を実施する。 ・各コミュニティが森林経営認証を取得できるよう同僚や住民と相談しながら必要な支援を実施する。 *各コミュニティへの巡回は、基本的にローカルバスなどの公共交通機関を利用して実施することとなる。
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、コピー、プリンター(いずれも共用)、椅子、机。インターネット接続はなく、職員は基本的に個人のパソコンとモデルムを利用している。

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由:関係者の男性比率が高いため ・学歴 ( 大卒 ) ( ) 理由:同僚の教育水準と合わせる ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由:同僚と同等の経験が必要 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
	4)配属先同僚及び活動対象者 ボランティアは、林産開発・加工課に配属される予定。 ・同僚15名(女性4名、男性11名、20代~50代、大卒・修士) ・その他、支援地域の住民	5)活動使用言語 ( インドネシア語 ) 6)生活使用言語 ( インドネシア語 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D ) 又は (レベル: )

地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 20~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )
------	--

特記事項: インドネシア側の査証手続きの問題により、他国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号( JL 603 - 14 - B - 01 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C301)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 6 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ジブチ	林業・森林保全					
1) 受入省庁名 (日本語) 農業・牧畜・漁業・水資源管理省 2) 配属先名 (日本語) 農業局アンプリ試験場 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ジブチ市アンプリ JICA事務所の所在地( ジブチ市ヘロン )から 北 方向 6 Km 主要都市( ジブチ市街 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 農業局は農業の振興と食糧安全保障を目的としている。植林分野に関しては、ジブチ全土の農園で2万本のナツメヤシ栽培を目指している。アンプリ試験場は、農業用資材や野菜種の配布、樹木の生産および無料配布を主に行っている。JOCVは過去に野菜隊員5名、植林4名の派遣実績がある。現在、林業・森林保全のJOCV(平成25年度3次隊)が活動中。JICAの南部ジブチ持続的灌漑農業開発プロジェクトが進行中である。						
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 高温多湿で極度に雨量が少なく土壌に塩分が集積しやすいため植物には厳しい環境である。ジブチで販売される多くの野菜や果物は、エチオピアやソマリアなどの周辺国やその他の海外からの輸入に頼っており、食料自給率は約3%と非常に低いために概して価格は高い。ジブチ国内でこれらの野菜や果物を栽培することは、長年の悲願である。アンプリ試験場は、ジブチ国内農業の情報拠点としての役割を担っている。歴代の隊員が野菜栽培、植栽樹の選定、発芽率向上などに向けて課題解決に取り組んできた。また、他職種の隊員と協力し、学校菜園の作成や植樹など地域とのつながりを大事にした活動も行っている。農業促進に向けた取り組みの計画立案と実行力に乏しい配属先関係者に対し、隊員が様々なアイデアを積極的に提案し、協働して実行することが求められている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・苗木の在庫管理 ・生産計画管理 ・学校への植樹と環境教育 ・モリンガ栽培促進 ・肥料作成指導					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一輪車、鋤、鍬、剪定ばさみ、スコップ					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 局長1名(男性)、職員6名(男性5名、女性1名)、現場作業員約15名			5) 活動使用言語 ( フランス語 ) 6) 生活使用言語 ( フランス語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 高卒 )( 林学 )理由:要技術指導 ・経歴( )理由: 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域 概況	気候(熱帯夏季少雨気候 ) 気温( 25~30 ℃位) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )			電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記 事項	非常に厳しい環境のため、心身ともに頑強であることが望まれる。					



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 012 - 14 - B - 16 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C402 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
フィリピン	養殖					27 / 1
					年 月 日	から
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局					
	2) 配属先名 (日本語) イフガオ州マヨヤオ町役場農業事務所					<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 イフガオ州マオヤオ町 JICA事務所の所在地( マニラ )から 北 方向 250 Km 主要都市( サンチアゴ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 マヨヤオ町はルソン島北部の世界遺産に指定されている棚田で有名なイフガオ州の山間地にある人口約1万6千人の町。町の主産業は農業で、農民の多くは雄大な世界遺産の棚田で伝統的な稲作を営んでいるが生産性は低く、若者の都市部流出に伴う耕作放棄地の増加が深刻な問題となっている。配属先の町役場農業事務所には5名のスタッフが勤務。年間事業予算50万円程度。農民に稲作技術指導をすると共に水田で淡水魚を養殖し副収入につなげる事業を実施しており、2012年から初代JV(養殖)の協力を得て、地域で好んで食されるものの数の減少が著しく高値で取引されるドジョウの水田養殖事業を開始している。海外からの援助はJV派遣のみ。					
要請概要	1) 要請理由・背景 現在初代JVが新たに導入したドジョウの養殖事業が軌道に乗り始めた段階。本ドジョウ養殖事業は、基本コンセプトを、低コストで収入の少ない農家でも実施可能であること、そして、マヨヤオの自然と人々の生活に調和した養殖方法であることに置いていることが特徴である。現在、JVの協力により、中核農家に対して、ホルモン打注による種苗生産、家畜糞等を利用した生物餌料による育成、および有害外来生物のジャンボタニシを餌にした収穫方法などの技術指導が実施されている。ドジョウは北ルソン地域で好んで食される魚で高値で取引されることもあり、ドジョウ養殖が現地に根付くことで、地域住民の生計の向上、ひいては世界遺産の棚田の保全にもつながる可能性がある。ドジョウ養殖を、マヨヤオの棚田と自然、人々のライフスタイルと永続的に調和し、現地に根付いたものとするため、JVによる支援を継続する必要があり後任要請となった。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① ホルモン打注による種苗生産技術の改良と、中核農家への普及を支援する。 ② 堆肥、鶏糞等を養殖池に投入することで生物餌料を発生させるドジョウの無給餌養殖技術の改良とその普及を支援する。 ③ 中核農家を拠点としたドジョウ養殖の周辺農家への普及(Farmer-to-Farmer Extension)を支援する。 ④ 農家のドジョウ養殖参入時の資金確保手段としての「マイクロファイナンス」の効果的な利用に係る助言を行う。 ⑤ 生産されたドジョウの流通/販売に係る助言を行う。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 配属先は種苗生産ステーションを所有している。(コンクリート槽4×10mが3つ、4×5mが2つ、直径2.5mの円形槽1つ。)種苗生産用のホルモンはLHRH-a、HCGが入手可能。					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 農業事務所長: 男性 60代 職務経験35年 農業事務所スタッフ4名: 男性3名、30~50代 経験4~15年 女性1名、50代 経験20年			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( ) ( ) 理由: ・ 経験 ( ) ( ) 理由: ・ 水田養殖に対する興味 理由:ドジョウ養殖技術指導が必要			活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要)		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(熱帯モンスーン気候) 気温( 11~25 °C位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )					



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 7 月 4 日

要請番号( JL 024 - 14 - B - 06 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C402)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
ラオス	養殖		<input type="radio"/> 27 / 2 <input checked="" type="radio"/> 27 / 3 <input type="radio"/> /	<input type="radio"/> 年 月 から	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林省				
	2) 配属先名 (日本語) ルアンパバン農林短期大学				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ルアンパバン県パクスアン村 JICA事務所の所在地( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ピエンチャン</span> )から 北 方向 400 Km 主要都市( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ルアンパバン</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バス</span> で約 0.8 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1989年に設立された学生数約560人の短期大学で、3年間の通常コースと、2年間の社会人向けコースがあり、栽培科、畜産養殖科、農業経営科がある。教員数は約110人。外国からの援助は近年スイスにより、学費支援や教室、教材整備の支援が行われている。年間予算は約2,200万円(職員給与含む)。ボランティアが活動する畜産養殖科の年間予算は約40万円で、3か所に分かれた約4.5ヘクタールの養殖池があり、主にティラピア、コイ、ナマズの他、食用のカエルとコオロギの養殖についての授業を実施している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ラオスは国民の約7割が農林水産業に従事しており、村落部ではその割合はさらに高い。その多くは資材不足による貧困農家で、村落住民の基礎教育の立ち遅れも影響して、農産物の生産性と品質が低いため、村落住民の生計向上が課題となっている。これに対処するため、農林短期大学では、農林省が進める村落住民生計向上対策の一つとして、畜産養殖科で学ぶ学生を普及員として育成し、卒業後に出身の山間部地方にて養殖農家へ技術指導できる人材育成を目指している。2012年に校舎が増築され、養殖実習場に太陽光発電による小型ポンプを増設するなどして、実習授業の改善を進めるなかで、JICAボランティア活動による支援が求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 畜産養殖科が実施する実技講習を補助し、人工採卵と種苗生産技術の改善点を助言する。 2. 成熟ホルモン等の化学的役割をわかりやすく学生に理解させるための教材作りなど、実習授業の補助を担当する。 3. 中間育成後の生けすや養殖池での管理方法と種別の生態についての授業を補助する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 孵化槽等を有する種苗生産に関する養殖実習場(4.5ヘクタール)、成熟ホルモン剤、水温計、ソーラーパワーポンプ				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 教員1名(学士、10年、男性、実習責任者、30代) 学生、1~2年生、男女30人			5) 活動使用言語 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ラオス語</span> )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( ) ( ) 理由: ・ 経歴 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実務経験</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2年以上</span> ) 理由: 経歴に基づく指導が求められている 理由:			6) 生活使用言語 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ラオス語</span> ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
地 域 概 況	気候(熱帯モンスーン気候) 気温( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">15~35</span> °C位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要	
	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
特 記 事 項	都市部に比べて不便な村落部に住み活動するため、地域住民との友好関係を築きながら環境に順応して生活することが求められる。				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 4 日

要請番号( JL 024 - 14 - B - 07 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C402 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 2 27 / 3 /	日系/短期 年 月 から
ラオス	養殖					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林省					
	2) 配属先名 (日本語) 水産資源研究センター				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ビエンチャン県シーコッタボン郡 JICA事務所の所在地( ビエンチャン )から 西 方向 15 Km 主要都市( ビエンチャン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.8 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 1970年に設立された同センターは、メコン河の水産生物を研究する研究ユニットと、各県の農林水産局養殖ステーションへ卸し販売する稚魚を生産するユニットがある。年間予算は約40万円で、種苗生産に必要な資機材がある。同ステーションは稚魚を生産し、孵化後約1ヶ月の稚魚を一般の養殖農家に販売している。日本の国際農林水産業研究センター(JIRCAS)による、淡水エビの養殖にかかる生態研究の援助が入っている。ドナーによる養殖技術研修や学生の卒業研究などを受け入れている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 養殖はラオス全域における食料安全保障や生計向上に直接関連する重要な産業である。水産資源研究センターは、行政の役割として、各県の養殖ステーションへ養殖種苗の供給を行うと同時に養殖技術を普及・指導するために、研究ユニットも併設されているが、ふ化用の水供給施設の老朽化による水管理の改善が進まないことに加え、1970年代から世代交代を経て継続利用されてきた親魚の形質劣化によって、同ステーションの種苗生産能力は低く、種苗生産技術を改善するための助言を期待されてJICAボランティアの協力が要請された。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. ふ化用の水供給システムの改善策を提案し、濾過槽の清掃を含め、メンテナンスしやすい構造に改造する。 2. 養殖ステーションが実施している養殖技術を把握し、種苗生産性を改善するための支援を行う。 (主な種苗対象はコイ、ティラピアなど)					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 種苗生産にかかる資機材一式(水温計、ホルモン剤、孵化槽等)					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・研究所長(男性、50代、経験30年) ・カウンターパート(男性、30代、経験15年、英語可) ・同僚スタッフ(6名、男性、20~30代、経験3~10年)			5) 活動使用言語 (ラオス語 ) 6) 生活使用言語 (ラオス語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由: ふ化の水管理に関する実務が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(熱帯モンスーン気候 ) 気温( 15~35 ℃位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	都市部に比べて不便な村落部に住み活動するため、地域住民との友好関係を築きながら環境に順応して生活することが求められる。					



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 024 - 14- B - 29 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C402 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2 年	JOCV/SV
ラオス	養殖			1 年	27 / 2
			ヶ月	27 / 3	年 月 日
				/	から

  

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林省 2) 配属先名 (日本語) チャンパサック県農林局 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span> 3) 任地 チャンパサック県パクセー郡 JICA事務所の所在地( ビエンチャン )から 南東 方向 680 Km 主要都市( パクセー )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.3 時間)
要請概要	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はチャンパサック県における農林業の振興・発展を目的として、畜水産課、普及課、計画協力課、総務課等から成る組織。職員数は約210名。主な活動先はパクセー中心部から8kmに位置する畜水産課養殖ステーションで、スタッフ7名(正職員4名)が、養殖池17池を管理している。年間予算は約40万円で、種苗生産に必要な資機材がある。同ステーションは稚魚を生産し、孵化後約1ヶ月の稚魚を一般の養殖農家に販売している。他ドナーによる養殖技術研修や学生の卒業研究などを受け入れている。
要請概要	1) 要請理由・背景 養殖はラオスの農山村地域における食料安全保障や生計向上に直接関連する重要な産業であり、パクセー地域では、行政の役割として養殖種苗の供給や養殖技術を指導するために養殖ステーションが設けられているが、同ステーションの種苗生産能力は低く、技術指導を行うことができるスタッフも不足していることから、スタッフへの技術的助言を期待されて JICAボランティアの協力が要請された。同地域を含む南部4県では、「南部山岳丘陵地域生計向上プロジェクト」(2010-2015)により、家畜飼育、水産養殖及び農業技術の生産性向上や品質向上を実現することで農民の生計向上を図る活動が実施されており、そのプロジェクトとも連携して水産研修や現地指導にも協力することが期待されている。
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 養殖ステーションが実施している養殖技術を把握し、種苗生産技術を改善するための助言を行う。 2. サブステーションで行われている在来魚種の種苗生産性向上に対する支援。 3. 南部山岳丘陵地域生計向上プロジェクトと連携し、プロジェクトが実施する養殖技術研修や巡回普及へ協力する。(養殖ステーションではコモンカーブ、シルバーパープ、ティラピア、インディアンカーブ(ローフー、ムリル)、ヒレナマズ及びパンガシウス(Pangasius spp.)の稚魚生産を行っている。また、在来魚種の種苗生産開発を目的としたサブステーションは、南へ130kmのコーン郡にある。)
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 種苗生産資機材一式(水温計、ホルモン剤、孵化槽等)
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・ステーション場長(男性、40代、経験20年) ・同僚スタッフ(6名、男性、20~30代、経験3~10年)
要請概要	5) 活動使用言語 (ラオス語) 6) 生活使用言語 (ラオス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

  

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 実務に基づく協力が必要 ・ 小型自動二輪免許 理由: 巡回活動に必要	活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
-------	--	--

  

地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 15~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
特記事項	





長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 4 日

要請番号 ( JL 048 - 14 - B - 04 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C402 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交代 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ブータン	養殖					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林省					
	2) 配属先名 (日本語) 畜産局国立内水面水産センター				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ハ県ニヤチュ JICA事務所の所在地( ティンブー市 )から 東 方向 110 Km 主要都市( ハ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 前身となる「国立冷水漁業センター」の2005年の開所以来、国内の河川や湖沼におけるブータン内水面漁業の持続可能な開発を推進して行くことが配属先の主な事業内容となっている。具体的には、現在、地域に根ざしている漁業および遊魚の振興開発、河川や湖沼の水質管理また湖沼学的な調査、地域住民への助言、天然/養殖を問わず稀少な魚類の繁殖、さらには水力発電所建設工事に伴う環境変化に対する各種規制や魚類保護などが含まれる。2013年に現在の名称を持つセンターに改組・拡大され、これまでの事業がより強化された。総敷地面積は9ha。年間予算は約170万円。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2013年に新しく改編された同センターでは、十分な「マスの養殖技術」を持つスタッフが育っておらず、いまだ手探りで日々の業務に携わっている状況である。国内において水産業を学ぶ機会は無いため、スタッフの数名が国外(インド)で短期研修を受け、幾ばくかの知識と経験を配属先に持ち帰り、それを頼りとして事業運営を行っている。かかる状況下において、スタッフの基礎的な技術力を全体的に底上げすることが喫緊の課題として上がっており、今回のJV要請に至った。ボランティアは、「マスの養殖」に関する基本的な技術を配属先スタッフに指導・助言し、将来的には、食用や輸出に耐えうる成魚を配属先が独自に飼育・生産できるよう支援する。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは配属先スタッフと協力し、マスの養殖に関する以下の業務をスタッフと共に行う。 1. 親魚の養成 2. 種苗生産(卵・仔魚管理) 3. 稚魚飼育および養成 4. 飼育管理(給餌、水質管理) 5. 養殖施設の拡充にかかるアドバイス					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 約9haの敷地、給水施設(水源は山間部の湧水)、養殖池(1.5M×10.0M)×10面、検査室、稚魚生産用エアレーション装置付プラスチック水槽、事務用品(コピー機、ファックス、インターネット、PC)					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・センター長(40代:男性) ・副センター長(30代:男性) ・配属先同僚8名(20代~50代:男性6名、女性2名)(実務経験0年~2年) ・うちカウンターパート1名(20代:男性:大学卒:経験2年)(マス養殖スーパーバイザー) 主な活動対象者 ・配属先同僚および事業支援者(近隣農民など)			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 理系 )理由:水産学(養殖)の知識が必要 ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由:同僚への指導・助言が必要のため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 在募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外		
地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( -5~30 °C位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 3 日

要請番号 ( JL 242 - 14 - B - 17 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C402 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ジャマイカ	養殖			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 2	年 月 から
				27 / 3	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 西インド諸島大学				
	2) 配属先名 (日本語) ディスカバリーベイ海洋研究所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 セントアン教区ディスカバリーベイ JICA事務所の所在地( キングストン )から 南西 方向 123 Km 主要都市( キングストン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 西インド諸島大学の研究所で海洋科学の研究を実施している。生徒・学生、地域住民に対して海洋科学に関する環境教育も活発に行っている。研究職員は4名だが、他に西インド諸島大学の学部、大学院の学生や、提携する米国の大学から学生が訪れて、実習・研究を行っている。また、カリブ地域の沿岸データセンターとしても機能しており地域約30か国から送られるデータを管理している。サンゴ礁のモニタリング、サンゴの生態、侵入生物、潜水漁法についての啓発、タンカーからのバラスト水投棄の影響などの研究が行われている。研究資金は大学、ジャマイカ環境基金、GEFなどから得ている。減圧症治療用減圧タンクがある。				
要請概要	1) 要請理由・背景 米州開発銀行からの資金でサンゴ増殖研究と海面養殖開発研究が開始される予定であるが、研究者、予算の不足を補い十分な研究成果をあげるためにボランティアの協力が要請された。サンゴ増殖研究に関しては、近年減少が著しいサンゴ礁を回復するためにサンゴ移植によってサンゴを増殖し、観光資源、漁業資源としてのサンゴ礁の価値取り戻そうという取り組みである。また、海面養殖開発研究についてはジャマイカでの産業振興政策に即したプロジェクトとして位置づけられる。配属先では海面養殖については経験が浅いため、日本のボランティアからのインプットを大いに期待している。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下の研究活動等について技術的な支援を行う。 1. サンゴ(Acropora cervicornis)の種苗を育てサンゴ礁へ移植する増殖研究。 2. ウニ(Tripneustes ventricosus)とスギ(Rachycentron canadum)の養殖研究。 3. 飼育魚類等の繁殖管理。 4. 飼育水槽など施設の有効利用、水質管理のための効果的な注排水施設の提案。 5. 文献調査、研究提案書、報告書の作成。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 スキューバ用具、ポート、ポンプ、顕微鏡、解剖器など実験器具				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 研究員 男性 2名 30代 熱帯生態系管理学修士、海洋科学学士 活動対象者: 学部学生			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: )	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 理系 ) 理由: 研究支援に専門性が必要 ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 研究支援に必要 ・ スキューバダイビングの技術 理由: 研究活動に必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 22~32 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号 ( JL 306 - 14 - B - 12 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C402 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ボリビア	養殖					
配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 農村開発・土地省					
	2)配属先名 (日本語) オルロ県庁農牧サービス局				<input type="radio"/> NGO	
	3)任地 オルロ県オルロ市 JICA事務所の所在地( ラパス市 )から 南東 方向 230 Km 主要都市( オルロ市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
	4)配属先の規模・事業内容 オルロ県は標高3700~4000mの高地高原地域に位置しており、寒冷で降雨量が少ないことから、農業分野では、キヌア、じゃがいもなどの栽培や、乳牛・リヤマ・アルパカ・羊の飼育などで生計を立てる零細農民が多数を占める。配属先は、同県における農業振興を目的として、農民への技術支援や、政府や援助団体の資金協力によるプロジェクトの計画・実施などを行っている。2009~2011年にJICA技術協力プロジェクト「高地高原中部地域開発計画」から、地域の気候風土に適した小規模灌漑農業に関する技術指導を受けた。配属先の2014年の予算は約90万米ドル(約9000万円)。					
要 請 概 要	1)要請理由・背景 活動先は「パリア養殖センター」で、マス(主にニジマス)の養殖事業を行っている。センターはオルロ県内の貧しい農村地域での養殖事業による農民の収入増を目指して2010年に設立され、現在は28コミュニティにまで普及を拡大している。センターの屋外水槽では成魚およそ250匹を養殖し、また試験的に人工授精から孵化させた稚魚の養殖も行っているが、現在は主に他県の養殖地から稚魚を購入して養殖し、一定程度大きくなった稚魚をコミュニティに配布して、養殖についての簡単な技術指導を行っている。手作りの養殖池で稚魚から養殖を行い成魚を販売するこの手法は、1匹当り300円程度の現金収入を得られることから、コミュニティの関心も高い。配属先では、今後もこの事業を発展・拡大させることを目指しており、また適切な養殖環境を整え成魚の生存率や成長速度を高めるための技術指導をセンター職員へ行ってほしいとして、本件が要請された。					
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) センターの同僚らと協力しながら以下の活動を行う。 1.人工授精から孵化、また稚魚・成魚の養殖方法(水質管理、餌の種類など)について改善策を提案し、また可能な範囲で改善に協力する。 2.センターに現在ある設備や機材の使用状況を確認し、今後必要な設備や使用方法改善などを助言する。 3.同僚とともに、養殖を行っているコミュニティを巡回し、養殖環境や養殖方法について現場にあるリソースでできる改善を提案・指導する。					
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 センター内の施設・設備の全て(屋外水槽、孵化場、汲み上げポンプ、pH測定器、調理場)					
	4)配属先同僚及び活動対象者 配属先長(40代、男性、大学院卒、農業・高地高原の畜産が専門) センター責任者(40代、男性、JICA帰国研修員、養殖が専門) センター職員 11名(30~50代、男性及び女性、農業・コミュニティ開発が専門)			5)活動使用言語 ( スペイン語 ) 6)生活使用言語 ( スペイン語 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由:業務上必要 ・ マスの養殖についての知識経験 理由:業務上必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
	地域概況 気候(高地寒冷気候 ) 気温( -10~20 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	標高3700~4000mの高地に位置し年間を通じて寒冷な気候で、農村部を巡回するため、相応の体力が必要。					



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 630 - 14 - B - 20 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C402)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
モザンビーク	養殖			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1	年 月 から
					27 / 2	
			27 / 3			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 水産省	
	2) 配属先名 (日本語) 国立養殖開発研究所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>	
	3) 任地 マプト州マプト JICA事務所の所在地( マプト )から 南西 方向 5 Km 主要都市( マプト )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)	
	4) 配属先の規模・事業内容 水産省から2002年に独立、養殖部門専門の機関として誕生した。モ国全土の養殖技術の向上、及び、養殖農家の新規開拓・技術普及に関する活動・研究を行っている。現在、同研究所がMaputo州とGaza州を直接管轄し、Tete州、Manica州、Niassa州、Zambezia州の4州は出先機関を置いて担当させている。また同研究所には普及員と呼ばれる、農家へ養殖業を普及し、技術支援を行う職員が所属しており、年2~3回地方へ出張して、出先機関職員への研修、地方の養殖農家の開拓と、彼らに対する研修や現地指導などの技術支援業務を行っている。	

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 モザンビークでは、食料自給率向上に向けて水産分野の開発に注力しており、日本もODA政策の中で水産業の支援拡大を模索している。特に内陸部における食料自給手段として、淡水魚養殖の普及が重要視されており、同国水産省では2009年に165トンだった収穫量を、2019年までに2000トンへ拡大することを目指している。 そのため、同研究所では、養殖業に関心のある農家に対して実施している研修を受講した農家の中で、実際に養殖池を作った者に対して、2500匹の稚魚を無料提供し、かつ、巡回技術支援を実施している。しかし、現在の職員数と、彼らの知識・経験だけでは、水産省が掲げる目標を達成することは困難なため、海外からの人材支援を受け、持続的に成長・発展するために本要請を行うこととなった。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 主な養殖品種であるナイルティラピアとモザンビークティラピアにおいて、養殖技術・生産量の向上に貢献するため、同僚職員の支援を得ながら、配属先の一般業務を行う。具体的には以下の業務に携わる。 1. ティラピアの池中養殖を行う一般農家に対して、池管理、養殖魚の生産管理などの技術支援を行う。 2. 一般農家の巡回計画、出張計画立案を行う。 3. 出先機関等の普及員への研修セミナーの立案・実施を行う。	

要 請 概 要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー機、プリンター、無線LAN、室内展示・研究用の水槽5個(2~3匹程度/水槽の大きさ)	
------------------	--	--

要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先長:女性、40代 普及課課長:男性、40代、職歴10年 普及課職員:10人(男6人、女4人)、職歴平均5年	5) 活動使用言語 (ポルトガル語 )
		6) 生活使用言語 (ポルトガル語 )
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)		活動上の單車/自転車の必要性	
	・ 免許/資格 ( ) 又は ( )		<input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
	・ 性別 ( ) 理由: ( )		現職教員特別参加制度	
	・ 学歴 ( ) ( ) 理由: ( )			
・ 経験 ( ) ( ) 理由: ( )		<input type="radio"/> 可		
・ 水産系大学卒程度の関連知識 理由: 同僚職員と同等レベル		<input checked="" type="radio"/> 否		
		春募集時のみ適用 SVは通年対象外		

地 域 概 況	気候(サバナ気候 ) 気温( 10~40 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	

特 記 事 項	
------------------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号( JL 745 - 14 - B - 11 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C402 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
キルギス	養殖			2年	27 / 1	年 月 から
				1年	27 / 2	
		ヶ月	27 / 3			

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省
	2) 配属先名 (日本語) グルドウンドゥル漁業協同組合 <span style="float: right;"><input checked="" type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 イシククリ州チュップ郡 JICA事務所の所在地( ビシュケク市 )から 東 方向 320 Km 主要都市( カラコル市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先であるグルドウンドゥル漁業協同組合は、FAO(国連食料農業機関)が実施しているProject on Support to Fishery and Aquaculture Management in the Kyrgyz Republic (2010.3~2013.8)で組織された漁業協同組合の一つであり、組合員数30名、鯉類・鯿類の養殖や、飼料の共同購入、組合員間での研修等を行っている。また組合員はFAOのプログラムで、中国、フィンランド、ハンガリー等での研修を受けている。予算は、1500米ドル/年、組合員からの会費で賄われている。

要請概要	1) 要請理由・背景 FAOより水産分野の活動についてJICAとの事業連携の申し入れがあり、FAOの推薦する優良漁業協同組合を対象に、聞き取り調査と養殖池の視察等を行った。漁業協同組合からは、FAOからも支援は受けているものの、理論を主とした座学の講義が多く、養殖の現場指導型の人材の派遣が望まれているところ本要請が行われた。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先組合員と協働し、以下の活動を行う。 1) 鯉・鯿類の稚魚の孵化技術の指導を行う 2) 魚病対策の指導を行う 3) 組合員に対して養殖にかかるトレーニングを実施する 4) 組合員に対して巡回指導を行う
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ローカルメイドの飼料混合機、揚水ポンプ、インキュベータ等
	4) 配属先同僚及び活動対象者 漁業協同組合長(男性50代) 漁業組合員(30名程度)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 農学 ) 理由: 養殖に係る知識が必須 ・経歴 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 淡水養殖の経験が必要 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(地中海性気候 ) 気温( -20~25 °C位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	村でのホームステイとなる。
------	---------------

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 548 - 14 - B - 19 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C411)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
タンザニア	水産物加工					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 家畜漁業開発省
	2) 配属先名 (日本語) 水産教育訓練公団ムベガニキャンパス <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 プワニ州バガモヨ県パンデ・ムベガニ JICA事務所の所在地( ダルエスサラーム )から 北 方向 60 Km 主要都市( ダルエスサラーム )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1966年に設立された配属先は、家畜漁業開発省管轄の水産系教育訓練機関である。2011年に国内にある他の水産系教育機関と合併し、現在の漁業訓練公団(FETA)に名前を変え、新たな教育訓練機関としてスタートした。養殖、食品加工、漁業、環境、海洋工学の5部門でCertificate、Diplomaコースがあり、約350名の学生が在籍している。教員は約40名、年間予算は約2,500万円。2008年に海外漁業協力財団(OFCF)が同配属先に対し、修理修復プロジェクトを実施しており、訓練船の修理修復、技術者への指導が行われている。

要請概要	1) 要請理由・背景 同国は広域にわたってインド洋に面しており、潤沢な海洋資源を有する環境にあるが、海洋資源を活用する人材が十分に育成されていない。同公団は、タンザニアの海洋水産業に係わる人材を養成する主要機関であるが、適切な技術や知識を教授できる講師が慢性的に不足しており、今回の要請となった。2012年3月まで同職種のJVが活動していた他、2014年1月まで養殖のJVも同配属先で活動をしていた。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Certificateコース[Oレベル(中学2年生から高校2年生程度)卒業者を対象]とDiplomaコース(Certificateコース修了者を対象)の学生に対して、食品加工に関連する授業(「衛生管理概論」「塩干品加工技術」など)や実習を実施する 2. 食品加工の技術や理論を同僚や学生、また中小企業などに紹介する 3. 配属先にある機材(日本の援助が多数)を効果的に使用するアドバイスを行う
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、食品加工ルーム、PC(Windows)(12台・実習用)、

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 )( )理由:同僚の教育水準に合わせる ・経歴( 実務経験 )( 2年以上 )理由:同僚と同等の経歴が必要 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 食品加工部門講師約10名(20代~50代) 活動対象者: 学生、食品加工講師、中小企業者	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( スワヒリ語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )
	現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	

地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 20~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 5 月 30 日

要請番号( JL 027 - 14 - B - 01 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ベトナム	化学・応用化学			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				年 月 日 から	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ベトナム協同組合連合				
	2) 配属先名 (日本語) 科学技術環境センター				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 ハノイ市(中央直轄市) JICA事務所の所在地( ハノイ市 )から 北 方向 0 Km 主要都市( ハノイ市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 上部組織であるベトナム協同組合連合(VCA)は、1996年に国会で設立を承認された機関で、63地域(58省と5中央直轄市)の協同組合連合を統括し、末端組織として農業、水産、工芸品、建設、輸送等多様な業種からなる約19,700組合、1,300万組合員を抱える。配属先である科学技術環境センター(COSTE)はVCAの一組織として2004年に設立され、協働組合及び組合員に対する新技術の相談・研修・普及、電子商取引や知的財産権に関する調査・研究、各種生産品に関する科学的分析・調査・研究、環境面での技術支援、輸出の促進等を目的とした事業を実施している。常勤職員は41名、非常勤職員は25名。				
要請概要	1) 要請理由・背景 近年、農林水産系協同組合や工芸品協働組合の生産品の多くは、EU等海外への輸出が強く期待されているが、生産品は輸入国の輸入基準を満たしていない。そこで、食品や手工芸品の品質検査と評価を支援し、生産品を輸入国の基準に合致させるため、VCAによりCOSTEに分析機器の投資が実施され、2013年に実験・分析室が完成、現在職員7名によって各種分析を実施中である。職員は品質検査や分析器操作の短期研修を受講済みではあるが、分析機器の機能をまだ十分には利用できてはいない。ガスクロマトグラフィー(GC)、液体クロマトグラフィー(LC)は全員が操作可能ではあるものの分析精度の不安があること、ICP発光分析装置(ICP-OES)は3名が限定的な操作を出来るのみであることから、ボランティアによるGC、LC、ICP-OESを利用した食品中の残留農薬や抗生物質、天然化合物等の分析技術の支援が求められた。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 赴任当初は語学力の向上、同僚との関係構築、現状の技術力と問題点の把握に重点を置きながら、次の活動を可能なものから実施し、同僚が独力で機器を操作し、精度の高い分析が出来るようになることを目指す。 ①GC、LCによる分析作業を支援し、同僚の機材操作に関する正しい知識、技術の向上に協力する。 ②ICP-OESによる分析作業を隊員自らが同僚とともに実施し、同僚が同装置を正しく操作できるよう支援する。 *試料準備から分析データの評価まで、必要に応じ勉強会等を実施しながら段階を追って支援することが求められている。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Varian Bruker 450-GC、HITACHI HPLC LaChrom Elite、Teledyne Leeman Labs Prodigy XP High Dispersion ICP				
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 実験・分析室室長(男性/30歳代/修士) 技師6名(男性3名、女性3名/20歳代2名、30歳代4名/大卒5名、修士1名)		5) 活動使用言語 (ベトナム語 ) 6) 生活使用言語 (ベトナム語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: )		
	資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 理系 )理由: 専門知識が必要なため ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由: 指導が必要なため ・ GC,LC,ICPの最低2種以上の経験 理由: 操作が必要なため		活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 10~35 ℃位) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項					



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 424 - 14 - B - 12 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D222 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
ヨルダン	溶接			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
			27 / 2		
			27 / 3		

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公社 アカバ職業訓練所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 アカバ JICA事務所の所在地( アンマン )から 南 方向 320 Km 主要都市( アカバ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 職業訓練公社(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内約50の訓練校で学生や社会人の技術力向上に取り組んでいる。年間予算は約13億円。2006年11月～2010年11月、本部と3モデル訓練所を対象として職業訓練マネジメント強化プロジェクトが実施された。現在、各地のVTCの訓練所でJV5名(経済・市場調査、服飾、美容師)及びSV2名(冷凍機器・空調、電子工学)が活動中である。アカバ職業訓練所には金属加工・溶接、自動車整備、冷凍・空調設備、電気、木工、ホスピタリティなど10の訓練コースがあり、訓練生は約200名である。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ヨルダンを持続的な経済発展と国際競争力強化のため、工業団地建設等の工業振興政策をとっている。また、労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。ヨルダンでは、失業率(12%)が問題となっているが、特に若年層の失業率が30-40%と高い。ヨルダンにおいてはさまざまな国家プロジェクトが進行していること、応用範囲が広いことから溶接技術の需要は高いと考えられる。しかし、職業訓練所では設備・備品の不備、最新の技術を知る機会が少ないなどの問題がある。安全教育、危険作業の防止を徹底するとともに、訓練生の学習意欲を高め、基本事項をきちんと習得できる訓練環境作りが求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) アカバ訓練所の溶接コースにおいて以下の点で協力を行う。 1. 訓練生の訓練意欲向上と学習支援 2. 訓練コースの補助教材作成 3. インストラクターの指導力向上のための支援 4. 訓練コースの実施に関する側面支援(電気・ガス溶接、TIG、MIG、安全教育)
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ガス溶接機 1台、アーク溶接機 5台、TIG/MIG溶接機 各2台、プラズマカッター1台、裁断機 1台、折り曲げ機械 1台、ロール機械 1台等

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( <b>ガス溶接・アーク溶接</b> ) ・性別( <b>男性</b> )理由:男性向けコースのため ・学歴( )理由: ・経歴( <b>実務経験</b> )( <b>3年以上</b> )理由:インストラクターへ指導のため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(地中海性気候) 気温( 10~50 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	
----------	--



事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 551 - 14 - B - 25 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D222 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
ザンビア	溶接			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1	年 月 から
					27 / 2	
			27 / 3			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省
	2) 配属先名 (日本語) カプエ職業訓練校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 中央州カプエ JICA事務所の所在地( ルサカ )から 北 方向 160 Km 主要都市( カプエ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.2 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1943年に設立された歴史のある国立の職業訓練校で、溶接科の他に、自動車、電気設備、コンピュータ等の学科を有し、主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業者)を中心に職業訓練が行われている。学生数は約850名で、溶接科には60名(男性58名、女性2名)の学生が在籍しており、当国職業訓練校の中でも比較的設備や講師が整っている。過去に自動車整備のJVが派遣されているが、現在はJICAを含め他国からの援助は入っていない。なお、2015年3月にコンピュータ科へJV(H26-4、PCインストラクター)を派遣予定である。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同国の職業訓練校の講師は、座学のみで理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、産業ニーズを汲み取った授業を行うことが難しい。この状況のなか、日本の現場で実務経験を積んだJVの協力を得て、職業訓練校の現場における実務経験不足を補いたいとの考えから、ボランティアの要請があった。初代となる同JVは、学生に対し、溶接の実習指導(基礎～応用技術)および講義(理論)を受け持つと同時に、同僚講師に対する技術指導も期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生に対する実習指導および講義(実習18時間/週、理論6時間/週) ・同僚講師に対する技術指導 ・レッスンプラン見直しに関するアドバイス
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 溶接機器(アーク、ガス)、板金加工裁断機、グラインダー、工具一式等
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・溶接科主任 50代/男性/指導経験25年 ・同僚講師 50代/男性/指導経験20年 ・同僚講師 20代/男性/指導経験3年
	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 高卒 ) ( ) 理由: 配属先同僚レベルとの調和 ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: 実務指導を行うため ・ ガス・アーク溶接講習修了 理由: 指導上必要なため	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(サバナ気候 ) 気温( 5~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	---

特記 事項	住居は、同校に近隣する講師寮に入居予定。
----------	----------------------

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 551 - 14- B - 26 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D222 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
ザンビア	溶接			1年	27 / 1	日系/短期
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3	年 月 から	

配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省
	2)配属先名 (日本語) キトエ職業訓練センター <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 コッパーベルト州キトエ JICA事務所の所在地( ルサカ )から 北 方向 360 Km 主要都市( キトエ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.2 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 1998年に設立された職業訓練センターで、板金・溶接コースの他に自動車、電気設備、服飾等のコースを有し、主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業者)を中心に職業訓練が行われている。学生数は約200名で、板金・溶接コースには約50名の学生が在籍している。学校設立当初、自動車コースにJICAより教育省(当時)を通して実習用車両の供与があったが、現在はJICA(ボランティア含む)や他国からの援助は入っていない。なお、2015年1月にコンピュータ・コースへJV(H26-3、PCインストラクター)を派遣予定である。

要請概要	1)要請理由・背景 同国の職業訓練校の講師は、座学のみで理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、実際の現場で求められている実践的な技術を教えることが難しい。この状況のなか、日本の現場で実務経験を積んだJVの協力を得て、職業訓練校の現場における実務経験不足を補いたいとの考えから、ボランティアの要請があった。初代となる同JVには、学生および講師に対する溶接の基礎的な技術指導(理論も含む)が期待される。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生に対する実習指導および講義(実習16時間/週、理論4時間/週) ・同僚講師に対する技術指導 ・レスンプラン見直しに関するアドバイス
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 溶接機器(アーク、ガス)、板金加工裁断機、グラインダー、工具一式等
要請条件等	4)配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・副校長 40代/男性 ・同僚講師 40代/男性/指導経験15年 ・同僚講師 30代/男性/指導経験8年
	5)活動使用言語 ( 英語 ) 6)生活使用言語 ( その他 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 高卒 ) ( )理由:配属先同僚レベルとの調和 ・経験( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由:実務指導を行うため ガス・アーク溶接講習修了 理由:指導上必要なため	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 5~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	住居は、同校敷地内にある学生寮に入居予定。
------	-----------------------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 018 - 14 - B - 25 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D227 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
タイ	工作機械					
1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) ピッサヌローク技術高等専門学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ピッサヌローク県ムアンピッサヌローク郡 JICA事務所の所在地( バンコク )から 北 方向 379 Km 主要都市( ピッサヌローク )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)			4) 配属先の規模・事業内容 1938年設立、高等学部3年、短大部2年制の学校であり、本件ボランティアの所属となる機械科を含む、10学科がある。過去に海外経済協力基金(OECF)の援助で校舎(一部)が建設され、機材も供与されている。職員数237名、学生数4,000名。学校全体の年間予算は3億円、機械科の年間予算は150万円である。2002年から2004年までJV(化学製品)が派遣された。			
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 タイでは、製造業の発展に伴い労働者の需要が急増し、慢性的に労働者が不足している。特に工業系の知識と技術をもった人材の需要は高く、工業系高等専門学校では、電子工学、生産機械、自動車工学等の製造業関連の人材育成に努めている。しかし、授業は理論が中心であり、企業で役に立つ実践的な演習、実習の強化が求められていると共に、実際の生産現場でもCNC工作機械を操作できる即戦力となる人材が求められていることから、配属先におけるこれらの点の強化を目的として、本件要請となった。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 同僚教師とともに、実習の授業を担当し、各種工作機械の操作方法やメンテナンスに関しアドバイスをを行う。汎用工作機械、CNC工作機械ともにあるものの、主に後者の操作に関するアドバイスが期待されている。 2 同僚教師とともに、各種工作機械の操作方法やメンテナンスに関するマニュアルを作成する。 3 製造現場で基本となる5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の習慣を、実習を通じ体得させ、現場に相応しい技術者が育成されるよう協力する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 普通旋盤12台、CNC旋盤7台、Mazak Nexus、Mazak VTC-16A、MITUTOYO Beyond、Denford CNC Simulation Laboratory					
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( 工学 )理由: 専門的な知識が必要 ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由: 実践的な内容の指導に必要理由:			5) 活動使用言語 ( タイ語 ) 6) 生活使用言語 ( タイ語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D ) 又は (レベル: )		
	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外					
地域概況	気候( 熱帯モンスーン気候 ) 気温( 22~38 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号( JL 045 - 14 - B - 23 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D227 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	27 / 1
モンゴル	工作機械			1年	27 / 2
			ヶ月	27 / 3	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省				
	2) 配属先名 (日本語) ゴビスンベル県技術カレッジ(鉱業専科)				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ゴビスンベル県チョイル JICA事務所の所在地( ウランバートル )から 南東 方向 230 Km 主要都市( チョイル )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 2010年設立、重機修理工、重機オペレーター、自動車整備士、溶接工等の技術者育成校。中等部卒業対象の2.5年コース、高等部卒業対象の1年コースと成人(24~40歳)対象の1年コースがあり、年間予算は約7,000万円。職員83名、うち教師41名、生徒数は624名である。鉱業分野の早急な発展に伴い全県から応募者が増加している。今までにボランティアの受入実績は無いが、オーストラリアの短期専門家3名( 戦略的計画、品質管理、職業訓練校指導法 )を受け入れた。校長はJICAの帰国研修員である。米国や同国民間企業の支援により資機材が整備されている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 雇用創出は同国における重要な課題であり、その課題に資する人材育成は急務である。同国では鉱業分野が近年急速に発展しており、積極的に鉱山開発がなされている一方で、現場に必要な専門技術をもつ人材が不足している。同校は市場で必要とされている人材の調査を踏まえたコースを設定し、海外支援や民間企業支援を受ける等、その戦略的な教育方針は高く評価されている。CNC制御旋盤等の機器が導入され、当機器を活用したいが、機器の取り扱い可能な教員数及び技術が不足している。単元を職業訓練科の各コース(重機修理工、自動車整備士、溶接工、重機オペレーター養成コース)に導入するための指導法・評価法・授業計画ができていないため、JVの派遣が要請された。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 部品製造のために必要な作業を実施する。(CNC制御旋盤等を活用する。) ② 教師に対し、単元の指導法・評価法・授業計画に対して助言する。 ③ 生徒及び教師に対し、工作機械や工具の安全かつ適切な取り扱い法を身につけさせる。 ④ ロボコン大会に参加する生徒チームに、より高性能なロボット製作に必要なアドバイスや指導を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 CNC制御旋盤(中国製)1台、フライス盤2台、形削盤1台、平削盤1台、ボール盤1台、溶接機(TIG、MIG、アーク)、検査機器、工具一式等				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(男性、30代) 同僚教師(20~40代、41名) 工作機械教師(女性、20代) 修理工教師(男性、20代・40代、2名) メカトロニクス教師(男性、40代) 関連養成科の学生(16~24歳、約130名)			5) 活動使用言語 ( モンゴル語 ) 6) 生活使用言語 ( モンゴル語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 専門学校卒 ) ( )理由:業務遂行上不可欠 ・経歴( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由:実務面での指導が必要のため ・ 専門学校等での指導経験 理由:単元立上げ実施のため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域 概況	気候(ステップ気候 ) 気温( -30~30 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記 事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 306 - 14 - B - 20 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D227 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代日	期間	JOCV/SV	日系/短期
ボリビア	工作機械			2年	27 / 1	年 月 から
				1年	27 / 2	
ヶ月	27 / 3					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) 財団法人INFOCAL職業訓練学校コチャバンバ校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 コチャバンバ県コチャバンバ市 JICA事務所の所在地( ラパス市 )から 南東 方向 234 Km 主要都市( コチャバンバ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、国内の労働者の技術向上を目的として1988年に国立の職業訓練校として設立された。その後1996年には労働省から非営利財団として独立した。全国9県の県庁所在地に分校があるが、それぞれが各都市の商工会議所などの支援により独立採算で事業展開している。コチャバンバ校は、電子科、機械科、自動車整備科、保育科、調理科など9コースを開設しており、中級・上級技術者の育成を行っている。現在電子科と自動車整備科の各SV1名の計2名が派遣されている。配属先全体の学生数約3000名。機械科では学生約200名が履修している。

要請概要	1) 要請理由・背景 ボランティアが活動する機械科では、昨今の市場のニーズに合わせ、機械の保守ができる人材の育成を目指し、3年次の学生が履修する「機械メンテナンス」講座を開設する予定で、授業に必要な実習用機械なども一部設置した。しかし、同校には現在工作機械の保守を指導できる専門の人材がおらず、また国内全体を見ても機械保守を教える職業訓練校が数少ないことから、同校では日本人ボランティアからの技術支援を受け、機械のメンテナンスを指導できる人材を育成すること、ひいてはメンテナンス技術を身に着けた同校の学生の、卒業後の雇用機会が増えることを期待している。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚と協力しながら以下の活動を行う。 1. 機械メンテナンス講座開設に向け、授業計画(座学、実習)、教材の整備を行う。 2. 同僚が学生に授業を行うことができるよう、機械のメンテナンスについての技術指導を行う。 3. 同僚に対し、実際にモデル授業を行って見せるなどし、わかりやすい教授の仕方を指導する。 4. 今後授業を展開するために導入が必要な実習用機械や教材などについてのアドバイスを行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ベルトコンベア用アライメント調整機(レーザー式)、張力計(レーザー式及び機械式)、トランスミッションシステム、部品組立実習用旋盤、機械部分組立用変速装置、シャフトアライメント調整機など

4) 配属先同僚及び活動対象者 機械科長(30代、男性、大卒) 同僚3名(20~40代、男性、専門学校卒、溶接、製造工程、製造機器制御などが専門) 機械科学生約200名	5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )
---	---

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: _____ ・学歴 ( ) ( )理由: _____ ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由: 同僚への指導を行うため ・ 製造機械などの一般的な保守の経験 理由: 同僚への指導を行うため	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(高地温暖気候 ) 気温( 5~30 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 424 - 14 - B - 10 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D227)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ヨルダン	工作機械					
配属先名 (日本語) 職業訓練公社 職業訓練技術学院(STIMI) <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>						
3) 任地 アンマン JICA事務所の所在地( アンマン )から 南東 方向 30 Km 主要都市( アンマン )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.5 時間)						
4) 配属先の規模・事業内容 職業訓練公社(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内42の訓練所にて学生や社会人の技術向上に取り組んでいる。年間予算は約13億円。2006年11月～2010年11月、本部と3モデル訓練所が対象として職業訓練マネジメント強化プロジェクトが実施された。これに関連し、3モデル訓練所などに各分野のJVおよびSVが継続的に派遣され、現在、各地のVTCの訓練所でJV5名(経済・市場調査、服飾、美容師)及びSV2名(冷凍機器・空調、電子工学)が活動中である。また現在、VTCは世界銀行の支援により包括的マネジメント強化に取り組んでいる。						
1) 要請理由・背景 ヨルダンは持続的な経済発展と国際競争力強化のため、投資促進、工業団地建設等の工業振興政策をとっている。また、労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。失業問題、特に若年層の失業率が30～40%と高い中、需要の高い金属・機械加工分野の人材育成が重要とされる。 職業訓練技術学院(STIMI)は金属・機械加工分野の人材育成を目的に1997年設立され、短大卒業資格に該当するDiplomaコース及びCraftsmanコースを有する。訓練生は約100名。ヨルダン職業技術学院プロジェクト(1997年～2002年)が実施された。また近郊の試験訓練所(TTI)で、2014年1月まで3代の工作機械JVが活動しており、STIMIにも訪問指導をしていた。STIMIでの活動の都合がつけばTTIでの指導も期待されている。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 職業訓練技術学院(STIMI)のCNCコースにおいて、インストラクター及び訓練生に対し以下の点で協力を行う。 1.CNC旋盤の操作・メンテナンス方法の指導 2.ワークショップ内の機器のメンテナンス方法および故障修理方法などの指導 試験訓練所(TTI)の金属加工コースにおいて、インストラクター及び訓練生に対し以下の点で訪問指導を行う。 1.訓練生の訓練意欲向上と学習支援 2.インストラクターの指導力向上のための支援						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 旋盤、フライス盤、研削盤、形削り盤、ボール盤、小型CNC旋盤、アーク溶接機、放電加工機、CNC旋盤・森精機 SL-200						
4) 配属先同僚及び活動対象者 職業訓練技術学院(STIMI)・校長 男性、40代・インストラクター 男性2名、40代 ・訓練生 男性、18～22歳(高校卒業レベル) 試験訓練所(TTI)・校長 男性、40代・インストラクター 男性、30代後半 ・訓練生 男性、16～22歳(小学校、中学校卒業レベル)				5) 活動使用言語 ( アラビア語 ) 6) 生活使用言語 ( アラビア語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由: 男性向けコースのため ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経歴 ( 実務経験 ) ( 5年以上 ) 理由: インストラクター指導に必要 理由:				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況 気候(地中海性気候) 気温( 0～40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項						



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 10 日

要請番号( JL 548 - 14 - B - 13 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D227 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
タンザニア	工作機械					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 産業貿易省					
	2) 配属先名 (日本語) 中小企業開発機構ムベヤ地域事務所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ムベヤ州ムベヤ市 JICA事務所の所在地( ダルエスサラーム市 )から 南西 方向 700 Km 主要都市( ムベヤ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.2 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 中小企業開発機構(SIDO)は中小企業振興を目的とした政府機関であり、中小企業経営者や起業家に向けた技術支援、情報・施設の提供、各種トレーニングコースの実施等の総合的な支援事業を行っている。全国に21の地域事務所があり、1県1品運動による国内製品の生産、販売の促進も行っている。配属先のムベヤ地域事務所は農耕地帯ムベヤ州8県を統括している。また、配属先は技術開発センターを持ち、食品加工機械、農業機械等の開発製造販売も行っている。スタッフは、約30人。					
要請概要	1) 要請理由・背景 タンザニアの農業分野は、国民総生GNPの約4分の1を占め、かつ人口の約4分の3の生計を支えている。しかし、農業セクター成長率は政府が掲げる目標を下回っており、本セクターの成長は貧困削減の鍵となっている。その成長を促進させるためには農業機械の国内生産が不可欠であり、そのために技術者育成が求められている。そのため、SIDOではSIDOが有する技術開発センターの活性化に力を入れており、ムベヤ地域事務所にある技術開発センターはその中で最も活発に活動しているセンターである。同センターの技術者の育成、技術力向上のため、ボランティアの要請があがった。安全面、アイデア面における脆弱性も配属先が抱える問題として挙げられており、ボランティアには現地のスタッフとの協働を通してその点へのサポートも期待されている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.技術開発センターにて、同僚と共に部品修理、展示品作成などを行う 2.工作機械のメンテナンス技術を同僚に指導する 3.安全面、製品開発に向けたアイデアなどへのサポートを行う					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 旋盤、フライス盤、切断機、溶接機、ボール盤など					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 事務所勤務6名(男性3名、女性3名、30代-50代) 技術開発センター技術者約20名(男性、20代-60代)			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( スワヒリ語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( )理由: ・経験( 実務経験 )( 5年以上 )理由:活動を実施する上で必要理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 在募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(ステップ気候 ) 気温( 15~30 °C位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号( JL 239 - 14 - B - 24 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D228 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	27 / 1
ホンジュラス	冷凍機器・空調			1年	27 / 3
			ヶ月	/	

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 教育省
	2)配属先名 (日本語) ラファエル・ピネダ・ポンセ技術中高校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 ラ・パス県カネ市 JICA事務所の所在地( <span style="margin-left: 100px;">テグシガルパ市</span> )から <span style="margin-left: 20px;">北西</span> 方向 <span style="margin-left: 20px;">83 Km</span> 主要都市( <span style="margin-left: 100px;">ラ・パス市</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="margin-left: 20px;">バス</span> で約 <span style="margin-left: 20px;">0.2</span> 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 配属先は工業や家政の分野に特化した技術中高校で、基礎科(7年生から9年生)と高等科(10年生から12年生)の技術教育と普通教育を実施している。学科は、冷凍・空調科、電気科、電子科、家政科、服飾科からなり、全生徒数は650人、冷凍・空調科については、中学レベルが160人、高校レベルが22人である。現在、電気科において24年度4次隊の隊員が活動中である。年間予算は2百万ドル。

要 請 概 要	1)要請理由・背景 配属先には、2007年にEUから実習機材が寄付されたものの、導入時の研修が行われなかったため、機材が有効活用されていない。したがって、教官の実習機材に関する技術を高め、実習に活用して授業を進めて行けるよう、指導できるボランティアの要請が出された。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 教官に対して以下のことについて技術指導を行う。 1.冷凍・空調機器の修理やメンテナンス 2.冷凍・空調機器の設置 3.スペースの大きさに応じた空調機器の容量の計算及びそれに必要な基本的知識 4.冷凍・冷蔵車の修理
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ITEM DAR-2200、DAR-2400等のほか、GENERAL、FRIGIDAIRE、SAUNIER DUVAL、PECOMARK、QUANTUM、SOLGAR、LAMBRETHなど
	4)配属先同僚及び活動対象者 カウンターパートは20代後半、技術教育専攻の大卒、経験10年。 その他同僚は、20代半ばから30代前半の男女、技術教育専攻の大卒、経験は3年から11年。カウンターパート・同僚あわせて5名の教官がいる。

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( <span style="margin-left: 20px;">大卒</span> ) ( <span style="margin-left: 20px;">工学</span> ) 理由:同僚とのバランス上必要 ・経験 ( ) ( ) 理由: ・ <span style="margin-left: 20px;">冷凍機器・空調関連実務経験2年以上</span> 理由:実際の作業を指導するため	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(温暖湿潤気候 ) 気温( <span style="margin-left: 20px;">20~35</span> °C位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	
----------	--





長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 30 日

要請番号( JL 227 - 14 - B - 03 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D230 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
エルサルバドル	電気・電子機器					
配属先名 (日本語) 国立サンファン・テペソンテス高校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>						
3) 任地 ラパス県サンファン・テペソンテス市 JICA事務所の所在地( サンサルバドル市 )から 南東 方向 35 Km 主要都市( サンサルバドル市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.0 時間)						
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1980年代に創設された国立高校であり、内戦や地震により公民館や小中学校での授業を続けながら2014年に新校舎が建設された。3年制の中等専門課程(電気科)と2年制の普通課程があり、学生数は約220名、教職員数約10名である。3年制専門課程卒業時には中等技術者資格が与えられ、高等技術者養成機関の2年生編入もしくは大学に進学が可能となる。2012年に教育省からコンピュータ、電気科指導教材など職業訓練教育充実のために約5万米ドルの機材供与が行われた。しかし新校舎は5教室しかないため電気科実習室はなく、市内の保管場所から授業ごとに運搬している状況にある。2012年の年間予算は13万米ドル。						
1) 要請理由・背景 配属先の電気課程は1997年開設であり、学生数は約120名、担当教員は3名、それぞれが各学年を担当している。うち3年生を担当する教員は電気課程担当し約10年となるが、電気分野については各種研修を受けた後に学生に指導している状況である。2年生を担当する教員は高等技術者資格(電気・電子)を有しているが、指導経験は2年であることから、指導内容の向上を図りたいとして今回ボランティアが要請された。教育省で定められている指導内容は、1、2年生は英語などの基礎教科と電気分野の基礎を学習し、3年生では電気分野のみならず電子技術の基礎も含まれており、特にこの電子技術の指導について強化を図りたいとしている。なお、指導内容は日本の工業高校電気科で指導する基礎程度と思われる。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の中等専門課程(3年制)である電気課程において、学生に直接指導にあたり、同僚教員とともに指導法や指導教材の改善により指導内容の向上を図る。特に以下の科目についての協力が求められている。 (以下優先順位順) 1. 電子技術の基礎(テレビやラジオなどの構造や通信技術、それを構成する電気回路など) 2. 変圧器、電動機等の基礎 3. 産業機器の自動制御装置のプログラミングとその応用 4. マイクロコントローラ(8及び16ビット)						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電気・電子分野実習用機材及び資材(三相・単相モーター、モータースターター、継電器、接触器、PLC、LOGO、直流電源、ファンクションジェネレーター、オシロスコープなど。SIEMENS社製が多数)						
4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長:女性、40代 ・電気課程教員3名 ①3年生担当、男性、30代、勤務経験10年、コンピュータ、英語専攻 ②2年生担当、男性、20代、勤務経験2年、高等技術者資格(電気・電子) ・電気課程学生:125名(1年生50名、2年生43名、3年生32名)*2014年6月現在、学生の約1割が女性				5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 高等専門学校卒 ) ( 電気・電子 )理由: 教員への指導が必要なため ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由: 実習指導が必要なため 理由:				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外		
地域概況 気候(サバナ気候) 気温( 15~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項 住居は原則としてホームステイとなる。						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号( JL 239 - 14 - B - 26 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ホンジュラス	電気・電子機器			1年	27 / 1
				ヶ月	27 / 3
					年 月 から

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) ラモン・ロサ技術中高校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 レンペーラ県グラシアス市 JICA事務所の所在地( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テグシガルパ市</span> )から 北西 方向 425 Km 主要都市( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サン・ペドロ・スー市</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バス</span> で約 2 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 レンペーラ県のグラシアス市に若者の技術教育を目的に1880年に設立された。生徒数は約1000名。基礎科(中学1年~3年と同等レベル)と高等科(高校1年~3年と同等レベル)があり、両科とも3年制。専門分野は家政科、電気科、溶接科、ビジネスアドミニストレーション科、農業科、商業教育科がある。電気科の高等科は人気学科であり、220名の生徒が在学中。年間予算は23千米ドル。

要請概要	1) 要請理由・背景 職業訓練を通して各種技術に関する人材を育成している。電気科は人気学科の一つとなっている。5年前にヨーロッパ連合より、電気科において新築の校舎が建設され実習機材が導入された。これらの機材と教材は、実習授業で使用されているものの、基礎的な使用に留まっており、各機能、使用法を十分に理解している教官がほほいらない状況である。卒業生は、地域の企業の工場などで電気設備の管理などの仕事に就くケースが多いが、とくにPLC制御回路についての知識が求められているものの、同技術中高校で対応できていない実情がある。そのため、PLC制御回路等の機材について指導できる人材が求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 授業観察を行いながら適切な助言を行う。 2. 新規導入された機材を実習授業で有効活用できるよう基礎技術の指導支援を行う。 3. 実地訓練先の企業を訪問し、PLCの操作及びPLCを用いた制御回路のプログラム作成・開発の状況を確認する。 4. 生徒の理解を深めるための新たな授業・実習内容の提案を行い、同僚教官と共に授業(週30時間程度。1クラス25から30名)を実施する。 5. 上記に関する教材の作成を支援する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PLCや電子回路の実習機材(DE LORENZO, Lab Volt, Lucas Nuelle製)

4) 配属先同僚及び活動対象者 電気科教師、男性8名、女性1名、大卒もしくは大学在学中、30~50代、平均15年の実務経験。カウンターパートは国立教育大学で技術教育を専攻し電気科で勤続20年。	5) 活動使用言語 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スペイン語</span> ) 6) 生活使用言語 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スペイン語</span> ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )
---	---

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大卒</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">電気・電子</span> ) 理由: 電気科教師への指導のため ・ 経験 ( ) ( ) 理由: 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 存募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(温暖湿潤気候 ) 気温( 15~30 °C位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号( JL 239 - 14 - B - 27 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230 )	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
ホンジュラス	電気・電子機器			● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	27 / 1 27 / 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省				
	2) 配属先名 (日本語) アレハンドロ・フロレス技術中高校				○ NGO
	3) 任地 エル・パライス県エル・パライス市 JICA事務所の所在地( テグシガルバ市 )から 南西 方向 114 Km 主要都市( テグシガルバ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1961年に設立されたエルパライス県最大規模の技術中高校で、基礎科(7年生から9年生)と高等科(10年生から12年生)において技術教育と普通教育を実施している。高等科レベルの専門科目は、電気工業学科、自動車整備学科、農業学科、商業教育学科がある。全校生徒数は約600名。現在、JV(2012年3月から2014年3月)が、授業指導とともに、他ドナーから贈与された機材の授業への活用法の検討を進めているところである。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 教官の間では、教育技術を高めたいという希望がある。また、学校にはヨーロッパ連合の支援により電気工業学科の教室が建設され、実習機材の贈与がなされたが、新しい機材についての知識不足や、贈与の際の指導不足があり、有効活用されていない状態がある。この状況を踏まえ、2011年からJVが活動を開始し、授業指導だけでなく機材の有効活用の検討を進めているが、残り一年の任期で完了することは困難であり、継続的な支援が必要なことから、今回の要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.他の教官に対して電気分野の技術指導を行うとともに、生徒に対して日本の技術等について講話を行う。 2.実習場所への訪問を行い、必要とされる技術の調査を行う。 3.寄贈された機材の有効活用のための技術指導を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電気機械練習機(Lorenzo)、三相交流練習機(Lucas Nulle)、自動制御練習機(Lucas Nulle)、コイル巻機(dmb1005e)等				
要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート 40代後半男性、教官、経験25年 同僚教官は20代後半から50代前半			5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
	資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 電気・電子 )理由: 専門分野の指導を行うため ・経歴 ( ) ( )理由: 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 春募集時のみ適用 ● 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(温暖湿潤気候 ) 気温( 16~33 °C位)		電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号( JL 324 - 14 - B - 09 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230 )	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 4 代目	○ 2 年	JOCV/SV
パラグアイ	電気・電子機器			○ 1 年	27 / 1
			○ ヶ月	27 / 3	年 月 から
/					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省				
	2) 配属先名 (日本語) ルケ技術研修センター				○ NGO
	3) 任地 セントラル県ルケ市 JICA事務所の所在地( アスンシオン )から 北東 方向 20 Km 主要都市( アスンシオン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 同センターは教育文化省管轄の教育機関で、日本の工業高校に該当し、電気及び電子の2コース(3年制)が設けられている。生徒数は約350名(電気科、電子科各175名程度)が在籍しており、カリキュラムには240時間(約2ヶ月)の企業実習が含まれている。2012年11月まで長期シニア海外ボランティア(3代目)が活動していた。また、教官のうち1名はJICAの本邦研修に参加した経験もある。年間予算は約1万8000ドル(人件費を除く。)(2014年)。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 パラグアイ国内ではメルコスール域内での経済競争力の強化が課題となっている。製造業界では製造工程の自動化が急務となっており、近年工場へのPLC、PIC等の導入が増加している。同校においては、産業界からの労働力需要に応えるため、これらの技術や知識を持った人材の育成を目指しJICAボランティアの要請がなされてきた。これまで派遣されたボランティアの活動によって、教官は自動制御の基礎技術を習得しているものの、需要に十分に応えるためにはPLC等に関するネットワークについてのさらなる技術や知識が必要との理由から、継続しての要請となった。年間授業期間は2月下旬から11月末頃までとなっているため、それに合わせた派遣期間としている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 電子科教員に対して、以下の項目につき支援を実施する。 1.PICマイコン、Arduinoについての基礎理論、実習指導 2.PLCネットワーク接続の応用と実習指導 特にSIEMENS社製PLC機器を使用した通信(PROFIBUS、PROFINET、ETHERNET)についての指導 3.空気圧制御についての指導 4.実習機材整備に向けたアドバイス				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PLC(SIEMENS社製が多い)、PIC、空気圧制御装置2台(1.電磁弁付き複式シリンダ3本搭載、2.電磁弁付き単式シリンダ1本搭載)、パソコン、テスター、オシロスコープ、一般工具一式等				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 主任教官: 男性、大学工学部卒、30歳代後半 (歴代3名のSVとの業務経験あり、専門は自動制御) 他教官:3名程度 学生:約350名(17-18才)			5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( 電気・電子 ) 理由: 専門分野の知識が必要 ・経歴 ( 実務経験 ) ( 10年以上 ) 理由: 業務遂行上必要 ・ PLCネットワークについての経験 理由: 業務遂行上必要			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 春募集時のみ適用 ● 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(亜熱帯気候) 気温( 0~40 ℃位)		電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 324 - 14 - B - 19 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
パラグアイ	電気・電子機器			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 3	年 月 日
1) 受入省庁名 (日本語) 司法労働省					
2) 配属先名 (日本語) 職業訓練局 イタ訓練センター 電子科					<input type="radio"/> NGO
3) 任地 イタ市 JICA事務所の所在地( アスンシオン市 )から 南東 方向 50 Km 主要都市( アスンシオン市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 司法労働省管轄下の職業訓練局(SNPP)は1971年に設立され、工業化するパラグアイの労働市場に見合う人材の育成を行ってきた。全国に16か所の地方事務所および10か所の訓練センターを展開しており、イタ校はその1つ。電子科、自動車科、産業電機科、鉄鋼機械科、服飾科、冷凍空調科などの単位制の一般短期コースがあり、17歳以上を対象に職業訓練を実施している。また、地域の企業からの要請により、従業員限定の特別コースなども提供している。これまでイタ校ではJICA協力実績はないが、サンロレンソ校およびコロネルオビエド校では、無償資金協力や技術協力プロジェクトが実施され、SVが1名ずつ派遣中。					
1) 要請理由・背景 配属先の電子科一般短期コースは、教育訓練期間は3ヵ月で、毎回60名の卒業生を輩出している。新校舎が建設され授業に必要な機材も確保されているが、インストラクターはそれを活用できていない。そのため、指導者の知識および指導力向上、教材やカリキュラム改善などが急務となっているものの、国内の人材だけでは対応が難しく、本要請がなされた。また、必要に応じて、コロネルオビエド校に派遣中のSV(25-3次隊、電気・電子機器)との連携も期待される。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)					
① 生徒に指導する(教員への見本として) 【指導内容】電気回路、電子回路、電子工学、論理回路、シーケンス制御、または家電の修理など ② 教員への技術指導および研修 ③ 教材・授業内容の改善のサポート					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 オシロスコープ(LW-2062B)、信号発生器(MINIPA-MFG4202)、テスター(UNI-T UT50E)、プロボート(AXUN)、レギュレータ(DHAZENG PS1302D)					
4) 配属先同僚及び活動対象者 校長 女性 40代 主任インストラクター 男性 30代 インストラクター 男性 20代(電子科短大卒業、指導経験4年)				5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 高等専門学校卒 ) ( 電気・電子 )理由:活動遂行上必要なため ・経歴 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由:活動遂行上必要なため 又は専門学校卒 理由:活動遂行上必要なため				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 応募時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況 気候(亜熱帯気候 ) 気温( 0~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 424 - 14- B - 13 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	派遣希望時期	派遣希望時期
ヨルダン	電気・電子機器			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
				27 / 1	年 月 から
				27 / 2	
				27 / 3	

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 労働省
	2)配属先名 (日本語) 職業訓練公社 試験訓練所(TTI) <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 アンマン JICA事務所の所在地( アンマン )から 北東 方向 20 Km 主要都市( アンマン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 職業訓練公社(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内約50の訓練校で学生や社会人の技術力向上に取り組んでいる。年間予算は約13億円。2006年11月～2010年11月、本部と3モデル訓練所を対象として職業訓練マネジメント強化プロジェクトが実施された。 現在、各地のVTCの訓練所でJV5名(経済・市場調査、服飾、美容師)及びSV2名(冷凍機器・空調、電子工学)が活動中である。試験訓練所(TTI)には電子機器制御・事務機器保守、金属加工、自動車整備、冷凍・空調設備、電気、木工、ホスピタリティなど14の訓練コースがあり、訓練生は約300名である。

要 請 概 要	1)要請理由・背景 ヨルダン持続的な経済発展と国際競争力強化のため、投資促進、工業団地建設等の工業振興政策をとっている。また労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。 ヨルダンでは、高い失業率(12%)が問題となっているが、特に若年層の失業率が30-40%と高い。 職業訓練所では学生や社会人の技術力向上に取り組んでいるが、設備・備品の不備、最新の技術を知る機会が少ないなどの問題がある。安全教育、危険作業の防止を徹底するとともに、訓練生の学習意欲を高め、基本事項をきちんと習得できる訓練環境作りが求められている。また、社会人としての資質を向上させるためのソフトスキル教育の導入も進められている。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) TTIの電子機器制御・事務機器保守コースにおいて以下の点で協力を行う。 1. 訓練生の訓練意欲向上と学習支援 2. 訓練コースの補助教材作成 3. インストラクターの指導力向上のための支援 4. 訓練コースの実施に関する側面支援 5. 周辺の複数のVTIに対する巡回指導の実施
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 各種工具、実習用コピー機、電子コントロールボード。ノートパソコンは持参した方がよい。

資 格 条 件 等	4)配属先同僚及び活動対象者 ・校長(男性、40代) ・担当インストラクター2名(男性、30代) ・訓練生 約20名(男性、10後半～20代前半) ・他コースの指導員、事務員、他スタッフ(男女約40名)	5)活動使用言語 ( アラビア語 )
		6)生活使用言語 ( アラビア語 )
		7)選考指定言語 英語 (レベル: D ) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別 ( 男性 ) 理由: 男性向けコースのため ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経歴 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: インストラクター指導のため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用
		<input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(地中海性気候 ) 気温( 0~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	
----------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 8 日

要請番号( JL 503 - 14 - B - 02 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ボツワナ	電気・電子機器			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 3	
				/	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 鉱物エネルギー水資源省
	2) 配属先名 (日本語) 水道局 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ハボロネ JICA事務所の所在地( ハボロネ )から 南 方向 3 Km 主要都市( ハボロネ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 内陸国で起伏に乏しく降雨量の少ないボツワナ国は、水不足への対応が国家課題である。配属先は上水道の水源管理を行っている機関であり、新たな水源開発やダム・河川などの水量管理、行政による上水施設のプランニングへの関与から、個人申請の井戸・湧水の水質検査などまで幅広く行っている。2014年度の年間予算は約1億5千万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 国内10支所にて降雨量、河川水量、ダム水量などを調査する機器を設置し、データを衛星および携帯電話網で回収するシステムを導入しているが、故障や調整不良により正しい値が把握できていない。調査地点は200か所にのぼるが、機材故障などにより、多くが職員による巡回調査となっているため最新の状況が把握できていない。 また、水質検査機器も故障がちであり、技術スタッフによる対応を行っているが、より専門的な修理・調整ができる技術者が求められている。機材は専門機材であるため、多くが南アフリカの会社から輸入・設置されたものであり、十分なサポートが受けられない。ボランティアには故障個所の切り分けにより、必要な部品を取り寄せて修理するなどの活動が求められる。加えて、上水道関係の知識があれば更に望ましい。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは技術部門に所属し担当者と協働し以下の活動に取り組む。 1.遠隔測定機器(降雨・水流・水量など)の軽微な修理・調整および同僚への技術指導 2.水質検査機器の修理・調整および同僚への技術指導 3.機器の修理に関して、海外の機器販売メーカー等と故障状況や故障診断等について連絡を取りながら、修理の方法について検討・対応する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電器修理工具一式、水質検査機器、遠隔測定機器、培養機(サンヨー製・MIR154)、原子吸光分析器(島津製作所製・AA-6300)、ICP発行分光分析装置(X Series2 ICP-MS)など
4) 配属先同僚及び活動対象者 30-46歳 大卒 電気技師 4人 機械技師 1人	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( 電気・電子 )理由: 電気電子の知識が必要 ・経歴 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由: 上水関係での経験が望ましい 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(サバナ気候 ) 気温( 0~40 °C位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	
----------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号( JL 551 - 14 - B - 02 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D230 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
ザンビア	電気・電子機器			1年	27 / 1	日系/短期
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3	年 月 から	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省					
	2) 配属先名 (日本語) チョマ職業訓練校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 南部州チョマ JICA事務所の所在地( ルサカ )から 南 方向 280 Km 主要都市( チョマ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.3 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 1970年に設立された歴史をもつ国立職業訓練校で、エンジニアリング、コンストラクション、ビジネス・コースの3つに分かれ、それぞれに自動車、木工、コンピュータ科等を有し、主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業者)を中心に職業訓練が行われている。全体の学生数は約300名で、電気科は、2学年で95名の学生(男子82名、女子13名)が在籍しており、当国職業訓練機関の中でも比較的教育環境(設備、講師、マネージメント等)は整っている。現在、JICAを含め他国および国際機関等からの援助は入っていない。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 当国では、近年、地方の電力化が進み、電気関連の技術者の需要は高い。しかし、職業訓練校の講師は、座学のみで理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、産業ニーズを汲み取った授業を行うことが難しい。この状況のなか、日本の現場で実務経験を積んだボランティアの協力を得て、職業訓練校の現場における実務経験不足を補いたいとの考えからJVの要請があった。同JVには、電子回路、PLC(Programmable Logic Controller)を使った自動制御、電化製品の故障診断・修理等に関する指導が期待されている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生に対する実習(16コマ/週)および講義(2コマ/週)を担当 ※1コマ45分 ・同僚講師の授業に対するアドバイス ・同僚講師に対する実習機器の保守管理の指導					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用配電盤、オシロスコープ、マルチメーター、PLCトレーニングソフト(FX-TRN-BEG-E)					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・同僚講師 30代/男性/指導経験12年 ・同僚講師 40代/男性/指導経験25年 ・同僚講師 30代/女性/指導経験10年			5) 活動使用言語 ( 英語 )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( )理由: ・経験( 実務経験 )( 3年以上 )理由:実務指導を行うため 理由:			6) 生活使用言語 ( その他 )		
			7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )			
			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要			
			現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外			
地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 5~35 ℃位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )					



事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 630 - 14 - B - 18 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D230 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代日	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
モザンビーク	電気・電子機器			27 / 1	27 / 2	年 月 日
1) 受入省庁名 (日本語) 教育省						
2) 配属先名 (日本語) エストレラ・ドウ・マル職業学校						<input type="radio"/> NGO
3) 任地 イニャンバネ州イニャソロ JICA事務所の所在地( マプト )から 北東 方向 650 Km 主要都市( ビランクーロ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)						
4) 配属先の規模・事業内容 2004年にイタリアのカトリック系非営利団体の支援により設立された3年制の職業訓練校である。生徒数は約500名程度で、服飾科、大工科、電気設備科、金属加工・錠前科、ホテル・観光科、会計科の6コースが開設されている。当校学生の卒業後進路は、8割以上が地場の中・小規模業者やホテル・ロッジへの就職となっているため、各コースでは卒業後直ぐに役立つだけの製品製造技術、およびサービス提供ができる技量を身に付けさせるべく、丁寧で質の高い授業と訓練を行っている。また、米国ピースコー(平和部隊)のボランティア3名(図書館司書、理数科教師)も活動している。						
1) 要請理由・背景 当校の大工科、電気設備科、金属加工・錠前科で使用されている、実習用工作機械に組み込まれた電気モーターの保守整備、修理ができる技術者が求められている。当校の工作機械は、1台のコンピュータ制御旋盤を除き、全て1970年代から90年代に製造された手動制御の旧型機材であり、そこに使用されている電動モーターも電子制御など高度な機能を持たない物である。しかし、当校にはこれら機材の保守整備、修理ができる技術者が存在しないため、故障が起こる度に首都から技術者を呼ぶか、首都の修理業者に故障部品を送って修理しており、多額の費用と時間がかかっている。その一方、学校職員の中には、技術さえ教われば修理だけでなく、保守整備を行えるだけの知識を有した人材がいるので、これらの人材に技術指導と、部品・工具管理および購入等の運用実務に関する知識を指導できるボランティアが要請されている。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 実習用工作機械に組み込まれている電動モーターの保守整備・修理を行う。 2. 同僚教員、および、機材保守要員に対し、保守整備・修理に必要な技術を指導する。 3. 部品・工具の管理および購入等、運用業務に関する規定・手順等を整備し、同僚に指導する。						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電動鋸2台、電動サンダー・グラインダー4台(大型機材)、電動ドリル(台座に固定設置されている)3台、旋盤7台(1台はコンピュータ制御式)、吸塵器(おが屑収集用)、教材用電動モーター(単相/三相)3台						
4) 配属先同僚及び活動対象者 12名の教員(20代後半～40代前半、教員経験2年～15年程、工作機械操作に関する技術・知識は高い) 3名の保守要員(20代後半～30代半ば、経験年数は3年～7年程度、機械の保守・修理技術は乏しい)				5) 活動使用言語 (ポルトガル語 ) 6) 生活使用言語 (ポルトガル語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由: 同僚職員に技術指導するため 理由:				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況 気候(サバナ気候 ) 気温( 5～40 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )						
特記事項						



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 636 - 14 - B - 01 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D230 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 3 /	日系/短期 年 月 から
ルワンダ	電気・電子機器					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省雇用開発局					
	2) 配属先名 (日本語) ニャンザ技術学校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 南部県ニャンザ郡キゴマ村 JICA事務所の所在地( キガリ市 )から 南 方向 70 Km 主要都市( キガリ市 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 2002年に開校した寄宿制の後期中等教育レベルの公立技術学校。生徒数600名、教員数24名。同国における技術学校のモデル校となっており、5つの技術コース(電子、電気、建設、自動車整備、公共サービス)を開設している。生徒は専門コースを一つ選択して、基礎理論と実技を学ぶ。同校への外部支援は活発であり、過去にアフリカ開発銀行が建設の資金提供、機材供与、ボランティア派遣を行い、世界銀行が校舎の増設を行った。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 技術学校では、教員給与が低く、質の高い技術者はほとんど民間に流れる現状があり、同校においても、各コース関連分野で幅広い知見を有する講師の確保には至っていない。特に電気・電子機器コースに関しては、生徒に質の伴った授業を提供できていない。電子コースの充実の継続を目的として、隊員の継続要請があった。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・基礎的な電子コース専攻の実技と理論の指導を行う。 ・同僚教員と授業内容や進度を相談しながら、教員たちのレベルアップの一助を担う。 ・電子回路における基礎知識と実践への応用を取り入れた授業を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習場、オシロスコープ、半田ゴテ・テスター、抵抗器、テレビトレーナー、ラジオトレーナー、ブレッドボード及び基本的な電子部品、基本的な機材及び道具					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長 電子コース教師(4名、20~30代) その他教師(20名) 生徒(後期中等教育レベル)			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 高卒 )( 電気・電子 )理由: 職業訓練校教員の最低学歴 ・経歴( 実務経験 )( 3年以上 )理由: 学生、教員へ指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域 概況	気候(熱帯性気候) 気温( 15~30 ℃位)		電気 <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし 水道 <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし			
特記 事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 8 日

要請番号( JL 048 - 14 - B - 16 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D231 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	● 2 年	JOCV/SV
ブータン	電気・電子設備			○ 1 年	27 / 1
			○ ヶ月	27 / 3	年 月 から

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働人材省
	2) 配属先名 (日本語) ランジュン職業訓練校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 タシガン県ランジュン村 JICA事務所の所在地( ティンブー市 )から 東 方向 551 Km 主要都市( タシガン町 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 国内に8校ある労働人材省管轄の職業訓練校の1校。2003年開校。現在、電気技師コース(6ヶ月)、同(1年)、自動車整備士コース、コンピュータハードウェア&ネットワークコース、家具製造コースの5コースがある。全校生徒248名、講師16名、スタッフ16名(2013年度)。首都ティンブーより車で2日かかるタシガン町より更に車で約30分の僻地に位置する。平成19年度3次隊及び平成23年度1次隊の活動実績有。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 2008年よりCBT(Competency Based Training:市場で求められている実践で求められる職業能力をしっかりと身につけるための訓練を実施し、その職業能力に対して資格を授与する制度)が職業訓練校に導入されたが、ほとんどの講師がそのための十分な技術や知識、資格を持っていない。そのため、今後講師に対しても、国家職務能力基準に基づく種々の特定の技術の訓練を行う必要がある。 よって、訓練生への講義(理論・実習)を行うとともに、講師に対しても実践的な指導のできるボランティアの要請に至った。尚、電気技師コースの修了生は、電力公社、通信会社、その他関連産業等へ就職する者が多い。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 訓練者支援 ・電気技師コースの訓練生に対し、PLC(Programmable Logic Controller)による制御プログラミング及び制御実習、屋内配線、計装設備配線、制御盤配線、電気配線等に関する電気分野科目の指導(理論・実習)を行う 2. 関係者支援、その他 ・講師の能力強化のための助言・指導を行う ・短期専門5コース(1.屋内配線/2.PLC/3.太陽光発電/4.モーターコントロールシステム/5.モーター巻線)を実施する対象者…関連業界での就業者や求職者/1コース最大15名程度/各コース2週間
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PLC devise(Mitsubishi QX40 / SIEMENS) 他

4) 配属先同僚及び活動対象者 <<同僚>> 講師 16名 ※うち、同コースを担当しているのは7名、短大(電気工学)卒程度の講師が多い スタッフ 16名 <<活動対象者>> 10年生(高校1年生相当)修了者 年齢18歳~25歳	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: )
---	--

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 高等専門学校卒 )( 電気・電子 )理由:同僚教員に助言・指導するため ・経歴( 実務経験 )( 3年以上 )理由:講師へ助言指導するため ・ 一種電気工事士/三種主任電気技術者 理由:実践的な指導が求められるため	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外
	地域概況 気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 5~30 ℃位) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )	電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
特記事項		



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 7 月 2 日

要請番号( JL 130 - 14 - B - 06 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D231 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 7 代目	JOCV/SV	日系/短期
トンガ	電気・電子設備			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
			27 / 2	27 / 3	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省				
	2) 配属先名 (日本語) トンガ科学技術専門学校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 <b>ヌクアロファ</b> JICA事務所の所在地( <b>ヌクアロファ</b> )から 東 方向 3.0 Km 主要都市( <b>ヌクアロファ</b> )までの交通手段及び所要時間( <b>自転車</b> で約 0.4 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1995年ドイツの援助により設立され、2006年に科学技術専門学校と改設された。電気・電子、機械、建築、自動車整備、自動車板金の5つの訓練科を持つ。トンガにおける職業訓練では中核的な専門学校であり、民間企業や政府機関に従事する技術者(18歳~)を対象に最長3年間の訓練機会を提供している。学生約300名、教職員数約30名、運営予算約4000万円。自動車整備科でJVが活動中。草の根無償資金協力事業により、実習棟の建設が行われた他、技術的な姉妹の立場にある米国アリゾナ州から定期的に太陽光発電についての実習機材等の供与が行われている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 2000年春から派遣された初代シニア海外ボランティアから、2010年まで6代にわたりシニア海外ボランティア派遣による支援が行われた。主に教員に対する指導とシラバスに沿った訓練環境の整備に取り組んできたが、人材確保が難しく長らく派遣中断されていた。 トンガの職業訓練校では資格認証制度(Trade Certificate Program)が進められており、それに伴い働きながらより高度な技術を求めている学生も多く、教育訓練環境整備や先進技術の提案が求められている。特に太陽光発電システムを代表する再生可能エネルギーは大洋州の島嶼国においては非常に関心が高い分野であり、現場技術者の能力開発が求められると、派遣再開に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 訓練生のレベルに応じて、住宅や小規模建築物などの屋内外配線、計装設備配線、制御盤配線や設置、PLC (Programmable Logic Controller)による制御訓練、太陽光発電やジェネレーションなどの分散型電源設置管理について、 ①訓練生への指導(理論・実習)を行う。 ②実習教材の見直しや準備、管理について助言を行う。 ③校内、実習施設の整理整頓や安全管理に関する啓発を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電子回路キット(OSCモジュレーター他)、矩形波発生回路キット、光伝送装置キット、増幅器トレーニング・キット、太陽光パネルなどの実習機材、電気工具一式				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 科長1名(シニア・インストラクター、40代男性、ニュージーランドにて学位取得) 同僚講師2名(40代男性及び30代女性、認証資格取得) アシスタント・インストラクター1名(30代男性、ニュージーランドにて認証資格取得) 訓練生は主に20代男性、原則として関連分野の在職者			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( <b>男性</b> ) 理由: 同僚、生徒が皆男性のため ・ 学歴 ( <b>高卒</b> ) ( <b>電気・電子</b> ) 理由: 理論に基づく指導が必要なため ・ 経歴 ( <b>実務経験</b> ) ( <b>10年以上</b> ) 理由: 実務に即した実習指導を行うため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 15~33 ℃位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 20 日

要請番号( JL 512 - 14 - B - 12 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D231 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	JOCV/SV	日系/短期
ガーナ	電気・電子設備			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 2	から
				/	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) タマレ技術短期大学 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ノーザン州タマレ市 JICA事務所の所在地( <b>アクラ</b> )から 北 方向 650 Km 主要都市( <b>タマレ</b> )までの交通手段及び所要時間( <b>車</b> で約 <b>0</b> 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 ガーナ国内各州に配置されている高等技術教育機関で、日本の短期大学に相当する。技術コースの他に、ビジネスコース、応用科学コースも併設されており、生徒数は約8,000人、教員総数は約300名の大規模校。入学資格は高校卒業生で、卒業後に国家資格が取得できる。2013年度の予算規模は約10億円。技術コースの電気・電子科、自動車科、農業機械科にそれぞれJVを派遣した実績があり、現在も電気・電子科でJVが活動している(2015年3月まで)。

要請概要	1) 要請理由・背景 電気・電子科の講義と実習を担当できる教員が求められている。当地においては、理論や用語の暗記に重点が置かれた授業が主流であり、生徒の多くは基礎的数学の学力が不足しているため、前任者は小テストを実施して生徒の弱点を特定し、計算力や思考力を高める授業に取り組んでいる。JVには引き続き同僚講師と共に授業に工夫を加え、理解しやすい授業を生徒に提供できるようになることが求められている。また、自習においては、生徒自身が簡単な電子回路を設計し作成できるように指導することが期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 生徒に対し、電気・電子の授業(3コマ/週程度)を実施(基礎的な数学を含む) 2. 電子回路を構成するパーツの説明、回路を作成するための機器の正しい使い方の指導 3. 生徒自らが簡単な電子回路を設計・作成できるような指導の実施 4. 同僚講師と共に、授業や実習に関する工夫を提案

要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 直流安定化電源(30V)、マルチメーター、工具一式、プロジェクター
	4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長(男性、40代、院卒/電気) 講師3名(男性、30代~40代、院卒/電気) インストラクター4名(男性、30代~40代、専門学校卒/電気) 活動対象者:高校卒業生

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( <b>高等専門学校卒</b> ) ( <b>電気・電子</b> ) 理由:体系的な知識と経験が必要 ・ 経験 ( <b>実務経験</b> ) ( <b>2年以上</b> ) 理由:実習指導を担当するため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候( <b>サバナ気候</b> ) 気温( <b>25~35</b> °C位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項 ガーナの高等技術教育機関である技術短期大学(ポリテクニク)は、日本の短期大学と異なり、3年生である。

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号( JL 512 - 14 - B - 23 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D231 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ガーナ	電気・電子設備			1年	27 / 1
				ヶ月	27 / 2
					年 月 から

**配属先概要**

1) 受入省庁名 (日本語) 雇用・労働関係省

2) 配属先名 (日本語) オタアクロム職業技術訓練センター  NGO

3) 任地 アシヤンティ州アツィマ・ンボニア郡  
 JICA事務所の所在地( アクラ )から 北西 方向 300 Km  
 主要都市( クマシ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 2 時間)

4) 配属先の規模・事業内容  
 1985年に設立された雇用・労働関係省下にある職業訓練センターで、生徒数は100名。電気、調理、服飾など7コースがあり、教育期間は3年間である。講師の人件費以外の予算は、生徒が支払う授業料が資金源となっており、予算規模は小さいが、学校の運営に必要な労働力や土地などは地域コミュニティから必要に応じて提供を受けている。配属先は、JICAボランティアの受け入れ実績はないが、中国、英国、フィンランド、スイスからの外国人ボランティアを受け入れた経験がある。

**要請概要**

1) 要請理由・背景  
 配属先は実践的な技術を習得する目的で設立されたセンターであるが、人手不足と資金難から、十分な実習を行うことが出来ない状況にあった。しかし配属先は、センターの資金を捻出すること、生徒に実習の場所を提供することを目的とし、実際の建築現場において講師の指導の下、生徒が働きながら学ぶ機会を持つことを計画している。ボランティアには、電気コースに所属する生徒(約25名)に対し、電気設備に関する授業を行うと共に、同僚と協力して実習を指導することが求められている。同時に、同僚講師に対しても知識や技術を指導して欲しいとの要望があり、今回の要請に至った。

2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)  
 1. 生徒に対する電気設備に関する授業および実習  
 2. ガーナ人同僚講師に対する知識や技術の共有

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等  
 基礎工具(ペンチ、ケーブルカッター、ドライバー等)、テスター、パソコン(Windows XP)

4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(男性、40代) 同僚8名(経験年数1年~20年) (電気コース同僚(大卒(電気工学)、経験年数1年) 主な指導対象者:中学校卒業者	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )
--	---

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 実務を指導するため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外

**地域概況** 気候(サバナ気候) 気温( 25~35 ℃位) 電気(  安定  不安定  なし)  
 通信(  インターネット可  電話可  無線 ) 水道(  安定  不安定  なし)

**特記事項**

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 8 日

要請番号( JL 527 - 14 - B - 08 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D231 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	期間	日系/短期
ナミビア	電気・電子設備			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
				27 / 1	
				27 / 3	
				/	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) ルンドゥ職業訓練センター <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 カバンゴ州ルンドゥ JICA事務所の所在地( ウイントフック )から 北 方向 750 Km 主要都市( オジワロンゴ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1994年に教育省傘下に移行した職業訓練センターで、2010年より教育省傘下NTA(Namibia Training Authority)が管理運営している。同職業訓練センターは、電気・自動車整備・レンガ工・家具建具・秘書事務・配管などの講座を開設しており、訓練生400名程度、職員数46名である。センター敷地内には、訓練生用の寮もある。ボランティアもセンター敷地内の教員住宅に住むことになる。年間予算額:N\$2,000,000.(US\$200,000.)程度。JVは、2011年まで電気電子設備隊員1名が活動したが、その他の外国援助はない。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同国は、1990年の独立以降、国造りの基礎として国民教育を行っている。特に次世代を担う青少年の教育に重点が置かれているが、アパルトヘイト時代に黒人が言語以外の教育を受けられなかったことから教育者の絶対的な人材難があり、良質な教員の確保が困難な状況にある。職業訓練分野においても同様で、十分なノウハウ・経験・知識を有する適当な指導教官・インストラクターの確保が容易でない。 同国の職業訓練センターは、義務教育の12年生(Grade12)修了者が入学することができ、貧困削減・雇用機会改善のため様々な職種における職業訓練が実施されているが、人材不足をボランティアの配属により補完し、人材育成に向けた良質な訓練の実施、ナミビア人教官の質向上を目指すことを目的としている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・ナミビア人職員と共に一般家庭・商業建築物などの屋内配線・必要配電機器設置方法・手順などを中心とした実践的な指導訓練を担当する。 ・同訓練センターは3年間コースであり、訓練生の実力など諸事情に合致した講座計画の策定など融通性と工夫が必要。 ・一般家庭用電気機器の故障箇所特定・修理方法などについての指導訓練も行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 訓練教室及び電気工具一式
4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先スタッフ: センター長、電気科スタッフ2名(高~大卒、20~40歳代。) 指導対象者: 訓練生、15~30歳。初心者のレベル。	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第一種電気工事士</span> ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">専門学校卒</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">電気・電子</span> ) 理由: 専門的知識が必要 ・経験 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実務経験</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5年以上</span> ) 理由: 実践的のノウハウが不可欠 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(砂漠・ステップ気候 ) 気温( 10~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	住居はセンター敷地内の教員住宅で、同性の隊員や同僚とルームシェアする可能性がある。(トイレ、シャワー、台所、居間が共有)
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号( JL 045 - 14- B - 24 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D233 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	27 / 1
モンゴル	建設機械			1年	27 / 2
				ヶ月	27 / 3
				日系/短期	年 月 から

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省
	2) 配属先名 (日本語) ドルノド県技術カレッジ <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ドルノド県チョイバルサン JICA事務所の所在地( ウランバートル )から 北東 方向 660 Km 主要都市( チョイバルサン )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1924年設立の同校は88年の歴史を持つ東部地域屈指の技術専門学校で、国内企業から機械・農業系の労働人材育成を請け負っている。年間予算は1千万円程度。22の専門クラスに677名、技術クラスに55名、職業訓練クラスに307名、合計1,039名の学生が技術の習得に励み、総務部、鉱山石油部、農業産業部、技術サービス部に総勢52名の教師、31名の職員が在籍する。初級・中級・上級レベル別の専門的技術教育を実施し、要請のある企業へ卒業生を就職させている。「花き栽培」のJVが派遣予定(2014年2月現在)。

要請概要	1) 要請理由・背景 同校は2007年から情報技術、機械修理、英語、農業分野で米国ピースコー、韓国ボランティア(KOICA)を受け入れ、教師陣と学生の質が高まり、教育環境が改善される等、ボランティア活動から高い成果を実感している。今回新たな分野でJICAボランティアを受け入れ、建設機械コースでのレベルアップを計りたいと考えている。教育環境は整っているが建設機械における幅広い知識と専門的人材育成の必要性からJVの派遣を要請した。ボランティアから経験と知識を吸収し、教師陣の質と学生の技術を向上させたいと考えている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 生徒に対し、専門科目(工業重機、鉱山・農業機器の修理、部品の組立、モーター・機械の注油や始動方法、保守作業等)を教える。 ② 学内にある農業・工業機械の修理、保守作業を学生に指導する。 ③ 同僚教師に最新の建設機械の情報を紹介する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 修理実習用重機部品(エンジン、コンプレッサー、ポンプ、トランスミッションギア等)・工具(レンチセット)一式、重機操作シミュレータ
4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 同僚教師(男性、40代、自動車修理、運転、トラクター運転等の実習授業を担当) (男性、20代、農業エンジニア)  活動対象者 生徒(16~35歳、1クラス20~25名程度)	5) 活動使用言語 ( モンゴル語 ) 6) 生活使用言語 ( モンゴル語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( )理由: ・経験( 実務経験 )( 3年以上 )理由:実践的な内容の指導に必要 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(ステップ気候 ) 気温( -30~30 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--





長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号( JL 048 - 14 - B - 17 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D233 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ブータン	建設機械			27 / 1	年 月 から
				27 / 2	
		27 / 3			

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 農林省
	2)配属先名 (日本語) 中央機械ユニット <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 ブムタン県ブムタン町 JICA事務所の所在地( ティンプー市 )から 東 方向 257 Km 主要都市( ブムタン町 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.3 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 農林省管轄の下、ブータン国内の全ての県(20県)を対象にした農道整備や土地開発、灌漑設備建設に必要な建設重機の配備、点検・整備を行っている。2008年から始まった第10次五か年計画において幹線道路の整備が喫緊の課題として挙げられ、2013年7月から始まる第11次五か年計画においても同配属先に期待されることは大きい。2006年には無償資金協力により5億円相当の道路建機が多数供与されている。2011年10月まで道路建機維持管理のSVが活動していた。その他外国等からの援助は入っていない。年間予算は約1億2400万円。

要 請 概 要	1)要請理由・背景 2011年10月まで同配属先で活動していたSVにより基本的なメンテナンス作業や修理は配属先スタッフでも対応可能となっている。しかし、簡易なメンテナンスだけでは効率的に運用できないほか、建設機械の稼働量の増加に伴い、高度な修理技術を要する故障のトラブルシューティングが必要となってきている。配属先では整備工場を建設し、本格的な修理を行える環境を整備しているが、多様なトラブルに対応できる技術が不足しているためJVの要請に至った。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは主に点検・整備を担当し以下の活動を行う。 1.配属先にある建設重機の油圧系回路および電気系回路の保守点検 2.上記機械の一般的な修理 3.地方で稼働中の建設重機の保守点検作業(地方巡回) 4.同僚への指導ならびにアドバイス、および簡易マニュアルの作成
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 CATERPILLAR エキスカベーター (320C, 311, 304)、CATERPILLAR ブルドーザー (D6R)、KAWASAKI ホイールローダー、SAKAI 振動ローラー等が稼働中
	4)配属先同僚及び活動対象者 ・配属先長(男性) ・同僚(40代:男性)(実務経験22年) ・修理担当者10名/建設機械オペレーター50名(20代~40代)(実務経験5年~15年)  主な活動対象者 ・配属先スタッフ

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由:配属先の男性比率が高いため ・学歴 ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由:同僚への実践指導を含むため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( -5~25 °C位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	特になし
------	------

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号 ( JL 045 - 14 - B - 25 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
モンゴル	自動車整備			1年	27 / 1
				ヶ月	27 / 2
					27 / 3
					年 月 から

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省
	2) 配属先名 (日本語) ザブハン県職業訓練校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ザブハン県オリヤスタイ JICA事務所の所在地( ウランバートル )から 西 方向 1000 Km 主要都市( オリヤスタイ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1964年設立。自動車整備、溶接、建築、電気修理、コンピュータ修理、料理、縫製、美容師等14コースの技術者育成校。中学卒業対象の2.5年コース、高校卒業対象(14~18歳)の1年コースがあり、年間予算は9千万円程度。教職員91名、内教師45名、生徒928名。中でも労働市場で需要の高い自動車整備と建築に力を入れている。また、同国の西部地域の中心的な知識・技術提供校として、ミレニアムチャレンジ(米)、アジア開発銀行等からの資機材支援、及び複数の国連ボランティアの受入実績あり。

要請概要	1) 要請理由・背景 中小企業育成や雇用創出は、同国における重要な課題であり、その課題に資する人材育成は急務である。同校では、中・高校卒業生を対象に各種職業訓練コース(座学・実習)を設けて各分野の人材を育成しており、今後更なる需要が見込まれている。このような状況下、訓練コースの中でも特に生徒が多い自動車整備コースの講師は、大学でエンジニア教員養成科を卒業してすぐに同校で指導しており、実務経験に乏しい。OBDスキャンツールのシステム使用、ホイールアライメントの調整、ディーゼル車の修理(特に燃料ポンプの調整)に問題を抱えているため、今回JVの要請が挙げられた。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 単元における必要な実習教材・実習工具の整備環境を確認し、必要な工具等の調達への助言を行い、講師と共同して実習授業を行う。 ② 電子制御燃料噴射システム及び電子制御システムに関する知識・技術を生徒・講師に対し指導する。 ③ 同僚の修理技術能力向上を支援する。(特にディーゼル燃料ポンプの調整)
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用エンジン(分解可能)、実習用燃料ポンプ、実習用ウェーターポンプ、OBDアナライザー(トヨタ、日産、マツダ等約20車対応可)、ディーゼルポンプテスター(中国製)、燃圧計、基礎工具類等

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2級整備士 (G・D)</span> ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実務経験</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3年以上</span> ) 理由: 実践的な指導が必要なため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否
		春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況	気候(大陸性気候 ) 気温( -40~30 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項 実習車はなく、実習用には修理が必要な車をその場その場で調達している。そのため、JVが全修理に対応困難である旨は同校・同講師ともに承知している。



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 8 日

要請番号( JL 124 - 14 - B - 12 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
パプア ニューギ ニア	自動車整備			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
			27 / 2		
			27 / 3		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省				
	2) 配属先名 (日本語) クワトコミュニティー専門学校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ポボンデッタ JICA事務所の所在地( ポートモレスビー )から 南東 方向 360 Km 主要都市( アロタウ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 キリスト教系の3年制技術専門学校で、他にも乳児園と幼稚園の運営も行っている。2013年度の生徒数は151名(内寮生36名)、男女比は半々。木工・建築・観光・家政のコースが実施されている。12歳から受け入れており、中学・高校での学業不振により編入する生徒も多い。1年目は全コースの基礎を受講し、2~3年生で各コースに編入されていく。2006年開校で教員もボランティアであったが、2012年に学校として正式登録され、教師の雇用を進めている。年間予算はPGK 200,000(約920万円)で、学費に加えて教会メンバーからの寄付も募っている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 国際援助機関や政府からの支援を受け、学校施設は整備されており、コンピュータ教室も開設予定で、40台のパソコンが準備されている。機械系のコースはないが、地域住民を対象とした技術指導なども行っており、車両の保守・整備および小型船舶船外機の日常点検の指導等の需要がある。離島・僻地は、本島の主要都市に車両を持ち込むことが困難で、修理工場なども存在しないため、整備不良のまま走っていることも多い。ボランティアは、日常点検による故障予防から、故障箇所の判断、修理技術などが求められる。また、小型船舶の船外機は整備不良による故障も多く、日常点検レベルの指導が求められる。 車両・船外機共に、本格的な修理が必要な場合は、地元ディーラーに取り次いで出張修理依頼することも可能である。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 派遣されるJICAボランティアは下記の活動が期待されている。 ①車両のトラブルシューティング、メンテナンス技術の指導。 ②小型船舶船外機の日常点検の指導。 ③離島村落部を訪問し、技術講習会の開催。 ④故障箇所判定およびディーラー修理への取り次ぎ。 ④専門学校学生に対する、技術学習の支援。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教師用共用PC1台、プリンター1台、執務用机・椅子				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長・副校長に加え、教員数8名で25~45才 教員は大卒で本業の傍ら教鞭をとるボランティアがほとんど。 今後、正式な教員として採用を進める。			5) 活動使用言語 ( 英語 )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2級整備士 (G・D)</span> ) 又は ( ) ・性別 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">男性</span> ) 理由: 治安上の理由 ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( ) ( ) 理由: 理由:			6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )	
地 域 概 況	気候( 熱帯雨林気候 ) 気温( 25~35 ) ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
	特記事項 職員住宅に、他ボランティアと同居となる可能性がある。				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 7 日

要請番号( JL 130 - 14 - B - 07 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 6 代目	JOCV/SV	日系/短期
トンガ	自動車整備			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 3
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省				
	2) 配属先名 (日本語) トンガ科学技術専門学校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ヌクアロファ JICA事務所の所在地( ヌクアロファ )から 東 方向 3.0 Km 主要都市( ヌクアロファ )までの交通手段及び所要時間( 自転車 で約 0.4 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1995年ドイツの援助により設立され、2006年に科学技術専門学校と改設された。電気・電子、機械、建築、自動車整備、自動車板金の5つの訓練科を持つ。トンガにおける職業訓練では中核的な専門学校であり、民間企業や政府機関に従事する技術者(18歳～)を対象に最長3年間の訓練機会を提供している。学生約300名、教職員数約30名、運営予算約4000万円。草の根無償資金協力事業により、実習棟の建設が行われた。本年オーストラリア政府の資金協力により実習者2台と電子制御測定機器、手順書等が供与された。現在5代目となる青年海外協力隊員が活動中。(2015年11月末まで)				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 当国では日本車に対する信頼が厚く、日本から遠く離れているにも関わらず、日本から個人輸入された日本車が数多く走っている。しかしながら自動車整備分野においては、再び走るようになればいいという対処療法的な「修理」の域を脱していない。国内唯一の公的職業訓練校である配属先では維持管理の意識を踏まえた「整備」を学ぶ場となるべきである。また近年、当国にも電子制御された日本車が流通するようになっており、測定機器を使った自動車の「診断」についての新たな知識の導入が必要とされていることから要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①教員及び生徒に対し、自動車整備についての実習指導を行う。 ②実習についての内容と質の向上にむけて、同僚講師に対する助言を行う。 ③実習場内の整理整頓、安全管理についての助言を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 4柱リフト、2柱リフト、タイヤチェンジャー、エンジンリフト、インパクトレンチ、バッテリー充電器、エアークンプレッサー、ベンチドリル、両頭グラインダー、ガレージジャッキ、実習車5台、OBD2テスターなど				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 科長(50代男性) 同僚講師2名(30代、40代) 学生は主に20代、原則として関連分野の在職者			5) 活動使用言語 ( 英語 )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( 2級整備士(G・D) ) 又は( ) ・性別( 男性 )理由: 同僚、生徒がすべて男性であるため ・学歴( )理由: ・経験( 実務経験 )( 10年以上 )理由: 経験ある専門職が指導対象となる 指導経験があると尚よい理由: 経験に即した指導が可能となる			6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
地 域 概 況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 15~33 ℃位)			電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )	
	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )			水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )	
特 記 事 項					



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 5 日

要請番号( JL 139 - 14- B - 03 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3
サモア	自動車整備		日系/短期 年 月 から		
配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 財務省				
	2)配属先名 (日本語) プナオア職業訓練センター				<input type="radio"/> NGO
	3)任地 ウポル島ファレウラ JICA事務所の所在地( アピア(中心部) )から 西 方向 11 Km 主要都市( アピア )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.3 時間)				
	4)配属先の規模・事業内容 キリスト教メソジスト派教育委員会が運営する職業訓練センターである。1998年に設立されて、料理、裁縫、溶接、電気、美術、木工、コンピュータ技術、自動車整備の8コースがある。生徒数は約200名、教師は13名。就学年数は2年間で現地にて役立つ実践的な職業教育を行っている。技術教育と並行して数学、英語、サモア語、宗教(メソジストの教義)の一般学の授業も実施されている。				
要 請 概 要	1)要請理由・背景 配属先の自動車整備コースは、サモア人講師1名(同校の校長も兼務)が1~2学年までの2クラスを教えている。2009年に自動車整備JVが派遣され同僚講師と協力して自動車整備コースの授業内容の充実に向けた活動を行った。継続した指導の必要性から後任要請となった。				
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.同僚講師(校長も兼務)と協力して、自動車整備の講義及び実習の授業を実施する。 2.自動車の基本構造、基本的なメンテナンス方法及び臨機応変な対応方法の仕方等を指導する。 3.同僚講師(校長)と協力して、今後の自動車整備コースの授業内容の充実に取り組む。 4.実際に故障自動車を修理しながらの実技実習、自動車構造等についての理論を生徒に対して直接教える。 5.近隣の職業訓練校への巡回指導等も実施する可能性もある。				
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 床置き式リフト、自動車整備工具一式、エアー・コンプレッサー、エンジン故障診断器(汎用タイプ)、洗浄機(自動車部品の洗浄等に使用)、その他。実習用車両:無				
資 格 条 件 等	4)配属先同僚及び活動対象者 学校職員14名(内、教員13名、秘書1名) 自動車整備講師1名(男性、学校長も兼務、50代、海外のディーラーでの長期間の勤務経験があり、技術レベルは高い)			5)活動使用言語 (英語 ) 6)生活使用言語 (その他 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( )理由: 学校で指導するため ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由: 実技指導のため ・ 2級自動車整備士以上(G-D) 理由: 実技指導のため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要  現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(熱帯海洋性 ) 気温( 20~35 °C位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号 ( JL 224 - 14 - B - 08 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2 年	JOCV/SV
ドミニカ共和国	自動車整備			1 年	27 / 1
				ヶ月	27 / 2
					27 / 3
					年 月 から

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 経済企画開発省
	2) 配属先名 (日本語) サンティアゴ市役所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 サンティアゴ県サンティアゴ市 JICA事務所の所在地( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サントドミンゴ特別区</span> )から 北西 方向 180 Km 主要都市( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サンティアゴ市</span> )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は約90万人の市民に対し、一般行政サービスを実施している行政機関。職員数約3500名。活動先は市役所の一機関である清掃公社で、廃棄物処理(毎日約1050トン)、都市整備・美化、道路修繕などを担当。特に廃棄物処理に関しては、JICAが2001年から約10年間に渡り、同公社職員を日本研修に参加させ、SV2名を派遣し、福岡方式最終処分場の整備・運営を含む総合的な廃棄物行政構築支援を行った。またJV2名を派遣し、環境保護・美化啓発活動支援を実施した。2012年7月から行政方針が変わり、その計画が頓挫しかけたが、部署担当者の努力もあり、計画の再構築に向けて努力している。年間予算約3200万米ドル。

要請概要	1) 要請理由・背景 清掃公社が管理している廃棄物最終処分場は、同市とその周辺市町村から収集されたごみが分別されずに直接捨てられており、大気・土壌汚染が深刻な問題となっている。これまで2008年から2代に渡るSV・JV派遣により、福岡方式最終処分場建設、その稼働指導支援と市民に対する環境保護啓発支援が実施され、さらに大使館草の根無償資金協力による5台の塵芥車供与もあった。これらの相乗効果により、同市内のごみ問題解決と環境美化を推進する計画が進行していたが、現在は上述の状況である。塵芥車に関しては、2008年に配属先に5台供与されたが、現在稼働しているのは1台のみ。その故障を修理・メンテナンスできる技術者は1名しかおらず、自転車操業的な状況が続いている。また、近隣市町村にも同様の供与による車両があるが同様の問題を抱えており、サンティアゴ市・周辺地域全体の支援を期待され、今回の要請となった。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 整備場でゴミ収集車(塵芥車:日本製をメインに、アメリカ製、中国製、韓国製など)に関する故障診断及び修理の技術支援を行う。 ①電気・油圧系統のトラブル解決支援 ②配電図に関する指導助言 ③油圧の取り回しに関する指導助言 ④整備に必要な工具等に関するアドバイス ⑤配属先周辺市町村への①-④に関する出張指導
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 整備場(一般的な工具はあるが、専門的な工具はない)、一般事務機器、机・椅子
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先長:男性、30歳代、JICA研修参加経験あり(2011年7-8月廃棄物管理) C/P:男性(20歳代、修理・メンテナンス)、女性(30歳代、大卒、部品・資材管理) 指導対象者:整備部門担当者

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( ) ( ) 理由: ・ <b>特設車整備経験</b> 理由:活動上必要不可欠	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(熱帯サバナ気候 ) 気温( 15~34 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項 任地では電気・水道・インターネット・電話などのインフラサービスは一応あるが、安定しているわけではない。整備環境もあまり整っていない状況で、限られた道具で工夫できる力が求められている。



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 18 日

要請番号( JL 424 - 14 - B - 01 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D235 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ヨルダン	自動車整備					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省					
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公社 ハカマ職業訓練所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 イルビット JICA事務所の所在地( アンマン )から 北 方向 80 Km 主要都市( イルビット )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 職業訓練公社(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内約50の訓練校で学生や社会人の技術力向上に取り組んでいる。年間予算は約13億円。2006年11月～2010年11月、本部と3モデル訓練所を対象として職業訓練マネジメント強化プロジェクトが実施された。現在、VTCの訓練所でJV5名(経済・市場調査、服飾、美容師)及びSV2名(冷凍機器・空調、電子工学)が活動中である。ハカマ職業訓練所には自動車整備、自動車電装、金属加工・溶接、冷凍・空調設備、電気、木工、配管など14の訓練コースがあり、訓練生は約270名である。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ヨルダンを持続的な経済発展と国際競争力強化のため、投資促進、工業団地建設等の工業振興政策をとるとともに、労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。ヨルダンでは、失業率が問題となっているが、特に若年層の失業率が30-40%と高い。ヨルダンではハイブリッドカーの台数が激増しており、ハイブリッドカー特有のメンテナンス技術を持った整備士の育成が急務となっている。ハカマ職業訓練所(VTI)を含めヨルダン北部に位置する各VTIは協力して、ハイブリッドカーの修理技術を持ったインストラクター養成と訓練生への指導を目指している。ハイブリッドカー特有の安全教育、危険作業の防止を徹底するとともに、訓練生の学習意欲を高め、基本事項をきちんと習得できる訓練環境作りが求められている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ハカマ職業訓練所(VTI)の自動車整備および自動車電装コースにおいて、インストラクターと訓練生に対し、ハイブリッドカーのメンテナンス技術を中心に以下の点で協力を行う。 1. インストラクターの知識・指導力向上のための支援 2. 訓練コースの補助教材作成 3. 訓練コースの実施に関する側面支援 4. 訓練生の訓練意欲向上と学習支援 5. イルビット周辺の複数のVTIに対する巡回指導の実施					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用乗用車6台(Ford Escape Hybridを含む)、各種エンジンモデル、エンジンアナライザー、オシロスコープ、エアゲージ、リフト、基本工具(レンチ、テスター、ラジオペンチ等)					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長(男性、50代) ・担当インストラクター2名(男性、40代) ・訓練生 約20名(男性、10代後半～30代前半) ・他コースの指導員、事務員など(男女約30名)			5) 活動使用言語 ( アラビア語 ) 6) 生活使用言語 ( アラビア語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( 2級整備士 (G・D) ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由: 男性向けコースの為 ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 10年以上 ) 理由: インストラクター指導の為 ・ハイブリッドカーメンテナンス経験 理由: 現場での対応経験が必要			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温( 0~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 503 - 14 - B - 05 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	27 / 1
ボツワナ	(コード D235 ) 自動車整備			1年	27 / 3
			ヶ月	/	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育技能開発省				
	2) 配属先名 (日本語) ジュワネン技術短期大学				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ジュワネン JICA事務所の所在地( ハポロネ )から 東 方向 201 Km 主要都市( ハポロネ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、教育技能開発省が管轄するボツワナ国内に8校ある国立技術短大の一つであり、情報通信、自動車、建築、服飾、電気機械、木工、観光等の学科で職業訓練を行っている。全学生数300名程度、教員数44名。2013年度の予算は約1億4千万円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 当短大の自動車学科には24名生徒が在籍している。教員は学歴は高いものの実際に車両を整備した経験が少なく、指導内容は理論に偏重している。そのため実際の整備技術を高めることを目的としてボランティアの派遣を求めている。特に電子制御部分についてはスタッフの知識も不足しており、その基礎について分かり易い講義実施を求めている。ボランティアが同僚職員と協働する事でスタッフの技術向上を目指している。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは自動車科に配属され、職員と協働し以下の活動に取り組む。 1. シニアレクチャーとして週16時間程度(実習)の授業を行う。特に電子部門について。 2. 学生と車両の修理・点検を行い実技指導を行う。 3. 学生の国家試験受験に向けた指導を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 自動車整備士が用いる工具、Fuel injection models, Electrical and electronic ignition system bench,				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 教員 専門学校卒 20代後半から40代 学生 18歳以上 24名			5) 活動使用言語 ( 英語 )	
				6) 生活使用言語 ( 英語 )	
地 域 概 況	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2級整備士 (G・D)</span> ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( ) ( ) 理由: ・ 経験 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実務経験</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3年以上</span> ) 理由:現場での対応経験が必要 理由:			7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外	
地域 概況 気候(サバナ気候 ) 気温( 0~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項					



事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 503 - 14 - B - 06 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D235 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ボツワナ	自動車整備			27 / 1	27 / 3	年 月 から

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 教育技能開発省
	2)配属先名 (日本語) マロベラ職業訓練校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 マロベラ JICA事務所の所在地( ハボロネ )から 北東 方向 500 Km 主要都市( フランスタウン )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 ボツワナ国内には約50のプリゲードと呼ばれる職業訓練学校がある。中学校卒業から就学が可能であり、16歳から25歳前後の生徒が様々な職業技術を学んでいる。当校には自動車科、木工科、コンピュータ科、会計・ビジネスのコースがある。年間予算約4500万円。

要 請 概 要	1)要請理由・背景 ボツワナでは日本車が相当数利用されており、適切な技術を身につけることで職業を得、生活を安定させることができる。当職業訓練校ではスタッフの整備技術向上及び生徒への指導のためボランティアが要請された。現代の自動車に用いられている電子制御のエンジン、オートマチックの構造の説明や修理技術の指導及び生徒への授業、実習の補助が求められている。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下の業務が期待されている。 1.自動車科に外部から持ち込まれた車両の修理を生徒たちと実習しつつ訓練をする。 2.工具の使い方、管理等を指導する。 3.生徒の国家資格受験に向けた自動車の構造、製図、経理(資金管理)の学科授業を行う。
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Lift,Engine model, Analyser,Ramp,Air Gauge、基本工具(レンチ、テスター、ラジオペンチ等)

4)配属先同僚及び活動対象者 部署責任者1名 男性 40代 レクチャラー3名 男性 40~50代 活動対象者は、18-25歳(高卒以上)	5)活動使用言語 ( 英語 ) 6)生活使用言語 ( 英語 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )
---	--

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2級整備士 (G・D)</span> ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実務経験</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3年以上</span> )理由:実践的知識と技術が必要 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 在募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 0~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 24 日

要請番号( JL 506 - 14- B - 09 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D235 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
エチオピア	自動車整備			<input checked="" type="radio"/> 2 年	27 / 1	年 月 から
				<input type="radio"/> 1 年	27 / 2	
		<input type="radio"/> ヶ月	27 / 3			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) アディスアベバ市職業訓練庁
	2) 配属先名 (日本語) アディスアベバ・ティグバレット技術専門学校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 アディスアベバ JICA事務所の所在地( アディスアベバ )から 北 方向 0 Km 主要都市( アディスアベバ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 エチオピアには5つの公立技術専門学校があり、同校は1942年にイタリア政府の援助を受けて設立された。自動車科、服飾科、建築、木工等、9つの学科を有し座学および実習を中心とした2~4年の職業訓練を行っている。年間予算はオランダやドイツの援助を含めて約1億円。また、ドイツ人専門家とボランティアが組織運営やICT関連の活動を行っている。過去にはコンピュータ技術や建築、測量といった分野のJVが活動を行った。同僚となる自動車科講師にはJICAとEKI(Ethiopia Kaizen Institute)が実施するカイゼントレーニングに参加した経験がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 エチオピア政府の国家開発計画では、市場のニーズに見合った質の高い労働力を輩出することが重要視されており、技術者の養成が大きな課題となっている。配属先となる技術専門学校では、基礎的な知識、技術は指導しているものの、時代の流れや技術が進歩するにつれて、現役講師の技術力や知識の向上が必要とされており、ボランティアの要請に至った。ボランティアには同校の自動車科にて同僚と共に行う日常業務や学生に対する座学や実習をサポートする中で、新しい技術やアイデアを共有する事が期待されている。なお、配属先自動車科にはイタリアやドイツからの支援でカットモデルや故障診断学習用エンジンモデル等の学習用機材が多く、これらを使いながら整備士となる為の授業が行われている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚講師と共にボランティアの経験を踏まえて以下の事を行う 1. 座学および実習のサポート 2. 講師に対する技術的なアドバイスやアイデアの共有 3. KAIZEN(5S)に関する知識の共有など また、配属先における日常業務、新しい技術に関する共有も期待されている
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的な整備用工具、故障診断用エンジンモデル(VW社、BMW社製)、駆動系各種カットモデル、(イタリアALTAY社製)、ウェーバー、デロルト等のキャブレター、ホイールバルンサー、アライメントテスター等

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2級整備士 (G・D)</span> ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">専門学校卒</span> ) ( ) 理由: 同僚が同等以上の学歴であるため ・経験( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実務経験</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3年以上</span> ) 理由: 実務を伴った実習を行うため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(ステップ気候 ) 気温( 10~30 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	---

特記 事項	
----------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 20 日

要請番号( JL 512 - 14 - B - 14 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D235 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 / /	日系/短期 年 月 から
ガーナ	自動車整備					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 運輸省					
	2) 配属先名 (日本語) 国立技術訓練センター				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 グレーター・アクラ州アクラ市 JICA事務所の所在地( アクラ )から 南 方向 5 Km 主要都市( アクラ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 ガーナ国内唯一の運輸省直轄4年制自動車整備士養成学校で、1968年に西ドイツ政府の援助を得て設立された。「自動車整備」「自動車電気装置整備」「自動車車体整備・塗装」「溶接加工」「自動車運転工学」の5つ専門コースに分かれ、1~2年次はこれら全ての基礎を学び、3~4年次にそれぞれの専門性を深める。生徒数は約100名。以前はドイツの援助を受け、設備の拡充や研修プログラムが実施されていた。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 運輸省直轄の自動車整備士養成学校で、生徒は規律正しい学校生活を送っており、卒業生は毎年大手自動車メーカーに入社する実績があるなど、企業からの評価も高い。しかしながら、他国からの援助等により導入された機材や教材のうち、自動車診断機などの新しい技術に対しては講師の知識や技術が追いついておらず、それら機材の活用法に関して不慣れである。JICAボランティアには、これら機材を有効に活用して生徒に指導するとともに、同校講師陣にも指導を行うことが期待されている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 生徒に対し、同僚と協力して講義と実技の授業(15コマ/週程度)を実施 (JICAボランティア本人の得手・不得手に応じて柔軟に対応) 2. 講師に対し、自動車診断機やエアコンガス測定器などの使用方法について指導					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本工具一式、基本計測器一式、自動車診断機、エアコンガス測定器、塗装ブース、排気ガス測定器、ホイールアライメント測定器、自動車シザーリフト等					
要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 講師9名(整備4名、電気装置整備3名、車体整備・塗装2名、専門学校卒以上) 指導対象者:中学校卒業生			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )		
	資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( 2級整備士 (G・D) ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: 実践的な技術と知識が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 25~35 °C位)		電気	<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし		
	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )		水道	<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし		
特記事項						



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号( JL 512 - 14 - B - 25 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	派遣希望時期	派遣希望時期
ガーナ	自動車整備			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV
				27 / 1	年 月 から
				27 / 2	
				/	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) クマシ技術短期大学 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 アシヤンティ州クマシ JICA事務所の所在地( <span style="margin-left: 100px;">アクラ</span> )から 北西 方向 250 Km 主要都市( <span style="margin-left: 100px;">クマシ</span> )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 ガーナ国内各州に1校ある高等技術教育機関で、日本の短期大学に相当する。19学科あり、生徒数は約8,000人、教員総数は約300名の大規模校。入学資格は高校卒業者で、卒業後に国家資格が取得できる。服飾科と自動車科、電子工学科にそれぞれJICAボランティアを派遣した実績があり、現在も自動車科と電子工学科でJVとSVが活動している。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先では専門技術教育が行われているものの、理論に偏ったものとなっている。そこで、授業における実践的な内容の強化と、ガーナ全体として遅れている電子制御システムに対する、理解と整備方法の指導が期待されている。前任者は授業の他にも5Sに注力し、実習環境の改善に貢献しており、配属先からは、後任にも引き続き5Sの指導を継続し、生徒およびスタッフに定着させることが求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 生徒に対して、電子制御システムの基本的な仕組みに関する指導 2. 生徒に対して、故障原因の特定方法、整備方法の指導 3. 生徒および同僚に対して、5Sの指導 4. 同僚との技術共有や助言
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教材用日産サニーEX saloon(2006)、コンピューターラボ(シミュレーター、デモンストレーター等)、インテリジェントテスター4台(日産Consult II)、マルチメーター、工具一式
4) 配属先同僚及び活動対象者 学部長(経験年数30年、50代) 学科長(経験年数6年、40代) シニアスタッフ3名(経験年数35年、60代) スタッフ(経験年数1年、30代) 主な指導対象者:高校卒業者	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( <span style="margin-left: 50px;">2級整備士 (G・D)</span> ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴( <span style="margin-left: 20px;">専門学校卒</span> ) ( ) 理由:体系的な知識が必要 ・経験( <span style="margin-left: 20px;">実務経験</span> ) ( <span style="margin-left: 20px;">3年以上</span> ) 理由:経験から得た実践技術が必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(サバナ気候 ) 気温( <span style="margin-left: 100px;">25~35 °C位</span> ) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	---

特記 事項	
----------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 5 日

要請番号( JL 512 - 14 - B - 26 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D235 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 /	日系/短期 年 月 から
ガーナ	自動車整備					
配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 雇用・労政省					
	2)配属先名 (日本語) クマシ職業訓練センター				<input type="radio"/> NGO	
	3)任地 アシヤンティ州クマシ JICA事務所の所在地( アクラ )から 北西 方向 250 Km 主要都市( クマシ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0 時間)					
	4)配属先の規模・事業内容 1970年に地域の青少年の雇用機会向上を目的とし、地域住民組織により設立された職業訓練校。ガーナ第2の都市にあり、職業訓練校としては比較的大規模である。自動車整備をはじめ、印刷、調理など8つのコースが設けられている。生徒数は約650名で講師の数は19名。今年度の予算規模は約2,600万円。					
要 請 概 要	1)要請理由・背景 配属先は、自動車に関連して、自動車整備、自動車電装、自動車板金の3つのコースを有する。生徒数も全生徒の約半数を占めており、重点が置かれている。しかしながら、電子制御システムおよびオートマチック・トランスミッションに対する、理解と実務が遅れており、指導を期待されている。同時に同僚にも最新の知識や技術を指導して欲しいとの要望により、今回の要請に至った。					
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.生徒に対して、電子制御システムおよびオートマチック・トランスミッション構造の授業と実習の実施 2.生徒に対して、故障原因の特定方法、整備方法の指導 3.同僚との技術共有や助言					
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プロジェクター、プリンター、カッター(ガソリンエンジン、クラッチ・トランスミッション)、工具一式					
資 格 条 件 等	4)配属先同僚及び活動対象者 同僚3名(経験年数5年~9年、30代) 主な指導対象者: 中学校卒業生			5)活動使用言語 ( 英語 ) 6)生活使用言語 ( その他 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( 2級整備士 (G・D) ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( )理由:体系的な知識が必要 ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由:経験から得た実践技術が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域 概況	気候(サバナ気候 ) 気温( 25~35 °C位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記 事項						



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 548 - 14- B - 18 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
タンザニア	自動車整備			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公団 ドドマ職業訓練校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ドドマ州ドドマ市 JICA事務所の所在地( ダルエスサラーム )から 西 方向 400 Km 主要都市( ドドマ市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、タンザニアにおける主要な職業訓練機関である職業訓練公団VETA(Vocational Education and Training Authority)の直轄校の1つで、首都ドドマの市内に位置し、自動車整備、溶接工、木工、配電工など17種類の訓練コースが運営されている。生徒数約450名、教師数約30名、スタッフ約20名の中規模校。年間予算は約6000万円。2013年3月まで自動車整備JV(初代)が活動していた。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 国内車両の9割以上が日本製(中古車)であるタンザニアにおいて、日本車の車両整備に係る需要は非常に高い。そのため、日本車整備の知識のある修理工の育成が急務であり、同職業訓練校に対するタンザニアにおける期待は高い。しかし、電子制御システムなど、近年の日本車整備に関して適切な指導が可能な講師が不足しており、前任のJVに引き継ぎ指導ができるボランティアが期待され、今回の要請が上げられた。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学生に対する自動車整備に関わる座学と実技 2. 同僚に対する電子制御システムの技術移転 3. ワークショップ運営(工場化)に向けてのアドバイス 4. 一般車両故障診断

要 求	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ピット、車両用リフト、油圧ジャッキ、ホイールバランス調整機、タイヤ交換機、充電器、訓練用カットモデル等
	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(男性、40代) 自動車整備科科长(男性、40代) 自動車整備科指導員(男性、1名)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2級整備士 (G・D)</span> ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経歴 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実務経験</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3年以上</span> ) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否
		春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域 概況	気候(サバナ気候 ) 気温( 15~30 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記 事項	ボランティアが使用する機材(続): Engine Model 3S EFI(Electronic fuel Ingection) Toyota Serial No:456214
----------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号( JL 551 - 14 - B - 03 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ザンビア	自動車整備			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 2	
				27 / 3	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省 2) 配属先名 (日本語) リビングストーン職業訓練校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>				
概要	3) 任地 南部州リビングストーン JICA事務所の所在地( ルサカ )から 南 方向 480 Km 主要都市( リビングストーン )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.3 時間)				
要請	4) 配属先の規模・事業内容 1950年に設立された歴史のある国立の職業訓練校で、ビジネスとエンジニアリングの2部門に分かれ、それぞれに観光、電気コース等を有し、主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業者)を中心に職業訓練が行われている。全体の学生数は約780名で、自動車コースは2学年で60名の学生が在籍しており、当国職業訓練校の中でも比較的教育環境(設備、講師、マネージメント等)は整っている。現在、JICAを含め他国および国際機関等からの援助は入っていない。				
概要	1) 要請理由・背景 当国では、日本からの輸入中古車が数多く市場に出回っているが、車両の進化に伴い、しっかりとメンテナンスや修理を行える技術者が不足している現状がある。また、職業訓練校の講師は、座学中心で教科書で理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、実践的な授業を行うことが難しい。この状況のなか、日本の現場で豊富な実務経験を積んだボランティアの協力を得て、職業訓練の現場における実務経験不足を補いたいとの考えから、JVの要請があった。同JVには、学生に対する実習指導(特にElectronic Fuel Injection Systemについて)および講義が期待されている。				
要請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生に対する実習(21h/週)および講義(6h/週)を担当 ・同僚講師の授業に対するアドバイスおよび指導 ・交換部品欠品で有効活用されていない実習機材の修理に関するアドバイス				
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用エンジン(トヨタ4A、5A、3L)、実動車(トヨタカローラE110型)、ホイールバルンサー、タイヤチェンジャー、カットモデル(ステアリング、トランスミッション等)、整備工具一式				
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・同僚講師 50代/男性/指導経験30年 ・同僚講師 30代/女性/指導経験10年		5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( 2級整備士 (G・D) ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由: 配属先からの要望 ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( ) 理由: 指導上必要なため ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: 実務指導を行うため 理由:		活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(サバナ気候 ) 気温( 5~35 ℃位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )				



長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 551 - 14- B - 27 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D235 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
ザンビア	自動車整備			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1	年 月 から
					27 / 2	
			27 / 3			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省	
	2) 配属先名 (日本語) ルカシャ職業訓練校	<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 北部州カサマ JICA事務所の所在地( ルサカ )から 北東 方向 850 Km 主要都市( カサマ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.2 時間)	
	4) 配属先の規模・事業内容 1941年に設立された歴史のある国立の職業訓練校で、大きくビジネス学科とエンジニア学科の2つに分かれ、それぞれが秘書コースや電気コース等を有しており、主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業者)を中心に職業訓練が行われている。約50haの広大な敷地の中で約500名の学生が学んでおり、自動車コースには120名(男性117名、女性3名)の学生が在籍している。過去に電子機器等のJVが派遣されているが、現在はJICAを含め他国からの援助は入っていない。なお、2015年1月にコンピュータ・コースへJV(H26-3、PCインストラクター)を派遣予定である。	

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 当国では、日本からの輸入中古車が数多く市場に出回っているが、車両の進化に伴い、しっかりとメンテナンスや修理を行える技術者が不足している現状がある。また、職業訓練校の講師は、座学中心で教科書で理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、実践的な授業を行うことが難しい。この状況のなか、日本の現場で実務経験を積んだJVの協力を得て、職業訓練校の現場における実務経験不足を補いたいとの考えから、ボランティアの要請があった。同JVには、学生に対するメンテナンスおよび修理技術の指導、同僚講師の授業へのアドバイス等が期待されている。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生に対する実習指導および講義(実習12時間/週、理論4時間/週) ・同僚講師の授業に対するアドバイス ・交換部品不足で活用されていない実習機材の修理に関するアドバイス	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用エンジン(ニッサンCA18型、TD27型)、タイヤチェンジャー、バッテリーチャージャー、タイミングライト、カットモデル(エンジン、クラッチ)、整備工具一式等	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・副校長 50代/男性 ・同僚講師 5名/30~40代/男性4名、女性1名/指導経験5~15年	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( 2級整備士 (G・D) ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( ) 理由: 指導上必要なため ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: 実務指導を行うため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(サバナ気候 ) 気温( 5~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	---

特記 事項	住居は、同校敷地内にある講師寮に入居予定。
----------	-----------------------



事務局記入欄

受験番号



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 15 日

要請番号( JL 560 - 14- B - 11 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D235 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 /	日系/短期 年 月 から
ベナン	自動車整備					
配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 中等教育・技術職業訓練・再教育省					
	2)配属先名 (日本語) コヴェ職業センター				<input type="radio"/> NGO	
	3)任地 ズー県コヴェ市 JICA事務所の所在地( コトヌー )から 北 方向 162 Km 主要都市( コトヌー )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 3 時間)					
	4)配属先の規模・事業内容 2009年に設立された職業訓練校である。14歳以上の青少年を対象に手に職をつける技術を習得し、若者を養成する国の教育実施機関。3年間の養成期間終了後は、技巧証明書を取得し、就職や仕事の自活を促すことを目的とする。生徒数は男子46名、女子12名。6つのアトリエ(機織、洋裁、木工、彫刻、メカニック2輪、メカニック自動車)が実施されている。講師人数は14名。他国ボランティアの援助はない。年間予算約500万円。					
要 請 概 要	1)要請理由・背景 各アトリエは、教室棟で理論を学ぶ授業が20パーセント、アトリエ棟での実習授業が80パーセントの割合で構成されている。メカニック部門はオートバイと自動車に分かれている。メカニックオート(自動車)では、エンジンを始め各パーツの構造、保守、整備を学んでいる。日本のテクノロジーを生かした技術とともに、仕事に対する丁寧さ、作業の段取り、手順の大切さを学ぶことも期待されている。また、同国は整備不良の自動車が日常的に走行しており、安全に走行するための技術改善の余地が多々ある。ボランティアの持つ知識と経験を活かし、ベナン国の人材育成に協力する。					
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚の自動車整備講師と以下の実習授業に協力する。授業時間は、午前8時-12時30分、午後15時-18時30分。 1.メカニックオートの理論および実習授業を把握する。 2.実習授業の支援と技術アドバイスを行う。 3.指導マニュアル等生徒がわかりやすい資料を講師とともに作成する。					
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 エンジスタンド、ホイールバルンサー、コンプレッサ、タイヤチェンジャー 他					
	4)配属先同僚及び活動対象者 校長 男性 40歳代 機械製造教師経験有 メカニックオート技術講師 男性 30歳代 3年経験 その他技術講師 男性、女性 16名。8年から30年の経験有。 男子生徒			5)活動使用言語 ( フランス語 ) 6)生活使用言語 ( その他 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D ) 又は (レベル: )		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( 2級整備士 (G・D) ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 )理由: 男子生徒のみ対象のため ・学歴 ( )理由: ・経験 ( 実務経験 )理由: 実習授業を行うため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
	地域概況 気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 25~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号( JL 745 - 14 - B - 09 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D235 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
キルギス	自動車整備					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 青年・労働・雇用省
	2) 配属先名 (日本語) 第27職業訓練学校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ビシュケク市 JICA事務所の所在地( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ビシュケク市</span> )から 西 方向 20 Km 主要都市( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ビシュケク市</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バス</span> で約 0.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1975年のソ連時代に設立された職業訓練学校で、無料と有料の2つのコースがある。無料コースは16歳から300名が3年間、有料コースでは18歳からの100名の学生が1年間職業訓練を学ぶ。無料コースでは、高校の授業と自動車について、そして有料コースでは自動車整備について専門に学ぶ。また、同校には視覚障害者のための職業訓練コースもあり、32人の学生が美容師、コックを目指し訓練を受けている。同校は、これまでカナダ、EU、ドイツの支援を受けて来た。

要請概要	1) 要請理由・背景 当国では、従来ドイツ車を中心とするヨーロッパの中古車が流通していたが、近年、日本の中古車・新車(ハイブリットカーを含む)も出回り始めている。ヨーロッパ車に関しての修理技術はあるものの、現在日本製の車が増加している事から、幅広く整備経験のある人材が求められている。日本車に対するサービスを向上させ、2013年9月からコンピュータを使った故障診断コースが開始された。幅広い人材の育成、講師の知識の向上、コース内容の充実の為にボランティアの要請が上がった。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の同僚と共に以下の活動を行う。 1. コンピュータ故障診断コースで、電子制御燃料噴射装置や電気システムのメンテナンス知識を教える。 2. 日々の授業の中で、実技におけるアドバイスを行う。 3. 新設のコンピュータを使った故障診断コース運営の為、必要な情報を学校・同僚にアドバイスする。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 自動車整備に必要な設備、工具一式、実習用車両等

資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 講師 18名(20歳~74歳、1年~30年の経験) 学生 100名 C/P(33歳、高卒、11年の経験)	5) 活動使用言語 ( ロシア語 )
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( ) ( ) 理由: ・ 経験 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実務経験</span> ) ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5年以上</span> ) 理由: 専門知識が必要なため ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ガソリン2級整備士、ジーゼル2級整備士</span> 理由: 専門知識が必要なため	6) 生活使用言語 ( ロシア語 )
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

地域概況	気候(地中海性気候 ) 気温( -20~40 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号( JL 224 - 14 - B - 01 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D252 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	日系/短期
ドミニカ 共和国	木工			● 2 年	27 / 1	年 月 から
				○ 1 年	27 / 2	
○ ヶ月	27 / 3					

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 経済企画開発省
	2)配属先名 (日本語) クラスタ・ツーリズム・バラオナ <span style="float: right;"><input checked="" type="radio"/> NGO</span>
	3)任地 バラオナ JICA事務所の所在地( サント・ドミンゴ市 )から 西 方向 200 Km 主要都市( サント・ドミンゴ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3.5 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 2004年に米国国際開発庁(USAID)と国家競争力向上委員会の支援を受けて、観光産業などバラオナ県の産業振興を目的に設立されたNGO。ホームページの公開やスポーツイベントの開催、ホテルのサービス向上についての提言、機関紙作成などを通じ、国内外から旅行者を招聘しようとしている。また、県内の小規模グループが製造・販売する民芸品、ジャム、ココナッツ菓子や、ラ・リスタ村の木工業組合の商品の販売促進を支援している。県内には手付かずの自然が残っており、エコツーリズムを発展させていこうという動きがある。

要 請 概 要	1)要請理由・背景 ラ・リスタ村は住人の殆どが木工業に何らかの形で関わっており、20の家具職種の工房と約20の個人の住居を利用した作業場が点在し、約120名の見習いを含む家具職人がいる。配属先は、ラ・リスタ村の木工業組合が製造する家具の品質向上の為、これまで講師を招きセミナーを開催し支援してきたが、品質の統一化が十分に図られていない。国内大手のスーパーマーケットグループから、ロックンチェア製品化に関してオファーがあるが、プロトタイプは作製したものの、その後対応できていない状況である。同CCNグループは、発電機、共同作業場、木工加工機器の供与、周辺道路の整備に対して支援を行ったが、十分に活用されていない。木工業組合は、家内工業から脱皮し、分業体制を確立した家具の製造を目指している。配属先は木工業組合の現状を憂慮しており、状況改善を目的に、本件の要請があった。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・ラ・リスタ村の工房で作製している家具の品質向上、家具職人の技能向上への助言 ・生産性向上と同一企画製品作製のための助言 ・新製品の提案 ・作業指示書の提案 ・木工業組合運営に関する助言
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 RYOBI社製電気のごぎり、家具製造工具
4)配属先同僚及び活動対象者 配属先運営責任者(50代女性 大卒 NGO運営経験20年) バラオナ支所担当者(20代女性) ラ・リスタ村木工業組合長(50代男性 家具製造経験40年) 見習いを含む家具職人 120人(20~60代男性)	5)活動使用言語 ( スペイン語 ) 6)生活使用言語 ( スペイン語 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D ) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( 男性 ) 理由: 力仕事が多い為 ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 家具製作支援を行うため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域 概況	気候(亜熱帯海洋性気候 ) 気温( 18~34 °C位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	--

特記事項 インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、完全ではない。バラオナ市に居住し、約20km郊外のラ・リスタ村が活動場所となる。

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号 ( JL 224 - 14 - B - 11 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D252)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2 年	JOCV/SV
ドミニカ共和国	木工			1 年	27 / 1
				ヶ月	27 / 2
					27 / 3
					年 月 から

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 経済企画開発省
	2) 配属先名 (日本語) 環境と開発のためのアクション・カリブ地区事務所(ENDA カリベ) <span style="float: right;"><input checked="" type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 モンテ・プラタ県バジャグアナ市 JICA事務所の所在地( サントドミンゴ特別区 )から 北東 方向 60 Km 主要都市( サントドミンゴ特別区 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1972年にセネガルを拠点として発足したNGOで、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの14か国に地域事務所を持ち、貧困削減や環境保全を始めとする様々な活動を展開している。ドミニカ共和国では1984年から活動を開始し、2003年に正式に国内NGOとして認可された。当国内では6つの対象地域住民に対し、地方貧困地域における林業と農業の振興を通じた地域住民の生活向上を目指し、森林再生・森林経営・木材関連ビジネス・衛生的な水へのアクセス・生物多様性・環境保護啓発・女性グループ支援などを実施している。年間予算約1千820万米ドル、事務所常駐スタッフは所長を含め6名。

要請概要	1) 要請理由・背景 首都から北東方向に位置するカニューエロ村(バジャグアナ市、人口約500名)は、同NGOが活動展開する6つのサイトのうちの1つで、1992年から支援を実施している。以前は隣接する国立公園を管理する政府機関が住民の森林へのアクセスを禁止していたため、住民は極度の貧困に喘いでいた。現在は同NGOの支援によって、自生のアカシア、マホガニーなどの木材資源と、それと共生可能な農業・牧草を利用した放牧などにより生計を立てている。しかしながら、農村部では公共交通機関がない上に、広い地域に人家が散在しているため、学校へのアクセスが困難な状況は現在もあまり変わっていない。また、村の木材加工場は、その木材加工や商品の販売等にかかる専門知識を持った人材がいなかったため、品質が向上せず、売り上げも伸び悩んでいる。本件は、住民の生活向上を目指した木材加工技術向上支援を期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは、主に村の木材加工場にて、工場で働く村人たちに対し、自生のアカシア(5-9年くらいの木)・マホガニーなどの伐採、乾燥、板材や家具、ドアなどの製作、端材やおがくずの土産品加工業者への販売、燃料としての利用、といったすべての行程に関し、指導助言する(首都と村を行き来する活動形態になる)。特に重視されている活動は以下の通り。 ① 板材・家具・ドアなどの最終仕上げ技術の指導 ② 製品の市場での展示等、プレゼンテーション技術の指導 ③ 商品カタログの作成(ENDAの首都の事務所にて作業を行う)
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 木材加工場にある一般的な工具(糸鋸等)、木材乾燥用倉庫、家具製造工場等、首都のNGO事務所内にある固定電話、PC、プリンターなど一般の事務用品
4) 配属先同僚及び活動対象者 ENDAカリベ代表:男性、50歳代、森林技術者 地域森林農業法人(カニューエロ村の木材加工場運営)ラ・エスペランサ責任者:C/P、男性、50歳代 活動対象:同社関係者、コミュニティ関係者など	5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ・ 学歴 ( ) ( ) 理由: ・ 経歴 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 活動上必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(熱帯サバナ気候) 気温( 15~34 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項 電気・水道・電話などのインフラサービスは一応あるが、安定しているわけではない。インターネットは村では期待できない。住環境も首都ほどの環境は望めない。徒歩での市内巡回などを厭わない根気と体力が必要。



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

要請番号( JL 242 - 14 - B - 16 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D252 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
ジャマイカ	木工			1年	27 / 1	年 月 から
				ヶ月	27 / 2	
			27 / 3			
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育省/労働・社会保険省					
	2)配属先名 (日本語) ジャマイカ知的障害者協会				<input checked="" type="radio"/> NGO	
	3)任地 キングストン JICA事務所の所在地( キングストン )から 北 方向 0 Km 主要都市( キングストン )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
	4)配属先の規模・事業内容 同協会は1956年に知的障害者への教育を政府に先立って始めたNGOである。1974年に教育省が特別支援教育に参入し、現在では同協会と共同で全国28か所の拠点において無償で教育を提供している。一昨年、学校教育を終えた卒業生が通える作業所が開設された。年間予算は約8千万円。これまで30名を超えるボランティアが派遣され、現在は2拠点で3名のボランティアが活動している。					
要請概要	1)要請理由・背景 木工は生徒への授業及び卒業生対象の職業訓練所での訓練科目であるが、適切な技術を持つ教師が不足しているため、ボランティアの要請となった。教師と協働して授業をする他に系列学校教師の木工指導技術向上のために、同協会が開催するワークショップでの技術の共有が求められている。特に職業訓練施設は、生徒が卒業後コミュニティに参加するための技術を訓練する場と位置づけられており、重要なプロジェクトとして認識されている。また、配属先が現在運営している作業所との連携から、木工製品を製作する作業所の開設も目指している。同協会の系列学校では手工芸と体育の隊員が活動している。					
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同協会本部に派遣されている他校のボランティア及び同僚教師と連携して、以下の活動をする。 1. 軽度から中程度の障害を持った生徒と卒業生への木工技術指導。 2. ワークショップや系列学校への巡回活動を通じた新しい製品の開発や指導法の改善。 3. 現地で入手できる竹や木を利用した作品のアイデア提供、対象者の障害にあわせた作品製作の支援。 4. 製品の商品化に関するマーケット調査などへの支援。					
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 木工実習のための作業室と各種機材(手工具一式、木工機械:手押しかんな盤、自動一面かんな盤、昇降丸のこ盤、木工旋盤、丸のこ、バンドソー、電気かんななど)					
要請概要	4)配属先同僚及び活動対象者 本部:事務局長(女性)教育開発担当(女性)など計7名。 学校:校長教員、教員及びアシスタント教員80名、生徒数300名、1クラス生徒数約10名。 職業訓練所:訓練生15名、教員2名(手工芸、服飾担当) 同僚:木工技術教員1名 女性 30代			5)活動使用言語 ( 英語 ) 6)生活使用言語 ( 英語 ) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )		
	資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由:製作指導が求められるため 特別支援教育の経験 理由:知的障害者への指導のため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 22~32 °C位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 24 日

要請番号( JL 506 - 14 - B - 10 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D252 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
エチオピア	木工			27 / 1	年 月 から
				27 / 2	
		27 / 3			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) アディスアベバ市職業訓練庁				
	2) 配属先名 (日本語) アディスアベバ・ティグバレット技術専門学校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 アディスアベバ JICA事務所の所在地( アディスアベバ )から 北 方向 0 Km 主要都市( アディスアベバ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 エチオピアには5つの技術専門学校があり、同校は同国で初めて1942年にイタリア政府の援助を受けて設立された。自動車科、服飾科、建築、木工等、9つの学科を有し座学および実習を中心とした2~4年の職業訓練を行っている。年間予算はオランダやドイツの援助を含めて約1億円。また、ドイツ人専門家とボランティアが組織運営やICT関連の活動を行っている。過去にはコンピュータ技術や建築、測量といった分野のJOCVが活動を行った。なお同校にはJICAとEKI(Ethiopia Kaizen Institute)が実施するカイゼントレーニングに参加した経験をもつ講師がいる。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 エチオピア政府の国家開発計画では、市場のニーズに見合った質の高い労働力を輩出することが重要視されており、技術者の養成が大きな課題となっている。配属先となる技術専門学校では、基礎的な知識、技術は指導しているものの、時代の流れや技術が進歩するにつれて、現役講師の技術力や知識の向上が必要とされており、ボランティアの要請に至った。ボランティアには同校の木工科にて同僚と共に行う日常業務や学生に対する座学や実習をサポートする中で、新しい技術やアイデアを共有する事が期待されている。なお、配属先木工科にはイタリアやドイツからの支援で供与された機材が多く、これらを使いながら家具製作の基本となる授業、実習が行われている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚講師と共にボランティアの経験を踏まえて以下の事を行う 1. 座学および実習のサポート 2. 講師に対する技術的なアドバイスやアイデアの共有 3. KAIZEN(5S)に関する知識の共有など また、配属先における日常業務、新しい技術に関する共有も期待されている				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ノミ、かんなど木工に必要な一般的なハンドツール、帯のこ、かん盤、ジョインター、コンビネーションジョインター等の大型機材				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 木工科講師(男女10名、2014年度) 専門学校卒4名 大卒6名 学生は高卒程度~社会人経験者まで			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 専門学校卒 ) ( )理由: 同僚が同等以上の学歴であるため ・経験( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由: 実務を伴った実習を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域 概況	気候(ステップ気候) 気温( 10~30 ℃位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記 事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 551 - 14 - B - 28 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D252 )	◎ グループ型 ○ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年	JOCV/SV
ザンビア	木工			○ 1 年	27 / 1
		○ ヶ月	27 / 2		
			27 / 3		
					年 月 から

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省
	2) 配属先名 (日本語) ルカシャ職業訓練校 <span style="float: right;">○ NGO</span>
	3) 任地 北部州カサマ JICA事務所の所在地( ルサカ )から 北東 方向 850 Km 主要都市( カサマ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.2 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1941年に設立された歴史のある国立の職業訓練校で、大きくビジネス学科とエンジニア学科の2つに分かれ、それぞれが秘書コースや電気コース等を有しており、主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業者)を中心に職業訓練が行われている。約50haの広大な敷地の中で約500名の学生が学んでおり、木工コースには30名の学生が在籍している。過去に電子機器等のJVが派遣されているが、現在はJICAを含め他国からの援助は入っていない。なお、2015年1月にコンピュータ・コースへJV(H26-3、PCインストラクター)を派遣予定である。

要請概要	1) 要請理由・背景 当国の職業訓練校の講師は、座学のみで理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、産業ニーズを汲み取った授業を行うことが難しい。この状況のなか、日本の現場で実務経験を積んだJVの協力を得て、職業訓練校の現場における実務経験不足を補いたいとの考えから、ボランティアの要請があった。初代となる同JVは、学生に対し木工の実習指導(基礎～応用技術)および講義を行うと同時に、同僚講師に対する技術指導も期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生に対する実習指導および講義(実習10時間/週、理論6時間/週) ・同僚講師に対する技術指導 ・販売可能となる木工製品制作のためのアドバイス
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 丸のこ盤、糸のこ盤、ボール盤、木工旋盤、電動研磨機、基本工具(鋸、ノミ、鉋、ハンマー、スケール)等
4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・副校長 50代/男性 ・同僚講師 50代/男性/指導経験20年 ・同僚講師 40代/男性/指導経験15年	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 高卒 ) ( ) 理由: 配属先同僚レベルとの調和 ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: 実務指導を行うため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要
		現職教員特別参加制度
		○ 可 春募集時のみ適用 ◎ 否 SVIは通年対象外

地域概況	気候( サバナ気候 ) 気温( 5~35 ℃位) 電気(○安定 ◎不安定 ○なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道(○安定 ◎不安定 ○なし)
------	--

特記事項	住居は、同校敷地内にある講師寮に入居予定。
------	-----------------------



長期 ( **長期 JV** )

記入日:平成 26 年 7 月 3 日

要請番号( JL 618 - 14 - B - 05 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D252 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
マダガスカル	木工			1年	27 / 1
		ヶ月	27 / 2	年 月 から	
			27 / 3		

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 雇用・技術教育・職業訓練省
	2) 配属先名 (日本語) トアマシナ技術高等学校 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 アチナナナ県トアマシナ郡トアマシナ市 JICA事務所の所在地( アンタナナリボ )から 北東 方向 370 Km 主要都市( アンタナナリボ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 8 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は木工・金属加工・自動車整備・建築・電子機器など7つのコースを持つ公立の技術高校である。全校生徒は1350名、教師数は66名、うち木工コースには64名の生徒と4名の教師がいる。各分野のカリキュラムには、数学・国語・英語・仏語・物理などの一般科目と、学科(週10時間)と実習(週8時間)を含む専門科目が設けられている。同校全体の年間予算は、約520万円。

要請概要	1) 要請理由・背景 2009年3月のマダガスカル暫定政権発足に伴い同国への新規経済協力が停止され、2012年6月以降、ボランティア事業も中断していた。2014年4月、日本政府の経済協力再開に伴い、ボランティア事業も再開することになった。2014年度の木工コースには1年生28名、2年生15名、3年生21名が在籍、4名(1名公務員、3名契約)の教師が指導している。うち2名の教師(1名は定年退職後の再雇用)は経験豊富であり、経験不足の30歳代教師2名の技術指導力の向上を図ることが望まれている。2011年9月まで初代JVが木工コースで活動し、アイデア提供やデザイン指導、生徒作品の販路開拓に力を注いだ。引き続き、JVによる技術指導や生徒作品の販路開拓の協力が求められ、本要請に至った。また、学校予算が少ない中でもJVが効率的な活動をして生徒や教師のモチベーションを上げることも期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 校長、同僚教師と協力し、生徒を巻き込みながら、以下の活動を行う。 1.木工コースの授業内容の検討、生徒に対する技術指導支援 2.同僚教師への実技指導 3.生徒作品の販路開拓 4.作業場の5S推進
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 作業台、研削盤、旋盤機、帯鋸盤、手押しカンナ盤、平削り盤、ろくろカンナ盤、丸鋸盤など
4) 配属先同僚及び活動対象者 校長 男性、50代 木工担当教師4名 男性、30~50代 生徒 男性・女性15~21歳 64名	5) 活動使用言語 ( フランス語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 専門学校卒 )( )理由:教師への指導を行うため ・経験( 社会経験 )( 2年以上 )理由:幅広い経験が指導に役立つため ・ 木工作品の制作経験 理由:生徒や教師に指導するため	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 10~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	ボランティア事業再開に伴い、区分は新規扱いとする。
------	---------------------------





長期 ( 長期 JV )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 26 年 6 月 30 日

要請番号( JL 012 - 14 - B - 01 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D261 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 /	日系/短期 年 月 から
フィリピン	食品加工					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局					
	2) 配属先名 (日本語) 貿易産業省アクラ州事務所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 アクラ州カリボ町 JICA事務所の所在地( マニラ )から 南東 方向 360 Km 主要都市( カリボ町 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、経済成長による住民の生活の質の向上を目指し、消費者保護の為の公正取引の監視及び産業雇用の創出と投資促進を実施する貿易産業省(DTI)の州事務所。現在7名の常勤職員がおり、年間予算約 2千万円。JV所属予定の産業振興課は、零細中小企業支援が業務の中心であり、食品分野では、食品製造業者(自営、組合)を対象に、製品開発支援、食品製造免許(Licence to Operation 以下LTO)等各種免許登録、食品加工衛生指導等を行っており、本年は、昨年科学技術省(DOST)により設置された業者に開かれた食品包装センターの機能を拡大し、運営開始を目指している。海外からの支援は特に受けていない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は、中小零細食品製造業者に対するサービスの質の向上を目指しており、特に本年、DTIが中小零細企業の競争力強化事業として展開するShared Service Facility事業(SSF)の一環として、昨年DOSTにより設置された地域の中小零細食品製造業者に開かれた食品包装センターに本格的機材導入を図り、その機能強化に乗り出した。業者が同センターを活用することにより、生産効率の改善、食品衛生向上、製品の見栄えの改善等が期待されるが、センターの適切な運営管理について十分な知見を持った人材に乏しく、運営上支援が必要な状況。また、零細な食品製造自営業者が、大手スーパー等に対して納品するための資格要件として求められることの多いLTO等の各種取得支援については、製品の衛生管理と同様、実質的に業者の経営を大きく改善するために非常に重要との認識があり、業者への取得啓蒙と申請作業への支援が期待される。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 中小零細食品製造業者に対し、以下の活動を行う。 ① 食品の包装センターの管理、機材の管理方法に係る指導・助言を行う(センターを利用する業者は25社程度を予定)。 ② 生産、包装、ラベリングについての技術的助言を行う。 ③ 製造現場の衛生管理状況のモニタリングとそれに基づく衛生、品質管理指導に協力する。 ④ LTO等各種免許取得の利点の理解促進を図るとともに、申請書類作成を支援する(LTOについては他州で活動したJVが作成した申請マニュアルが利用可)。 ⑤ 商品の販売促進と市場の開拓についても可能な範囲で協力する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 食品包装センター機材:冷凍庫、真空パック機、シーラー、バーコードプリンタ等。今後、サシエット包装機、製袋充てん機、屈折計、PHメーター、温度計、湿度計、塩分計がSSFにより本年導入予定。					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 事務所長:男性 50代 産業振興課長:女性 40代 主たる同僚:産業振興課職員2名 いずれも女性 50代 その他職員7名		5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許/資格 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 理由: ) ・ 学歴 ( 大卒 ) ( ) 理由: 同僚とのバランス ・ 経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 食品加工衛生管理指導に必須 食品製造現場の管理経験 理由: 食品加工衛生管理指導に必須			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外		
地域概況	気候(熱帯雨林気候 ) 気温( 23~34 °C位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )			
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 30 日

要請番号( JL 012 - 14- B - 02 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D261 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
フィリピン	食品加工			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 2	
				/	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局
	2) 配属先名 (日本語) 貿易産業省アンティケ州事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 アンティケ州サンホセ・デ・ブエナビスタ町 JICA事務所の所在地( マニラ )から 南 方向 430 Km 主要都市( イロイロ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、経済成長による住民の生活の質の向上を目指し、消費者保護の為の公正取引の監視及び産業雇用の創出と投資促進を実施する貿易産業省(DTI)の州事務所。職員数12名、年間予算約2千2百万円。JV所属予定の産業振興課は、中小零細企業支援が業務の中心であり、職員3名、年間予算約250万円の規模。食品分野では、食品製造業者(自営、組合)を対象に、製品開発支援、食品製造免許(Licence to Operation 以下LTO)等各種免許登録、食品加工衛生指導等を行っている。州の主要な加工食品は、特産の砂糖であるマスコパドシュガー、海産物、青果、お菓子、ココナッツ製品等。海外からの支援は特に無し。

要請概要	1) 要請理由・背景 アンティケ州は比較的開発の遅れている州であるが、州都であるブエナビスタ町では、最近、大型のスーパーマーケット等も進出してきている背景がある。地域の中小零細食品製造業者にとっては、製品の品質や安全性を高めること、食品製造/販売に係る各種資格を取得すること等により、これらの大型店舗に自らの製品を納品できる可能性が高くなることから、経営の拡大と収入の向上につなげられる環境が整ってきていると言える。そのためには、配属先による業者への適切な支援がより一層重要となっているが、特に、業者の衛生管理の改善指導、大型店舗等に対して納品するための資格要件として求められることの多いLTOをはじめとした各種資格取得の推進等について十分な対応が出来ているとは言えない状況にある。このため、配属先として業者支援体制の強化を図りたい意向があり、本要請が提出された。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 中小零細食品製造業者の製造現場の衛生管理状況のモニタリングとそれに基づく衛生指導、品質管理指導に協力する。 ② 配属先が行う食品衛生に係るセミナー/トレーニングに協力するとともに、内容改善のための助言を行う。 ③ 中小零細食品製造業者に対して、LTO、適性製造基準(GMP)等各種免許取得の利点の理解促進を図るとともに、申請書類作成を支援する(LTOについては他州で活動したJVが作成した申請マニュアルが利用可)。 ④ 中小零細食品製造業者に対して、経営の改善に対する助言を出来る範囲で行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、プリンタ等の事務機器。

要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 事務所長:女性 50代 主たる同僚:産業振興課職員2名(女性1名(50代)、男性1名(40代)) その他職員9名	5) 活動使用言語 ( 英語 )
		6) 生活使用言語 ( その他 )
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 ) ( )理由:同僚とのバランス ・経験( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由:食品加工衛生管理指導に必須 食品品質管理経験 理由:免許登録支援に必須	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(熱帯雨林気候) 気温( 23~34 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 4 日

要請番号( JL 048 - 14 - B - 05 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D261 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	JOCV/SV	日系/短期
ブータン	食品加工			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 3	/
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 王立ブータン大学 2) 配属先名 (日本語) 農業大学農学科 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span> 3) 任地 プナカ県ロベサ JICA事務所の所在地( テインプー市 )から 東 方向 60 Km 主要都市( ウオンディポダン )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.5 時間)				
概要	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は王立ブータン大学傘下にある農業大学で、スイスの支援を受けて、1992年に2年制の農業専門学校として設立された。その後、2004年2月に正式な大学として登録され、2014年6月現在、「学位コース」、「専門コース」、および「短期研修コース(農業従事者向け)」の3コースが開設されている。「学位コース」は農学科、森林学科、畜産学科、持続可能な開発学科の4学科で構成されており、ボランティアはそのうち「農学科」において活動することとなる。なお、当大学ではこれまでにJICA/JVの派遣以外にタイ王国から機材および資金の援助を受けている。現在、1名のJV(食品加工)が活動中。年間予算は約5千万円。				
要請	1) 要請理由・背景 配属先の使命は国内の農業分野における「持続可能な開発」を推進していくことができる人材の育成であり、2004年の大学認可以来、講師陣の人材育成を始めとして、授業科目の構築、カリキュラム開発、実習/実験施設の拡充等を徐々に図ってきている。しかしながら、座学で理論を指導できる人材は育成されているものの、学習者の理解促進に必要な不可欠な「実習」を指導できる人材の育成には未だ至っていない現状がある。本学科で学ぶ学生は、学位取得後は各県の農政局や農業試験場での業務に携わることになっている者が多く、現場で活かせる実践的な技術指導が求められている。ボランティア離任後にカウンターパートとなる講師が一人で実習授業を実施できるよう育成、食品科学関連学科の新設を踏まえた関連機器および設備等の準備に必要なアドバイス、国内で収穫できる農産物を用いた食品加工技術の指導等を行うためJVの要請に至った。				
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは配属先スタッフと協力し、以下の活動を行う。 1. 食品科学の授業における実習授業を中心とした講義 2. 配属先スタッフ(特にカウンターパート)の能力強化および技術力向上支援 3. 食品化学講座カリキュラムの新規策定 4. 実習/実験設備拡充のための助言・提言 5. 配属先スタッフとの共同研究				
要請	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 オートクレーブ、クリーンベンチ、プログラム恒温槽、培養用恒温槽、振とう培養機、pHメーター、吸光光度計、屈折度計、乾燥機、ガスレンジ、電子レンジ、冷凍冷蔵庫、果物用硬度計、マイクロピペット等				
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・配属先長(学科長:30代:女性) ・配属先同僚7名(20代~50代:男性5名 女性2名)(講師経験15年以上5名、初心者2名) ・うちカウンターパート1名(30代:女性:大学卒:経験2年)  主な活動対象者 ・配属先同僚および学生(農林省職員、近隣農民、国内農業研究者)		5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( 英語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B ) 又は (レベル: )		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 修士 ) ( 農学 )理由: 理論的な講義を行う際に必要のため ・経験 ( 実務経験 ) ( 5年以上 )理由: 実習講義を担当するため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要  現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 5~30 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 26 日

要請番号 ( JL 315 - 14 - B - 01 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国籍	職種 (コード D261)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
コロンビア	食品加工			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 2	年 月 から
				27 / 3	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省				
	2) 配属先名 (日本語) 国立職業訓練庁ピエデクエスタ校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 サンタンデル県ピエデクエスタ市 JICA事務所の所在地( ボゴタ市 )から 北東 方向 400 Km 主要都市( プカマンガ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、貧困層の若者を中心に訓練を行う職業訓練学校。1998年に開校された同校においては食肉、乳製品、パン、果物、チョコレート等食品加工の訓練が行われている。午前、午後、夜間のコースに分かれ、3時間の授業が行われており、各時間帯にて約300名ずつが受講している。訓練は短期(40時間)から長期(18か月)に至る様々なコースが用意されており、各受講生のニーズに合わせた講義・実習がなされている。郊外には130haの広大な農場も保有(内、カカオ豆農場は25ha)しており、原料の生産から一貫した流れで食品加工について学ぶことができる。職員は約200名。年間予算は約250万米ドル。				
要請概要	1) 要請理由・背景 任地サンタンデル県においてはカカオ豆の栽培が盛んに行われており、国内生産の約半分を占める。一方でチョコレート菓子の生産については首都ボゴタ等の大企業に独占されており、カカオ豆生産者への十分な富の分配がなされていない状況にある。こうした状況から配属先は県内でのチョコレート菓子生産を活性化させるべく、国内唯一のチョコレート加工訓練コースを設置した。2009年から約6000名の受講者に対して、カカオ豆の生産からチョコレート菓子の製造に至る一連の流れについて訓練を行ってきた。今後の競争力向上を目指す上で、チョコレート菓子の更なる質の向上、また新たな味、あるいは菓子デザインの創出の必要性が認識され、同分野に知見を有するJVの要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.販売を目的としたチョコレート菓子の質の向上(味、舌触り、デザイン) 2.日本をはじめとした海外の製菓事情の紹介 3.カカオマス作成行程(粉碎、焙炒、等)についての助言 (なお、3については可能な範囲で対応する。)  ※受講生は長期(18か月)コースに約25名×10グループ、短期(40時間)コースは約25名×50グループ。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 チョコレート菓子製作のための機器は一通り揃っている。				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚は3名のインストラクター ①女性・40代・修士・指導経験10年以上(チョコレートコースでは2年) ②女性・30代・大卒・指導経験15年以上(チョコレートコースでは4年) ③男性・40代・大卒・指導経験10年以上(チョコレートコースでは1年未満)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: 経験に即した活動が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要  現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(高原気候) 気温( 20~30 ℃位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 3 日

要請番号 ( JL 524 - 14 - B - 13 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F111 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
マラウイ	経営管理			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1 27 / 2 27 / 3
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省				
	2) 配属先名 (日本語) ポピュレーションサービスインターナショナル(PSI) マラウイ				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 リロングウェ市 JICA事務所の所在地( リロングウェ )から 北 方向 0 Km 主要都市( リロングウェ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先PSIは1970年にアメリカで設立された国際NGOで、世界65か国でプログラムを実施している。PSIマラウイは1994年に設立され、コンドームや飲料水用塩素消毒剤の民間販路を通じた普及、廉価な民間保健医療サービスの拡大、蚊帳の配布などを通じ、母子保健の改善、エイズ対策、マラリア対策などに取り組んでいる。主な資金源はUSAIDをはじめとする欧米ドナー。職員数は約200名。2011年から2013年にかけては映像職種のボランティアが派遣され、プロモーションビデオの制作等を支援した。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 前任者はセールス、リサーチ、コミュニケーションの3部門にまたがって多様なプログラムの広報活動全般を支援していたが、新たなプログラムの立ち上げにあたって所属部署を変更しての後任要請がなされた。ボランティアが所属予定のTunza Networkプロジェクトは、小規模な民間診療所を統一の「Tunza」ブランドの下にフランチャイズ化し、経営・技術指導、医薬品の割引価格での提供などを通じて廉価な基礎的医療サービスの普及を目指すものである。対象となる診療所の多くは准医師や医療助手(いずれも医師免許は所持しないが、専門教育機関で医学を学び診療行為が認められている)による個人経営であり、金銭管理や顧客サービスについて十分な経験を持たないことが多いため、ボランティアによる指導が期待されている。また、これまでに民間医療機関を利用した経験の少ない地域住民に対するマーケティング活動も必要。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①配属先スタッフと共にプロジェクト対象の診療所等で下記の活動にあたり、廉価な基礎的医療サービスの普及を目指す ・初歩的な会計管理(帳簿の管理、資金繰りなど)や在庫管理を指導し、利益率の向上を図る ・顧客サービスの概念を定着させ、サービス品質を向上させる ・現地の文化、習慣、ニーズを分析し、「Tunza」ネットワークの拡大や利用者増のための方針を検討する ②その他、ボランティアの知識経験を生かし、配属先全体の広報、マーケティング活動を支援する				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 リプロダクティブ・ヘルス部門長(薬剤師資格有) Tunza Networkプロジェクトマネジャー(大卒程度) その他プロジェクトスタッフ(大卒程度)			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( 社会経験 ) ( 3年以上 )理由:組織内での調整能力が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要  現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外	
地域 概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 10~30 ℃位) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )			電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )	
特記 事項	小売店舗のマネジメント、営業、マーケティング等の経験があることが望ましい。				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 10 日

要請番号( JL 548 - 14 - B - 14 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F111 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
タンザニア	経営管理			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	27 / 1
				27 / 2	
				27 / 3	

  

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 産業貿易省
	2) 配属先名 (日本語) 中小企業開発機構ダルエスサラーム地域事務所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ダルエスサラーム JICA事務所の所在地( ダルエスサラーム市 )から 北 方向 0 Km 主要都市( ダルエスサラーム市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 中小企業開発機構(SIDO)は中小企業振興を目的とした政府機関であり、中小企業経営者や起業家に向けた技術支援、情報・施設の提供、各種トレーニングコースの実施等の総合的な支援事業を行っている。全国に21の地域事務所があり、1県1品運動による国内製品の生産、販売の促進も行っている。

  

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 タンザニアでは、製造セクターにおいて年率15%の成長を果たすことを目標に設定し、産業の振興を図っている。タンザニア政府の要請によりJICA技術協力プロジェクト「品質・生産性向上(カイゼン)による製造業強化プロジェクト」が2013年4月から実施され、SIDOはプロジェクトのカウンターパートとして中核を担っている。配属先のSIDOダルエスサラームにおいてもカイゼン活動が積極的に行われおり、カイゼントレーナーと呼ばれるカイゼンの知識を得た現地人スタッフが企業での指導を進めている。ボランティアは、カイゼントレーナーとの協働を通して指導方法へのアドバイスなど密着型の支援を行う。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.カイゼントレーナーの活動に同行して、企業へのカイゼン指導を行う。 2.カイゼントレーナーへの指導能力向上に向けたアドバイスの提言を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 トレーニングセンター、プロジェクター
	4) 配属先同僚及び活動対象者 事務所勤務18名(男性10名、女性8名) カイゼントレーナー3名 ※活動対象者として地域製造企業も含まれる

  

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 )( )理由: 同僚の教育水準に合わせる ・経歴( 実務経験 )( 5年以上 )理由: 実践的な内容の指導に必要 ・ 製造工場での勤務経験(事務でも可) 理由: 現場での経験実績が必要	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否
		春募集時のみ適用 SVIは通年対象外

  

地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 20~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
特記事項	



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 8 日

要請番号( JL 745 - 14 - B - 04 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F111 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
キルギス	経営管理					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) イシククリ州政府					
	2) 配属先名 (日本語) NGO 一村一品組合				<input checked="" type="radio"/> NGO	
	3) 任地 イシククリ州カラコル市 JICA事務所の所在地( ビシュケク市 )から 東 方向 400 Km 主要都市( カラコル市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 イシククリ州では、2012年1月～2015年1月まで「一村一品」の手法を用いた技術協カプロジェクト「一村一品アプローチによる小規模ビジネス振興を通じたイシククリ州コミュニティ活性化プロジェクト」が展開中であり、小規模ビジネスを通じた地域経済活性化を目指している。州全体には一村一品運動を普及するJV派遣が行われ、生産者との商品開発、品質管理、組織強化等の生産者支援が行われている。2011年6月に「NGO 一村一品組合」がローカルコミュニティによって組織され、新商品開発、マーケティング戦略、ショップマネージメント、ファンド管理等、ビジネスを自分たちで続けていく事を目的に、活動が展開されている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 地域の素材や伝統を活かした商品開発の取組みを地域の生産団体と行なった結果、羊毛(フェルト)と草木染手法の活用によるフェルト名刺入れやアイフォンケース、羊・ロバ・ヤギ等のフェルトぬいぐるみ等、100%地域素材を活用した商品の製品化に成功した。それら商品は国内をはじめ、株式会社良品計画を通して日本での販売をも実現させ、このような活動は村落の地域住民に雇用や所得をもたらし、地域の経済活性化、主に従事する女性達のエンパワメントにも大きく貢献している。プロジェクト終了後も、約130団体存在する生産団体と取り纏める組合が、自分たちでビジネスを続けていくことが最大の目標である。そのためには在庫・販売・コスト管理等をはじめ、現金管理、預金管理、収益・経費の管理等における運営業務強化・改善の支援が必要であり、本要請へと至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 経理担当者・生産団体に対して、以下の内容を主に改善の提案、指導する。※主には配属先経理担当者へ実施する。 1) 現金管理における帳簿記録の必要性とその指導。 2) 預金管理における仕入れと売掛管理の必要性とその指導。 3) 収益・費用バランスの分析の必要性とその指導。 4) 決算・納税における資料作成の必要性とその指導。 5) 年間の予算策定・経営戦略の必要性とその指導。 ※上記業務における改善すべき優先事項を把握し、実施する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プリンター、スキャナー、コピー機、デスク等					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 会長 女性 40歳代 ビジネス担当 女性 30歳代 会計担当 男性 30歳代 ショップ経営担当 女性 20歳代 130以上の生産団体(約1000名以上) 組合事務局(スタッフ10名、20歳代前半から30歳代)			5) 活動使用言語 ( ロシア語 ) 6) 生活使用言語 ( キルギス語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( )理由: 同僚らと同じレベルにするため ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 )理由: 改善・指導における知識が必要 ・ 簿記等の資格 理由: 有していると望ましい			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(亜寒帯冬季少雨気候) 気温( -20~35 ℃位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )	
特記事項	同配属先に派遣(予定)されているJV、その他関連JVとの連携した活動も行う。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 19 日

要請番号( JL 512 - 14 - B - 17 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F112 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ガーナ	品質管理			1年	27 / 2
			ヶ月	/	年 月 から

配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治体・地域開発省
	2) 配属先名 (日本語) ジョモロ郡役所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ウェスタン州ジョモロ郡ハーフ・アシニ JICA事務所の所在地( <span style="margin-left: 100px;">アクラ</span> )から <span style="margin-left: 100px;">西</span> 方向 <span style="margin-left: 100px;">365 Km</span> 主要都市( <span style="margin-left: 100px;">タコラディ</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="margin-left: 100px;">車</span> で約 <span style="margin-left: 100px;">3</span> 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 ガーナ西部ウェスタン州ジョモロ郡の郡役所は、地元小零細企業支援の一環として、ビジネス・アドバイザー・センター(BAC)を通じてセミナーの開催、実技指導、経営アドバイス等を行っている。同センターは郡役所の監督下にあるが、貿易、産業省管轄の国家小規模産業局に属し、ガーナ国内に110箇所の事務所を構えている。年間予算はほとんどなく、事業運営費は事業を申請することで支給される。現在、自動車整備のJVはBACの他、郡役所の技術指導・開発部門で活動している(2015年9月まで)。

要請概要	1) 要請理由・背景 同郡役所に事務所を構えるBACでは、地元小零細企業に5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)をはじめとしたKAIZENの手法を導入し、収益向上に繋がる職場改善を促している。前任者(自動車整備)は、BACや郡の技術指導・開発部門において5SやKAIZENの指導を行い、まずは部署内で成功体験や気づきを共有した。その後、地元の小零細企業を巡回し、手法の普及と定着に取り組んでいる。今後は同部門における5SやKAIZENの取り組みを実際に体験・視察できるようにし(作業場をモデル化する)、小零細企業経営者の研修を請け負うなど、更なるKAIZEN活動の普及が期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 小零細企業を巡回訪問し、職場の環境調査や従業員への聞き取り調査を通じて、各業者の抱える問題点を整理 2. 問題点を解決するために5SやKAIZENの手法を紹介 3. 5SやKAIZENの手法を採用した企業のモニタリング 4. ワークショップを開催(5SやKAIZENに取り組んでいる企業の活動を他の企業にも紹介し、普及に繋げる)

要請内容	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン1台、プリンター1台、コピー機1台
	4) 配属先同僚及び活動対象者 技術者7名(男性、20代~40代、専門学校卒) 活動対象者:地元小零細企業経営者

5) 活動使用言語 ( 英語 )
6) 生活使用言語 ( その他 )
7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( )理由: ・経歴( <b>実務経験</b> )( <b>3年以上</b> )理由:実務経験に基づく指導が必要 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは同年対象外
-------	---	--

地域概況	気候(熱帯モンスーン気候) 気温( 25~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項 主に活動する技術指導・開発部門は、旋盤、プレス機、溶接等の基本的な機材を使用して脱穀機や野外用オープン等の製作も行われており、これら「ものづくり」に対するアイデアの提供ができるとなるとよい。



事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号( JL 224 - 14 - B - 02 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F113 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
ドミニカ共和国	マーケティング					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 経済企画開発省
	2) 配属先名 (日本語) クラスター・ツーリズム・パラオナ <span style="float: right;"><input checked="" type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 パラオナ JICA事務所の所在地( サント・ドミンゴ市 )から 西 方向 200 Km 主要都市( サント・ドミンゴ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 2004年に米国国際開発庁(USAID)と国家競争力向上委員会の支援を受けて、観光産業などパラオナ県の産業振興を目的に設立されたNGO。ホームページの公開やスポーツイベントの開催、ホテルのサービス向上についての提言、機関紙作成などを通じ、国内外から旅行者を招聘しようとしている。また、県内の小規模グループが製造・販売する民芸品、ジャム、ココナッツ菓子や、ラ・リスタ村の木工業組合の商品の販売促進を支援している。県内には手付かずの自然が残っており、エコツーリズムを発展させていこうという動きがある。

要請概要	1) 要請理由・背景 当国を訪れる先進国からの旅行者は、オールインクルーシブホテルに滞在する人が大半で、地元住民が得る利益は限定的である。特に地方では観光客を増やし、観光資源を活かした地域の産業振興を行うことが求められている。配属先は、県内のジャムやココナッツ菓子等の品質向上やマーケティングについて生産者にアドバイスをを行う計画であるが、思うように進んでいない。生産者である住民に旅行者が求める品質を認識してもらうこと、営業の大切さを理解してもらい、現金収入を増やしてもらうことを目的にボランティアの要請が提出された。前任者は観光振興のためのホテルの視察と改善提案、ジャムやココナッツ菓子等の販売促進とマーケティング支援を行っているが、女性たちの販売に対する意識向上に向けた道のりは長い。前任者の行ってきた支援を引継ぎ、別の民芸品作製団体への販売支援と各種観光振興支援の実施が求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・県内の工房で作製している民芸品やジャム等の品質向上、販売促進へのアドバイス ・先進国からの観光客に訴求効果のあるホームページにするためのアドバイス ・観光振興のためのプロモーション活動の立案と提案 ・機関紙の構成や内容に関するアドバイスの提供、各種観光マップの作成 他の民芸品作製団体に派遣される予定のボランティアや同職種ボランティアと積極的に情報交換し、活動に生かしていくことが期待されている。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務机、椅子

4) 配属先同僚及び活動対象者 運営責任者 (50代女性 大卒 経験20年) パラオナ支所担当者 (20代女性) 執行委員会メンバー (60代男性)	5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: )
---	---

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 販売促進支援を行うため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(亜熱帯海洋性気候 ) 気温( 18~34 °C位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項 インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、完全ではない。

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 20 日

要請番号( JL 506 - 14 - B - 13 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F113 )	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 2 代目	○ 2 年	JOCV/SV
エチオピア	マーケティング			○ 1 年	27 / 1
		○ 3 ヶ月	27 / 2		
			27 / 3		

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 南部諸民族州農業局	○ NGO
	2)配属先名 (日本語) カファ県農業部・農産物振興課	
	3)任地 南部諸民族州ボンガ JICA事務所の所在地( アディスアベバ )から 南西 方向 460 Km 主要都市( ジンマ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)	
	4)配属先の規模・事業内容 配属先は、南部諸民族州カファ県の行政機関で、農家に対する種や肥料の供給や自然環境を活かした産品開発、マーケティングリサーチ、プロモーションを担う。同地域では、近年農地拡大や林業による森林伐採が進んでおり、環境や森林保護に関する取り組みが急務である。配属先は、自然環境を活かしたビジネス(コーヒー、はちみつ、スパイス等)に対する支援を行うことで、自然環境と人とが持続的に共存することをめざしている。予算規模は組織全体で、年間2,600,000Birr(1300万円)である。	

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 近年、農地拡大や現金収入の為の森林伐採などが進み、多くの森が失われつつある同地域では、環境を守る為にも、従来型の農業・林業に代わる自然環境を活かしたビジネス展開を支援している。現在は、主に森で取れるコーヒー豆、はちみつ、スパイス等を取扱い、現金収入の向上を目指しているが、配属先及び県内町村のスタッフで行っていることから、必ずしも技術レベルが十分ではなく、適切な活動が行えていない例もある。また、限られた資源の中から細々とした産品開発を行っていること、市場へのアクセスがスムーズでないことなど課題も散見されている。今後、それらを克服し、自然環境を活かしたビジネス展開を拡大するための支援が求められている。同任地で活動中の「環境教育」や派遣予定の「観光」の隊員との連携も期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. コーヒー、はちみつ、スパイス、穀物、スパイス等の国内の販路拡大に対する支援 2. 地域特産品のマーケティング(販売促進)に必要な情報収集及び分析 3. 生産者や協同組合への現金収入向上や資金運用に係る知識の提供 4. 同僚や村スタッフの日常業務改善に向けた助言
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、執務用PC、プリンター
4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚(C/P): 市場開拓・販売促進担当(40代、男性、大卒、経験10年) その他のスタッフ: 男性2名	5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: )

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 )( )理由: 配属先が必要としている ・経験( 実務経験 )( 3年以上 )理由: 活動に関連する経験が必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要
		現職教員特別参加制度 ○ 可 春募集時のみ適用 ● 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(ステップ気候) 気温( 10~30 ℃位) 電気(○安定 ●不安定 ○なし) 通信( ☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線 ) 水道(○安定 ●不安定 ○なし)
------	---

特記事項 英語に関しては、資料作成などの業務も期待されている為、ライティングの能力も求められている。



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 30 日

要請番号( JL 012 - 14 - B - 07 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
フィリピン	観光			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 2	年 月 日
1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局					
2) 配属先名 (日本語) シキホール州サンユアン町役場計画開発事務所					<input type="radio"/> NGO
3) 任地 シキホール州サンユアン町 JICA事務所の所在地( マニラ )から 南東 方向 600 Km 主要都市( ドゥマゲッティ市 )までの交通手段及び所要時間( 船 で約 1.5 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 シキホール州はセブ島の南に位置する周囲約80kmの島。サンユアン町は島南西部に位置する人口約1万4千人の町で15の村(バラングイ)から構成されている。町役場は職員数 83名(正職員48名、臨時職員35名)で年間予算1億円程度。JV配属予定の計画開発事務所は職員2名(正職員1名、臨時職員1名)で年間予算約250万円。町の開発計画の策定、モニタリング・評価を実施する町役場の中核的部署であり、観光業の推進も担っているが具体的な観光開発事業に着手できていない。外国からの援助は、2012年まで農業分野の米国ピースコーを受入れた経緯があるが、現在は特に無し。					
1) 要請理由・背景 シキホール州は小さな島であるが、白い砂浜の美しいビーチが多く、また“魔女の島”、“ホテルの島”として神秘的なイメージがあることから観光客の人気を集めており、訪問者は増加している。サンユアン町は、島内8つの町のうちビーチを最も数多く有し、ダイビング、パラセーリング等も盛んなシキホール観光の拠点となる町である。このため、町役場は観光業の推進は町政において非常に重要な課題と認識しているものの、現在のところ観光推進のマスタープランも持っておらず、町として今後どのように観光業を推進していくのか、その方向性も定まっていないのが実情。このため、まず、町の観光業の現状調査、町観光評議会との協議による今後の戦略の決定等を通して観光推進マスタープランを作成し、それに沿った具体的な観光推進事業を打ちだし、実行に移したいと考えており、この支援のためJVが要請された。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)					
① 町の観光業の現状調査、町の観光評議会の会議への参加を通して、町の観光推進マスタープランの作成を支援する。 ② マスタープランに基づいた具体的な観光開発事業の立案、実施を支援する。 ③ 町内に現存する観光資源(パラダイスベイ、ラグナソン滝等)の効果的活用と保全についての助言を行う。 ④ 観光開発事業のモニタリング・評価に協力する。					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンタ等の事務機器。					
4) 配属先同僚及び活動対象者 町長:男性 50代 計画開発事務所長:女性 50代 主たる同僚:観光開発担当職員 男性 30代(なお、本職員は計画開発事務所職員でなく町長室の職員) その他計画開発事務所職員 1名				5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 短大卒 ) ( )理由:同僚とのバランス ・経歴 ( 実務経験 ) ( 2年以上 )理由:マスタープランへの助言に必要 理由:				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況 気候(熱帯雨林気候) 気温( 21~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 7 日

要請番号( JL 027 - 14 - B - 09 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
ベトナム	観光			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 2	年 月 から
				/	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) ティエンザン省人民委員会 2) 配属先名 (日本語) ティエンザン省文化スポーツ観光局 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ティエンザン省ミー市 JICA事務所の所在地( ハノイ市 )から 南 方向 1800 Km 主要都市( ホーチミン市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同局は、省内における文化、スポーツ、観光に関する事業の運営と管理を担っている。年間予算は2億円弱。ボランティアが所属する観光業務課では、観光開発に関する政策立案と、観光地の運営・管理、またホテルやツアー等の管理を行っている。 2011年から2014年まで草の根技術協力「ヘリテージツーリズムによる持続的な地域振興プロジェクト」が実施され、国内の農村地域数ヶ所にかかる観光開発を実施した。同省内では、カイベイ郡ドンホアヒエップ村を対象地域として、環境整備など、観光客の受入態勢作りに取り組んだ。				
要請	1) 要請理由・背景 配属先が関わる観光開発現場は10以上ある。このうち、省都近郊のユニコーン島ではツアーの企画力が不足し、またカイベイ郡ドンホアヒエップ村では旅行社等への宣伝がまだ十分ではないことから、観光客数が期待値に達していない。(2013年は、ユニコーン島約60万人(西洋人・中国人中心)、カイベイ郡約9.5万人(日本人中心)。) また住民の観光開発意識が十分に高くないことから、観光商品の継続的な改善が成されていない状況にある。 過去、観光業務課では職員2名が観光開発に係るJICA本邦研修に参加し、観光地の開発に対する能力向上を図ってきた。今後更に多くの観光客を引き寄せるためには、観光商品の改善を行い、効果的な宣伝を行っていく必要がある。 そこで、前述の観光地二箇所における現状調査を行った上で、新たなツアー企画等を含めた改善案を提言すると共に、旅行社等に対し効果的に宣伝ができるJVの協力が求められた。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 赴任当初は語学力の向上、同僚との良好な関係構築、現状把握に重点を置きつつ、以下の活動を同僚と協力して行う。 ・ユニコーン島(メコンクルーズ、ホームステイ、果物・蜂蜜等が有名)、ドンホアヒエップ村(水上マーケット、古民家、伝統工芸等が有名)の2地域において、観光商品や観光サービスの現状調査を行い、魅力的な観光商品の改善案や新たなツアー企画案等をまとめ、提言・報告する。(観光商品やツアー企画については、観光客や日系の旅行社から改善案を得ることも有効)。 ・日系及びベトナムの旅行社を対象に、上記2箇所の観光商品を効果的に宣伝するための資料作成等を行う。 ・持続的に観光商品・サービスの改善がされるための助言と改善案の提言を住民に対して行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室、机、椅子、コピー機、プリンター等の一般事務機器、カイベイ郡紹介冊子(JICAと昭和女子大の共同作成)、パンフレット、省観光地図(配属先作成) 4) 配属先同僚及び活動対象者 観光業務課 課長(男性/50歳代)、副課長(女性/50代/文化観光修士、JICA研修参加者)、ほか職員2名(女性/20代-30代/1名は芸術文化専門学校派遣/JICA研修参加者) カイベイ郡人民委員会文化情報課 課長及び職員(男女/30代-50代/文化観光学士) ほか住民、日系・現地旅行社等 5) 活動使用言語 (ベトナム語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル: )				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 )( )理由:同僚とのバランスを図るため ・経歴( 実務経験 )( 5年以上 )理由:観光開発の提言・実行力が必要 ・エコツアー企画経験2年、PR業務経験 理由:エコツアー観光品開発を行うため		活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 20~35℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	活動対象地のユニコーン島へは單車で10分程度の距離、カイベイ郡へはバスで1.5時間程度の距離がある。				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

要請番号( JL 027 - 14 - B - 10 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 /	日系/短期 年 月 から
ベトナム	観光					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) クアンニン省人民委員会					
	2) 配属先名 (日本語) 文化スポーツ観光局				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 クアンニン省ハロン市 JICA事務所の所在地( ハノイ市 )から 東 方向 170 Km 主要都市( ハノイ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4.0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 同局は、文化・スポーツ・観光分野における業務全般を担当しており、11課から成り、観光に関しては、観光課、観光資源開発課、観光促進開発センターなどの課がある。 ボランティアは、観光課の職員と共に活動を行うことになるが、観光資源開発課や観光促進開発センターとも連携をしながら業務を実施することとなる。観光課は主に同地の観光開発と観光地の運営・管理を行っている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同省には、世界的に名が知られているハロン湾をはじめ、有名な観光地が幾つかあり、中国、韓国、日本からの観光客が、訪問客数で上位を占めている。しかし観光客の訪問先がハロン湾周辺に集中している状況であり、より多くの観光客が滞在期間を延ばし、省内のハロン湾以外の観光名所も楽しんでもらえる取り組みを企画・計画中である。 現在、ツアー企画や体験型のアトラクションの開発、同省観光資源の開発・多様化などが、省内の観光分野における喫緊の課題とされている。 このような現状から、観光啓発・ツアー企画の経験を有するボランティアの支援が必要とされた。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 赴任当初は語学力の向上、同僚との良好な関係構築、現状把握に重点を置きつつ、以下の活動を配属先の一員として、同僚と協力して行う。 ・省内にある観光現場の現状調査を行い、観光資源の価値を把握する。 ・省内の観光資源を利用した日本人向けの魅力的なツアーを配属先に提案する。 ・観光資源開発や観光商品開発などについて、新たなアイデアや改善案をまとめ、提言する。 ・日本におけるツアー企画、体験型ツアー、観光資源開発に関する情報や経験をまとめ、配属先や同僚に共有する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 共有PC、スキャナー、カメラ、コピー機等の一般事務機器					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・副局長(男性/40代後半) ・観光課長(男性/40代/英語可)、職員11名(男性4名、女性7名/20代~40代/学士・修士) ・観光資源開発課職員6名(男性1名、女性5名/20代~40代/学士・修士) ・観光促進開発センター職員11名(男性3名、女性8名/20代~40代/学士・修士)			5) 活動使用言語 (ベトナム語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( )理由: 同僚の学歴にあわせるため ・経験 ( ) ( )理由: ・ 観光商品企画の経験2年以上 理由: ツアー企画作成を支援するため			活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(温暖冬季少雨気候 ) 気温( 10~35 °C位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )					



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号 ( JL 051 - 14 - B - 24 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 5 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3	日系/短期 年 月 から
バングラデシュ	観光					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 民間航空・観光省
	2) 配属先名 (日本語) バングラデシュ観光公社 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 北ダッカ市内 JICA事務所の所在地 ( 北ダッカ市 ) から 北 方向 0 Km 主要都市 ( 北ダッカ市 ) までの交通手段及び所要時間 ( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 観光公社は、政府系ホテル事業、観光客誘致事業、観光開発事業、ホテル&観光従事者育成学校等観光に関連する分野を手がけている。外国の援助としては、国際労働機関(ILO)/国連開発計画(UNDP)が過去に3度の支援を行った実績がある(1978~1982、1986~1989、1992~1996)。現在は、アジア開発銀行(ADB)がコミュニティツーリズムの支援を実施している。過去には、観光のほか料理の職種でも青年海外協力隊の派遣があった。

要請概要	1) 要請理由・背景 バングラデシュ観光公社は、“Discover Beautiful Bangladesh”をスローガンに掲げ、観光収入による国益の増大を図るため、バングラデシュ・ツーリズム・ボードとともに観光客誘致事業を進めている。バングラデシュは、親日国家として知られているが、日本人旅行者のバングラデシュ渡航者数は、インド、英国、米国、中国、パキスタン、カナダ、豪州に次いで8番目であり、年間1万人に満たない状況である。世界遺産や観光地としての認知度はまだまだ低く、貧困、洪水、サイクロンといったネガティブな印象による観光客数の伸び悩みを打破するため、ホームページやソーシャルネットワーク等を通じた情報発信に力を入れている。ただし、魅力的かつ効果的な運営には、知識や経験不足な面が否めないこともあり、ボランティアには配属先および関係機関に対し、観光客誘致に関する支援および提言を行うことが期待される。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. レストラン、土産物屋、宿泊施設等へ巡回し、サービス改善や品質向上のためのアドバイスを、観光客の視点から行う。 2.1.の巡回活動で収集した情報を、観光公社ホームページ内のブログやTwitter、Facebook等を通じ日本人含む外国人観光客に向け発信。また、配属先同僚と協力してこれらWebサイトの更新・運営管理にあたる。 3. 旅行会社、民芸品店、ホテル、援助団体等と連携し、イベントの実施などを通じ、観光客誘致活動を支援するとともに、配属先が実施する各種事業に対して提言を行う。 4. 観光公社の日本語ホームページの更新、ガイドブックや各種イベントで配布するパンフレット等への提言を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし
	4) 配属先同僚及び活動対象者 広報課副課長(男性 30代) マーケティング課職員(男性 30代)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( ) 理由: 同僚と同等の学歴が求められるため ・経験 ( 社会経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 活動内容に不可欠 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(熱帯モンスーン気候) 気温( 10~40 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号( JL 227 - 14 - B - 25 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 1 27 / 2 27 / 3
エルサルバドル	観光		年 月 から		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) サンピセンテ市役所				
	2) 配属先名 (日本語) サンピセンテ市役所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 サンピセンテ県サンピセンテ市 JICA事務所の所在地( サンサルバドル市 )から 東 方向 56 Km 主要都市( サンピセンテ市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は当国中部サンピセンテ県に位置し、人口約5万5千人の地方都市の教育、保健、基礎インフラ整備などの行政サービスを担っている。当国では国家計画として国家小零細企業委員会(CONAMYPE)が一村一品運動を推進しており、JICAも同分野への協力を行っている。同市では観光を一品として、教会などの歴史文化、果物を原料とした砂糖菓子、自然資源などを活用した観光開発に取り組んでいる。現在、観光業隊員(2015年1月まで)が自然資源の観光促進への活用などの支援を行っており、JICA専門家(一村一品)がCONAMYPEに派遣されている。研修事業には2名(一村一品、持続的観光開発)が参加している。				
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では前項の通り、観光を中心とした一村一品運動に取り組んでおり、この運動を推進するCONAMYPEからはJICA専門家によるセミナーを始めとした技術支援を受けている。配属先では関係者を巻き込みながら率先して活動を行い、様々なセクターの関係者により観光委員会も設立され、一村一品の理念に基づいた観光振興により力をいれたいとしている。また、職員がJICA国課題別研修に参加していることから、その研修成果を活用した事業計画の実施支援も期待され、観光全般についての助言や企画立案が求められていることから、前任者となる観光業隊員が活動中であり、引き続きJICAボランティアの協力を得たいとして後任ボランティアが要請された。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 一村一品の理念に基づいた、地域の資源を活用した観光振興についての助言や企画立案 2. JICA研修に参加した職員への支援(研修成果を活用した事業計画の実施支援など) 3. 観光委員会の組織強化支援				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 市役所内執務スペース				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・市長:男性、50歳代、3年任期の2期目(現在2年目) ・地域開発ユニット長(JICA帰国研修員):男性、20歳代 ・地域ユニット職員:25名(内観光担当職員(JICA帰国研修員):男性、30歳代) ・観光委員会:15名			5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由: 専門的な助言が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域概況	気候(サバナ気候 ) 気温( 15~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	住居は原則としてホームステイとなる。				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号( JL 227 - 14 - B - 26 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
エルサルバドル	観光			27 / 1	年 月 から	
				27 / 2		27 / 3
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 国立フクアラン高校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span> 3) 任地 ウスルタン県フクアラン市 JICA事務所の所在地( サンサルバドル市 )から 南 方向 143 Km 主要都市( ウスルタン市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は981年に創設された国立高校であり、3年制の中等専門課程(観光サービス、商業)と2年制の普通課程があり、学生数は約200名、教職員数約10名である。3年制の専門課程卒業時には中等技術者資格が与えられ、高等技術者養成機関の2年生編入もしくは大学に進学が可能となる。配属先は海岸まで約14km、太平洋沿岸よりの山間部に位置しており、沿岸部での観光開発を見据えて2013年に観光サービス課程が開設された。2012年の年間予算は11万米ドル。JICAでは技術協力プロジェクト「東部地域観光開発能力強化」(2013年8月まで)を実施し、配属先教員もこのプロジェクトによる研修会に複数回参加している。					
要請	1) 要請理由・背景 配属先の観光サービス課程は2013年開設であり、2014年1月現在は2年生約50名となっている(学期サイクルは1~12月)。新入生は約50名、2015年度には1から3年生まで約150名となる予定である。担当教員は3名(英語、観光、ホテルサービス)、それぞれ配属先での勤続年数は長い。観光サービスに関しては各種研修を受けて学生に指導している状況にあることから、特にホテルサービスに関する指導内容を充実させたいとしてボランティアが要請された。教育省で定められている指導内容は、1年生で観光サービス、ホテルサービス、飲食業での接客などの基礎、2年生では観光ツアーデザイン、それに伴うロジ業務、調理、3年生ではパッケージツアーのデザイン、航空券予約システム、観光プロモーションの企画、など約2,600コマとなっている。なお、指導内容は日本の観光分野の専門学校で指導する基本部分程度と思われる。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の観光サービス課程において、学生に直接指導にあたりるとともに、同僚教員と指導法や指導教材の改善により指導内容の向上を図る。 1.ホテル業における接客やサービスに関する指導(室内整備、レストランなど飲食部門でのサービスを含む) 2.観光業(ホテル、飲食店、ツアー催行時)における防災時の対応に関する指導 3.障害者への観光サービスの提供に関する指導 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務スペース(OA機器)、グラスなどの食器 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長:男性、50歳代 ・観光サービス課程教員3名:①英語、男性、30歳代 ②観光全般、男性、40歳代 ③ホテルサービス、女性、40歳代 ・観光課程学生:約100名(各学年約50名、2014年度は1、2年生のみ) 5) 活動使用言語 (スペイン語 ) 6) 生活使用言語 (スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 専門学校卒 ) ( ) 理由: ホテル学科 ・経歴 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 理由: 現場経験が必要のため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(サバナ気候 ) 気温( 15~35 ℃位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	住居は原則としてホームステイとなる。					



事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 6 日

要請番号( JL 318 - 14 - B - 04 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
エクアドル	観光			27 / 1	年 月 から
				27 / 2	
27 / 3					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ルミニャウイ郡役所
	2) 配属先名 (日本語) ルミニャウイ郡役所 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ピチンチャ県ルミニャウイ郡サンゴルキ市 JICA事務所の所在地( キト市 )から 南東 方向 15 Km 主要都市( キト市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 任地のルミニャウイ郡サンゴルキ市はキト市南東部に隣接し、住民の大半がキト市へ通勤する衛星都市の1つである。ルミニャウイ郡全体の人口は約85,000人で、サンゴルキ市は約8万人である。配属先のルミニャウイ郡役所は、市民の生活向上や自然環境保護を目指し、各種公共事業やサービスを行っている。年間予算は3,200万米ドル。外国からの援助はない。 <a href="http://www.ruminahui.gob.ec/">http://www.ruminahui.gob.ec/</a>

要請概要	1) 要請理由・背景 任地のルミニャウイ郡は面積が約140平方kmで、山間に位置する。観光資源は主に山、川、滝、遊歩道などの自然資源である。同郡を訪れる観光客は主にキト市の住民であり、ここ10年で増加傾向にある。配属先では既に観光パンフレットや観光マップなどの資料を作成している。今後観光開発計画を作成し、同計画に基づいた観光プロモーションや広報の強化を図ることによる国内からの集客を目的にボランティアが要請された。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の観光課職員や地元企業などとともに下記の活動を行う。 ① 観光ツールの作成 ② 郡内の観光ポイントにおけるマーケティング調査 ③ 観光戦略計画の作成補助 ④ エクアドル環境省の規格に準じた観光ルートでの標識デザイン作成への助言	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務用品一式	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 観光課長(男性、50代、大卒) 観光課職員3名(男性1名、女性2名。大卒1名、高卒2名) 活動対象者: 地元中小企業、レストラン、ホテル、観光ガイド他	5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( 大卒 )( )理由:同僚が学士以上のため ・経歴( 実務経験 )( 3年以上 )理由:業務上必要不可欠 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVIは通年対象外

地域概況	気候(高地地中海性気候 ) 気温( 10~25 °C位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号( JL 472 - 14 - B - 04 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV
スーダン	観光			1年	27 / 1
			ヶ月	27 / 3	年 月 から
/					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) カッサラ州投資・観光省				
	2) 配属先名 (日本語) カッサラ州投資・観光省 観光局				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 カッサラ州カッサラ市 JICA事務所の所在地( ハルツーム )から 東 方向 550 Km 主要都市( カッサラ市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 カッサラ州は2011年にはスーダン各地から約48,000人の観光客が訪れたスーダン国内では有数の観光地である。カッサラ州投資・観光省は2010年6月に設立された新しい省で、その部局のひとつである観光局は国内外の観光客誘致のため、2012年にはカッサラ州最大の観光地であるタカ山麓のライトアップ実施、また市内を流れるガッシュ川沿いの公園整備、動物園整備、ホテル誘致等を実施している。外国援助としては、2011年にUNICEF(国連児童基金)が子供を対象としたキャンペーンを実施した経験を持つ。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 カッサラ州のあるスーダン東部の安定・発展は南北包括和平、ダルフル和平と並びス国の3つ目の重点課題とされるが、2006年東部スーダン和平合意(ESPA)成立後も、同地域開発は停滞しており、貧困削減は喫緊の課題である。カッサラはもとも開発可能性を有し、エリトリア、エチオピアから流入した人口も多い。多様で重層的な民族構成と開発課題をもつ地域の開発には、草の根活動に依拠した支援が重要となる。 カッサラ市はタカ山の麓に位置し、季節により水を湛えるガッシュ川流域ではライム、グレープフルーツなどの果樹園が広がるなど、国内では希少な観光素材を持ち、特に新婚旅行地として人気がある。これらを活用し国内の更なる集客と外国人の誘致を目的に、新たな観光開発支援が求められている。他のJVとの協力による特産品の開拓など産業振興に関する活動も期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下に留意し、外国人視点による観光素材発掘調査の実施と、魅力的な観光地づくりの提言を行う。 1. 観光開発にかかる新しいアイデアの創出 2. 特産品を利用した町おこしや産業振興 3. 観光情報の発信・広報の支援 なお、同州他機関JVとの連携が期待される。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 総局長及び観光局長 観光局職員及びメディア局職員(ともに大卒・実務経験6年程度で、英語可)			5) 活動使用言語 ( アラビア語 )	
			6) 生活使用言語 ( アラビア語 )		
			7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)			活動上の単車/自転車の必要性	
	・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( )( )理由: ・経歴( )( )理由: ・理由:			<input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外	
地域 概況	気候(砂漠気候) 気温( 20~45℃位)		電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記 事項	専門知識の提供よりも、関係者との連携など柔軟な視点があるとよい。				



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 6 月 18 日

要請番号( JL 512 - 14 - B - 09 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 27 / 2 / /	日系/短期 年 月 から
ガーナ	観光					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 観光・文化・芸術省					
	2) 配属先名 (日本語) ガーナ観光局ボルタ州事務所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ボルタ州ホ市アメソフェ JICA 事務所の所在地( アクラ )から 北東 方向 160 Km 主要都市( ホホエ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 ガーナ観光局は観光・文化・芸術省傘下の実務機関であり、観光分野における振興促進、マーケティング、統計データ・情報収集、観光開発、関連業者の登録許可や調査、ライセンス管理等を行っている。配属先はガーナ東部のボルタ州内を管轄。ガーナ観光局全体の前年度予算規模は、約22,000万円。現在、同職種でJVが活動しており(2015年9月まで)、本要請は2代目となる。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は現在、7つの農村が協力して実施するコミュニティベースの観光開発に取り組んでいる。当該地域は大衆的な観光資源に恵まれているわけではないが、農村部でのホームステイプログラムや地域の伝統的文化、国内では珍しい丘陵地の景色や冷涼な気候などの素朴な魅力を観光資源とする観光プログラムの整備をすすめている。現在、初代JVが関係者との調整や情報収集、整理を行っている。ゲストハウスやレストランの建設などの計画もあり、事業の更なる発展が期待されている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) JVは観光開発に取り組んでいる山間集落に住み、当地のビジターセンターを通じて地域の人達や観光客と直接的に関わりを持ちながら、以下の活動を進めていく。 1. 地域における観光資源の情報収集と整理 2. 当地を訪問している観光客の情報収集(聞き取り調査およびアンケート等を実施)、および分析 3. 関係者(農村住民、地元エコツーリズム委員会、観光局、観光関連業者)との協議・観光業運営ガイドラインの作成 4. 関係者と共に、観光地の宣伝活動(パンフレット、ポスター、インターネット等)の企画・実施 5. 関係者にサービスの向上に資するアドバイス					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ノートパソコン1台					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 所長(男性、50代、大卒) 同僚:リソースオフィサー4名(男性2名・女性2名、30代、大卒) 経理(男性、30代、大卒) 秘書(女性、30代、大卒)  活動対象者:地域住民(年齢、経験共に様々)			5) 活動使用言語 ( 英語 ) 6) 生活使用言語 ( その他 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル: )		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( )理由: ・学歴 ( ) ( )理由: ・経験 ( ) ( )理由: 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外		
地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 20~35 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	配属先の州事務所にはパソコンやコピー機などの事務機器が揃っているが、普段の活動場所となる地域のビジターセンターには、機材はほとんどない。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 7 月 1 日

要請番号( JL 630 - 14- B - 17 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	JOCV/SV	
モザンビーク	観光			1年	27 / 1	日系/短期
				ヶ月	27 / 2	
				27 / 3	年 月 から	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) モザンビーク島職業訓練学校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 ナンプラ州モザンビーク島 JICA事務所の所在地( マプト )から 北東 方向 2000 Km 主要都市( ナンプラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は世界遺産であるモザンビーク島に2003年に設立された職業訓練校である。当初は建築や経営コースしかなかったが、2013年からホテル・レストランコースを立ち上げ、観光業に携わる人材育成を開始している。3年制の学校であり、現在開設しているコースは経営、建築、裁縫、ホテル・レストランの4コースで、全体で305名の学生が在籍している。なお、モザンビーク島内ではすでに3名のJICAボランティア(青少年活動2名、野菜栽培1名)が活動している。

要請概要	1) 要請理由・背景 配属先のあるモザンビーク島は世界遺産であり、毎年多くの観光客が訪問しているモザンビークの観光名所のひとつである。モザンビーク島は小さな島で、観光が非常に重要な産業となっており、観光客の増減が島の経済に大きくかかわっている。そこで、多くの観光客が繰り返し訪問するような、観光客に対するサービス向上が課題となっている。同配属先はモザンビーク島では唯一の職業訓練校として、ホテルおよびレストランにて活躍できる人材育成を目指して教育を行っているが、適切なサービスを指導できる教員が不足しており、効果的な授業が行えていない。そこで、ホテルおよびレストランでのテーブルサービス、テーブルアレンジ、および、職場環境管理等が指導できるボランティアを求めて、今回の要請がなされた。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①ホテル・レストランコースの講義および実習授業を現地の教官とともに担当する。 ②講義や実習授業の指導計画の立案支援を行う。 ③実習室の設置に必要な機材について助言を行う。 ④試験の実施および監督、評価における支援を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし
	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長 教員 男性12名、女性4名(うち、ホテル・レストランコース担当教員2名) 学生 ホテル・レストランコース 38名(全学生は男性187名、女性118名)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( ) ( ) 理由: ・経験 ( 実務経験 ) ( 3年以上 ) 理由:実技を指導するため。 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用
		<input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(サバナ気候) 気温( 5~45 ℃位) 電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 1 日

要請番号( JL 745 - 14 - B - 14 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F201 )	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
キルギス	観光			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	27 / 1	年 月 から
					27 / 2	
			27 / 3			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 青年・労働・雇用省
	2) 配属先名 (日本語) 第43職業訓練校 <span style="float: right;"><input type="radio"/> NGO</span>
	3) 任地 チュイ州ソクルク区 JICA事務所の所在地( <span style="margin-left: 100px;">ビシュケク市</span> )から 西 方向 40 Km 主要都市( <span style="margin-left: 100px;">ビシュケク市</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="margin-left: 100px;">バス</span> で約 1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 若年層に対する職業訓練校(農業、観光・ガイド、縫製、調理、給仕コース等)。年間予算約11万ドル。過去にJICAの技術協力「バイオガス技術普及支援計画プロジェクト」によるバイオガスプラント設置支援の実績があり、JICA事業についての理解がある。米国ピースコーの受入経験もある(英語教師~2010年)。同校観光・ガイドコースでは、実践的なノウハウの指導をはじめとして観光産業人材の育成を主眼とした授業が行われている。現在、野菜栽培のJVが活動中である。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同訓練校の観光コースの履修生徒(15-20歳)に対し、接客、旅行ツアー作成、宣伝方法を指導する。また、キルギス国内の観光に関する各関係先NGO(CBT・山岳協会等)にも、JV派遣が行われており、観光客の声を本コースへフィードバックするなど、観光ガイドに関する指導や関連JVとの連携も行う。具体的には、実習用のホテル、レストラン、トレッキングサイト(=山間部等)での実習案計画の改善提案や作成が期待されている。また、観光コースは、全体の授業時間を年間1440時間とし、講義(4割)・実習(6割)の配分としている。赴任後の話し合いで授業計画は決まるが、ボランティアは週2日、1日6時間程度の授業を受け持つ予定である。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先スタッフ・各関係先と協働して、以下の活動を実施する。 1) 同校観光コースにおける生徒への実習指導および実習カリキュラム、教材の作成、WEBサイトの作成・更新等。 2) 実習先(ホテル、レストラン、トレッキングサイト)での実習実施に関する助言。 3) 配属先と協働して、キルギス国内の観光に関する調査(観光客誘致のためのマーケティング)を計画立案し、実行する。 4) 観光振興に携わる関連隊員とのセミナー・ワークショップ開催等の活動。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習施設(フロント、客室、厨房・レストランなど)

4) 配属先同僚及び活動対象者 観光コースのスタッフ(全6名、女性のみ、年齢層:30-55歳、スタッフの学歴:専門学校卒~大卒)  生徒(全生徒数 75人、男女比は、5.5.15~20歳)	5) 活動使用言語 ( <span style="margin-left: 20px;">ロシア語</span> ) 6) 生活使用言語 ( <span style="margin-left: 20px;">キルギス語</span> ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C ) 又は (レベル: )
---	---

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格( ) 又は( ) ・性別( )理由: ・学歴( <span style="margin-left: 20px;">短大卒</span> )( )理由:同僚と同程度の学歴が必要 ・経験( <span style="margin-left: 20px;">実務経験</span> )( <span style="margin-left: 20px;">2年以上</span> )理由:実践的な指導が求められるため ・ <span style="margin-left: 20px;">講師・研修・指導等の経験(観光以外可)</span> 理由:生徒(教員)に指導するため	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否
		春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域 概況	気候(地中海性気候) 気温( <span style="margin-left: 20px;">-20~35</span> ℃位)	電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )	水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)

特記事項 同訓練校内の寄宿舎(個室)に住むことになる。

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 ( 長期 JV )

記入日:平成 26 年 8 月 4 日

要請番号 ( JL 763 - 14 - B - 10 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F201 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	派遣希望時期	派遣希望時期	
ウズベキスタン	観光			<input type="radio"/> 2 年	JOCV/SV	日系/短期
				<input type="radio"/> 1 年	27 / 1	年 月 から
		<input type="radio"/> ヶ月	27 / 2			
				27 / 3		

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 中高等専門教育省	
	2) 配属先名 (日本語) サマルカンド経済・サービス大学	<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 サマルカンド州サマルカンド市 JICA事務所の所在地( タシケント )から 南西 方向 300 Km 主要都市( サマルカンド )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)	
	4) 配属先の規模・事業内容 同大学は、観光都市サマルカンド市内に2004年に設立。3学部(経済・経営学部、観光サービス学部、銀行・金融学部)、14学科を有する。総学生数は約2000名、教員数は約200名。JVの配属先は国際観光サービス学科(学生数約300名)となるが、同大学内に観光業務の実施機関として設置された旅行会社でも活動する。年間予算は約200万ドル。	

要請概要	1) 要請理由・背景 同国には世界遺産をはじめとする多くの観光資源が存在するが、観光業界の人材不足や制度上の規制などにより、観光開発の立ち遅れが目立つ。同大学をはじめ、人材育成のための教育機関がいくつか存在するものの、観光業務の実践を指導できる人材はまだ少ない。そのため、同大学ではこれまで、JVが2代にわたり講義を受け持ってきたほか、大学内に設置されている旅行会社でも、観光業務に関わる実践的な指導を行ってきた。後任には、そうした取り組みの継続・発展が求められる。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①大学内に設置されている旅行会社において、観光客誘致やサービス向上に向けた実践的指導・アドバイスをを行う。 ②国際観光サービス学科の学生を対象に、同僚と協力しながら様々な講義テーマを設定し、週5コマ程度の授業を実施する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務机、パソコン、プリンター、プロジェクター
4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 国際観光サービス学科で授業を担当する教員2名 大学内の観光会社スタッフ4名、ほかボランティア学生約20名 講義対象者: 国際観光サービス学科の学生のうちウズベク語グループの約250名	5) 活動使用言語 ( ウズベク語 ) 6) 生活使用言語 ( ウズベク語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル: )

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許/資格 ( ) 又は ( ) ・性別 ( ) 理由: ・学歴 ( 大卒 ) ( ) 理由: 大学教員として指導するため ・経歴 ( 実務経験 ) ( 5年以上 ) 理由: 実践的指導が必要なため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 春募集時のみ適用 <input checked="" type="radio"/> 否 SVは通年対象外

地域概況	気候(ステップ気候 ) 気温( -20~40 °C位) 電気( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 ) 水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--